

四 蟋螽科 (Cryllocidae)

觸角は體よりも遙に長く、數節より成る。頭は垂直、口は咀嚼に適す。前脛節には聴器なし、跗節は四節、扁平。翅を有するものと、有せざるものとありて、固有脈を具へ、發音器を缺く。後脛節は太く、發達す。尾狀突起は長し。産卵管は三双より成る。夜行性にして、晝間は葉間に隠る、燈火に飛來す。本邦學名を有するもの數種あり。

コハネコロギス.....(三十一)



體は雌にては黃褐。觸角は長く、體の數倍長ありて、各節の末端は多く黃白、前胸背は光線の具合にて少しく紫色を現はし、前縁に暗褐の一紋あり。前翅は退化して鱗狀となり、基

部は褐色。中後兩胸背の後縁及び各腹節の後縁は黒褐。産卵管は短、斜に上向す。後脛節は頗る太く、下面に小齒列あり。體長九分。これは臺灣恒春にて川上澧彌氏の採集せるものなり。
〔分布〕臺灣(恒春)。

コロギス.....(三十二)

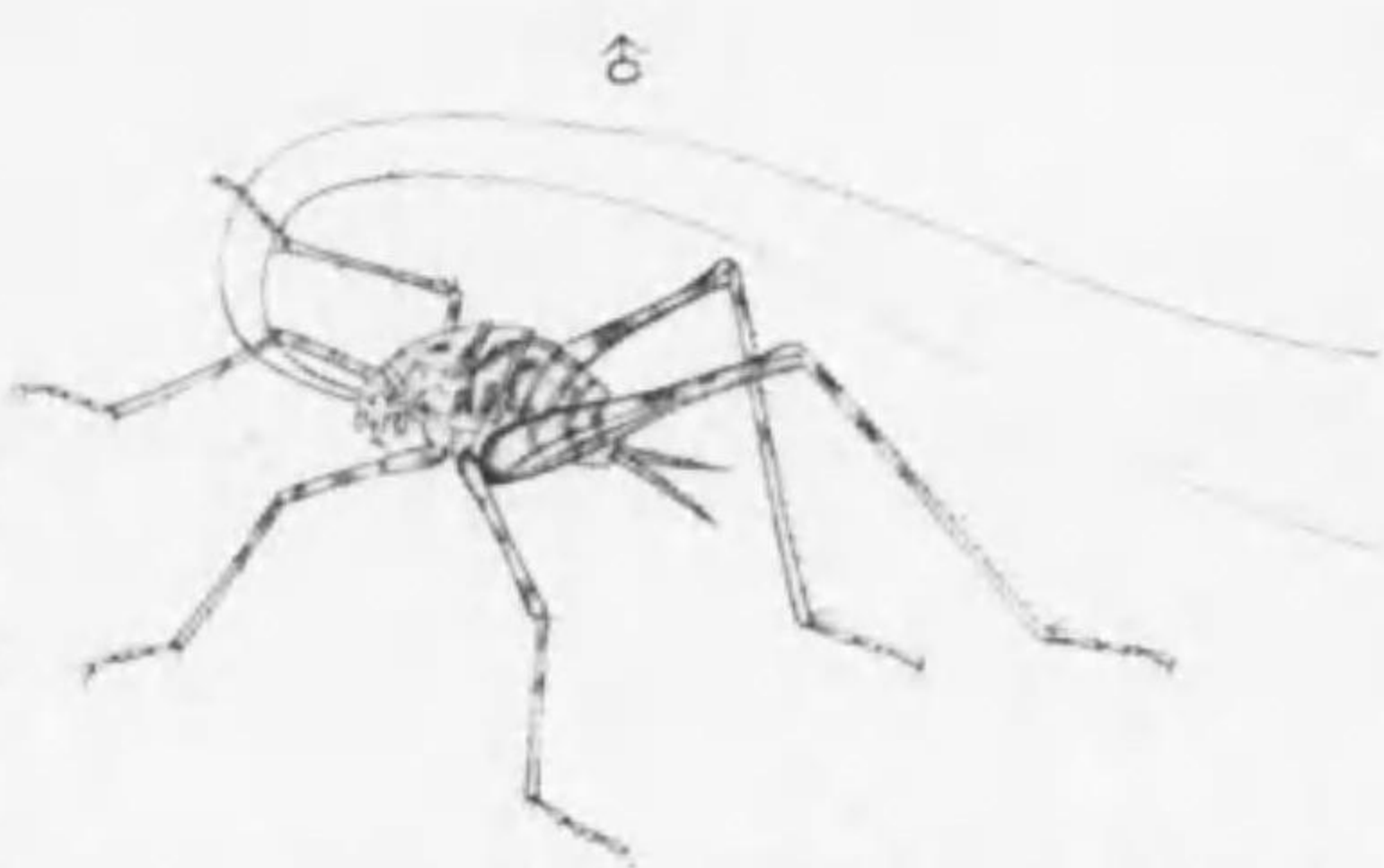


體は綠色。上唇は黃褐、大脛の末端は黒褐。觸角は體の數倍長あり。頭頂及び前胸背は頗る光澤を帯ぶ。前翅は黃褐、前縁は綠色、翅端脈は暗褐にして、網狀をなす。後翅は前翅よりも長く、脈は暗褐。

産卵管は體と約同長。體長一寸一寸二分。これは中國地方に産すれども、その數餘り多からず。樹上に棲息するを以て採集布の内に打ち落して捕ふべし。夜間燈火を慕ひ飛來するを以て電燈柱を搜索すべし。
〔分布〕本州(京都、岐阜、群馬)。

五 穴蝨科 (Stenopelmathidae)

兩翅を缺く。觸角は頗る長く、體長に數倍す。脛節も長く、脛節端に長距を具へ、後脛節は長く、肥大す。黄は蒲鋒形を呈し、背部は著しく穹狀に隆起す。雌は劍狀の上向せる産卵管を有す。一双の尾狀突起は長し。本邦學名を有するもの四種あり。晝間は穴居し、夜間出でて植物葉を食し、時に小蟲を捕食す。嗜んで糖液に集まる。



マダラカ
マドウマ
(斑道馬).....(三十三)
Diastramena mena

第一三直翅目

marmorata D. H.

體は淡き黃褐、黒紋を散在す。觸角は頗る長く、暗褐にして、基部の四節は黄色、長さ體の約三倍長あり。前胸背に黄色及び黒褐の斑紋を裝ふ。翅を缺く。産卵管は赤褐、劍狀、少しく上方に向く。體長六分七分。これは何れの地方にも多く、食肉性なれども、亦時に食草性にして、蔬菜を食害することあり。
〔分布〕日本全土、歐洲(移入)。

カマドウマ(窟馬).....(三十四)



體は暗褐。マダラカマドウマに似れども、暗色紋なきを以て容易に區別し得べし。前胸背に黃褐の不正紋を具へ、中後の兩胸背には同色の横線あり。腹部にも黃褐紋を裝ふ。産卵管は略體と同長、赤褐、上向す。脚

は黃褐、前中兩脛節の末端は暗褐、基部は黄白。體長九分(産卵管の末端迄)。これは札幌地方に産すれど餘り多からず。燈火に集來し、小蟲を捕食し、又糖液に集る。
〔分布〕北海道、本州。

六 蝗蟲科 Acrididae

觸角は糸状若くは劍状にして、短。後脛節は膨大して跳躍に適す、第一腹節の基部に聽器を裝ふ。雄にては普通、後肢を前翅の兩側に摩擦して發音す。産卵管は短かく、尾狀の附屬物は環節をなさず。本邦學名を有するもの約百種あり。本邦産のものは何れも食草性なれども、南阿に産するものには食肉性のものあり。

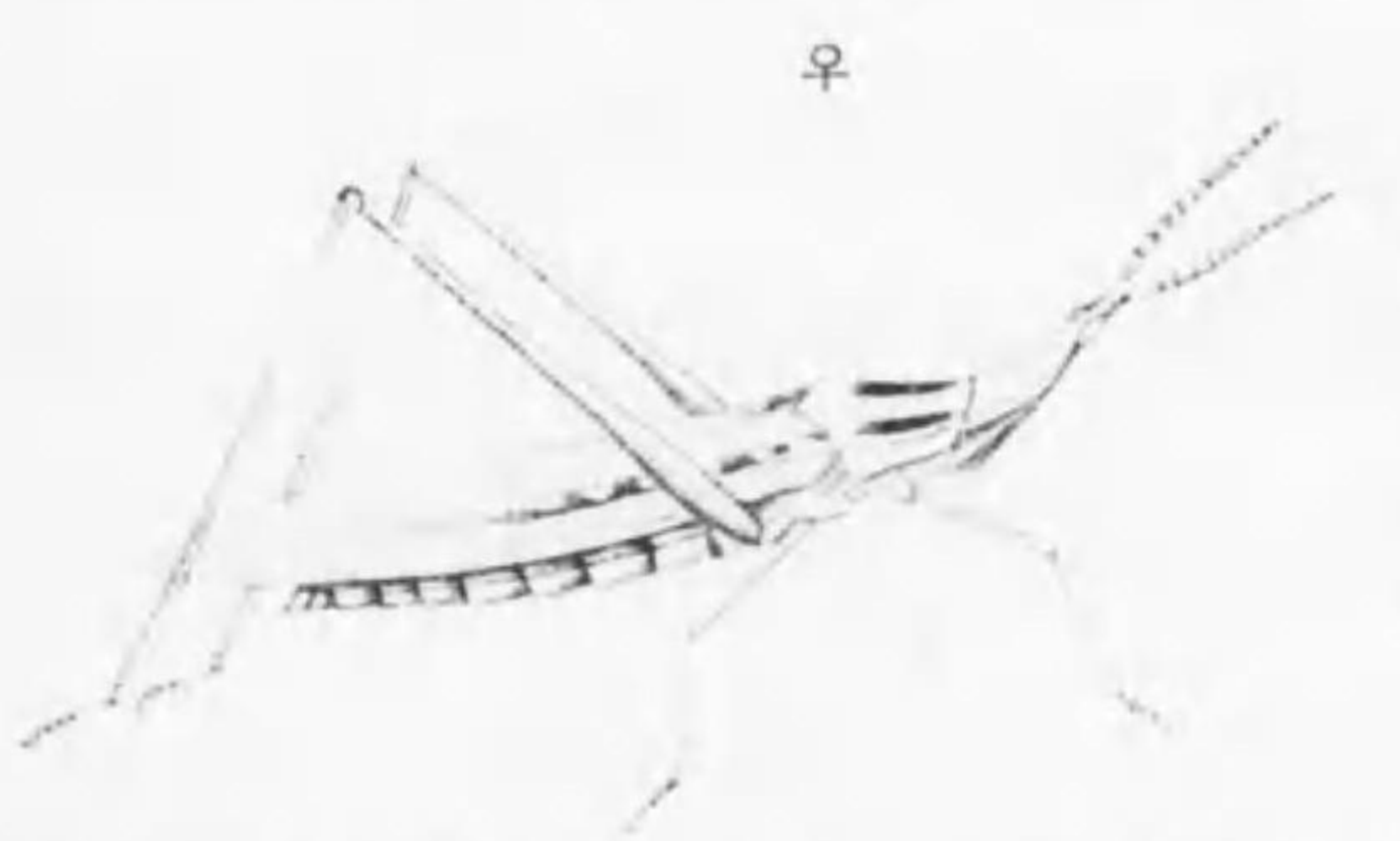


ヒメハツタ... (三五) *Aiolopus thalassius* F.

體は褐色。顔は赤褐色。上唇前の半ば及び下唇鬚は黄白。後頭に於ける二縱條及び前胸背の兩側は褐色。翅は灰黄、前縁の基部に近く緑色の一長紋を具す。中脈の上方及び翅端に黒褐紋を裝ふ。後脛節は桃色、同脛節は灰黄、末端は赤血色。

同跗節は黄白。體長一寸二寸二分(翅端迄)。これは沖縄及び臺灣に普通なり。
分布 九州、沖縄、臺灣、支那、印度。

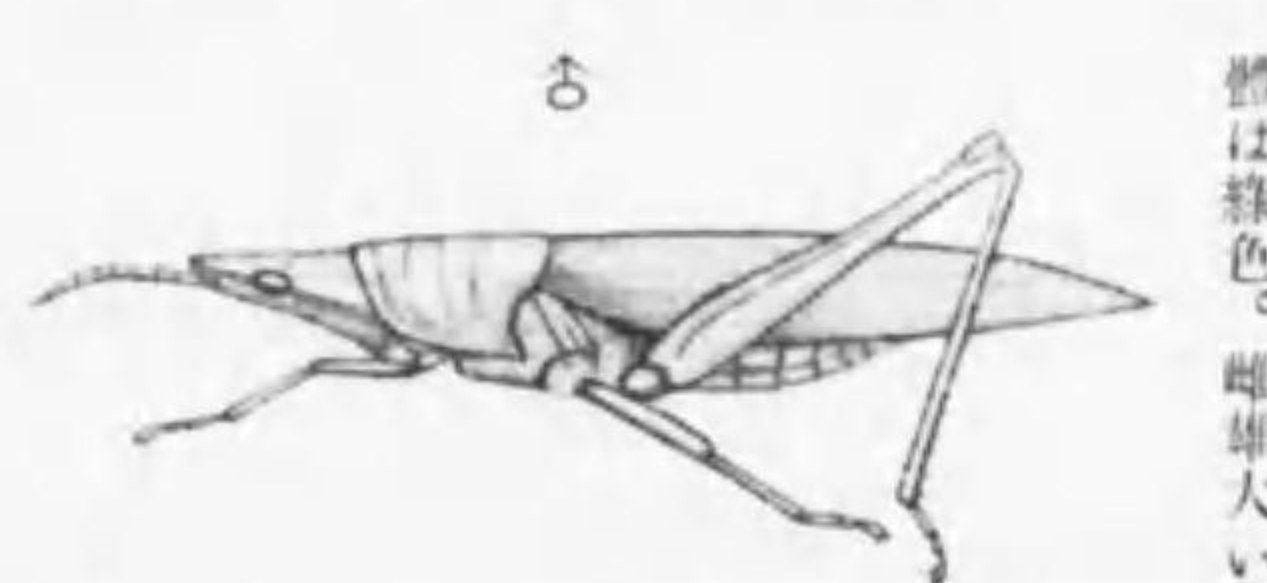
シヤウリヤウハツタ... (三六) *Acrida lata* Motsch.



體は緑色。若くは黄褐。斑紋を有するものと、有せざるものとあり。雌雄の大きさを異にし、雄は頗る小なり。觸角は劍状を呈す。雌にては前翅の中央に白色の一紋列

を縱走するものあり。頭は圓錐形に尖り、その兩側には桃色の縱條あり。飛翔の時はキチキチの音を發す。七月生靈の候に現はるるを以てこの名あり。體長(雄)一寸三分、(雌)二寸七分内外。東京地方に普通なり。北海道に産せず。
分布 本州、四國、九州、支那。

ランフハツタ... (三七) *Atracromorpha beckeri* Boliv.



體は緑色。雌雄大いに其大きさを異にし、雄は頗る小なり。頭は圓錐形。觸角は短かく、基部にて稜柱形を呈す。前翅は細く、遙に尾端より長く、翅端は尖る。その交尾する時は雄はその背上に乗るを以て恰も子を背負ふが如し、故にこの名あり。體長(雄)九分、(雌)一寸四分内外(翅端迄)。東京地方に普通なり。
分布 本州、四國、九州。

テウセンアカハネハツタ... (三八) *Myiolania intercedatana* F.



體暗褐。頭は短く、垂直。觸角は絲狀、頭胸を加へたるものと同長。前胸大、後方幅狭し、後縁は直角に後方に突出す。前翅幅廣く、尾端を越ゆ、灰褐乃至黄褐小紋を散在す。後翅の中央は暗色、基部は淡紅色を帯ぶ。腹背に暗色紋を散在す。脚短く、後脛節著しく太く、五黒帯を裝ひ、同脛節は黄色。體長一寸五分内外。これは朝鮮の北部に稀ならず。
分布 朝鮮、滿洲、西比利亞。

ヒゲナカイナゴモドキ... (三九)

Coneris nigricornis Latv.



體淡綠。頭短く、背面平滑、複眼大、卵形、雄にては側方に突出す。觸角は糸状、體長より遙に短く、黒褐、末端黄色。前胸背の後方は著しく太く、表面に小點刻を散在し、上縁に黒帯を裝ふ。前翅は細長、末端圓し、背面は綠色、側面は黒褐。後翅暗褐。腹部淡色、尾端は黄色。脚綠色、後脛節黄褐にして、外側黒褐、末端黒色、後脛節の基部黒色、黄色環あり。體長一寸三分内外。臺灣の山間地に普通なり。
分布 臺灣、支那。

ヒサグロナカイナゴ... (四〇) *Chlocethis senentarihus* Shir.

體は灰黄。觸角は赤褐。後頭の兩側は暗褐。前胸背の兩側に黄白の一縱條ありて、その下方は



暗褐。雄にては前翅は漸く尾端に達し、その末端は稍々截斷狀に終り、前縁の基部及び中脈は暗褐。尾節は圓錐形をなして上向す。體長五分一六分。これは樺太に普通なれども、北海道には少なし。

ナカイナゴ... (四一) *Chrysocraon japonicus* Boliv.

體は黄色、少しく綠色を帯ぶ。觸角は體半に達す。前翅は灰黄、腹端に達せず、その末端は截斷狀に終り、脈は粗なり。後翅を缺く。雌は黄褐、前翅は短く腹端に達せず、中央には一黒縱條あり。體長

六分五厘 八分五厘。これは札幌地方の牧草地に普通にして、夏日キチキチの音を聞かむ。
分布—北海道、本州。

タイワンオホハツタ

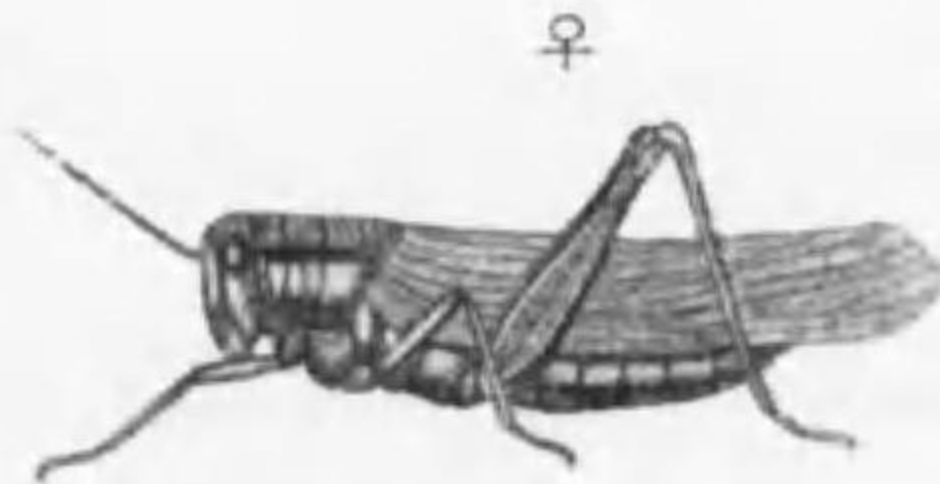
Chondracris rosea Leg.



雌
體は綠色。頭頂は短、前頭の突出部は中央にて凹陥す。觸角は黃色。頰に綠褐の一縱條を裝ふ。前胸は粗糲、黃色の顆粒を散在す。前翅は綠色。後翅帯紅、半透明。前胸片の下方に突出せる突起は少しく彎曲す。脛節及び跗節は赤色、棘齒は黃色、末端は黒色。體長二寸—二寸五分。これは臺灣にては甘蔗の害蟲なり。
分布—臺灣、支那、印度。

ハネナガフキハツタ

Eretholus longipennis Shir.



雌
體黃綠。頭の構造はフキハツタ屬に酷似す。觸角は頭胸の和よりも長く、基部を除き赤褐。前胸背に三横溝を具へ、第三溝以後は綠色、その前方は黒色、後縁は三角形。翅長く、遙かに尾端を越え、少しく黄褐を帯ぶ。脚は黄綠なれども、内面は黄色なり。體長一寸五分内外(翅端まで)。札幌附近に於てはフキハツタに混じり、藜の葉を食する普通種なり。
分布—樺太、北海道、本州。

クヒナカハツタ

Erianihus formosanus Shir.

雌
體は暗黄褐。觸角は淡色、略頭と同長。頭頂は圓錐形、縮刻多し。前胸背の兩側並びに中後の兩胸環は淡色。前翅暗色、細長、腹端を越え、

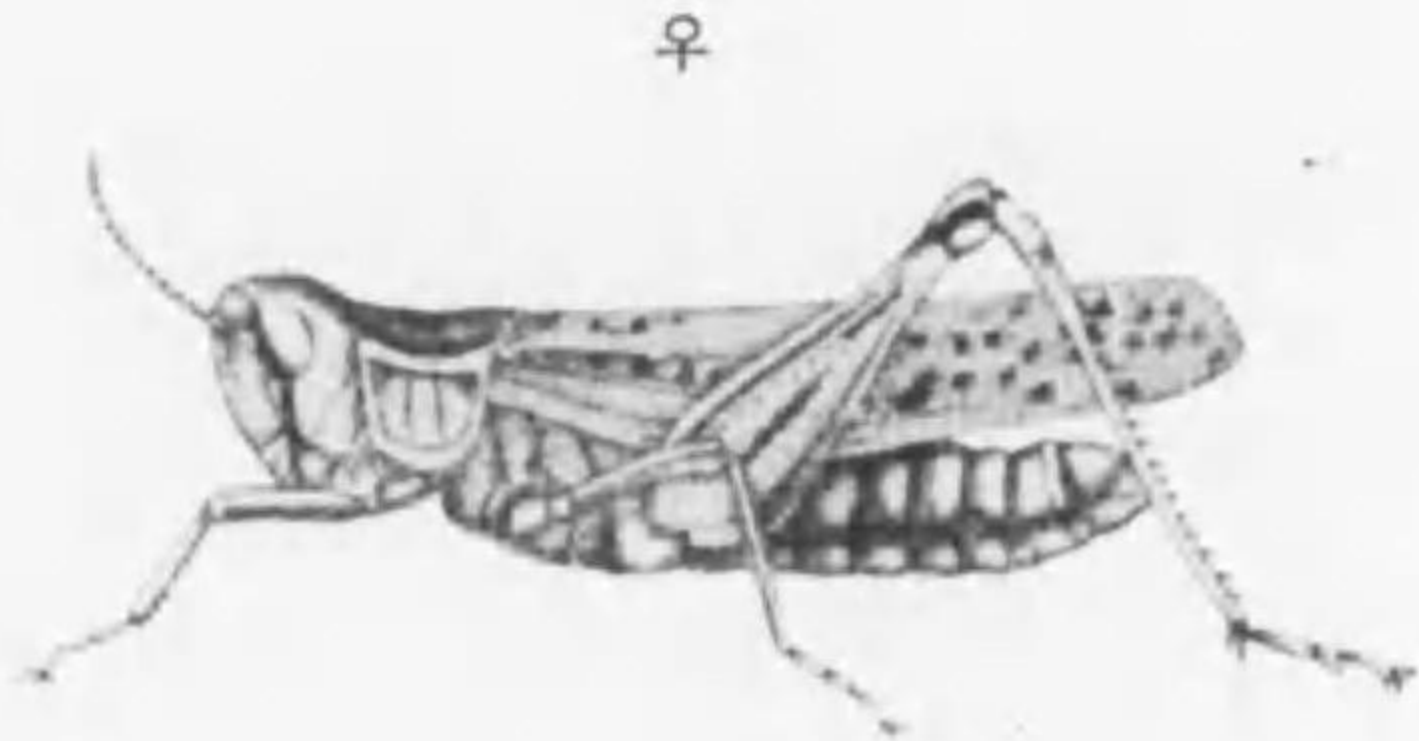


セグロハツタ

Papreocnemis shiraki Kobay.

雌
體は淡黄褐。複眼の下方に一黒紋を裝ふ。前胸背の兩側に彎曲せる一黒條ありて、この兩線の内方は少しく濃色。前翅は腹端を越え、黒褐紋多し。腹部に點刻々々、腹面は淡色。後腿節外側の中央に黒色の一縱條を具へ、内側及び同脛節の基部に二暗色紋を具へ、末端の大部並びに第一跗節は赤色。體長一寸—一寸三分。これは九州地方に稀ならず。
分布—本州、九州、歐洲。

本端に近く二黄白紋を裝ふ。腹部は末端にて棍棒状を呈し、截斷狀に終る。腿節の外側に黒褐の縱紋を具へ、同脛節には暗色紋を裝ふ。體長五分七分。これは臺灣埔里地方に産すれども稀なり。
分布—臺灣(埔里)。



クルマハツタ

Gastrancistrus transversus Thunb.

雌
體は綠色。觸角は黄色。複眼の直下、前胸の隆及びその兩側の縱條は黒色、尙、その兩側に黄白條あり。前翅は綠色、兩側(翅を疊む時)は黒褐、二三條の白線を縱走し、外縁には黒褐紋



キチキチハツタ

Gelastorhinus lividior D. H.

雌
體は綠色。雌にては背上黄褐、雄にては兩側に



オキナハイナゴモドキ

Kaesonla jannettrons

雌
これはハネナガイナゴに酷似すれども、形細長なるを以て容易に區別し得べし。體は綠色。頭小、頭頂は三角形をなして突出す。前胸背

は前半にて細まり、兩側に黒條を裝ふ。前翅は尾端より長く、前縁の基部に褐色部あり。後腿節の末端及び同腿節の基部は赤血色。體長七分九分。これは沖縄及び臺灣にては稻の害蟲なり。

分布 沖縄、臺灣、支那。

♀



ヒゲマダライナゴ
Hieroglyphus
annulicornis
Muls.

體は黄白、少しく綠色を帯ぶ。觸角は黒色、各節の末端は赤褐。前胸背に黒色の三横溝を裝ふ、中央に縦隆あれども餘り判然せず。前翅の網狀脈は判然す。肢は黄色、後腿節は淡綠、基部に近く一黒紋を裝ふ。體長

一寸三分、一寸六分。これは臺灣にありて甘蔗の葉を食ひ有害なり。

分布 臺灣。

ツマグロイナゴ
Meocostelus magister Kohn

體は灰黄。觸角淡黄褐。雌にては後頭の兩側より前胸背の兩側に

には産せず。



を縦走し、前胸背の兩側に一黒褐紋を裝ふ。前翅は腹端を越え、中脈は黒褐、前縁は淡黄褐。後腿節の外側に黒褐の一縦條あり。雄にては前翅の末端は暗色、前縁の基部は橙黄色。體長一寸二分一寸七分。これは本州及び九州に普通なれども北國

クルマハツタモドキ
Oedalus infernalis Sauss.

これはクルマハツタに酷似すれども、その異なる所は、體は小形、黒褐、雌にては前胸の縦隆は甚だ低く、その兩側に淡赤黄のく字形の縦線あり。

の赤血色なるにあり。體長(雄)一寸二分、(雌)一



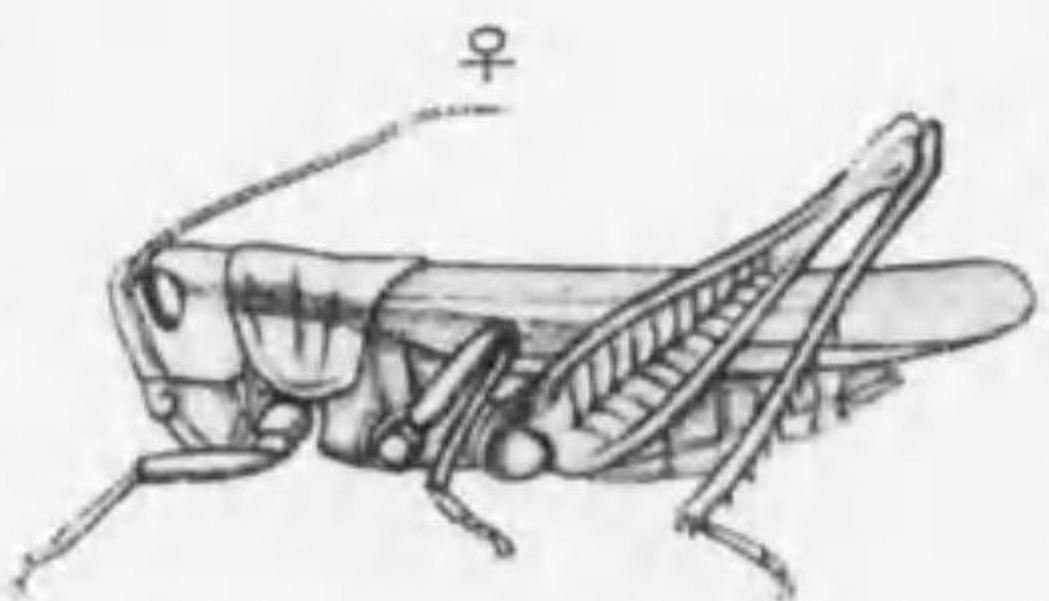
♀

寸六分内外。これは同じく草間に普通なり。

分布 本州、四國、九州。

ハネナカイナゴ
Oxya velox F.

(五三)



♀

體黄綠。前胸の兩側に褐色の一縦條あり。前翅の前縁は深く刻られ、前翅は腹部より遙に長し。體長一寸一寸六分。これは有名なる稻の害蟲にして、東洋に廣く分布す。幼蟲は綠色。卵子は地中に産下せられ、卵鞘内にある。これは北海道に産せず。

分布 本州、四國、九州、沖縄、臺灣、支那、印度、瓜哇。

コハネイナゴ
Oxya vicina Hb. v. Walt.

(五)

ハネナカイナゴに酷似すれども、體は少しく小形、前翅は尾端を越えず、前胸背の中央は縦れ



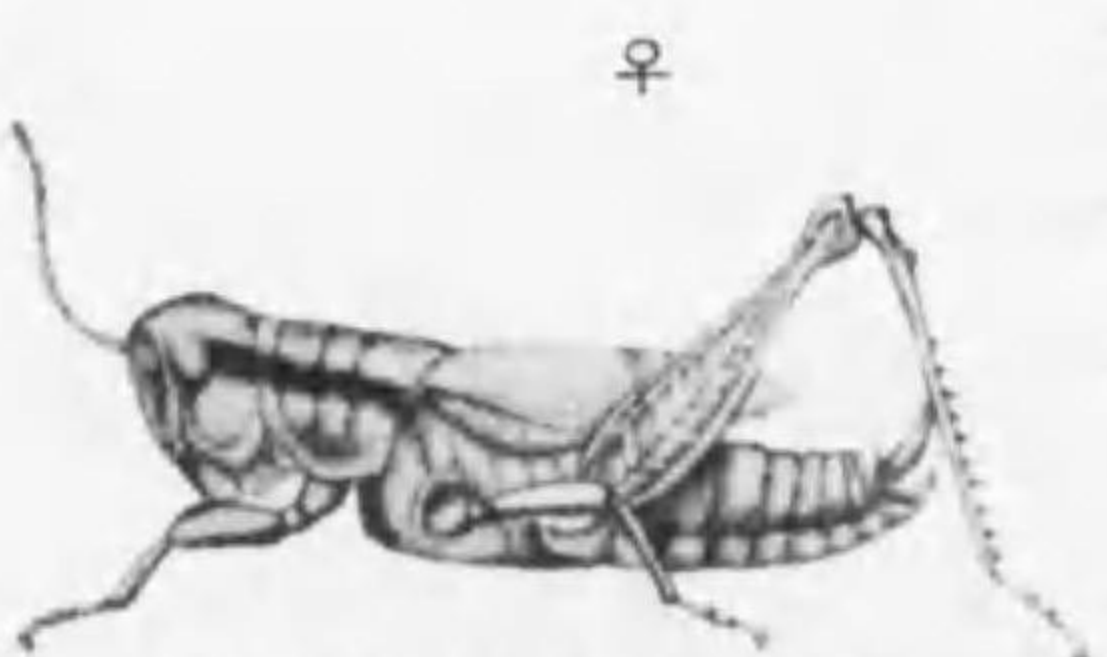
♀

エゾイナゴ
Oxya yezoensis Shir.

(五四)

ることなく、側片の上縁は廣く黒褐、後腿節の短太なることに依り容易に區別せらる。體長七分内外。北海道を除く何れの地方にも普通なり。同じく稻の害蟲なり。

分布 本州、四國、九州、沖縄、臺灣。



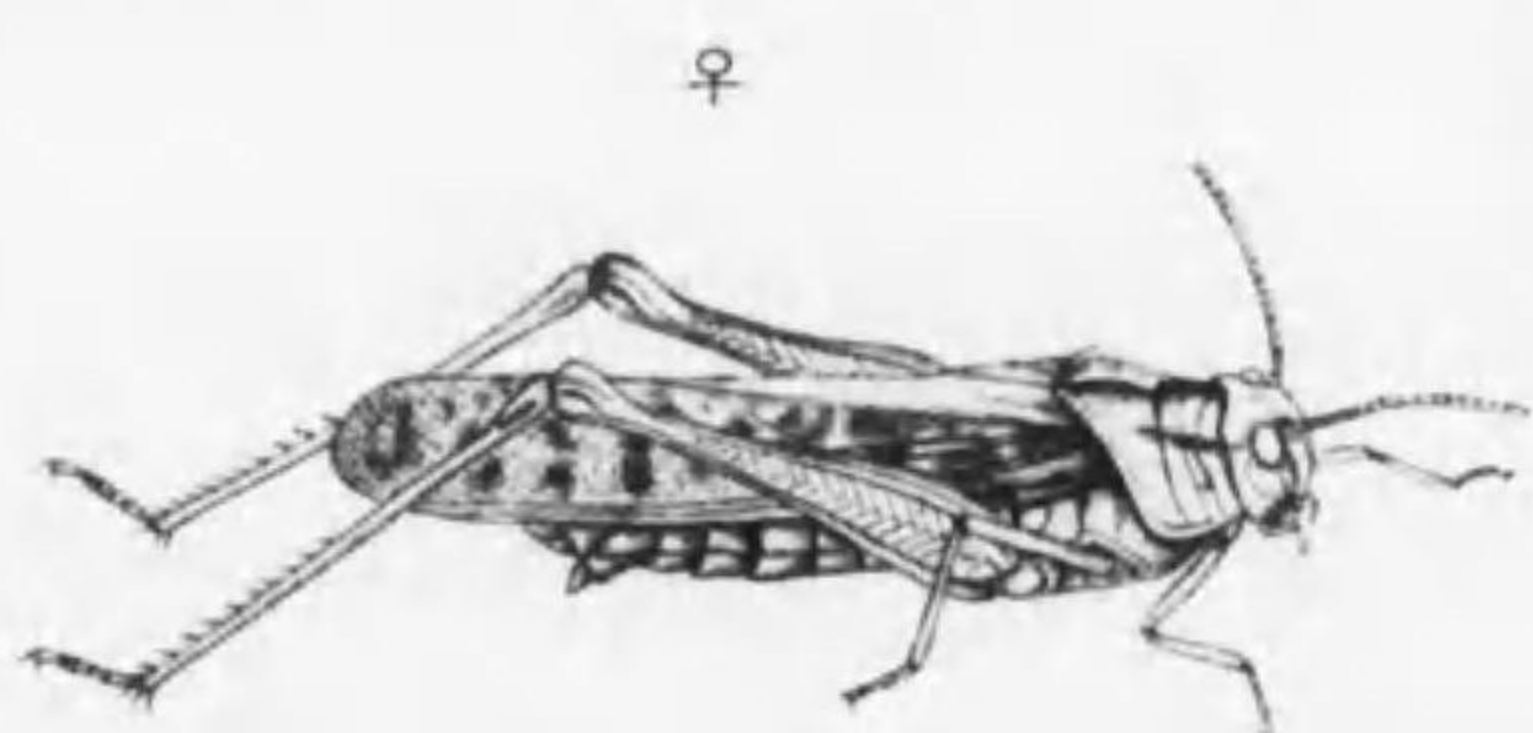
♀

體は綠黄。頭頂、前胸背及び前肢は黄褐。前胸背兩側は黒褐。前翅は短、腹端に達せず。脚黄綠、後腿節の末端、腿節及び跗節は淡黄褐。體長五分七分。これは札幌地方の稻田及び雑草間に稀ならず。

分布 北海道。

ダイメウハツタ(飛蝗)
Pachylytus (Laonista) danicus L.

(五五)



♀

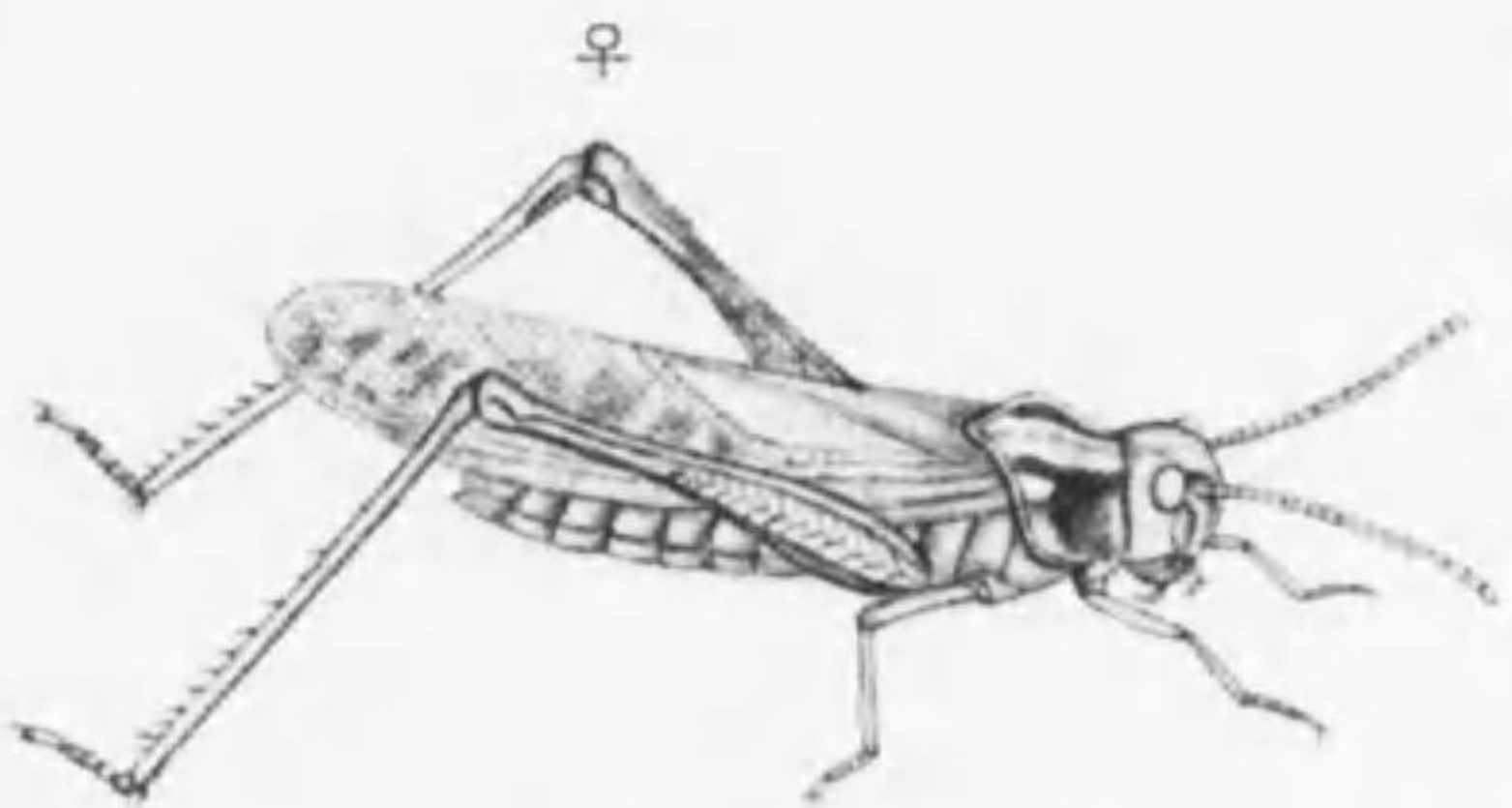
體は黄褐若くは綠色、多少天鵝絨様の光澤あり。前翅には黒褐の大紋を散在す。後腿節は生時赤血色。體長一寸六分二寸二分。これは有名なる飛蝗にして、時に大群をなして飛行す。幼蟲は初め白色、直ちに暗灰色を呈す。これは廣く東洋に分布す。

分布 北海道、本州、四國、九州、朝鮮、支那。附言 近來この種は歐洲に産する飛蝗 P. migratorius L. の變形なりとの説あれども、その確定

する迄は従來の學名を用ふ。

タイワンハツタ

Paedytylus (Locusta) migratoroides Reiche

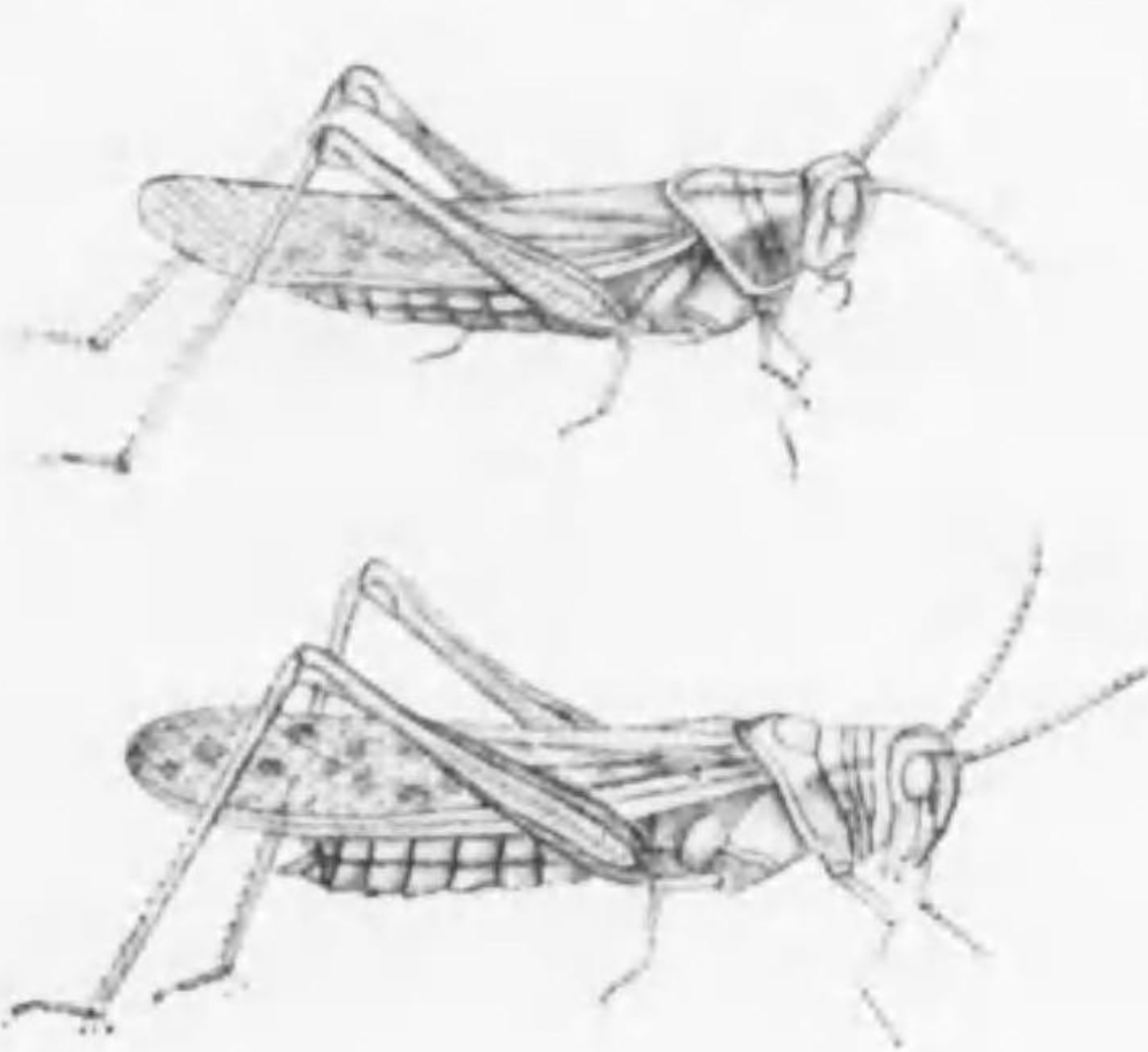


これは東洋に廣く分布する飛蝗にして、主として臺灣に發見せらる。普通のダイメウバツタと異なる所は、體黄褐にして、細く、前胸は細く溢れ、中央の隆起は低く、その兩側に一黒條を裝ふ。前翅長く、黒褐紋を裝ふ。後腿節及び脛節は黄色。體長(雄)一寸七分(雌)一寸二分内外(翅端迄)

臺灣、北島、南支那、馬來、印度。

ツチイナゴ

Pantana japonica Reiche



體は黄褐若くは赤褐。複眼下に於ける横條は黒色、その兩側は黄褐。前肢の基節に於ける突起

は端直にして、太し。前翅はセスチツチイナゴに酷似すれども、その斑紋は稍々少數なり。體長(雄)一寸四分、(雌)一寸八分内外。これは草間に普通なるも北海道には産せざるが如し。

本州、四國、九州。

イナゴモドキ

Paraphonus albicinctus Guér.



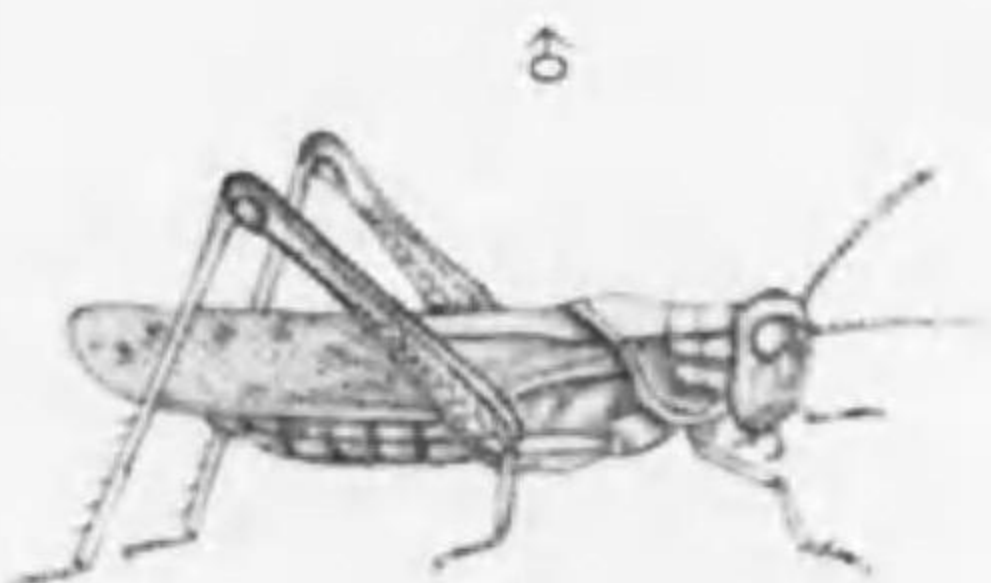
體は綠色若くは黄綠色。これはハネナガイナゴに酷似すれども、前翅の前縁は刻られず、觸角は稍々平たく、前胸は頭部より細く、少しく溢れ、中央に於ける縱隆起は判然す。前翅は灰色若くは暗褐、前縁は淡色。體長八分五厘一寸。雄は好く鳴啣す。札幌地方にては牧草間に普通なり。

北海道、本州。

セスチツチイナゴ

Pantana szechueta L.

體は褐色。頭頂より前胸の後縁に涉りて太き一黄條あり。複眼の直下に太き黒條を裝ひ、その



後方に黄白條を裝ふ。觸角は黄褐。前胸の背面は粗稜、兩側に黄白二縱條を具へ、其縱條の間は黒色。前翅は淡黄、基部は黄白、中央及び外縁に黒紋を散在す。後翅は暗褐、翅底は赤味を帯ぶ。體長(雄)一寸一分一寸三分、(雌)一寸九分。これは草間の路上に普通

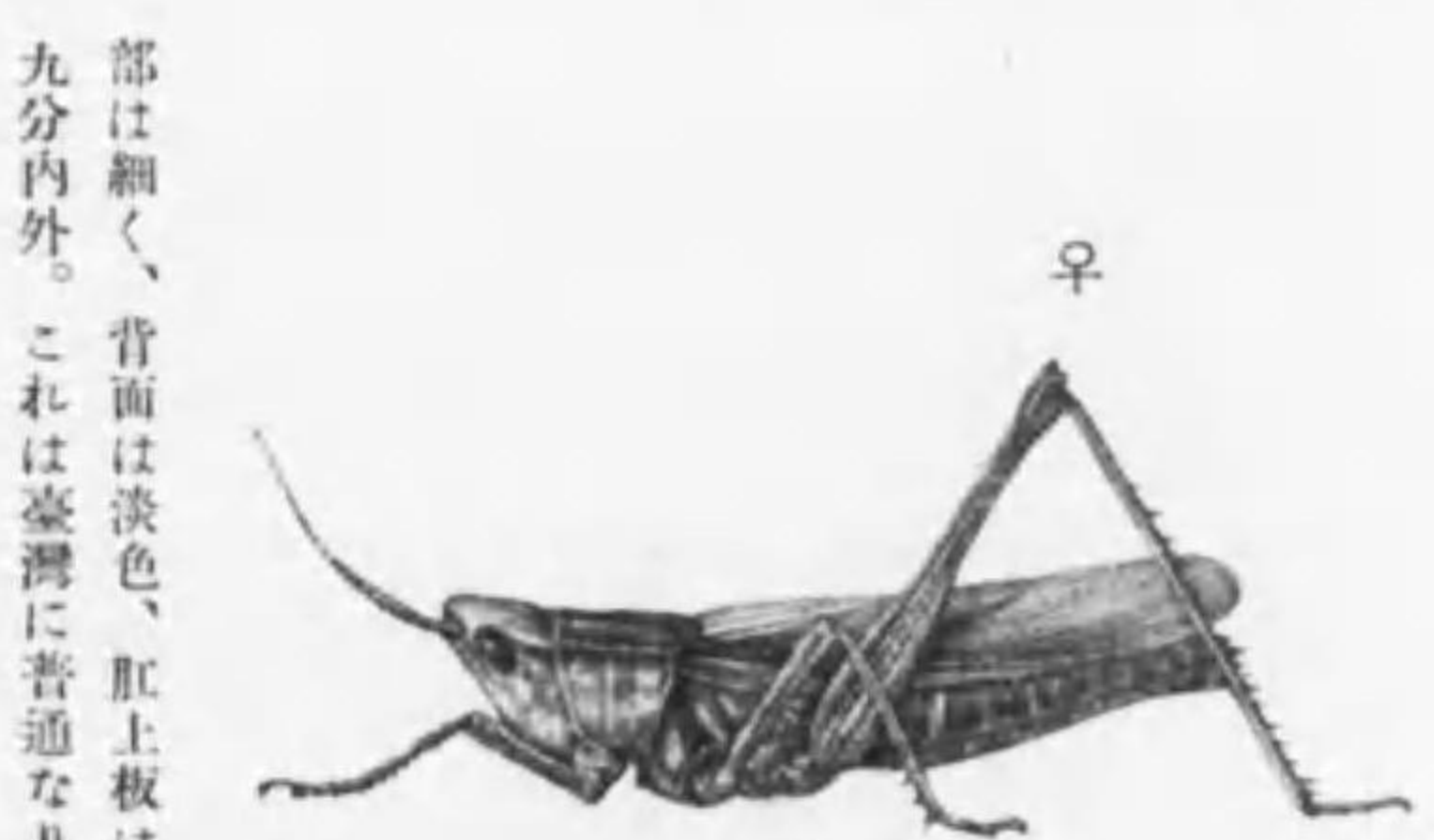
なり。

本州、四國、九州、朝鮮、支那、馬來、印度。

ススイロハツタ

Pithecolia infumata Br. v. Walt.

體淡褐乃至黒褐。頭頂は突出す。觸角は細き劍狀、頭及び前胸背を合したるものより少しく短し。前胸背の兩側は相平行し、中央には縱隆起を有するがため、多少屋斜狀を呈す。前翅は細長、尾端を越え、末端は斜に切斷せらる。後翅は幅狭く、二分の一の基部は淡黄條を呈す。腹



部は細く、背面は淡色、肛上板は三角形。體長九分内外。これは臺灣に普通なり。

臺灣、ビルマ。

タイワンフキハツタ

Podisma formosuanum Shir.

體は黄綠。觸角は黄色、末端暗色。額片の兩側に小黒紋あり。複眼の後方、前胸背の兩側、中央の一縱條、腹側の太き縱條及び後腿節の末端



は黒色、前胸背の前半に縮刻及び點刻多し。翅は退化し、前翅は黄褐、第二腹節に達す。腿節の上面は赤褐、後腿節の基節に暗色部あり。體長八分一寸一分。これは臺灣に稀ならず。

臺灣。

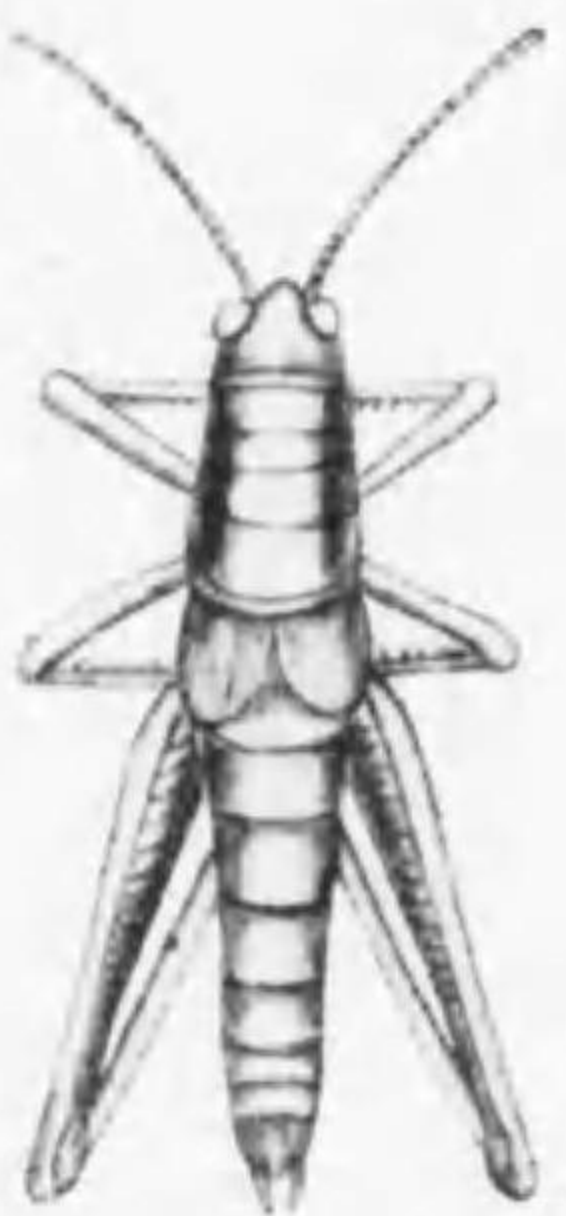
ミヤマフキハツタ

Podisma

miyano Bohiv.

體は暗綠。觸角は黄褐。頭頂に八字形の暗色紋あり。前胸は圓柱形、兩側に一黒條を縱走し、その下方は黄綠、後縁は圓し。前翅は退化し、稍々卵形、雌にては第一腹節、雄にては第二腹節に達するに過ぎず。後腿節は下方にて紅色を呈す。雄にては後腿節淡藍色。體長七分一寸一分。これはフキハツタと同様に有害な

♀



れども、主として山間に多し。

分布 北海道、本州。

カラフトフキハツタ *Psaltis sachalinense* Mats. (六三)

Psaltis sachalinense Mats.

體汚黄色。觸角は頭胸の和よりも長く、末端は淡褐。前胸背は暗褐乃至褐色、二横溝は明にして、後縁の中央少しく内方に彎曲す、側片の上



♂

縁はミヤマフキハツタの如く黒色ならず。前翅は短く且つ狭し。腹節は長大、淡黄色、少しく上

方に曲る。雄の末端節は著しく大にして、上方に曲る。脚は黄褐、後腿節の外側は暗褐。體長八分内外。これは樺太に稀ならず。

分布 樺太。

フキハツタ *Psaltis japonense* Shir. (六四)

Psaltis japonense Shir.

體は緑色。前胸の兩側に大黒帯を縱走し、中央の縱溝は雄にては黒色。

前翅は長楕圓形、其末端細く暗色。後腿節は藍色。體長九分—一寸三分(翅端迄)。この幼蟲は初め黒色、脚に黄紋を散在するを以て、俗にアシマダラハツタと云ふ。主としてフキの葉を食すれども、種々森林植物の葉をも食害す。

分布 北海道、歐洲。

アラアシハツタ *Pteronarcista zanteri* Karny (六五)

Pteronarcista zanteri Karny

體短太、褐色乃至黒褐。頭短く、頭頂の突起部短大。觸角は絲狀、頭と前胸背を合したるもの上

り長し。前胸背は短く、中央少しく縮び、肩部廣し、後縁は三角形に突出す。前翅は尾端を越え、末端圓く、表面に褐色紋若くは黒色紋を三群に分れて散在す。後翅基部の二分の一は淡紅色。雄の生殖板は烏帽子形を呈す。脚短、後腿節は太く、基部は黄色。



♂

褐色の三帯を具へ、同型節は藍色。基部は黄色。體長二寸内外。臺灣に普通なる一種なり。

分布 臺灣。

カハラハツタ *Sphingonotus japonicus* Sauts. (六六)

Sphingonotus japonicus Sauts.

體は灰色若しくは暗色、前頭及び額は黄褐。觸角は細く黒色。前胸は細く縮る。前翅に暗色の二帯を具へ、その中間は灰白色、翅底は少しく藍色を帯ぶ。後翅底の大半は淡き藍色、その外側に大黒帯ありて、翅を開く時は車輪狀を呈す。後腿節は黄色、一黒紋を具へ、後腿節は黄

節は淡藍色を帯ぶ。體長一寸内外。これは稀なり。

分布 臺灣、印度、支那。

コバネハツタ *Trenthia ornata* Shir. (六九)

Trenthia ornata Shir.

體は黄褐。觸角は灰黄、末端の半部は暗色、但し尖端は黄色、下面は黒色。兩腿は黄色、頭頂に黒褐の二縱條あり。前胸背の前縁及び後縁に四角形の黒紋を裝ひ、兩側に黒褐の部分ありて、その下方は黄色。翅は退化して、漸く第三腹節の末端に達し、前縁は暗褐、中央に一黒縱條あり。腹部には褐紋を散在し、兩側には黒褐條を縱走

♀



白、藍色部あり。體長一寸三分。一寸五分。これは河畔の砂原に普通なり。

分布 北海道、本州、四國、九州。

ヒナハツタ *Sphingonotus* (六七)

Sphingonotus

luteolus Charp.



♂

體色は種々なれども、暗黄なるもの最も普通なり。前胸は頭部より細く、兩側に黄白のく字形紋及び黒縱條あり。前翅は細長く、前縁は端直、中央に近く一白紋を裝ふ。後翅は透明、末端少しく暗色を帯ぶ。後腿節は前翅より少しく短、黒紋を裝ふ。體長五分五厘—七分。これは草間に普通なる種類にして、チヂチと鳴響す。

タイワンオンパハツタ *Tagasta indica* Baliv. (六八)

Tagasta indica Baliv.

體綠色、時に黄緑なるものあり。頭圓錐形。觸角は絲狀、頭及び前胸背の和より少しく長し。前胸背は背面圓く、後方に至るに従ひ幅廣し、前翅は尾端に達し、末端細く、基部に一黒褐點



♀

を具ふ。後翅は透明なれども、末端以外は黄紅を帯ぶ。腹部の末端著しく細し。脚細長、後腿

す。脚は黄褐、後腿節は黒色、黄紋を具へ、後腿節の末端は赤血色。體長一寸二分—一寸四分。これは臺灣に稀ならず。

分布—臺灣。

イホハツタ

Triphoblata annulata Thunb.

(七〇)



體は灰色若しく暗色。觸角に黒輪あり。前胸は細く溢れ、疣状の突起を散在し、後縁は稍々直角をなし、兩側に黒紋を列ぬ。前翅は細く、尾端より長く、翅底に黒褐紋を散在す。後腿節は尾端より長く、その上方に二黒紋を具へ、中央にあるものは三角形を呈す。體長七分五厘—一寸内外。これは農園の道路に多き普通種なるも、北國には産せざるが如し。

分布—本州、四國、九州、朝鮮、臺灣、支那、印度。

七 蝻科 (Tettigoniidae) *Locustidae*

觸角は鞭状にして、長し。前腿節に聴器を具へ、右前翅に透明なる發音鏡ありて發音す。跗節は四節より成る。尾狀の附屬物は短かく、環節をなさず。産卵管は劍狀にして、長し。多くは食肉性にして、時に食草性なるものあり。本邦學名を有するもの約七十種あり。

ヒメツユムシ

Anyta albicornis Motsch.

(七一)

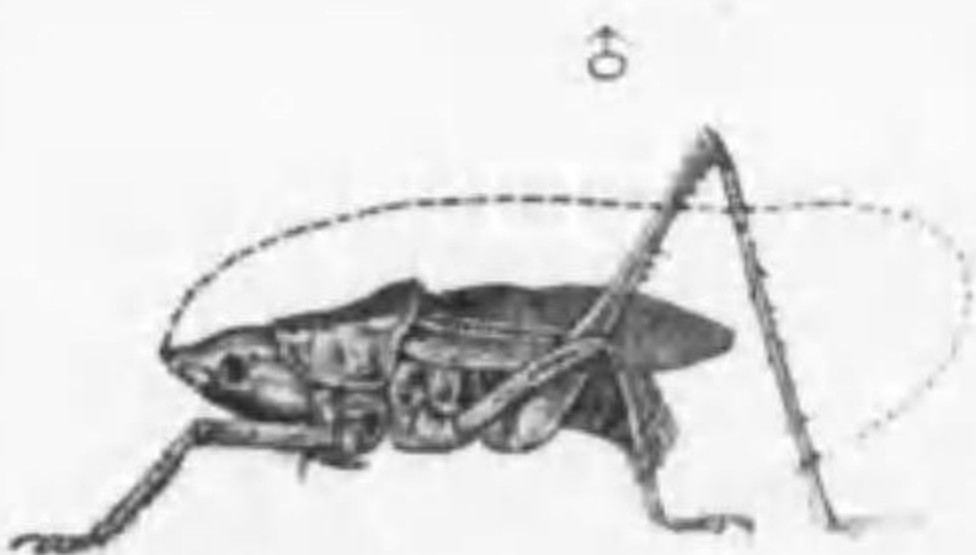
體は黄緑、觸角は長く、尾端を越へ、基部は黄色、末端に至り黄白となる。前胸背は延長して前翅の基部を蔽ふ。前翅は細く、腹部の約二倍長、翅脈は網状を呈し、判然せり。後翅は前翅より少し長く、末端の脈は綠色。産卵管は割合に長く、腹部と稍々同長、劍狀をなして少しく上向す。體長五分。産卵管二分。これは箱根地方に産するも稀なり。

分布—本州。

コウトウフトササキリ

Burza jayvula Wk.

(七二)



體黄褐、黒褐紋を散在す。顔面は著しく傾斜し、黒褐、頭頂突起は觸角基部より長し。觸角は太く、體の約二倍長。前胸背は廣く、前後兩縁は直線をなし、背面は圓し。前翅は尾端に達し、表面に黒褐紋を散在す。後翅は短く、前翅の半ばに達せず。腹部は胸部と稍々同長。脚に黒褐紋を密布す。體長六分内外。これは臺灣には稀なり。

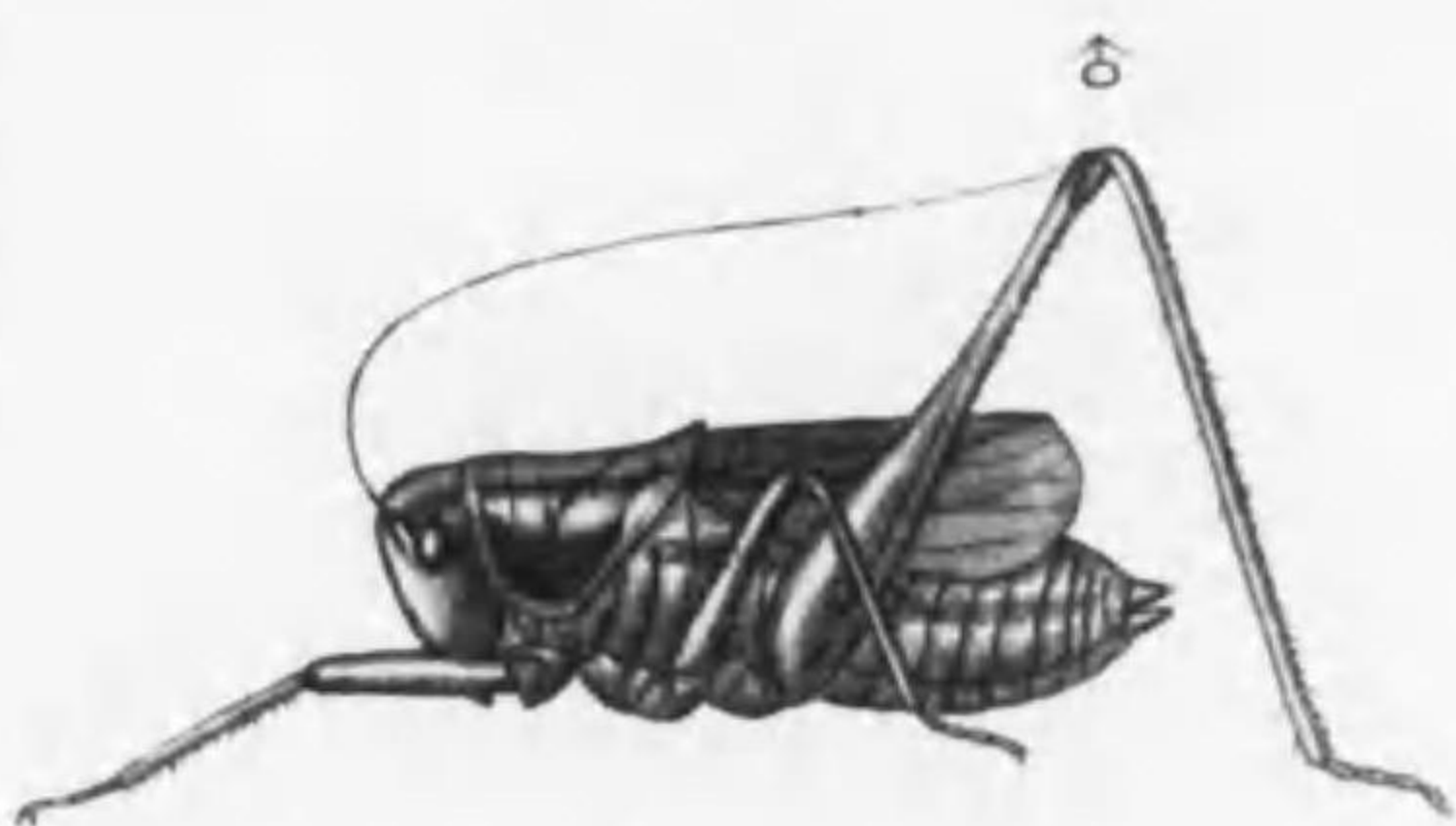
分布—臺灣(紅頭嶼)、小笠原島、布哇。

コハネオホギス

Callimenes oros Fall.

(七三)

體大形にして、太く、黄褐。前胸背は雄にては大、後方に延長し、側片は大部分黒色、側片の後縁は直線、雌にては前胸背面は褐色、側片の後縁は上方に於て曲折す。觸角は體長より長



し。雄の翅は短く、幅廣く、尾端は著しく現はれ、角片は短太。雌にては翅は體と同長、腹部大、側片の上方に一黒縦條を裝ひ、産卵管は腹部と同長。脚は太くして長し、體長一寸二分内外。これは滿洲に普通なり。キリギリ

と大聲に鳴く。分布—滿洲。

トゲササキリモドキ

Deoilya kokosjuensis Shir.

(七四)

體小、圓筒形、綠色。頭短く、背面圓く、頭頂突起は圓錐形。複眼大。觸角太く、體長の二倍

第一三 直翅目

以上あり。前胸背は軍配扇形、前方三分の一のところに彎曲せる一横溝を有す。前翅は甚だ短



く、雄にては前胸と等しく、雌にては更に短かし。發音器は大。後翅は退化す。腹部は圓筒形、頭胸の和と同じ。脚は著しく長く、多數の刺を有す。體長五分内外。臺灣紅頭嶼に於て四月より九月頃まで成蟲を捕獲し得べし。比較的稀れならず。

分布—臺灣(紅頭嶼)。

カラフトギス

Dactylus verrucivorus La.

(七五)

體黄褐。頭褐色乃至黄褐。前胸背は暗褐、中央の直前にて隆れ、中央に一縱隆起を具へ、兩側は一縱隆起の如し。翅は長く、腹部の約二倍長、

♀



黒褐紋を散在す。觸角は細く、體より少しく長し。脚は暗褐。産卵管は太く、體と同長。體長(翅端まで)一寸五分内外。産卵管八分内外。これは樺太北部には普通なり。

セスチツユムシ

Duoelia japonica Thunb.

(七六)

體は綠色、稀に黄褐なるものあり。雄は前胸背の中央に黄褐の一條を縱走し、其兩側は多少隆起す。觸角は黄緑。前翅は腹部の約二倍長ありて、翅を疊む時はその背に黄褐紋を現はす。後翅は前翅よりも長く、前翅下に隠れある部分は白色にして、半透明、脈は綠色。産卵管は短

一三五三



かく、上方に彎曲す。體長一寸一分内外(翅端迄)。産卵管二分。俗にこれをチヤキウムシと云ふ。夜間室内に飛び來り、馬追蟲と同様にシイチョと鳴啣す。
分布 本州、四國、九州。

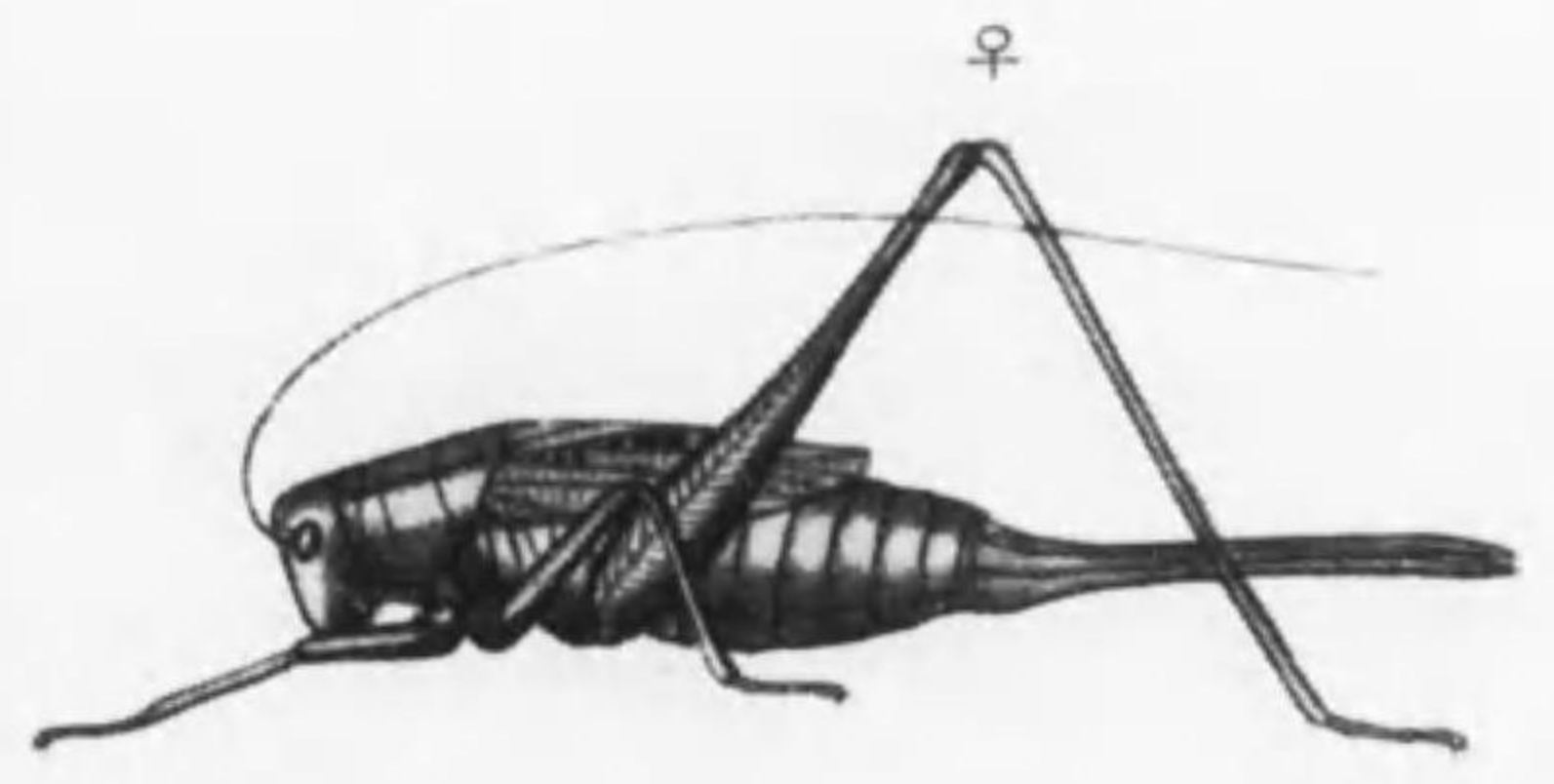
クビキリギス(クビキリバッタ)……………(七七)
Enonocephalus varius Wk.



體は綠色、稀に黃褐。頭は圓錐形。觸角の中間は額面にて深く凹陥す。觸角は遙に體より長し。前翅は腹部の二倍長。産卵管は翅端より短かし。體長一寸一分内外。麥圃其他、牧草地に普通なり。ジの音を發す。他蟲を捕食すれども、時に麥穂を食するもの如し。成蟲にて越年す。卵はマサキの如き軟枝に産下せらる。
分布 本州、四國、九州。

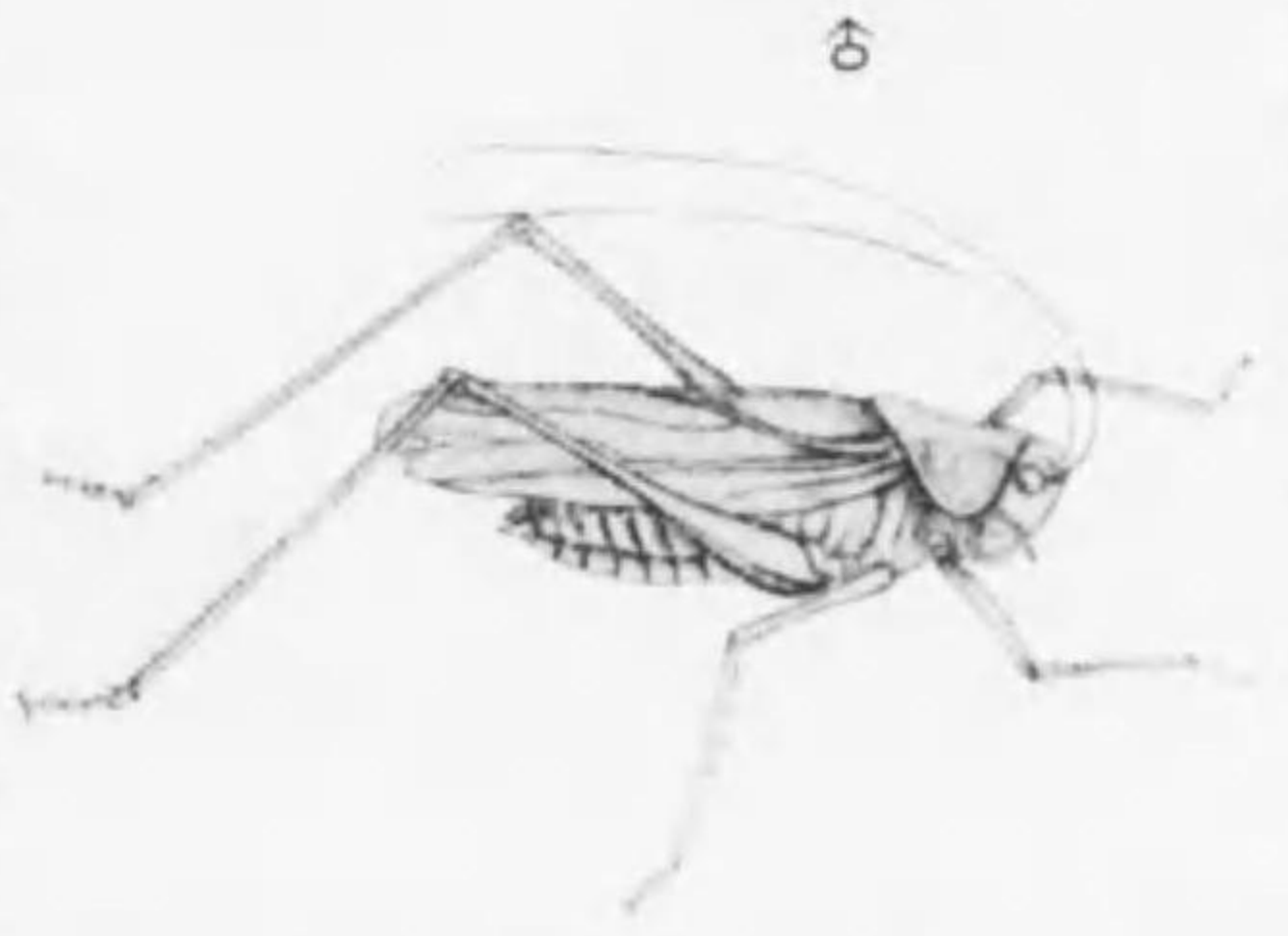
キリギリス(蠡斯)……………(七八)
Gampsocleis burgeri D. H.

これはハネナガギスに酷似すれども、その異なる所は、前翅は短かくして腹端に達せず、中央には黒褐點の一二列を裝ふ。色には褐色なるもの多く、俗にこれをアブラギスと云ふ。體長一寸



一寸二分。これは主として中國地方に多し。
分布 本州、四國、九州。

ハネナガギス……………(七九)
Gampsocleis ussuriensis Adel.



前肢脛節の上方に三刺、内方に六刺あり。前翅は長く、縦脈は黒褐なり。これは本邦最も普通なる種類にして、ギイチョと鳴啣す。體長一寸二分一寸五分。産卵管八分内外。
食肉性なれども、時に食草性のことあり。
分布 樺太、北海道、本州、四國、九州、ウスリ。

クロアシウマオヒ(ムシ)……………(八〇)
Hexacentrus fusipes Mats. et Shir.

體は淡褐。觸角長く、黒褐の斑紋を裝ふ。前胸背は廣く、縦條は暗褐。前翅は長く、翅端にて



稍々圓形をなして終る。各脛節の末端、前中脛節及び跗節は暗色。産卵管は暗褐、光澤あり。體長一寸五分(翅端迄)。これは臺灣北埔地方にて故渡邊龜作氏の採集せるものなるが、珍種なり。
分布 臺灣(北埔)。
ウマオヒ(馬追蟲)……………(八一)
Hexacentrus japonicus Karny

體は綠色。頭頂は黃褐。前胸背に廣き黃褐條ありて、これは後縁にて廣まり、雄にてはその兩側の黃色を呈するものあり。觸角は黃色。單眼白色。前脛節の兩側に各六刺あり。前翅は尾端より長く、脈は微細、翅を疊む時は背上に黃褐紋を現はし、雌にては少しく褐色を帯ぶ。體長一寸内外(翅端迄)。この種類は時々室内に飛來してシイチョと鳴啣するを以てこの名あり。

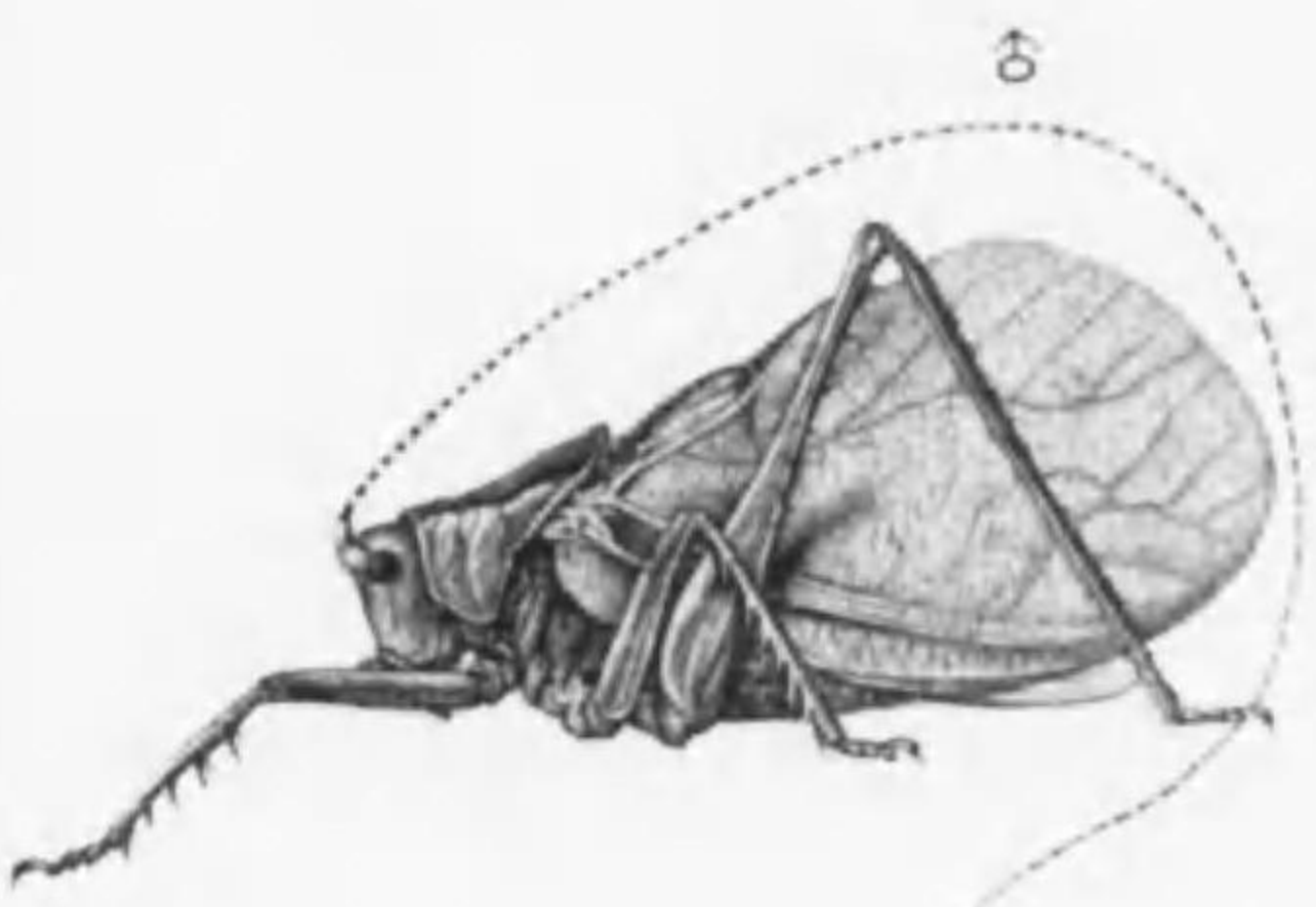
體は綠色。頭短く、褐色を帯ぶ。頭頂の突起は細く、側扁、觸角細長、黒色輪環を有す。前胸背は後方に延長し、中央にて細まり、表面は赤褐、



分布 本州、四國、九州、支那、印度。

ヒロハネウマオヒ……………(八二)
Hexacentrus nuda Wk.

體は赤褐。頭短く、褐色を帯ぶ。頭頂の突起は細く、側扁、觸角細長、黒色輪環を有す。前胸背は後方に延長し、中央にて細まり、表面は赤褐、



黒褐線にて縁取らる。前翅は雄にては大、三角形を呈し、發音鏡は楕圓形、雌にては前翅短く、幅狭し。後翅は前翅端に達せず、基部は淡色。

腹部小、産卵管は劍狀、腹部より長し。脚には長刺多し。體長一寸二分内外。埔里にて發見せられたるも稀なり。
分布—臺灣、支那、印度、モロッコ。
クダマキタマシ……………(八三)
Holochlora japonica Br. v. Watt.



體は綠色。觸角及び前胸背の一縱條は黄色。頭頂に黄色の一縱條あれども餘り判然せず。前胸

九州。

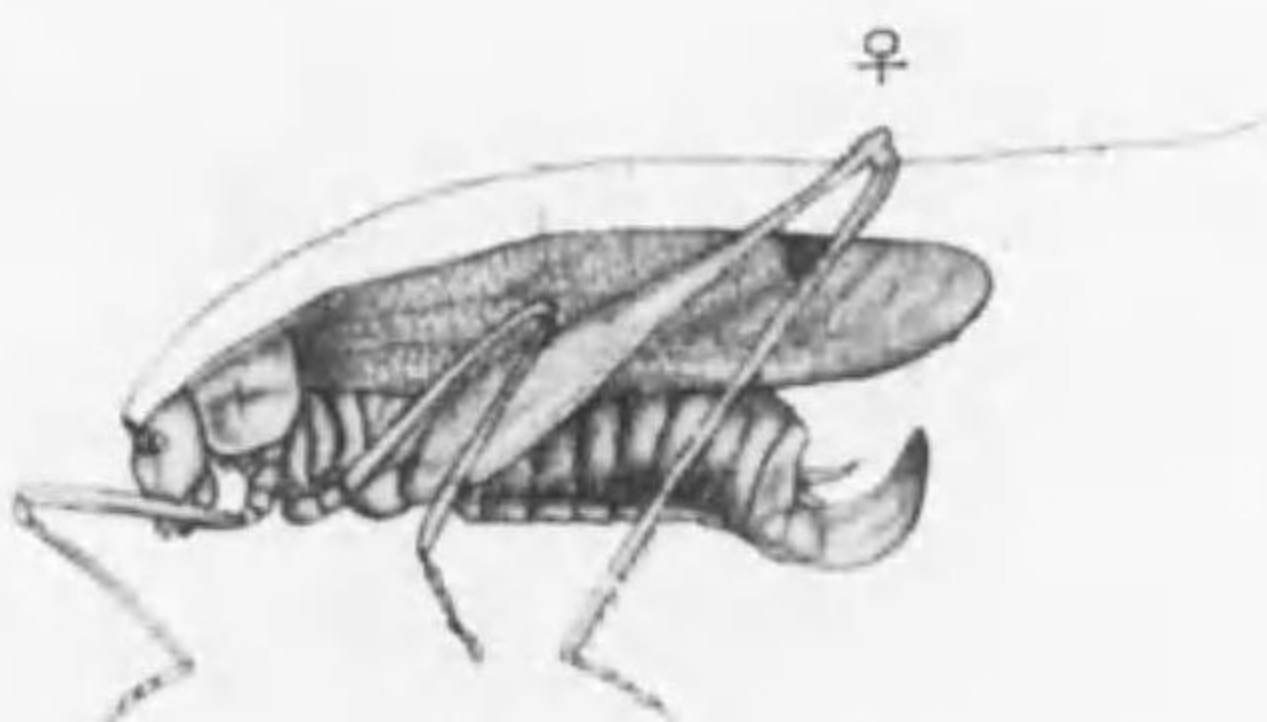
エゾツユムシ……………(八六)
Kuwayamaea sapporensis Mats. et Shir.

翅は腹部より稍々二倍長、中央最も廣く、前縁脈は黄色。後翅は前翅より少しく長し。腿節下



に小刺列あり。産卵管は廣く、短かく、上方に彎曲し、その末端は黑色。體長二寸内外。これは東京地方に産すれども多からず。

分布—本州、四國、九州。
クサキリ……………(八四)
Homoecoryphus lineatus Wk.
體淡綠又は黄褐乃至暗褐。頭は前頭にて圓く、額面にて傾斜し、頭頂の突起は長さより幅廣し。觸角細長。前胸背の後縁はS字形に曲る。前腹は長、後腿節端を越え、表面に黒褐乃至黒

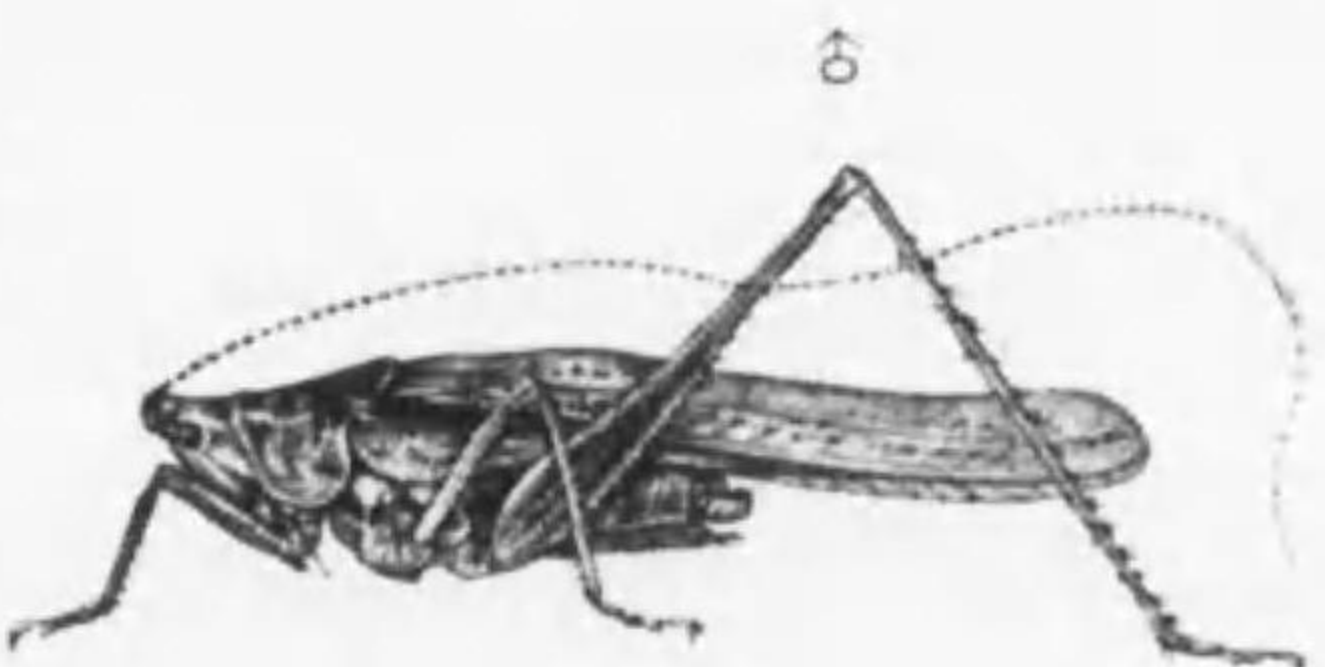


背に暗褐の小點を散在す。翅は體より長く、前縁にある網狀脈は判然するものは判然せず。雌にては産卵管短かく、稍々弦月形を呈し、末端は赤褐。雄にては發音鏡及び前翅の後縁は黄褐。體長一寸八分(翅端迄)。これは札幌地方に産すれども多

からず。
分布—北海道。

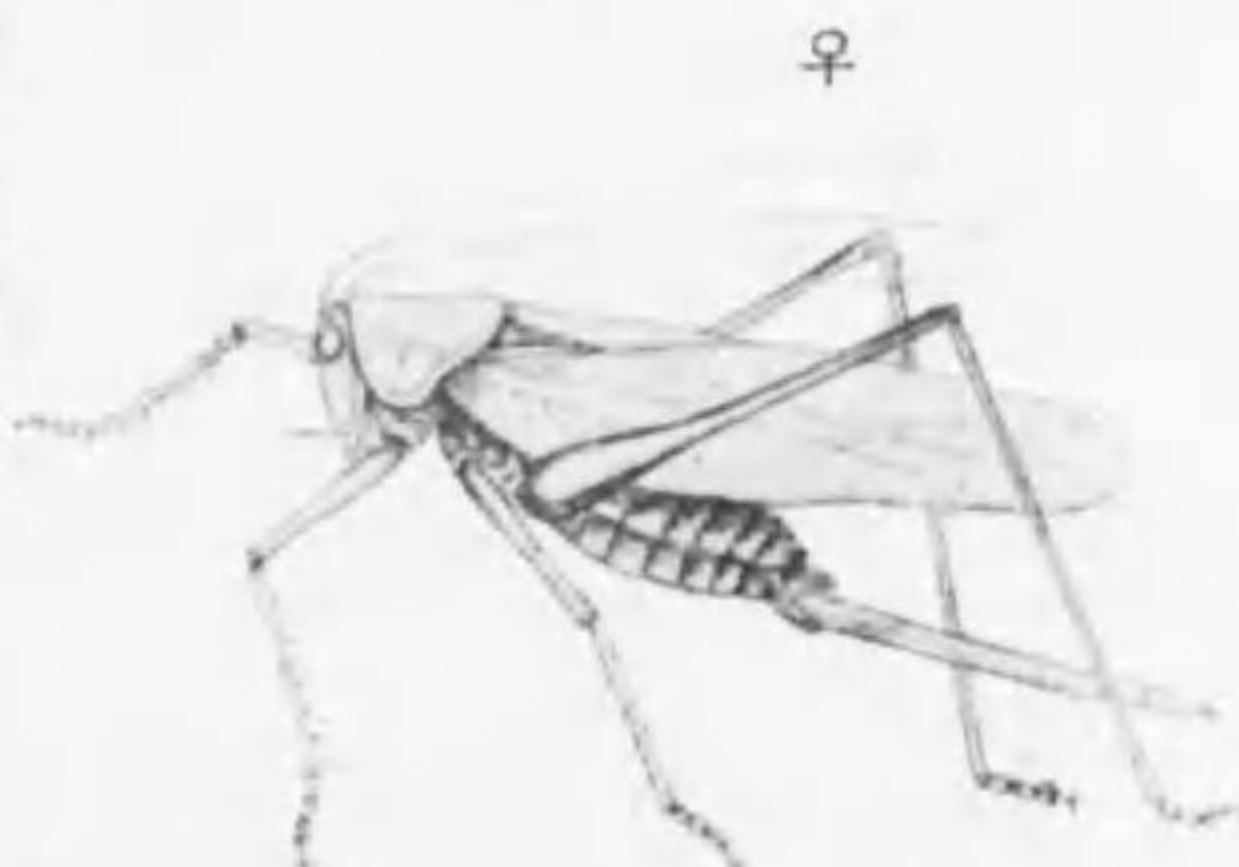
ヤブキリ……………(八七)
Laeneta (Tettigonia) orientalis Uvar.

體は綠色。前胸の中央には後縁に達せざる太き淡褐の縱條ありて、その後方は黄色。觸角は翅端より遙に長し。前腿節の刺は長く、前腿節の内側に黑色の四小齒あり。前翅は尾端より遙に



色の小紋を散布し、綠色のものには時にこれを缺く。後翅は前翅と同長。腹部は頭胸の和と同長。脚細長。體長一寸五分内外。これは本邦普通なる種類なり。

分布—日本全土、臺灣、支那、ビルマ、印度、セイロン。
ハキツユムシ……………(八五)
Isotenna japonientu Shir.
體黄綠。顔面淡黄。頭及び前胸背は褐色。觸角細長、體の約三倍長あり。黒褐、四五箇の淡黄部あり。前翅濃綠、背面の基部及び接合線は褐色。後翅は前翅端を越えて延長す。脚細長、黄褐、後腿節の基部は少しく膨大し、前腿節基部に於ける總器は長楕圓形。體長一寸内外。これは九州葉木及び英彦山に産するも少なし。



長く、翅脈はキリギリスよりも細かく、翅を疊む時は背上に褐色紋を現はす。體長一寸五分内外(翅端迄)。産卵管一寸内外。これは東京地方の草間に普通なり。

四國、九州。

クツワムシ(駱駝兒)……………(八八)
Meocoptoda elongata L.

體には綠色と黄褐なるものとあり、綠色なるものにては頭頂の前端、前胸背の兩側及び疊みたる前翅の背には黄褐を呈す。觸角は長く、黄褐、黒點を散在するものあり。翅脈は樹葉に似、その小枝の走れる方向は不定なり。體長一寸六分内外。これは藪にありてガチャ／＼の音

ニツボネンシス形 ♂
f. nipponensis D. H.



を發するを以てこの名あり。東京地方に普通なる種類にして、又坊間に販賣す。

分布—本州、四國、九州、臺灣、支那、馬來、印度、瓜哇。

コバネギス(コバネキリギリス)……………(八九)
Metrioptera honneti Holiv.

體は赤褐。頭頂の兩側は黒色。前胸背後方の兩側にも黒紋ありて、その後方は白色。觸角は體長の二倍以上あり。顔には黄白の小紋を散在す。



前翅は退化して短かく、雌にては第二腹節に、雄にては第三腹節の後縁に達す。腹部の兩側は黒色。後腿節の外側に黒條を縱走す。體長六分内外。産卵管三分八厘。これは草間にありて、チーチーチーと鳴啣す。食肉性にして、時に蝸牛をも食す。

分布—北海道、本州。

イブキギス……………(九〇)
Metrioptera japonica Holiv.

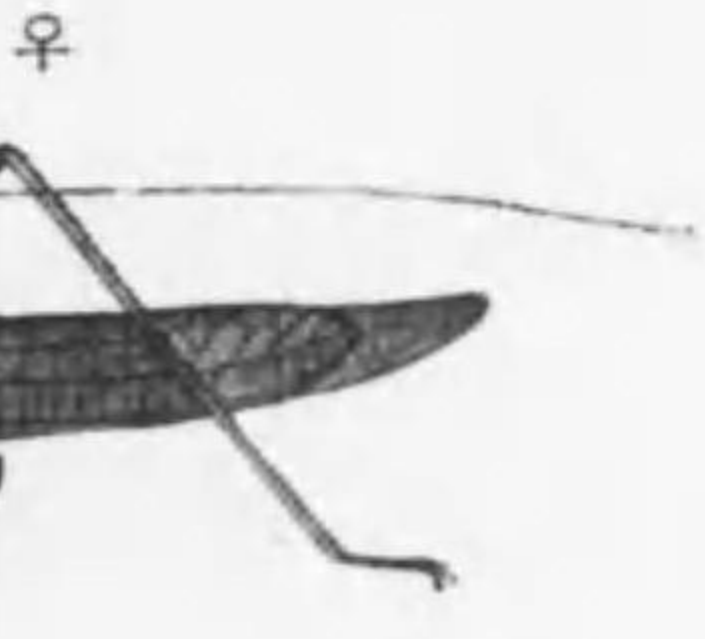
體は黒色。頭頂、前胸背及び翅は褐色。頭頂に黄色の縱條あり。觸角は黄褐、體よりも長し。前胸背の中央に八字形の黒紋ありて、凹陥す。前翅は短小、稀に尾端外に達するものあり。後翅は退化して、短かし。これは山間の草間に稀ならず。小蟲を捕食すれども、又蝸牛をも食す。體長六分—八分。これは初め伊吹山に發見せられたればこの名あり。



分布—北海道、本州。

オホツユムシ……………(九一)
Phyllorhina granitis Shir.

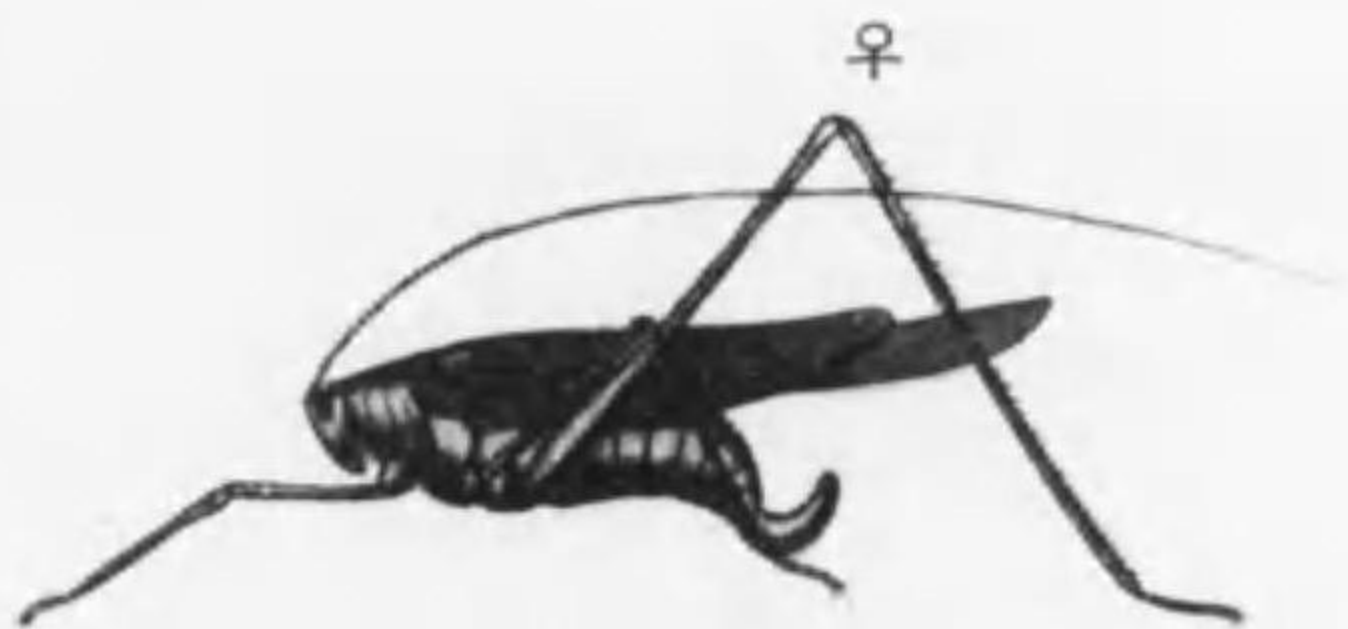
體綠色乃至黄綠。觸角は黒褐にして、翅端を越え、數個の黄白紋を裝ふ。前胸背は後方少しく幅廣く、小黑點を粗布し、後縁は圓し、中央に



一黄縱條を裝ふ。前翅は細長、體長の二倍以上、小黑點を散布し、接合線は褐色。後翅は前翅よりも長し。脚細長、暗黄にして、少しく綠色を帶ぶ。腹部は短太。産卵管は太く、側扁、上方に彎曲す。體長一寸七分(翅端迄)。これは臺灣に普通なり。

分布—臺灣。
ナカノツユムシ……………(九二)
Phyllorhina nakanoensis Shir.

ツユムシに酷似するも、その異るところは、複眼著しく突出し、觸角は黒褐、翅は濃綠、接合線褐色、後腿節の末端、同腿節及び跗節は暗褐、脛節の基部に白紋を有することと依りて容易に區別せらる。體長(翅端まで)一寸二分内



外。これは東京近在に産するも稀なるが如し。分布—本州(東京)。

ツユムシ(露蟲)……………(九三)
Phyllorhina nigroantennata

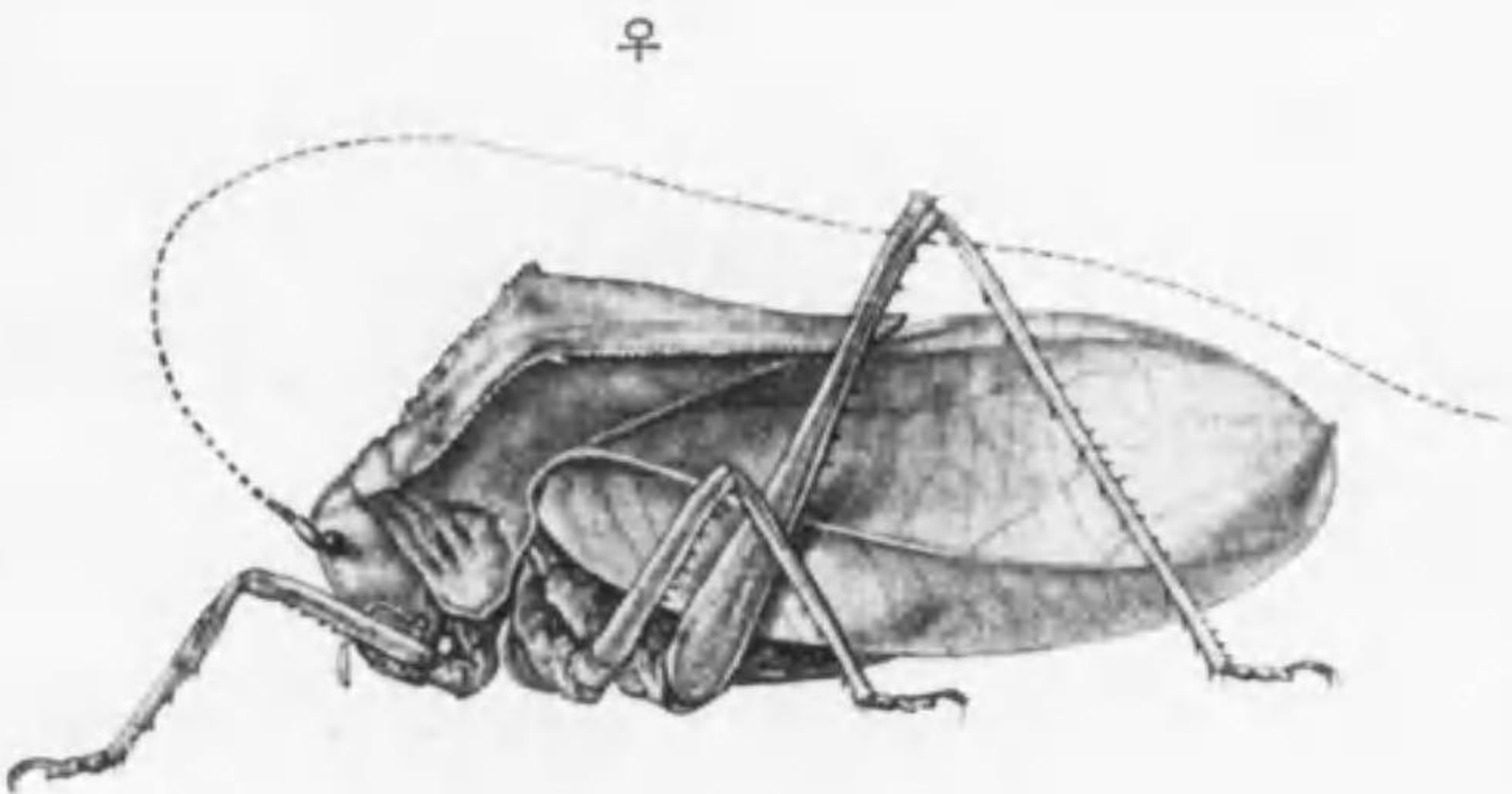
Br. v. Walt. 體綠色、多數の小黑點を散在す。觸角は後翅よりも約二倍長、基部暗黄、末端暗色。前翅は腹



部よりも二倍以上長く、暗褐紋を散在し、翅を疊む時は背上に黒褐紋を現はし、その周圍は黄色。後翅は前翅よりも長きこと約四分。これはセスチツユムシの如く後腿節に小刺を有せず。産卵管は短かく、上方に彎曲す。體長一寸二分内外。産卵管一分六厘。これは食肉性にして、夜間室内に飛來し、馬追蟲と同様に鳴啣す。

分布—北海道、本州、四國、九州。
コノハギス……………(九四)
Phyllorhina kotokuensis Shir.

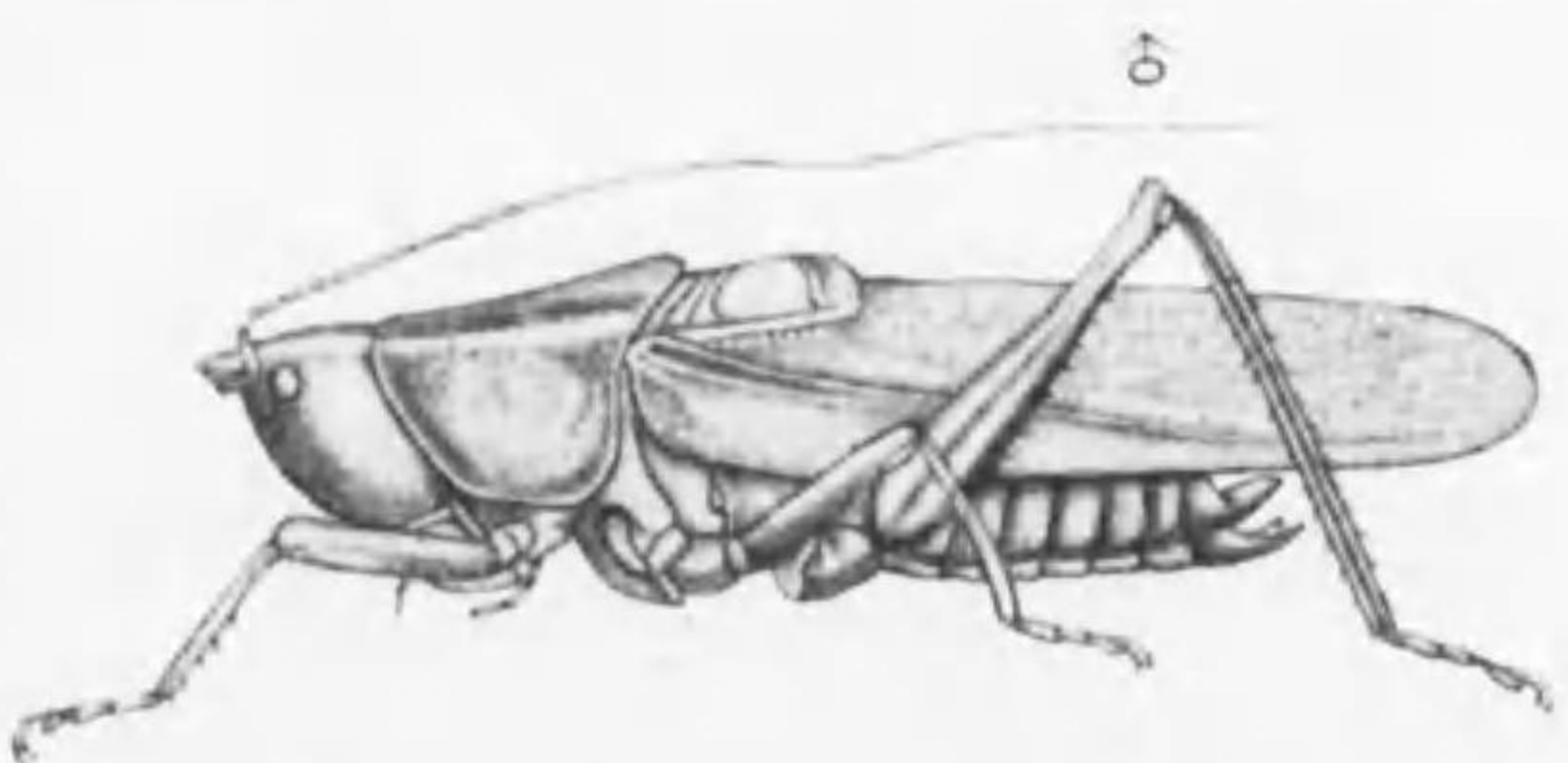
體綠色。頭短く、幅廣し、小黑點を散在す、顔は扁平、少しく傾斜す。觸角長し。前胸背大、菱形にして、後方に延長し、大點刻を散布し、中央に不明の一縱線を有す。前翅は大、革質、木葉狀。後翅は發達して前翅端に達す。腹部は太く、少しく上方に曲る。脚に小刺を裝ひ、後肢は長し。體長二寸内外(翅端迄)。臺灣紅頭嶼に



オホカヤキリ *Pseudorhynchus sigas* Reut. (九五)



カヤキリ *Pseudorhynchus japonicus* Shir. (九六)



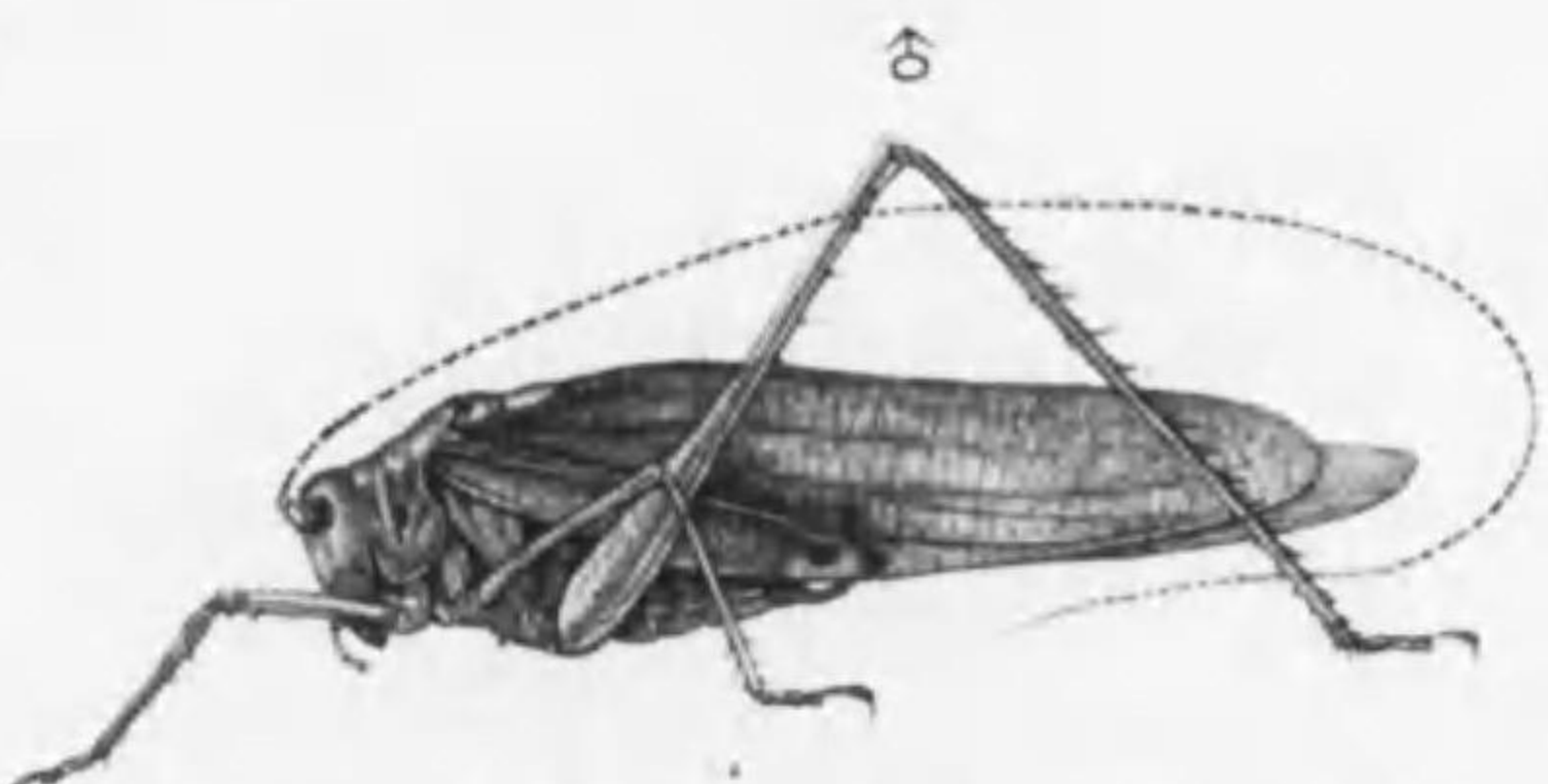
一三六〇

體は綠色。觸角の外側は黑色、末端は暗色。顔は黄色、大脛の内側、上唇の前縁、小脛の外葉及び内葉並に下唇の前縁等は黄褐、大脛の末端は黒褐、前頭は圓錐形をなして突出し、黄白の三條を縱走す。前胸背にも同様の三縱條あり。雄にては翅は體より長く、翅を疊む時は基部に黄白の縱隆あり

て、發音鏡と相接す、發音鏡は半楕圓形、その上方に三横脈を有す。體長二寸二分内外(翅端迄)。これは東京地方のススキの叢間に普通なり。ピーと鳴唧す。
分布—本州、四國、九州。

は五月頃より八月頃まで普通なるが如し。
分布—臺灣。

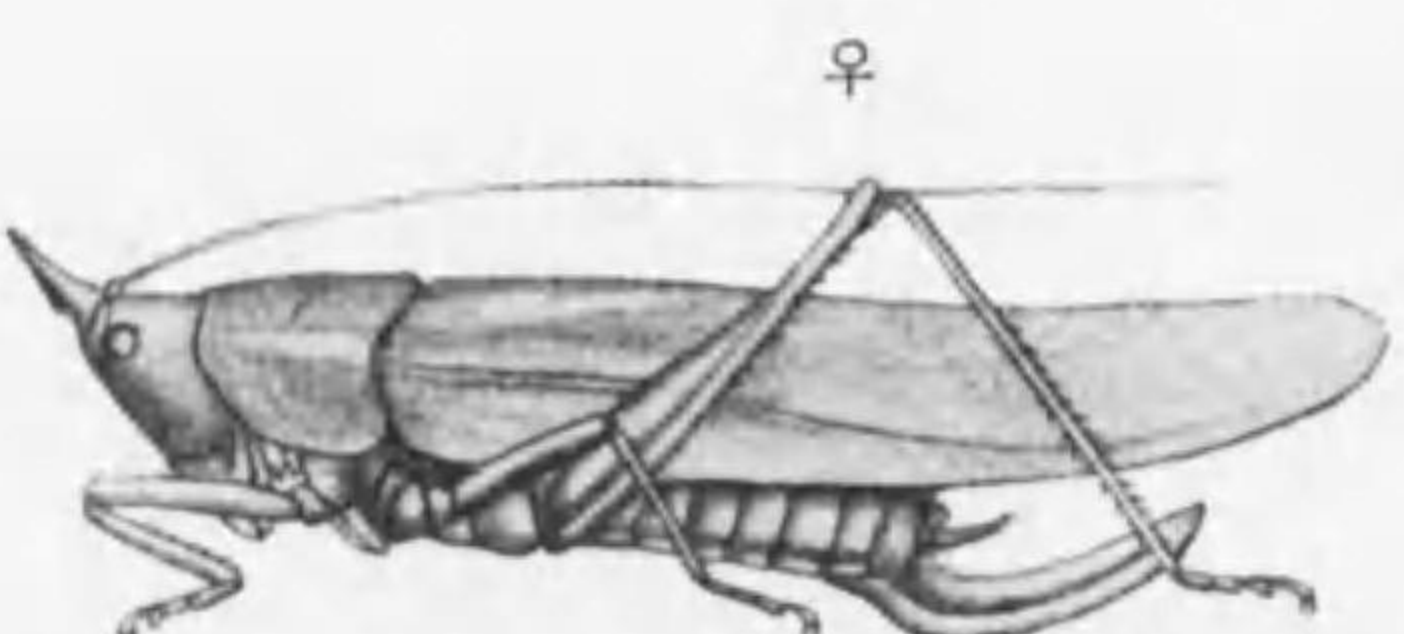
ヘリグロツユムシ *Pyroides japonica* Shir. (九七)



體綠褐。頭小、圓味を帶ぶ。觸角は暗褐、著しく長し。前胸背は鞍狀、後方背面に黒帶を有す。前翅は長く、亞前縁脈は淡褐乃至黒褐。後脛脈は黄色。後翅は前翅より長く、末端尖る。脚は細長、齒狀突起を有す。體長一寸三分内外(翅端迄)。高野山に普通なる種類なり。

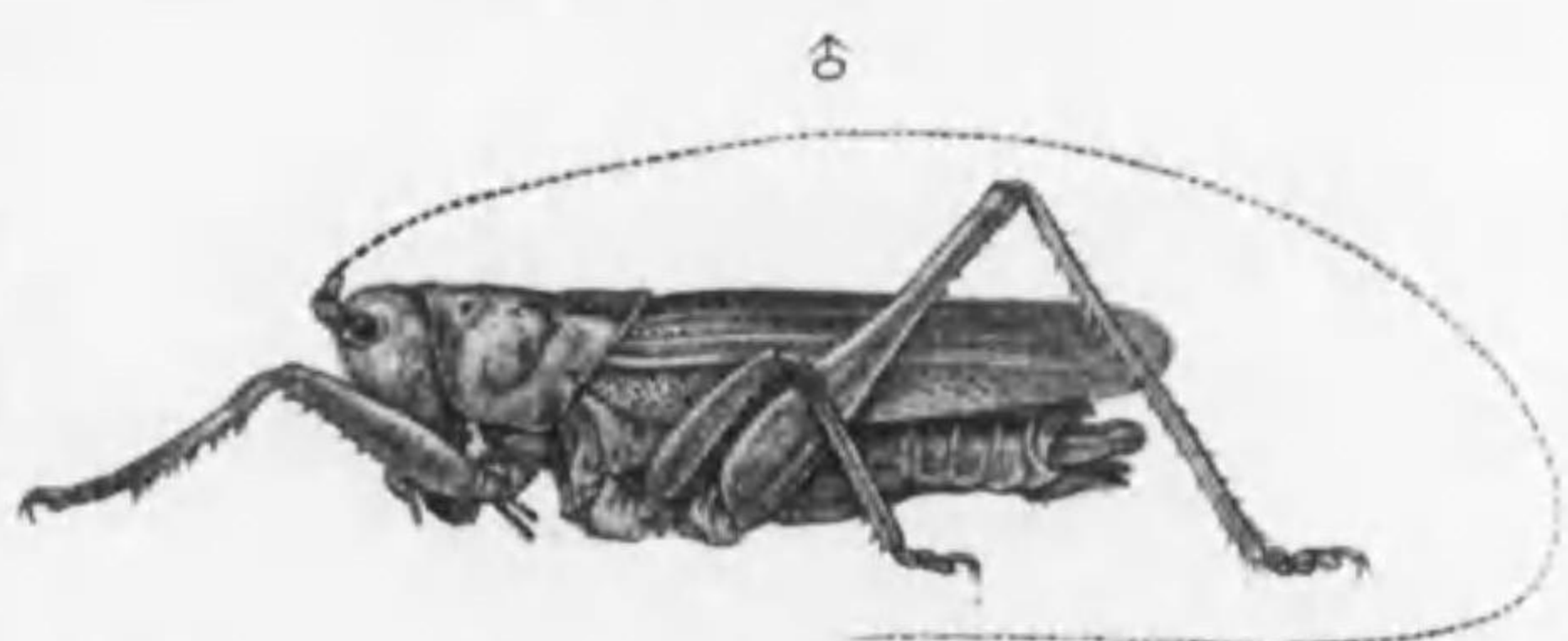
尺蠖に使用せられれば *Pyroides* と改名せり。

ツトガリクビキリ *Pyrgocorypha formosana* Mats. et. Shir. (九八)



體は綠色。前頭は平たく、細長にして、尖り、下面の中央に隆起ありて、基部に三角形の一突起を裝ふ。大脛は黄白。末端は暗褐色。前胸背に粗大の點刻多く、後縁の兩側に三角形の切目あり。前翅は長く、翅端細し。産卵管は劍狀にして、上向き、腹部と約同長。體長二寸一分(翅端迄)。これは臺灣北埔地方に稀ならず。
分布—臺灣(北埔)。

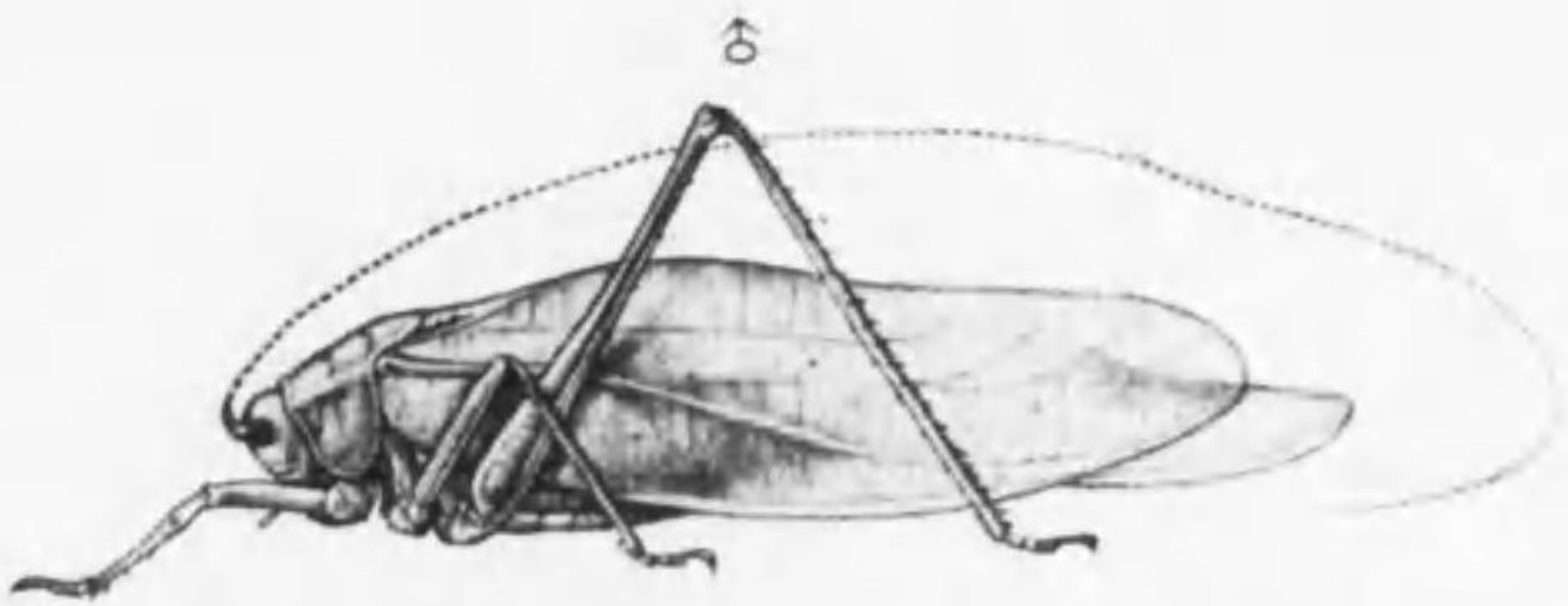
オホツカヤキリモドキ *Salomona ogatai* Shir. (九九)



體暗綠。頭大、幅廣く、凹點を散在す。頭頂突起は側扁、顔は傾斜す。觸角は體の約三倍長。前胸背の表面には凹凸多く、中央に一縱溝を具へ、二横溝は明なり。前翅細く、其末端は尾端を少しく越え、小黒點を密布す。後翅は前翅と同長。腹部圓筒形、頭胸の和よりも長し、産卵管は腹部と同長。脚は太し。體長一寸八分内外。これは八月頃紅頭嶼に普通なり。

タイワンクダマキモドキ (一〇〇)

分布—本州。
附言—本種は従来 *Pyra cusis* D. H. として知られたるものなれども、それとは全く別種なり。而して *Pyra* は既に Walker 氏によりて



♂
Symptetrina trinitatis
Dr. V. Walt.
體綠色。頭は同味を帯ぶ。觸角は細長。前胸背大、背面は平たく、後方は幅廣く、突出部は大、三角形を呈すれども、末端尖る、側縁の橙色なるものあり。前翅は幅廣く、且つ長く、全面に網狀脈を密在す。後翅は前翅の後方に突出す。脚細長、刺は甚だ小なり。體長二寸五分内外(翅端迄)。七八月頃臺灣の山地に普通なり。

トガリササキリ

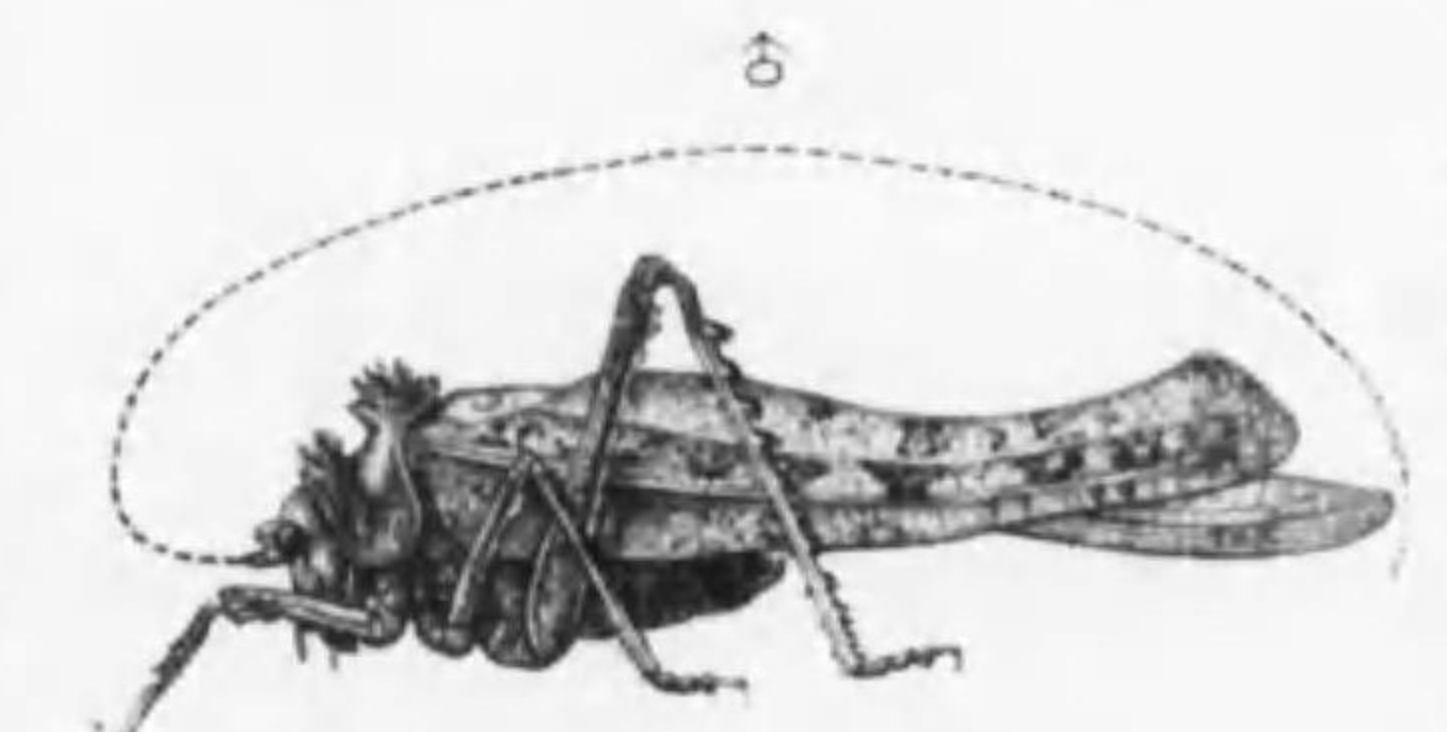
Togona unicolor Mats. et Shir.



♀
體は綠色。觸角は體長より長く、末端は灰黄、各節の基部は黄白。頭は圓錐形。前胸背に顆粒突起を散在し、縱溝及び横溝を裝ふ。前翅は廣く、劍狀、前縁は細く灰黄、微小の網狀脈多し。後翅は細く、短。産卵管は劍狀にして、頗る光澤を帯び、上下の兩縁(基部を除き)は赤褐。脚は細し。體長一寸五分(翅端迄)。これは新社地方に産すれども、餘り多からざるが如し。
分布 臺灣(新社)。

トゲトゲウマオヒ

Erethyzulpha ferrosana Shir.



♂
體淡綠、頭短く、垂直。觸角は翅端に達す。前胸背は中央にて縮れ、その前後の側縁に太き齒狀突起を裝ふ。前翅は細長、末端は斜に切断せられ、全面に黒褐紋を散在す。後翅は前翅よりも長く、淡黄なれども、末端は淡綠にして、灰褐紋を裝ふ。腹部は短し。脚は淡綠、黒褐紋を具へ、前中跗節は末端を除き黒色、前脛節は側扁にして、これに大なる聽器を裝ふ、後脛節は太からず、下面に十數本の齒狀突起を有す。體長一寸三四分内外(翅端迄)。ギギ、ギギと大聲に鳴き、燈火に飛來す。比較的稀なる種類なり。
分布 臺灣(中部)。

フトササキリ

Xiphidion giganteum Mats. et Shir.



♂
體は雄にては綠色。觸角は暗褐、體の約七倍長あり。頭頂及び前胸背の太き縱條は暗褐。前翅は灰黄、綠色を帯び、腹部の末端に達せず。腹端の角狀突起は黄色にして、大なり。脚は綠色、腿節の末端及び脛節の基部は暗褐。體長五分五厘。これは新社地方に稀ならず。
分布 臺灣。

コハネササキリ

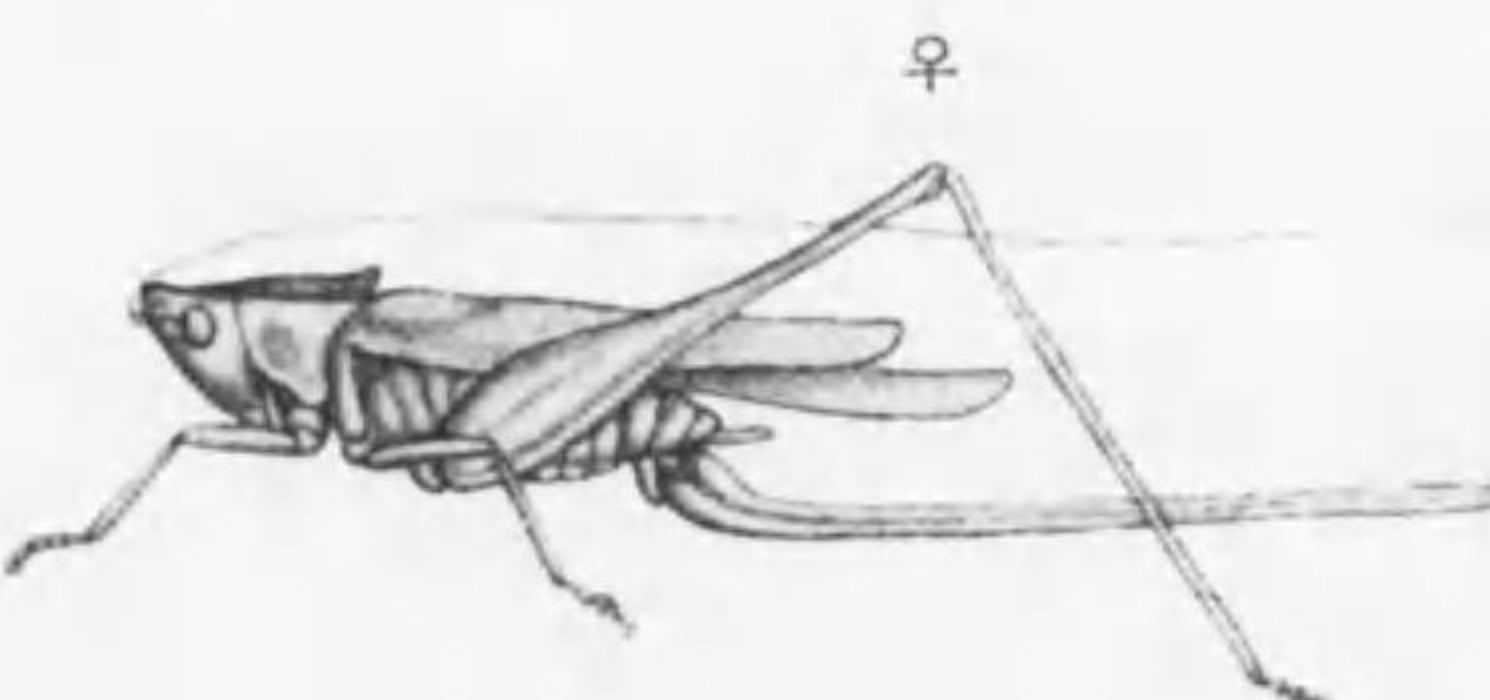
Xiphidion japonicum



♀
體は黄褐、少しく綠色を帯ぶ。頭頂及び前胸背の中央に太き黒褐條を縱走す。兩胸背の兩側に淡褐の縱條あり。觸角は頗る

ヲナガササキリ

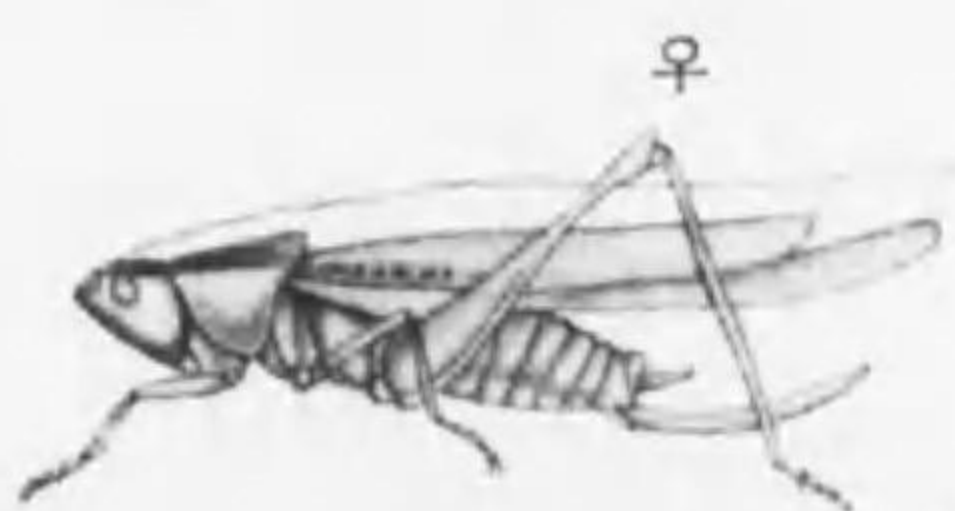
Xiphidion longicauda



♀
長し。前翅は尾端より短かく、後翅は一層小。腹背は黒色、産卵管と約同長。體長四分六分。産卵管五分五厘。これは東京地方の草間に稀ならず。
分布 本州、四國、九州。

ホシササキリ

Xiphidion maculatum Je Guill.



♀
體は黄綠。頭頂及び前胸背の廣き縱條は暗褐。前翅は褐色、前縁は黄綠、中脈の上方に黒紋を列ぬ。後翅は前翅より少しく長く、其突出する部分は褐色。腹背の縱條は暗褐。産卵管は體よりも短若くは同長。體長六八分。これは廣く東洋に分布す。
分布 本州、九州、八丈島、小笠原島、臺灣、支那、馬來。

ササキリ(管切)

Xiphidion melanum D. H.

體は暗綠。觸角の基部、頭頂及び前胸背の兩



側、前翅の前縁及び翅端、後腿節の末端並びに後腿節の基部は黒色。觸角は長く、黄褐色。前胸背の兩側に黄色の一縦條あり。腹背は暗色、兩側に黄條を裝ふ。尾端の附屬物は黄色。體長七分内外(翅端迄)。これも草間に普通にして、食肉性なり。

分布 本州、四國、九州。

八 菱蝗科 Tettigidae

體は稍々菱形を呈し、前胸は發達し、時に腹端外に達することあり。觸角は絲狀、小。口は發達す。前翅は退化して小、後翅は大にして、扇狀に疊み得べし、發音器を缺く。前中の兩附節は二節より成り、後腿節は發達して跳躍に適す。食草性なり。本邦學名を有するもの數種あり。

ツチヒシハツタ Acanthalolus japonicus D. H. (一〇八)

體は暗灰色、觸角及び小腿端は黄白、前者の末端は黒色。前胸は腹部より約二倍長く、その末端は細く、上向し、兩側に各一個の黄色突起あり。前翅は短かく、長楕圓形。後翅は長く、前胸端に達す。體長五分五分五厘。これは草間の地上に普通なれども、ヒシハツタよりも少なし。



分布 本州、四國、九州。

ホソヒシハツタ (一〇九)

Heidotettix formosanus Shir.



體は灰色。前頭は黒色、頭頂には黄色の小顆粒多し。觸角は灰黄、胸部より少しく長し。前胸背の延長部は後翅より少しく短かし。前翅は退化して鱗狀となり、細狀脈は列然す。後翅は暗灰色、虹様の赤紫色を帯ぶ。雄の尾節は圓錐形をなして上向す。體長四分一分。これは臺灣及び沖繩に普通なり。

分布 沖繩、臺灣。

コブヒシハツタ Gavialitum pulipipium (一一〇)



體は暗灰色。觸角は淡黄褐色。前胸背及びその延長部は稍々平たく、これに疣狀突起多し、胸側に各二個の棘狀突起を裝ひ、延長部は少しく翅端を越ゆ。前翅は退化して鱗狀となり、その前縁は端直。後翅は長く、暗色。脚にも疣狀及び棘狀の突起多し。

雄の尾節は圓錐形をなして上向し、下面に一隆あり。體長六分一分五分五厘。これは沖繩地方に普通なるが如し。

分布 沖繩。

ヒラタヒシハツタ Potua phlynota Karny (一一一)

體暗褐色。複眼は前方に突出す。觸角は十五節より成り、第一節は短大、第二節球形、以下各節



は絲狀、各節の末端は黄色。前胸の幅廣く、背面は水平にして、尾端に達し、中央に一縦隆あり。肢は短太、腿節に數個の齒狀突起あり。體長四分内外。これは臺灣の各地に産するも稀れなり。

分布 臺灣。

ヤマトヒシハツタ (ヒシハツタ) (一一二)

第一三 直翅目

Tettix (Acrydium) japonicus D. H.

體は灰色乃至暗色。顆粒突起多し。灰色の種類にして、前胸背に四黒紋を具ふ。觸角は黄褐色、末端黒色。前胸は稜形、尾端迄延長し、中央に一縦隆あり。前翅は小、長楕圓形、顆粒狀の小突起あり。後腿節は長く、前中腿節に黄色紋を具へ、これには種々の斑紋を裝ひ、一定せず。體長二分八厘一分五分五厘。これは何れの地方にも普通なる種類にして、時に色々の植物稚莖を切斷して有害なり。



分布 北海道、本州、四國、九州。

オホヒシハツタ Tettix (Acrydium) longius Shir. (一一三)



體は暗色。觸角は淡黄褐色、末端は黒褐色。前胸背兩側の隆起は顆粒より成り、延長部は後翅より少しく短、稍々弓狀をなして彎曲し、これに黒褐色を有するものと、有せざるものとあり。前翅は鱗狀にして、前縁の末端は

少しく割られたるの觀を呈す。後翅は少しく暗灰色を帯び、長さ腹部の約二倍長あり。脚は淡黄褐色、暗色紋を有するもの多し。體長四分五分。これは北海道に普通なり。

分布 北海道、本州(遠州)。

九 竹節科 Phasmidae

體は細く、圓柱状を呈す。三双の肢は同長、前翅は捕獲肢に變せず。尾節の附屬物は環節を缺き、産卵管は隠れて見えす。食草性なれども、農林業に大害をなさず。本邦學名を有するもの十數種あり。これは宛然樹枝に似たれば、容易に發見し難し。緑色と褐色との兩型ありて、保護色の好例に供せらるものなり。

コブナナフシ

Datanes mothsoti Rat.

體短太、暗褐。額には三對の刺状突起を裝ふ。觸角は太く、前中胸を合したるものと約同長。前



胸背は方形、中胸背は前者の二倍長、中央に太き一縱條を具へ、後胸背は前者の四分の一長、後方に一横溝を有す。腹部は約頭胸長に等し、

雌にては後半部急に細まる、腹背の中央に一縱隆起を具へ、雌にては殊に著し。脚短大。體長一寸一寸七分。沖縄に産すれども稀なるが如し。

分布 沖縄、カンボヂヤ。

タイワントゲナナフシ

Hoplocrania truncata West.

體短大、黄褐、黒褐の縱條を散在す。頭黒褐、黄褐點を散布し、兩側の中央に各一本の長刺を裝ひ、その基部に數本の小刺を列ぬ。觸角短大、胸部と同長。胸部に數對の大小刺を有す。



腹部は細く、胸と同長、各節の後縁に近く三刺を裝へども、後方に於ては不明、中央に一縱隆條を具へ、これは中胸背の中央に達す。體長一寸七分内外。臺灣紅頭嶼に産するも稀れなり。

分布 臺灣、比律賓、ボルネオ。

ミヤマナナフシ

Tanochetus confusus West.

體綠色乃至黄褐。觸角は長く、體の半以上に達す。各節の末端は暗褐を呈す。頭の兩側に黒褐の縱條を裝ふ。胸腹背には大小多數の顆粒を密布



し、中胸背に於て最も密なり。脚は細長、中肢最も短かし。體長(雌)三寸内外、(雄)二寸五分内外。これは餘り多からず。

分布 臺灣。

トゲナナフシ

Menoxenus japonicus D. H.

體は暗褐。觸角は體より遙に短かし、後頭に顆



體は暗褐、少しく綠色を帶ぶ。觸角は長く、各節の後縁は暗色を帶ぶ。頭は卵形、前頭に鬼角様の三突起を具ふ。前胸背には横溝及び縮刺を裝ふ、中胸背は長く、中央に判然せざる一縱隆

雌



を具へ、全面に小顆粒を存在し、後胸背の中央に隆起を縱走す。各腹節は約同長、中央に縱隆を具へ、第九節にあるものは高く、第六腹面節の突起は卵形を呈し、尾節の腹面板は船形をなす。脛節に葉狀の突起あり。體長三寸七分内外。これは鹿兒島地方に産すれども、餘り多からず。

分布 九州(鹿兒島)。

コノハムシ(木葉蟲)

Phyllium sieckfohian L.

體は綠色。雌、雄その大きを異にし、雄は細く、雌にては廣く、扁平、前翅は恰も木葉狀を呈し、後翅を缺く。脛節及び脛節は葉狀に肥大

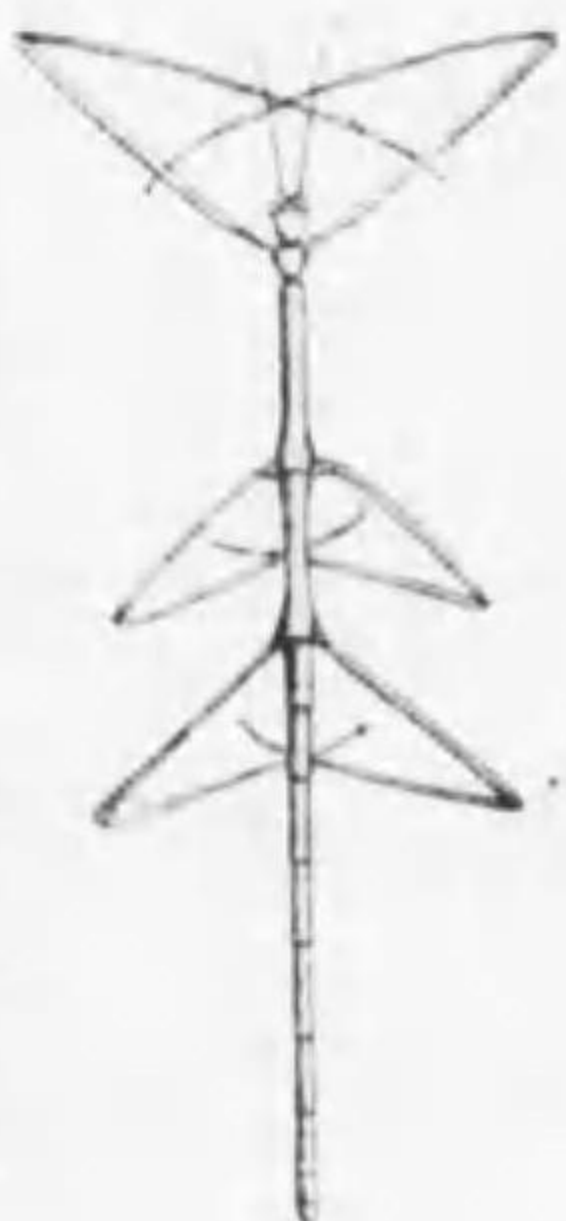
し、棕色を帶ぶ。體長一寸五分、一寸八分。これは東京地方の雜草間に普通なり。

分布 本州、四國、九州。

ナミナナフシ

Phanortes (Tonchodes) elongatus Thunb.

體は綠色若くは褐色。複眼間に二黒紋を具へ、その兩側に各一瘤起あり。觸角は短かく、前脛



節の半に達せず。前胸は短かく、稍々四角形を呈す。前脛節は甚だ長く、その外側には大小齒あり。腹部は尾端に向つて細まる。跗節の末端は何れも暗色。體長三寸三寸五分。これは東京地方の櫟林に普通なり。

分布 本州、四國、九州。

ミカドナナフシ

し、殊に雌の前腿節に於てその然るを見る。卵子は黒色、縦隆を具へ、大形にして、恰も白粉花

♀



の種の如し。體長一寸五分—二寸五分。これは吾が領土にては南洋パラウに産す。目下世界の有名なる動物園にては飼養せり。

分布—印度、南洋諸島。

タイワントヒナナフシ……………(二三)

Siphodius siphidius West.

體は雄にては暗褐。觸角は體より長く、末端は灰黄、各節の末端は少しく暗色を裝ふ。頭の兩側に灰黄の一縱條を具へ、頭下及び兩鬚は灰黄。前胸背の兩側に細き二縱條を裝ひ、中胸背は細く、後方に至つて細まる。前翅は鱗狀、前縁は灰黄。後翅は長しと雖も、尾端に達せず。

脚は灰黄、中後兩腿節及び全脛節の末端は暗

♀



色。雌にては灰黄、前中胸背に顆粒突起多し。體長二寸四分—二寸六分。これは臺灣にては棉の害蟲なり。

分布—九州(熊本)、臺灣。

エダナナフシ……………(二三)

Stachonrhodus alapidus Br. v. Watt.

體は褐色若くは綠色。後頭の兩側に各一個の白

♂



縱條あり。複眼間に棘狀の突起ありて、その末端は黒色。觸角は長く、體の半に達し、末端に至るに隨ひ暗色。前肢は觸角と略同長。これは東京地方の櫟林に普通なり。體長三寸—三寸五分。ナミナナフシに似れども、觸角は鞭狀にして、長きを以て容易に區別し得べし。

分布—本州、四國、九州。

ムツホシトヒナナフシ……………(二四)

Trachythorax G-punctata Shir.

體は灰黄。頭は卵形、後頭は灰色、前頭は凹陥し、觸角の中間には二黒紋ありて相連続す。觸角は體の半以上に達し、暗色の一縱條を裝ふ。

♀



前胸背に黒色の大紋ありて、その中央の二個は弦月形を呈し、中胸に六黒紋ありて、稍々二列をなす。前翅は小鱗狀、後翅は長く、翅端に達す。基節に黒紋を裝ふ。體長一寸五分—二寸七分。これは恆春地方に産すれども、その數多からず。

226—臺灣(恆春)。

10 螳螂科 Mantidae

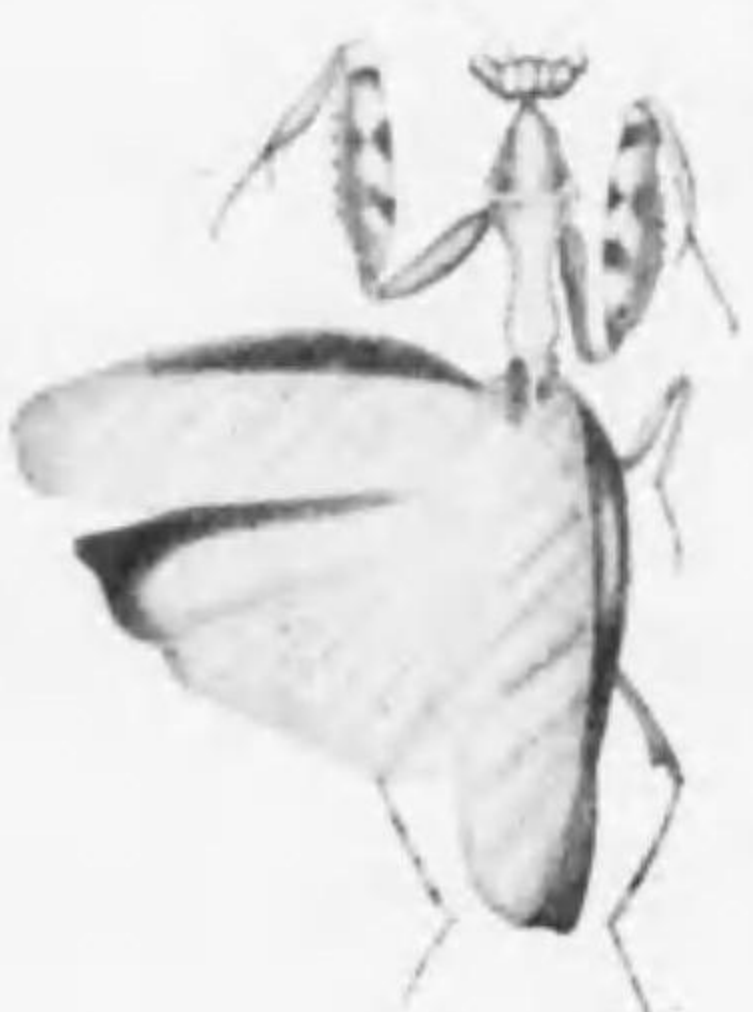
觸角は長し。體細長。前肢は甚だしく發達して、鎌狀の捕獲肢に變じ、中後の兩肢は圓形。複眼は圓く、三個の單眼あり。雌の産卵管は隱れ、尾狀の二附屬物は環節を有す。何れも食肉性にして、農林業に有益なり。本邦産するもの十一種あり。

サツマヒメカマキリ……………(三五)

Acanthantis australis Krauss.

體は灰色。觸角は淡黄褐と褐色との斑をなし、末端は暗褐。觸角間の突起は圓錐形、これを頂角とする五角形の黄白紋あり。兩鬚は黄白、末

♀



端は淡褐。前胸背の中央は膨大し、兩側に黒色の疣狀突起を列ぬ。前翅は淡褐、前縁は中脈を堺として綠色。後翅の前縁及び末端は赤褐。前肢の腿節に褐色紋あり。體長一寸—一寸二分。これは鹿兒島にて捕獲せるが少きが如し。

分布—九州、印度。

タイワンヒメカマキリ……………(二六)

Acanthantis formosana Shir.

體は綠色、上唇、後頭及び觸角(基部は黄色)は暗色、前胸背は中央にて少しく膨大し、兩側に

♀



小齒を列ぬ。後翅は暗綠、雄にては暗褐、但し前縁は綠色、脈は網狀にして粗なり。後翅は暗色、前縁は赤褐、光線の工合により紫色を現は

す。脛節及び第一跗節の外側に黒褐の一縱條あり。體長六分五厘 八分。これは臺灣新社地方に普通なり。

分布 臺灣。

ヒメカマキリ……………(一二七)

Aeromantis japonica West.

サツマヒメカマキリに酷似すれども、形は小、前肢にある突起は低く、五角形の黄白紋を缺き、前胸背中央の肥大部は小、その兩側にある



♀

疣状突起も小、前翅前縁の綠色部は幅狭く、網脈は暗褐、斜脈は平行せず、中央にある四脈の基部はその兩側にて少しく暗褐を帯ぶ。體長一寸(翅端迄)。これは本州に産するも少し。

分布 本州(京都、静岡)。

ハラヒロカマキリ……………(一二八)

Hirohala patellifera Serv.

體は綠色、大腮端は黒色、頭大、後頭の兩側は暗色を帯ぶ。觸角は細短。前胸は前半にて著しく兩側に膨大し、兩縁に鋸状の小齒を列ね、兩



♀

縁に近く横溝を具へ、この溝より前方には縦溝を穿ひ、後方には低き縦隆起あり。前肢は長く、前縁の基部は灰白、徑脈の中央に接して長楕圓形の一白紋あり。後翅は白色、半透明。腹部は大。體長一寸八分—二寸二分。これは餘り多からず。

分布 本州、四國、九州。

ヒナカマキリ……………(一二九)

Trioloperyx nuanhata Zitt.

♀



明、横脈の一部は褐色。體長二寸四分—二寸八分(翅端迄)。これは本邦最大の種類なり。東京地方に普通なり。

分布 本州、四國、九州、沖縄。

ナミカマキリ(カマキリ)……………(一三〇)

Paratenodera sinensis Skoll.

これはオホカマキリに酷似すれども、頭小、體細く、前胸の兩側にある小齒は低く、中央の縦隆起は列然せず。前翅の横脈は細く、少しく粗、副前縁脈は基部にて黒色、前縁は廣く黄白。後翅は淡褐、半透明、褐色の横脈は太く、その周圍は少しく褐色を帯ぶ。體長二寸三分—二寸六分(翅端迄)。これは前種同様に東京地方に普通なり。

體は灰黄、觸角は細く、末端の半部は暗色、頭頂には黒褐紋を散在す。前胸背の中央に黒褐の一條を縱走し、兩側には小齒を列ぬ。翅は退化して僅にその痕跡を留む。前翅は鱗状を呈し、

♀



黒褐紋を散在す。後翅は細く、前翅より遙に小なり。雌の腹部は甚だしく太し、黒褐紋を散在す。中後脛節並に各跗節の末端は黒褐。體長四分五厘—五分。これは東京、静岡地方に産するも稀なり。

分布 本州。

スカシカマキリ……………(一三〇)

Mantis religiosa L.

體は綠色乃至黄綠。前胸は翅の約三分の一長あり、前縁は狭く、それより次第に幅を増し、前方三分の一の所にて最も廣く、後方三分の一の背には縦隆起あり。前翅は腹部と同長、後

♀



但し後紋の翅端及び前縁には少しく不透明の部分あり。體長二寸内外。これは青森地方に普通なり。

分布 本州、九州。

オホカマキリ……………(一三一)

Paratenodera angustipennis Stamps.

體は綠色若くは黄褐。前胸は翅の半ばより少しく長く、前方の三分の一は廣く、兩側に鋸状の小齒を列ね、中央に縦溝及び彎曲せる横溝を具へ、後方に於ける三分の二の背には一縱隆起あり。前肢の基節間は橙黄色、跗節の内側に黒褐紋あり。前翅は腹部より長く、脈は不定の綫をなし、甚だ微小、前縁は黄色。後翅は半透

♀



分布 北海道、四國、九州、沖縄。

タイワンオホカマキリ……………(一三二)

Tenodera superstitiosa F.

體淡綠乃至淡黄褐。前額板は雌にては矩形、雄に



♂

ては三ヶ月形。觸角長く、腹部の中央に達す。胸背側縁に微高を有すれども、雌にては不明。前翅細長、尾端を越ゆるを當とす、表翅淡緑、前縁の淡褐なることあり。後翅に褐色點を散在す。脚細長。腹部細く、肛上板小形、後縁の中央に一小突起を裝ふ。體長三寸五分内外。臺灣には稀なり。

分布—臺灣、印度、阿弗利加、濠洲。

コケイロカマキリ……………(一三四)



♂

體黃綠、黒褐紋を裝ふ。前額板は五角形、前方に突出す。觸角は細く、稍々體長に等し。前胸背は短大、軍配扇形を呈し、側縁に齒列を缺す。

Thesopompia ophthalmica Oliv.

く。前翅の幅は廣く、膜質部淡綠又は灰色、黒褐紋を散在し、側縁は大にして灰白。後翅は灰褐、黒褐紋を散在す。脚短大、黃綠。腹部は幅廣く、尾端に至るに従ひ細く、肛上板は圓く、尾狀の附屬物は扁平、尾毛長し。體長一寸五分内外。これは臺灣には稀なり。燈火に飛來す。

分布—臺灣、アンボイナ、セラム、カンボヂヤ。



♂

♀

コカマキリ……………(一三五)

Zettia maculata Yamanb.

體は黃褐。觸角は短。後頭に一黒帯あり。前胸背前方三分の一の處に於て膨大し、その兩側に判然せる褐色の小齒を列ぬ、中央の隆は餘り

高からず。前肢基部の基部に近く黑色の大紋を具へ、同腿節の中央にも同様紋ありて、更に其前方に黄色の四角形紋を裝ふ。體長一寸三分一寸六分。これは東京附近に普通なり。

分布—本州、四國、九州。

一 長蠅科

(Tryblattoidea)

前後翅を缺く。複眼は小。單眼を缺く。觸角は長く、絲狀。跗節は五節。雌は劍狀の産卵管を裝ふ。一本の尾狀突起は長く、八節より成る。本邦に産するもの一種あり。石下若くは朽木下に發見し得べし。

ガロアムシ……………(一三六)

Callosiana nipponensis G. et K.

體黃褐にして、少しく赤味を帯ぶ。頭大、胸は幅よりも長く、平滑。觸角は頭胸の和よりも少しく長く、淡黃。前胸背は大、赤褐。中後胸



♂

背は稍々四角形。腹部は胸よりも短く、尾毛は腹部よりも長し。脚は短大。雌の産卵管は短く、尾毛の半ばに達するに過ぎず。體長七分内外。これは日光及び高尾山の朽木下又は石下に發見せらるゝ珍種なり。

分布—本州。

二 蚌蠅科

(Blattaria)

體は扁平、楕圓形。頭は前胸下に蔽はる。觸角は鞭狀にして、長し。複眼は腎臟形、普通單眼を缺く。脚は側扁。雌は短大なる枝柱狀の産卵管を具へ、尾端の二附屬物は環節をなす。これは動植物性の貯藏物を以て食とす、又野外に生息するものも少なからず、この場合には落葉下その他倒木下に發見し得べし。本邦學名を有するもの約五十種あり。

アミメゴキブリ……………(一三七)

Anisopelta formosana Mats.

體は黃褐。觸角、體下及び脚は淡黃褐。前胸背の兩側は黃白、半透明。中央に褐色の二縱紋を裝ふ。前翅は黃褐。脈及び前縁は黃白、半透明。體長三分三厘。これは恒春地方に産すれども稀なるが如し。



♀

分布—臺灣(恒春)。

ナミゴキブリ……………(一三八)

Blatta coninana D. H.

體は黒褐、觸角は長く、體長を越ゆ。雌の前胸は略圓形、雌にては稍々四角形、中央に不正の縮紋あり。雄の前翅は蓋に體より長く、雌にて



♂

は短かし。體長(雌)一寸(翅端迄)、(雄)六分。これは本邦何れの地方の廚房にも普通なれども北國には産せざるが如し。

分布—本州、四國、九州、朝鮮、支那。

オビゴキブリ……………(一三九)

Corydia zonata Shir.

體は藍色。觸角、胸下井に脚は黑色。觸角の第二十六、二十七及び二十八の三節は黃白。單眼黄色。額片、上唇及び兩顎は黑色。前胸背に點刻及び黒毛多し。前翅の中央に橙黄色の廣き一



藍色。體長六分。これは埔里地方には稀ならず。
分布：臺灣(埔里)。

キベリゴキブリ *Dorylinae flaviventris* D. H. (一四〇)



淡黄褐。頭頂及び觸角の基部は黄色、後者は體長と同長、褐色。前胸背の側縁は褐色。前翅は腹部の半に達し、栗色。後翅は雄にては前翅より長しと雖も、雌にては短し。脚太く、黄褐乃至赤褐。腹部は稍々圓形、各節の兩側に橙黄色紋を裝ふ。腹面は淡色。肛上板は雄にては三角形、栗色、雌に

越え、前縁の基部は淡色、粗大の點刺多し。腹面に小褐紋を散在す。體長一寸一寸二分。これは臺灣及び沖繩の山野に稀ならず。
分布：沖繩(八重山)、臺灣。



マルゴキブリ *Heterogamia aegyptiaca* L. (一四四)



り。脚は光澤ある赤褐。體下は暗赤褐。體長五

帯を具へ、翅端の三分の一は紫藍色。腹部は橙黄色、尾端は黒色、その兩側は黒

ては一層濃色、末端三角形に切斷せらる。體長八分内外。臺灣にては野外に産するも稀なり。
分布：臺灣、ボルネオ、瓜哇、スマトラ、マダガスカル。

ハネマダラゴキブリ *Ephippium erichsoni* Fall. (一四二)



體黄褐。頭小、頭頂に褐色點を散在す。觸角は體長に等し。前胸背は菱形、小褐色紋を密布す。前翅は尾端を越え、褐色點を裝ひ、八乃至十個の褐色紋を有す。後翅は前翅と同長。脚は細長、黄褐。腹部は楕圓形。肛上板は幅廣く、雄にては中央少しく凹み、雌にては後縁の中央に割目あり。體長一分内外。これは野外に普通にして、好んで糖液に集る。
分布：臺灣(紅頭嶼)、比律賓。

分内外、これは滿洲に産すれども餘り多からず。水中に滯るの性あり。
分布：朝鮮(?)、滿洲、支那、印度、阿弗利加。

オホチャハネゴキブリ *Ischnoptera formosana* Shir. (一四五)



體は淡黄褐。前胸背は黄褐。複眼下に各一個の黄色紋あり。小臍最末端の二節は褐色。腹面の兩側に褐色紋を裝ふ。尾節の二突起は褐色。體長六分五厘。これは臺灣埔里地方にて捕獲せるが餘り多からず。
分布：臺灣(埔里)。

キチャハネゴキブリ *Ischnoptera taichuanensis* Shir. (一四六)

體は黄褐。前胸背は大、稍々圓形、後縁に至り

マダラゴキブリ *Ephippium rufipes* Shir. (一四三)

體は淡黄褐。顔に黒褐の一縱紋あり。單眼は黄白。觸角及び小臍最末は暗褐。前胸背の中央に黒



褐色を具へ、兩側に褐色點を散在す。前翅は褐色、暗褐色を散在し、前縁の半部は淡色、長く、尾端を越ゆ。臍節及び臍節の外側は暗褐。各腹面節兩側に各一個の暗褐色紋あり。體長一寸五分。一寸七分。これは九州地方の山野に稀ならず。
分布：九州、沖繩、臺灣。

タイワンゴキブリ *Ephippium punctata* Br. v. Watt. (一四三)

體は黄褐、多数の黒褐色の小紋を散在す。複眼の内側、前頭縦線、顔の大部、胸片及び脚は

て少しく廣まる。觸角は體よりも長し。翅は尾



端に達し、前縁は黄褐。體下及び脚は淡黄褐。尾狀突起は上方に彎曲す。體長六分五厘。これは九州地方にて發見せるが稀なるが如し。
分布：九州(肥後)。

ヲガサハラゴキブリ *Lanceiphaea surinamensis* L. (一四七)



え、前縁の基部に黒褐の一縱條を裝ふ。體長五

分五厘七分。これは小笠原島に普通なる種類にして、沖縄及び臺灣にも分布す。

分布—小笠原島、沖縄、臺灣。

ヒメクロゴキブリ.....(一四八)

Leptoplia nigra Zair.

體は黒褐。頭は暗褐。前胸背の兩側及び後縁は灰白。脚及び腹面に斑紋を缺く。距は淡黄褐。これは一見水中に住する甲蟲に似たり。體長三分五厘。埔里地方の林中に産すれども餘り多からず。

分布—臺灣(埔里)。



♀

サツマゴキブリ.....(一四九)

Opisthoplatia orientalis Burm.

體は黒褐。後頭、觸角、額片、上唇、兩鬚、脚、翅、腹側、各腹面部の中央にある三角紋並に尾節は赤褐。前胸背は稍々半圓形、前縁及び兩側は廣く黄色。前後の翅は退化し、稍々三角形を呈し、粗大の點刻多し。尾端の角状突起は黒

背の前縁に二個の角状突起あり。前翅は黒褐、後方の網狀脈は判然せず。腹部に粗大の點刻を裝ふ。基節、轉節及び附節は赤褐。體長一寸三分。これは中國地方に産すれども稀なり。

分布—本州、支那、印度。

ヨツホシゴキブリ.....(一五二)

Paranaphoeta formosana Mats.

體は黒褐。頭頂は黄白、これに二黒褐紋あり。觸角着部の下方、觸角の末端、上唇、前胸背の兩側、前翅の三紋、同前縁の基部、腹側紋(腹面にあるものは小にして、腹背にあるもの大)等は黄白。脛節及び後肢の第一附節并に爪節は赤褐。體長八分五厘。これは臺灣水社湖の近傍にて採集せるが餘り多からず。

分布—臺灣(水社湖畔)。

ワモンゴキブリ.....(一五三)



♀

褐、末端は黄色。體長一寸一寸二分。これは九州地方の山野に稀ならず。

分布—九州、臺灣、支那、印度。

オホゴキブリ.....(一五〇)



♀



Periplaneta americana L.

體は赤褐。觸角は長く、尾端を越ゆ。前頭は暗褐。前胸背は稍々圓形、淡黄褐、中央に赤褐の大紋を裝ひ、後縁の赤褐なるものあり。顔は黄

♀



褐、工字形の赤褐紋を裝ふ。翅は尾端を越へ、赤褐、翅端は淡色。體下は淡黄褐、胸片及び脚基節は黄白。各腹節の後縁は赤褐。脛節は黄褐。體長一寸三分一寸五分。これは厨房の害虫にして、動物性の標本を食害す。暖地に普通なるが、殊に小笠原島に多し。

分布—世界共有。

コワモンゴキブリ.....(一五四)

Periplaneta australasiae L.

體は赤褐乃至黒褐、觸角、兩鬚及び體下は黄褐。複眼の内縁及び上縁は黄色。觸角は體と同長。前胸背は稍々圓形、赤褐の三縱紋あれども、餘り判然せず。翅は少しく尾端を越ゆ。體長一寸

體は黒色。觸角は體より短かし。前胸の後方に彎曲せる深き横溝を具へ、その後方に六個の小突起あり。前翅の前縁室は廣く、斜に下方に向き、前縁はその中央より外縁の方に弓状に列らる。翅は稍々尾端に達す。この種類は野外に住し、掃帚にて捕獲し得べしと雖も、餘り多からず。

分布—本州、四國、九州、支那、印度。

ツノオホゴキブリ.....(一五一)

Panosthia quadria Zair.

體は黒色。觸角着部の周圍、額片、上唇の末端、兩鬚各節の末端は黄褐。觸角は暗褐。前胸

♀



♀



一寸二分。これは本州に普通なる種類なり。これも廣く東洋に分布する蟬蟻にして、同じく厨房の害虫なり。

分布—本州、四國、九州、沖縄、臺灣、支那、印度、濠洲。

コハネゴキブリ.....(一五五)

Periplaneta orientalis L.



♀

體は黒褐。雄の前胸は横楕圓形、雌にありては稍々半圓形、その中央に赤色の一條を縱走す。雄の兩翅は短かく、漸く第四腹節に達するに過ぎず。雌は後翅を缺き、前翅は退化して、鱗狀を呈す。體長(雄)七分、(雌)八分内外。これは東洋に廣く分布すれども、本邦には稀なり。
分布—本州、支那、印度、歐洲、北米。

クロゴキブリ.....(二五六)

Periplaneta picea Shir.

體は赤褐乃至黒褐。觸角、兩顎及び體下は黄褐。腹眼の内縁及び上縁は黄色。觸角は體長に等し。前胸背は稍々圓形なれども、兩側の中央

♀



にて幅少しく廣し。光線の工合に依り赤褐の三縱紋あれども判然せず。翅は少しく尾端を越ゆ。體長一寸二分内外。これは中國地方に普通

なり。

分布—本州、九州。

チャハネゴキブリ.....(二五七)

Phyllotromia germanica Steph.

體は光澤ある黄褐、複眼の中央に黒横紋を具へ、前胸には二黒條を縱走す。前翅は遙に尾端

♂



より長し。後翅の末端脈は少く褐色を帶ぶ。體長五分内外(翅端迄)。この種は本邦最も廣く分布せる害蟲にして、目下船中にも夥しく蕃殖せり。毛製の衣服は勿論、動物性の食物に大害あり。

分布—世界共有。

ウスチャハネゴキブリ.....(二五八)

Phyllotromia vilis H. v. Walt.

體は淡黄褐。前胸の兩側は半透明。複眼間に黄白の一紋を裝ふ。翅は長く、尾端を越え、斑紋

は本州及び九州に産すれども稀なり

分布—本州、九州、臺灣。

イヘゴキブリ.....(二六〇)

Zygotyga rhombifolia Stål.

體は黒褐、斑紋は黄色。頭は淡黄、栗色の斑紋あり。觸角は褐色、體よりも稍長し。前胸背は半圓形。前翅は鱗片

♂



狀、栗色。後翅を缺く。脚は淡黄、黒紋を裝ふ。腹部の下面は赤褐、兩側は黒色、各節に一黄紋を具ふ。雄の肛上板は黄色、圓味を帶ぶ、雌にては三角形、黒褐。體長八分内外。これは臺灣にて常に家屋内に棲息し、各種の病原菌を傳播して有害なり。

分布—臺灣、印度、その他南洋諸島。

セグロゴキブリ.....(二六一)

Thegautygera nigripoda Shir.

を缺き、前縁は半透明。腹面は黄色、第一及び

♀



第二腹節に各一個の黒紋を裝ふ。體長四分五厘—五分五厘。これは新社地方に稀ならず。

分布—臺灣(新社)。

クロキゴキブリ.....(二五九)

Pseudoploneris phaniscula Br.

v. Walt.

體は光澤ある黒色、粗大の點刻多し。觸角、兩顎附節并に尾端の角狀突起は黄色乃至淡黄褐。前

♀



縁背は稍々半圓形、前縁は赤褐、中央に點刻を

♀



體は光澤ある黒褐。觸角は暗褐。前頭の横紋、前胸背の周圍、中央の一縱紋、額片、上唇、

前翅、腹部の兩縁、脚及び尾節は淡黄褐。前翅の後縁は少しく暗色を帶ぶ。後翅は甚だ小。腿節に黒褐の縱條を裝ひ、脛節端の黒褐なるものあり。體長二分五厘—四分。これは臺灣恒春地方に稀ならず。

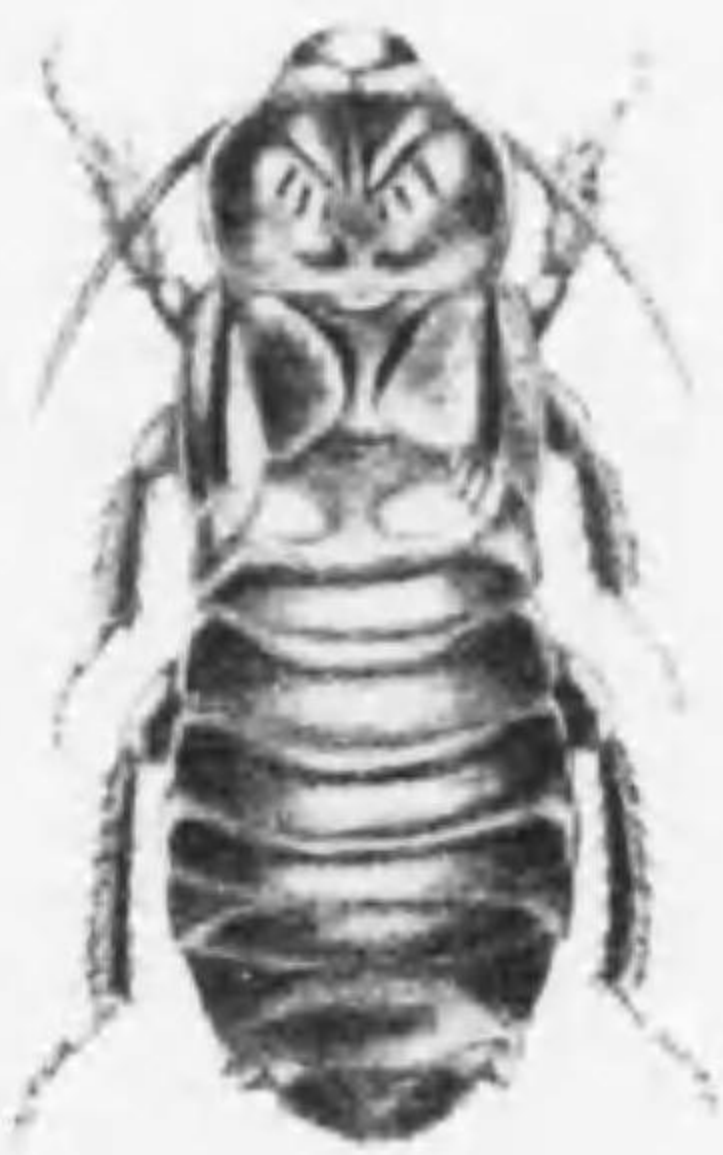
分布—臺灣(恒春)。

タイワンオホゴキブリ.....(二六〇)

Salganea morio Burm.

體は黒色。觸角及び兩顎は褐色。單眼、額片、上唇、脚基節及び脛節の大部は赤褐。頭頂に點刻を缺き、光澤あり。前胸背の中央にV字形の

♀



凹陥を具へ、その前方に横皺と顆粒多し。雌の翅は短かき三角形、前縁に粗大の點刻多し。雄の翅は長く、少しく尾端を越ゆ。尾端には約十二個の小齒を裝ふ。體長一寸—一寸五分。これ

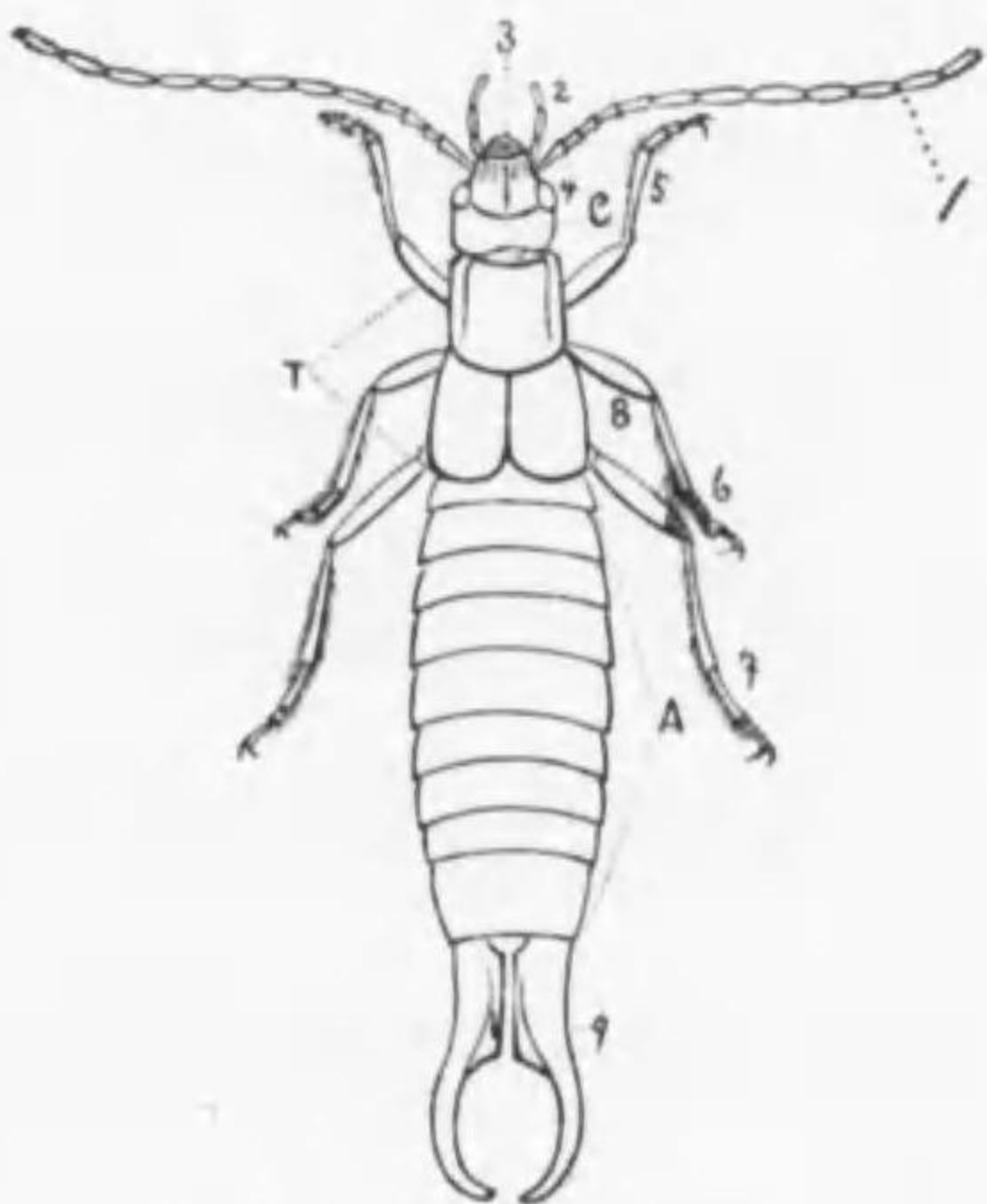
第一四 革 翅 目 DERMAPTERA

第一四 革翅目(疊翅目)

Dermaptera (Euplexoptera)

口は咀嚼に適す。前翅は小、硬化し、翅脈を有せず。後翅は大にして、放線状の翅脈を有し、静止の時はこれを縦横に疊置す。體は扁平、尾端に鉗子状の附屬物あり。變態は不完全。本邦に産するもの一科あり。

クギヌキハサミ ♀



Forticula scudderii Borm.

(A)	(T)	(C)	(9)	(8)	(7)	(6)	(5)	(4)	(3)	(2)	(1)
腹部	胸部	頭部	尾端の鉗子	翅鞘	後肢	中肢	前肢	複眼	額片	小腮	觸角

一 蠼螋科 Forficulidae

觸角は絲狀、十二節乃至三十節より成る。複眼は圓く、單眼を缺く。往々翅を缺くものあり。跗節は三節より成る。産卵管及び發音器を缺く。多くは平たき細長の種類にして、倒木若くは石下に棲息す。小蟲を捕食するを以て農家に有益なり。時々家屋に入り來り、家蠶を食し、養蠶家に有害なることあり。本邦學名を有するもの五十四種あり。

オホマガリハサミ(ムシ)……………(一)

Allochla scabrisula Serv.

體は黒褐にして、幅廣し。頭は胸幅よりも細く、小點刻を密布す。前胸縁は少しく尠られ、其兩端は尖り、後縁は圓味を帯ぶ。翅鞘の刻點は粗大。腹部、鉗子並に脚は暗赤褐。腹部は短大、鉗子は體長よりも長く、基部にて著しく彎曲し、中央よりも少しく先端の内側に一小齒を具ふ。體長四分五分内外。臺灣に産するも稀なり。



♀。翅鞘の

アルマンコブハサミ……………(三)

Anechura harmandi Burr.

頭黄赤色、光澤あり。觸角淡黄。胸背は暗赤褐、兩縁及び翅鞘は黄褐。脚、腹部及び鉗子は光澤ある暗赤褐。腹部の末端兩側に大なる瘤起を裝ふ。鉗子は短大、基部に近く大なる瘤起ありて、これに二小齒を裝ふ。雌の鉗子は短細、先端にて少しく曲る。體長三分五厘内外。本種はコブハサミに酷似するも、鉗子は短大、釘状に曲るを以つて區別せらる。樺太には普通なり。



♀。翅鞘の

ヤマトコブハサミ……………(三)

Anechura japonica Borm.

頭部は赤色、光澤なし。觸角及び脚は黄色。胸背の中央は暗褐、兩縁及び翅鞘は淡黄。腹部及



♀。翅鞘の

び鉗子は暗赤褐、光澤強し。鉗子は長く、腹部より少しく短く、少しく内方に彎曲し、中央より基部に近く内側に一齒を裝ひ、基部の上面に小なる齒状突起を有す。腹部末端の兩側に大なる瘤起を裝ふ。體長四分内外。朝鮮に産するも稀なるが如し。

分布—本邦(？)、朝鮮。

レウキスコブハサミ……………(四)

Anechura lawii Burr.

體は黒褐。觸角褐色。前胸の兩側、脛節、跗節并に翅鞘の大部は黄褐。鉗子は個體により大に



その形を異にし、長くも體の半に達せず、内方に彎曲し、基部に近く二齒あり。體長四分五分。これは好蟲、葉捲蟲その他の小蟲を捕食し、農林業に有益なり。

分布—北海道、本州、四國、九州。

ヒゲジロハサミ.....(五)

Anisobolus marginatus Bohrn

體は赤褐。頭黒褐。觸角十八節より成り、第十五及び第十六の兩節は黄白を呈す。銚子は基部



にて稍々相接し、末端にて相交叉し、内側の基部に二、三個の小齒を裝ふ。體長五分一六分。これは餘り多からず。北海道には産せざるが如し。

分布 本州、四國、九州。

ハマハサミ(ハサミムシ).....(六)

Anisobolus maritimus Borell

體は黒褐。口部、脚及び胸下は黄色。觸角は黄褐、二十四節より成る。前後兩翅を缺く。腹部は後方に至りて膨大し、尾節に至りて細まる、尾節の中央に一縱溝あり。銚子は短く、釘状、その基部の内側は三角形に擴まり、微小齒を並列す。雌の銚子は端直にして、内方に少し

凹陥し、前胸背の中央に縱溝を裝ふ。後翅の露出部は長く、基部及び内側は灰白。腹部は中程にて細く、末端稍々棍棒状を呈し、銚子は内側に小齒を列ぬ。體長四分五厘。これは臺灣に普通なり。

分布 臺灣。

エゾハサミ.....(十)

Eparehus yezoensis Mats. et Shiraki

體は暗褐。上唇、額片、觸角、兩鬚、翅鞘、後翅の露出部、脚及び銚子は黄褐乃至赤褐。翅鞘の肩部、後翅露出部の末端、脛節及び跗節は黄色。觸角の第九、十の兩節は黄白、尾端の末端



に二齒状突起ありて、銚子の如し。銚子は雄にては體より長く、その内側に二、三の小齒を裝ふ。體長五分一六分。これは地方的の昆蟲にして、札幌にては早春その飛行する狀、恰も小蛾の如し。

サイバンククロハサミ.....(八)

Chelsochus morio F.

雌雄共に體は黒褐、光澤あり。觸角は暗赤褐、基部は體色と同色、末端の三節は淡黄。各脛節の末端及び跗節は黄褐。雄の銚子は短大、内方に曲り、中央に三齒を裝ひ、基部のもの最大、中央のもの最小。雌の銚



子は長く、約體長の半に達し、齒を缺く。體長四分内外。これは南洋サイパン島、バラウ島にて内山繁太郎氏の採集せるものなり。

分布 南洋(サイパン、バラウ)、パツプア、東アフリカ。

ドウボソハサミ.....(九)

Diphrys flavicollis Shiraki

體は黒褐、少しく紺色を帯ぶ。觸角(基部を除



き)、兩鬚、前胸背、脚及び銚子は黄色。後頭は

へ、その部分は黒褐、銚子は雄にては基部廣



く、その内方に三角形に膨大せる部分ありて、黒褐、尾節は長く、四角形、末端は截斷狀に終る、雌にては稍々相平行し、内側に微小齒を列ぬ。體長四分一六分。これは札幌地方に普通なり。

分布 北海道、本州。

アカツハサミ.....(十三)

Forficula ruficeps Shiraki

體は栗色。觸角の基部、兩鬚、前胸、前後の兩翅及び脚は黄褐。翅鞘の後縁(内側)は暗褐。腹



部は全長に互りて稍々同幅、尾端に半圓形の二突起あり、尾節は三角形。雄にては銚子は體より少しく短、その基部にて三角形に膨大し、末端にて相交又す。體長四分一五分。これは臺灣に稀ならず。甘蔗園にありて小蟲を捕食するものの如し。

分布 臺灣。

クギヌキハサミ *Forficula senhalei* Horn. (一四)

體は赤褐乃至黒褐。頭は黄褐。前胸の兩側は黄色。翅は短、體長の三分の一に達せず。後翅を缺く。銚子は時に體長の半に達し、基部の三分の一は廣く、その内側に小齒を列ね、末端の三分の二は弓狀に曲り、稍々釘状を呈す、故にこの名あり。體長六分九分五厘。これは多く家屋内にありて、小蟲を捕食し、時に養蠶家に有害なり。



分布 北海道、本州、朝鮮。

オホハサミ *Talidura japonica* Ish. (一五)

體は褐色。口部、觸角、胸下及び脚は黄色。翅の接合部は赤黄。腹部及び尾端に於ける銚子は黄褐。雄の銚子には小齒を排列し、其中央に



あるものは大なり。腿節の末端には褐色紋を裝ふ。體長八分内外。これは普通種にして、野外にありては有益なれども、屋内に入り來りて蠶兒を食するを以て有害なり。

分布 北海道、本州、朝鮮。

キアシブトハサミ *Talidura riparia* Pall. (一六)



圓錐形をなして尖小す。雌にては銚子は赤褐、内側に小齒を列ぬ。體長(雄)六分九分、(雌)五分。これは札幌近傍の樹上に捕獲し得べしと雖も多からず。

分布 北海道。

スチハサミ *Proreus simulans* Zhal. (一七)

體は赤褐乃至暗褐。上唇、額片、兩鬚前胸の兩側、翅鞘(兩側を除き)、後翅の露出部、胸片及



び脚は黄色。雄にては尾端に齒狀の四突起を横列し、尾節は短、稍々四角形。銚子は雄にては内側に多數の小齒を列ね、雌にては更にその中程に一大齒を裝ひ、銚子の末端は弓狀に彎曲

頭黄色、少しく赤味を帯ぶ。觸角及び脚は淡黄。胸、翅鞘及び腹部は黄褐、暗褐色を散在す。翅鞘の中央は赤色。銚子は短大、中央に齒狀の一齒を具へ、光澤ある黄褐。體長五分内外。臺灣及び沖繩に産するも多からざるが如し。

ニイタカハサミ *Mesolaba nitakensis* Shiraki (一七)

體は淡黄褐、金色の短毛多し。複眼の中間に三凹陥あり。後頭及び前胸背に暗色紋を散在す。



前翅に點刻を粗布す。第五腹節最も廣く、尾端は圓錐形をなして細小、末端に二突起あり。銚子は腹部より短、基部太く、末端は相交又す。體長四分。これは故川上瀧彌氏の新高山にて捕

す。體長四分六分。これは臺灣に普通なり。分布 沖繩、臺灣、支那、比島、印度。

マガリハサミ *Tayonia palli* Shiraki (一八)

體は栗色。頭(額片及び上唇を除き)、前胸背及び翅鞘の兩側、脚及び銚子は淡黄褐。觸角の第十節は黄白、その次節の淡色なるものあり。腹



部は基部にて溢れ、末端は棍棒狀を呈し、尾節に尖銳の小突起あり。銚子は雄にては基部にて甚だしく上方に曲り、上より見る時は稍々心臟形に近く、一個の大齒と多數の小齒を裝ふ。體長四分五厘。これは臺灣北埔にて捕獲せられたるが稀なるが如し。

獲せる珍種なり。分布 臺灣(新高)。

ココロハサミ *Xenogaster hawaii* Horn. (一八)

體は黒色、光澤なし。觸角、兩鬚及び口部は黒褐。腹部の末端及び銚子の基部は赤褐。雄の銚子は體長と同長か又は少しく長し、中央に一小



齒を具へ、先端にて相交又す。本種は次種に酷似すれども、銚子の中間に突出する附屬物の先端は尖りて、長く突出せることに依り、又體長の大きなるに依り區別せらる。體長一寸一分内外。北海道に産するも餘り多からざるが如し。分布 北海道、本州。

クロハサミ *Xenogaster nigritus* Shiraki (一九)

體は黒色。觸角及び兩鬚は黒褐。附節及び銚子の基部は赤褐。銚子は雄にては體長より長く、末端にて相交又し、中央には稍々大なる一齒を裝ひ、基部にある齒列は小なり。尾節の末端は

分布—臺灣(北埔)。

キガシラハサミ……………(三)

Timomenes flavocapitata Shiraki

體は黒褐。頭(額片を除き)は黄白。前胸背は黒色、兩側は少しく黄白を帯ぶ。前翅并に後翅の露出部は少しく點刻を具へ、露出部末端の内角



♂

に黄白の一紋あり。尾端は光澤を帯び、少しく緑色を反射す、尾節は小、末端は圓形。銚子は雄にては體より短、栗色、基部に上向せる鋭齒を有す。脛節の末端及び跗節は黄白。體長七分。これは臺灣に産すれどもその數多からず。

分布—臺灣(埔里)。

キホシハサミ……………(三)

Timomenes flavoguttatus Shiraki

體は黒褐、少しく綠色を帯ぶ。觸角は短、短毛を裝ふ。大腿及び兩鬚は淡黄褐。前胸背の兩側

♀



は灰白、中央に彎曲せる溝を具へ、その後半に横皺を裝ふ。翅鞘及び後翅の露出部は暗褐、後者に黄色紋あり。尾端の一部は膨大す。銚子は腹部より短、黄褐、内側に微小齒を裝ふ。體長四分五厘。これは臺灣に産すれども稀なり。

分布—臺灣(埔里)。

モモクロハサミ……………(四)

Timomenes komarovi Shin.

體は黒褐。觸角(基部の三節を除き)、前胸背の兩側、後翅の露出部、脛節及び跗節は黄褐。前胸背の中央に半圓形の溝を具へ、後部に淺き横

♂



皺を裝ふ。銚子は雄にてはその末端甚だしく彎曲し、基部及び中央に各一齒を具へ、前者は斜

に上向す。雌にては端直にして、齒を缺く。體長五分—六分五厘。これは臺灣に産すれども稀なり。

分布—臺灣、朝鮮。

ヤツコブハサミ……………(三五)

Timomenes toloensis Shiraki

體黒褐乃至暗赤褐。翅鞘赤褐、中央は黒褐。觸角赤褐、基部は少しく扁平。雄



♂

體長に等しく、中央に大なる一齒を具へ、それより先端は釘拔狀に曲る。第二、三、四及び五腹節の兩側に各一瘤起を裝ふ。體長四分内外。これは臺灣に産するも餘り多からず。

分布—臺灣。

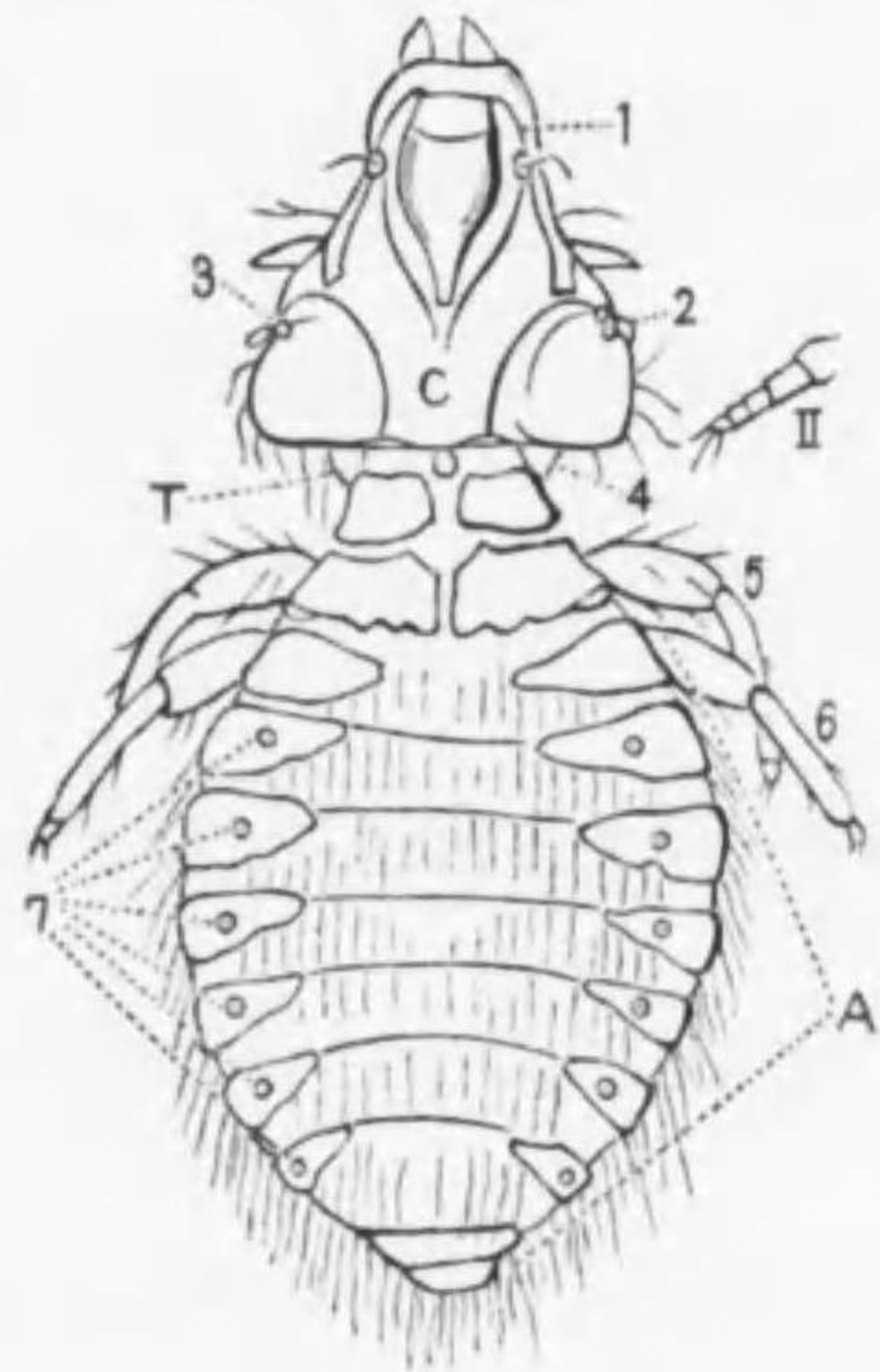
第一五 食毛目 MALLOPHAGA

第一五 食毛目

Mallophaga

頭は大、自在に動き、前胸に對して水平に置かる。複眼を缺くものあり、單眼を缺く。觸角は三節乃至五節より成り、時に甚だ小にして、頭側溝内に隠るるものあり。口は咀嚼に適す。前胸は自在に動き、中後兩胸は癒着す。翅を缺く。體は扁平。何れも鳥獸に寄生し、軟毛を食ひ、同時に血液を吸收す。本邦に産するもの三科あり。

タカナガハジラミ



Docophorus asturi Mats.

- (1) 大臑(透明前頭下に見ゆるもの)
- (2) 觸角
- (3) 單眼
- (4) 前肢
- (5) 中肢
- (6) 後肢
- (7) 氣門
- (A) 腹部
- (B) 胸部
- (C) 頭部
- (T) 觸角
- (II) 觸角

一 獸蝨科 Trichodectidae

觸角は棘狀にして、三節より成る。各跗節に一個の爪を有す。雌は腹部末端の前節に二個の動き得べき鉤狀の附屬物を有す。本邦固有のものは未だ研究せられ居らず、今日迄知れあるものは何れも世界共有種なり。

イヌケモノジラミ

Trichodectes canis Deg.

頭は黄色、前方は截斷狀をなし、稍々四角形を呈す。觸角に近く二個の褐紋を裝ふ。胸部は暗

♀



黄。腹部は灰白。體長三厘一六厘。これは犬に

第一五 食毛目

寄生する普通種なるが、多くはその頭頸に住す。

分布 世界共有。

シカケモノジラミ

Trichodectes longicornis Nitzsch

體は黄色、長形。頭は前方にて圓く、後頭は稍々四角形を呈す。觸角は長く、第二節は第三節より長し。胸部細長。脚は長く、脛節は稍々圓柱形、跗節の距は長し、爪は稍々端直。腹部は長く、黄色、暗褐の帶狀紋を列ぬ。體長六厘内外。これは鹿の頭に寄生する普通種なり。

♀

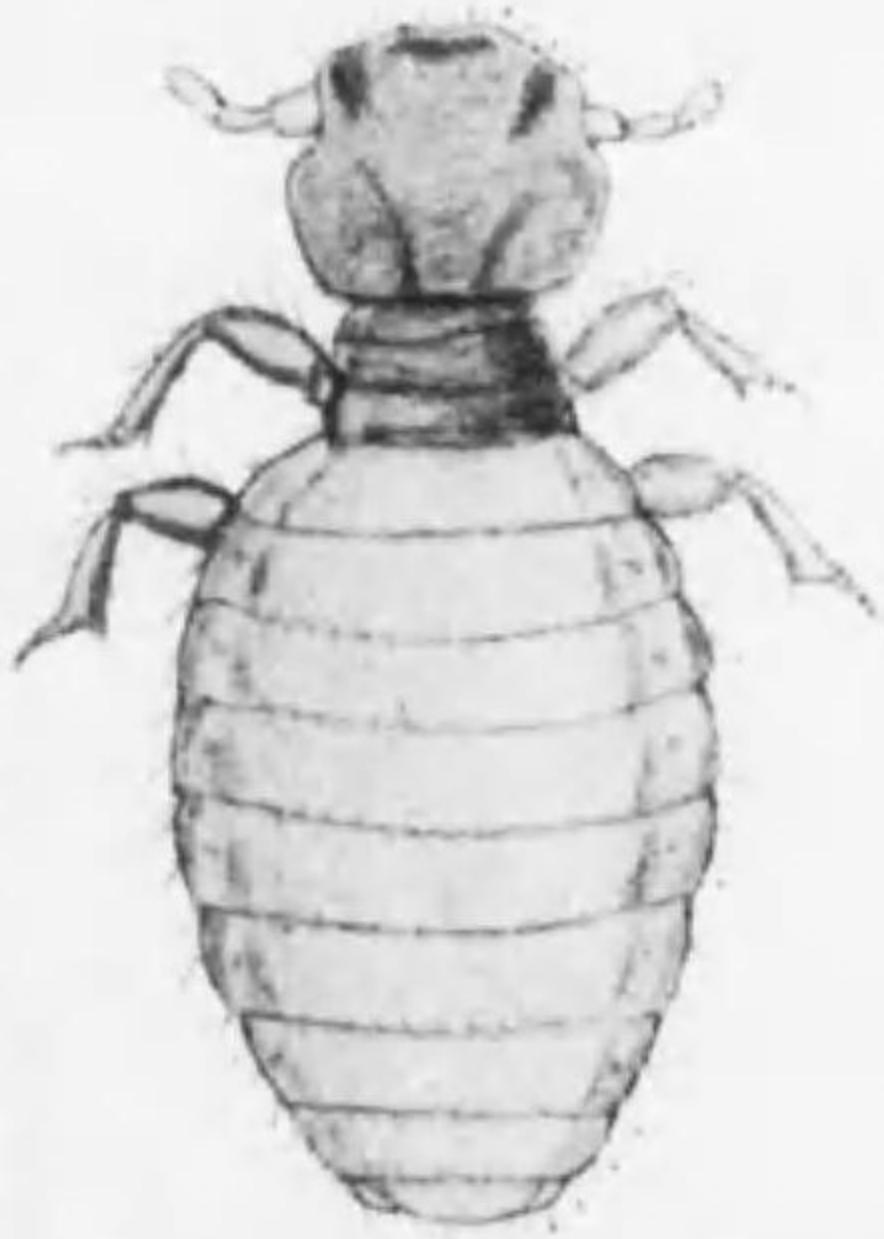


分布 世界共有。

クマケモノジラミ

Trichodectes pinguis Nitzsch

♀



體は淡灰白、幅長し。頭は黄色、稍々圓形、觸角の前後に暗褐の一紋を具へ、後頭縁も褐色。觸角節は同長。腹部は卵形、斑紋を缺く。成熟したるものには、胸部褐色を呈するも、若きものには頭部と同色。體長五厘。これは熊の頭頸に寄生す。動物園の熊には普通なり。

分布 世界共有。

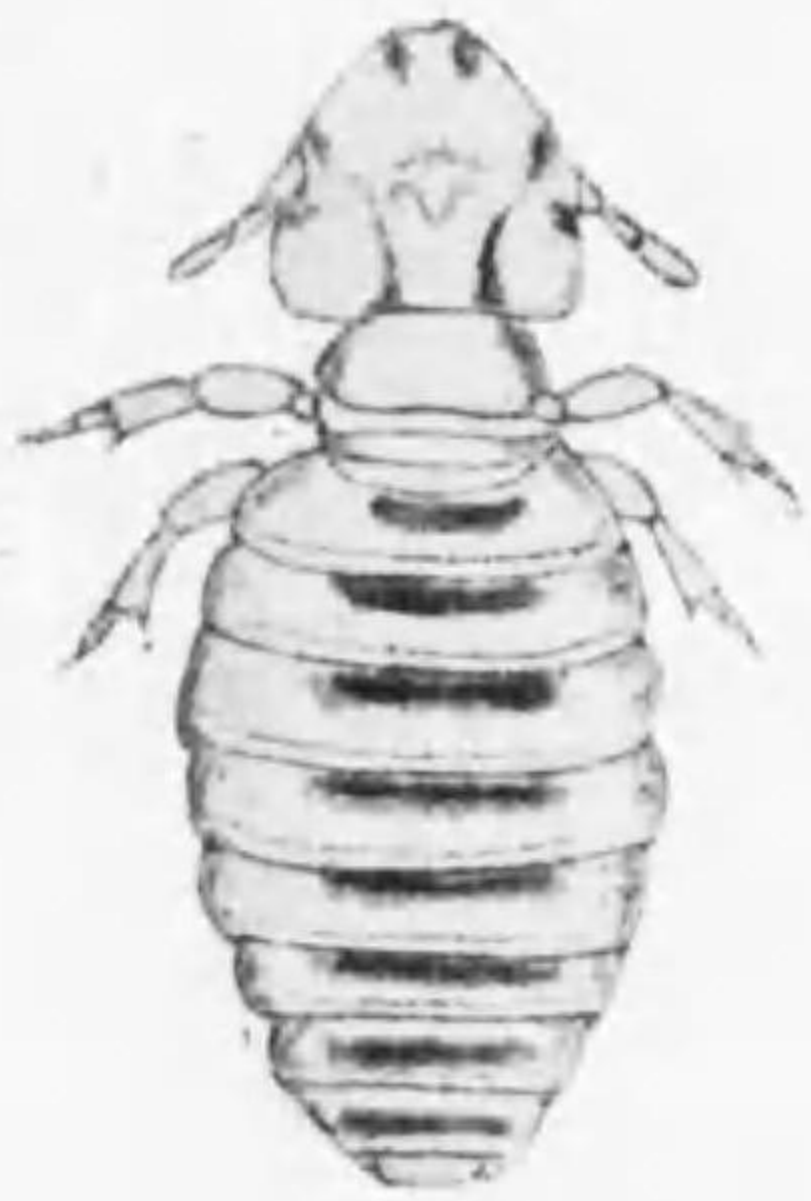
ウシケモノジラミ

Trichodectes scularis Nitzsch

一三九一

體は淡褐色。頭は稍々心臟形を呈す。觸角の第三節は第二節よりも長し。前後の兩胸環は中胸よりも狭し、脚は短。腹部は稍々卵形、各節に一暗色帯あり。體長五厘。これは牛の頭に寄生す。

♀



す。何れの地方にも普通なり。
分布—世界共有。

ネコケモノジラミ……………(五)

Trichodectes anurostratus Nitzsch

體は黄色。長形。頭部稍々五角形、前頭は四角形。觸角絲狀。胸部長く、後胸環は幅廣し。腹部長卵形、各節の帶狀紋は暗黄色。體長二厘半。これは猫に寄生するも、餘り多からざるが

二 長羽蝨科 Philopteridae

觸角は絲狀にして、五節より成り、時に雄に限り鈍子狀に分離せるものあり、又その前方に動き得べき槍狀突起を有するものあり。小腮鬚を缺く。各跗節に一双の爪を有す。多くは鳥に寄生す。本邦學名を有するもの數十種あるも多くは世界共有の種類なり。

ワシナガハジラミ……………(六)

Colpocephalum flavescens Nitzsch

體は黄色、斑紋は暗黄。頭は眼の處にて細く凹陥し、頬は廣し。觸角の末端節は卵形。前胸は



幅廣く、兩側は鋭角をなして突出す、後胸は稍々三角形。腹部卵形、各節の兩側は列られ、兩側紋及び帯は暗黄。體長二厘半内外。これは鶯、

鶯、喜望の他猛禽類に寄生す。

分布—世界共有。

カモメナガハジラミ……………(七)

Docophorus melanocephalus Burm.

體は暗色。頭は廣く、額片の前方は圓く、後頭縁は凹陥す。第一觸角節は第五節より長し。前胸は廣底四角形、後胸は五角形、後縁は淡色。

♀



腹部は黄色、兩側縁は黒色、稍々三角形を呈し、各後縁は淡色。脚は割合に短かく且つ細し。體長二厘内外。これはカモメ、アジサシ等に寄生す。

分布—世界共有。

マルナガハジラミ……………(八)

第一五食毛目

♀



如し。
分布—世界共有。

Goniocotes alborotatus Prugel

同屬中異狀なる大形種なり。體黄色、體縁及び斑紋は黒褐。頭は比較的小、稍々楕圓形。觸角



は第一節太く、第二節は著しく長く、第三、四、五節は短小。前胸側には各一本、後胸側には各二本の長毛あり。腹部は大、卵形、各節の兩側には黒縁を有する斑紋を具へ、三、四本の剛毛あり。體長七厘。これは鶉に寄生す。

分布—世界共有。

オホナガハジラミ……………(九)

Goniocotes grigus Hb.



小なる突起あり、雌の觸角は極めて小、第二節最大。兩側は雌にては著しく突出し、一本の棘と二本の長毛あり、雄にては一本の棘刺と三本の長毛とあり。體長八厘五毛内外。ニハトリ、ヤマドリ、コウライキジ等に寄生す。



體は黄褐、體縁及び斑紋は赤褐。前頭は大、半圓形、其縁に十二個の短毛あり。觸角は雄にては雌の二倍の長さを有し、第一節最大、第三節に

カクアゴナガハジラミ……………(10)

Goniocotes dissimilis Nitzsch

大形種にして、體は黄褐色、體縁及び斑紋は褐色。前頭半圓形、後頭の兩側に各三本の長毛あり。觸角は雌雄共短小。腹部は稍々卵形、各節に二本の長毛あり。體長(雄)一分二厘内外。鶉に普通なり。

分布—世界共有。

分布 世界共有。

ハラビロナガハジラミ……………(一)

Tomiodes lativentris Uchida (♀)

體は淡黄、體縁及び斑紋は淡褐。頭は比較的細長く、稍々四角形。觸角は雌にては異状を呈し、雄にては第一節短太、第二、三節長くして略同



長、但し第三節は少しく彎曲す、第四五節極めて小、第三節の附屬物の觀あり。前胸は梯形、各側に一長毛あり、後胸の各側に四本の剛毛を裝ふ。腹部は小判形。體長三厘内外。これはキジバトに寄生す。

分布 臺灣。

ツノナガハジラミ……………(二)

體の幅は割合に廣く、淡黄、體縁及び斑紋は黒褐。頭は大、圓味ある三角形、前頭は長く、十二本の短毛を裝ひ、その内二本は長し。雄の觸角は第一節長大、第二節これに次ぎ、第三節には濃色の一附屬物を具へ、第四、五節は極めて小、雌にては短く、絲狀、第二節最長、前胸は後胸より幅細きも稍々同長、後胸には兩側に二個の淡色紋あり。腹部は雌にては太く、雄にては細し。體長六厘半内外。鶏、雉等に寄生す。

分布 世界共有。

アヒルナガハジラミ……………(一五)

Lipeurus squulidus Nitzsch

體は細長、淡黄、體縁に斑紋は暗色。頭部は稍々長き三角形、前頭には六毛あり。觸角は雄にては第一節長大、圓筒狀、雌にては絲狀、短小、



第一五 食毛目

Tomiodes stylifer Nitzsch

體は長形、暗褐、斑紋は赤褐。頭は四角形。觸角は雄にては長く、紡錘形。前胸は梯形、後胸の兩側は突出す。脚は大なり。腹部は長く、兩側は稍々鋸齒狀をなして淺く刻られ、雌にては尾端に二突起を裝ひ、各節に暗色の細き二紋あり。體長一分内外。これは七面鳥に寄生す。



分布 世界共有。

ハトナガハジラミ……………(一三)

Lipeurus laevis Nitzsch

家禽の羽蝨中最も細長なるものにして、體は黄褐、體縁及び斑紋は暗褐色。頭は長三角形、前頭

第二最大。前胸は最小、圓味ある四角形、後胸は四邊形、大形。腹部は長く、第四節最も幅廣し。體長五厘内外。これは家鴨に寄生す。

分布 世界共有。

カラスナガハジラミ……………(一六)

Xiramus uncinatus Nitzsch

體は黄白。頭は半圓形。觸角に黒輪あり。前胸は稍々梯子形、周囲は黒色、兩側に各一剛毛あり、後胸は六角形、兩側角に黒紋を具へ、六本の剛毛を裝ふ。脚は割合に細く、爪は長し。雄にては腹部甚だ廣し。體長二厘内外。これは鳥に寄生す、殊にワタリガラスに多し。



り、後胸は六角形、兩側角に黒紋を具へ、六本の剛毛を裝ふ。脚は割合に細く、爪は長し。雄にては腹部甚だ廣し。體長二厘内外。これは鳥に寄生す、殊にワタリガラスに多し。

に二個の小突起と四本の小毛あり。觸角は長大、雄にては第一節は大、第三節の側面に一附屬物あり。雌にては附屬物を缺き、第二節は著しく長し。胸部は四角形、後胸は前胸の二倍長以上ありて、後角には三本の長毛を裝ふ。腹部は長し。體長五厘内外。これは鳩に寄生す。

分布 世界共有。

ハビロナガハジラミ……………(一四)

Lipeurus heterographus Nitzsch



分布 世界共有。

三 羽蝨科 Ixothoidae

觸角は隠れて見え、四節より成る。大腿は水平に動き得べし。小腿は普通四節より成る。本科のものは多く鳥に寄生す。本邦學名を有するもの數十種あるも、元來鳥の大部は世界共有の渡鳥なるを以て、隨つて世界共有種多し。

オホニハトリハジラミ……………(一七)

Menopon biserratum Place

體は黄色、長毛を密生す。頭は三角形、六七本の長短不同毛を裝ふ。眼の部分の縁は凹陷し、四角形の黒斑を裝ふ。觸角の末端のみ頭縁外に現



る。前胸は菱狀形、其後縁に十五、六本の長毛を并列す、後胸は三角形、腹部は長き紡錘狀を呈し、第四節最も幅廣く、各節共二列をなして多数の長毛あり。體長(雌)七厘八毛。これは鴉に

寄生す。

分布—世界共有。

ニハトリハジラミ……………(一八)

Menopon pallidum Nitzsch

體は淡黄。頭部には黒褐の斑紋ありて、前頭に二紋、眼に近く一紋、後頭に二紋あり。前頭は略半圓形、其側縁に十本の短毛、二本の長毛を



裝ふ、眼の部分及び後縁は少しく凹陷して黒し、後者には六本の剛毛あり。前胸は盃狀、七本の長毛あり。後胸及腹部は相合して長卵形。後胸の側縁には短大の二棘狀突起を裝ひ、後角及び後縁には數本の長毛あり。各腹節の後縁には多数の剛毛を列生す。體長(雌)五厘内外。これは腹部に一系列の剛毛を裝ふを以て前種と區別せらる。同じく鴉に寄生す。

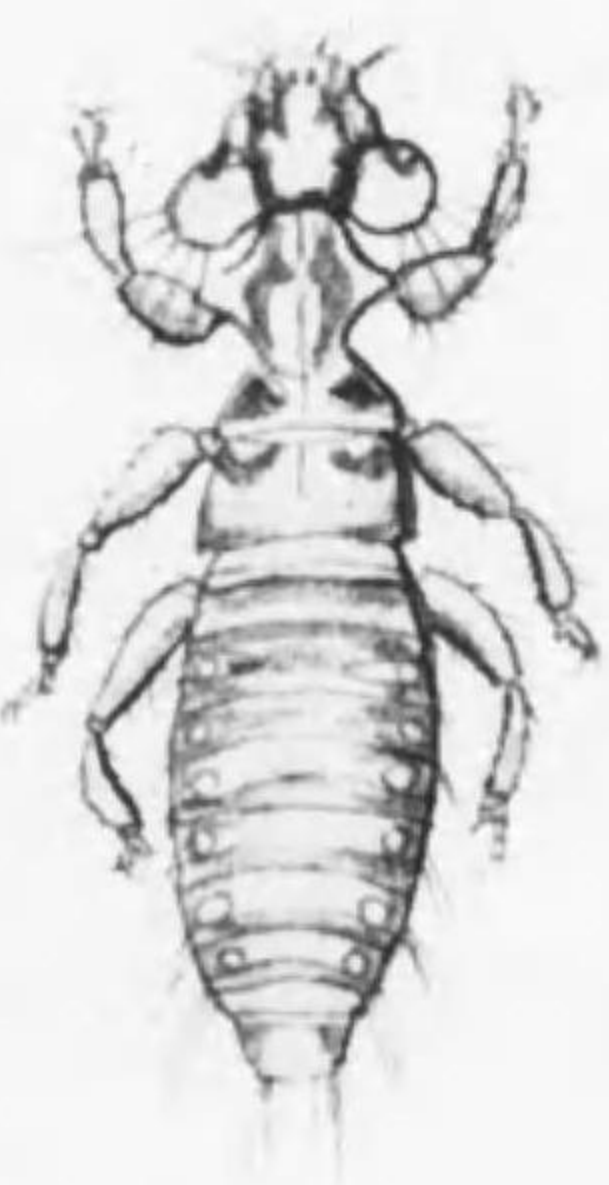
分布—世界共有。

カモハジラミ……………(一九)

Trinoton luridum Nitzsch

體強大、黄色、體縁及び斑紋は黒褐、頭に長毛を裝ふ。頭は略三角形、眼の前部少しく凹陷し、數本の長毛あり、眼の附近には短き櫛齒狀毛あ

♀



り。前胸は長く、側縁は突出し、四本の長毛あり、後胸は大、廣底四角形、後縁は幅廣し。腹部は稍々長く、第四節の幅廣く、各節には暗褐色の廣帯を有す。體長六厘内外。これは鴨に寄生する普通種なり。

分布—世界共有。

ツグミハジラミ……………(二〇)

Physosomn mystax Nitzsch

體は長楕圓形、灰黄白。頭は前方細まり、前縁

に短毛の一系列あり、後頭は黒色。觸角の後方に黒眼點あり。腿節は紡錘狀、脛節は棍棒狀、脛

♂



節の末端に齒狀突起を具へ、跗節は太し。腹部は後方に至るに隨ひ次第に太く、後端は圓し。これはツグミ、ヒハ、ケラ等に發見せらる。

分布—世界共有。

第一六 茶 挂 日 PSOCOPTERA

第一六 茶柱目 *Psocoptera*

(嚙蟲目 *Corrodentia*)

口は咀嚼に適す。翅は膜質、前翅は後翅より遙に大、脈は隆起し、横脈は小數、静止の時は翅を屋斜狀に置く。變態は不完全。本邦に産するもの二科あり。

附言—本目を數科に分類する學者あるも著者は便宜上左の二科としてこれを取り扱へり。



Psocus kurokianus Enderl.

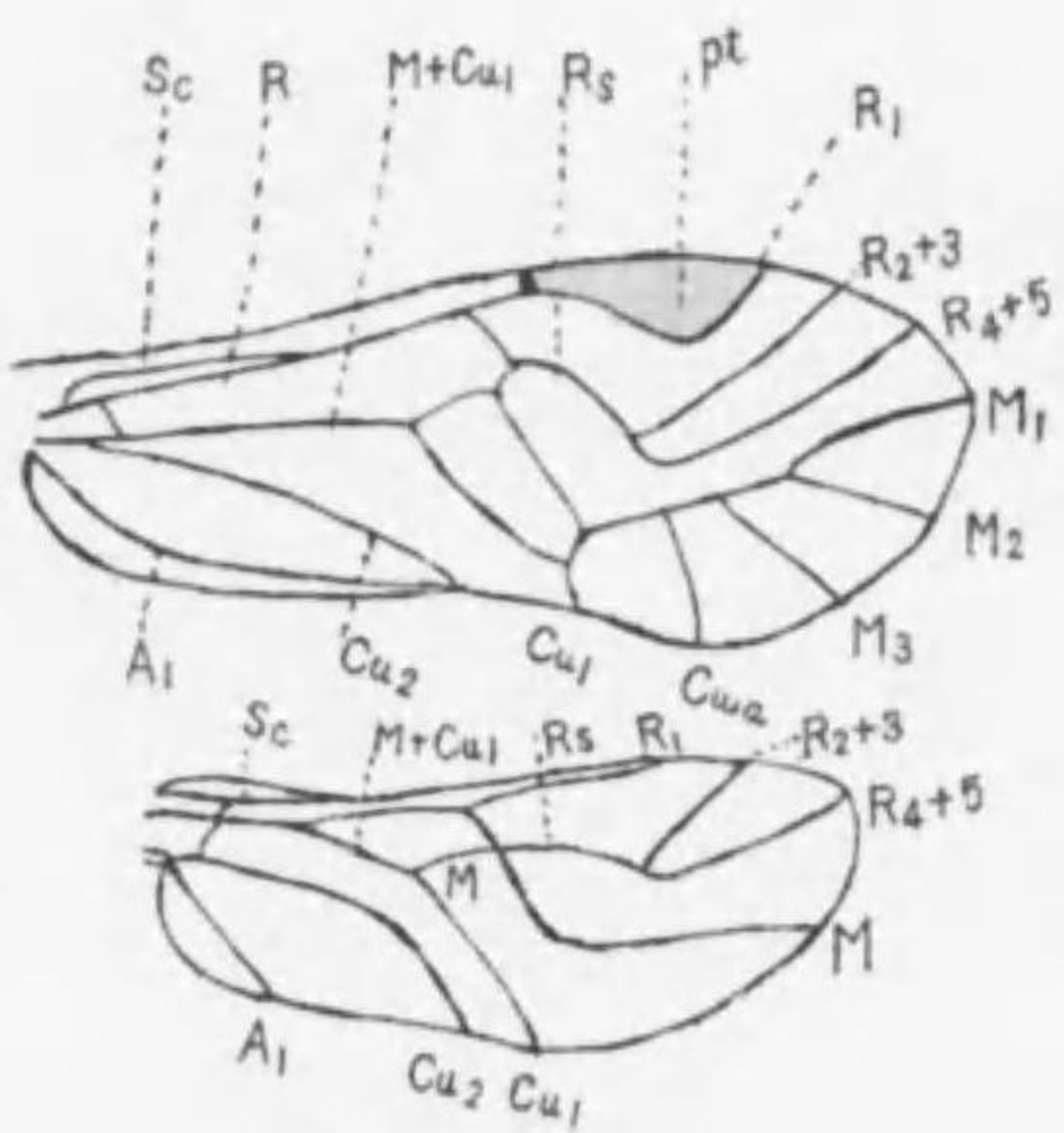
(h)	(d)	(b)	P	(6)	(3)	C
臀脈	中脈	副前縁脈	前翅	後翅	單眼	頭部
(f)	(g)	(c)	後翅	胸部	(4)	(1)
中室	肘脈	徑脈	前縁脈	(A)	(5)	觸角
		(a)	腹部			複眼

(著者原圖)

マタラチヤタテ(ムシ)

一 茶柱蟲科 *Psocidae*

體は短、頭は稍々三角形を呈し、額は普通膨大す。觸角は長く、多節より成る。三個の單眼を裝ふ。大腮は強靱。小腮は四節より成る。下唇鬚は退化す。跗節に二節あり。この種類は多く大腮を以て他物を掻き發音す、その音は恰も茶を柱るが如きを以てこの名あり、又アヅキアライ若くはアブラムシモドキともいふ。本邦學名を有するもの數十種あり。農作物に關係なし。



第一六 茶柱目

茶柱蟲 (*Psocidae*) の翅脈

(A ₁)	Cu ₁	M ₁	(M)	R ₁	(Pt)	(Rs)	(M+Cu ₁)	(R)	(Sc)
第一臀脈	第一肘脈	第一中脈	第三中脈	第一徑分脈	第五徑分脈	縁紋	中脈と肘脈と相合せるもの	徑分脈	副前縁脈

イチジクチャタテ

Amphigerontia bicolorata Okuni.

頭部は淡赤褐、複眼小形、黒褐、後頭は中央の縦溝によりて分たる。前胸背は穹狀、淡赤褐、中胸の後縁及び後端は光澤ある黒色。觸角は黒色、基節の三節は赤褐、微毛を密生す。前翅は透明、顯著なる暗色紋ありて、前後及び翅端のもの濃色。後翅は透明。各脛節端は黒色。體長

♂



(雄)八厘。開張三分三厘。これはタイワシマツにて捕獲せるも餘り多からず。
分布—臺灣。

ヨツモンホソチヤタテ

Graphopsocus eruciatius L.



頭部は黄褐。複眼黒色。觸角は暗褐、前翅より短かく、微細毛を密生す。翅大形、翅底に近く四個の暗褐紋あるを特徴とす。腹部は細小、淡黄褐。脚黄褐、跗節と爪は黒色、何れも能く發達す。體長(雌)五厘。

開張一分三厘。闊葉樹に少なからず。
分布—北海道、歐洲。

ホソヒゲチャタテ

一四〇一

Kolumanus brevicornis Okam.



體は黒褐、頭は赤褐、複眼及び上唇は黒色。觸角は前翅より少しく短かく、暗褐、基部の三節は黄褐、胸部には淡黄褐色の軟毛を密生し、複眼にも微毛あり。前翅は淡褐、斑紋は暗褐色、雲状を呈す、縁紋は暗褐、粗毛多し、基半部は透明、脈は暗褐。脚は發達す。體長(雌)八厘。開張二分二厘。七月中旬臺南に稀ならず。
分布 臺灣。



オホホソヒゲ
チヤタテ……………(四)
Kolumanus fulosus
Okam.

前種に酷似するも、その異なる

ハグルマチヤタテ……………(五)
Musumurella rufopicta Kiehl.



頭は長粗毛あり。觸角は黄褐。眼及び前胸背は光澤ある黒褐、粗毛あり。腹部は淡黄褐、尾端黒色を帯ぶ。翅は透明、灰色を帯び、光線により赤色又は緑色を現はす、前翅には放射状の暗色紋を有し翅底の前縁には粗毛を並列す、縁紋は透明、基部の三分の一は褐色、脈は濃褐、二列の剛毛あり。脚は淡黄褐、第一跗節暗色、爪黒色、末端黄

カパイロチヤタテ……………(六)
Psoeus meliosus Steph.



頭黒褐。複眼褐色。觸角は黒色、基部の三節赤褐、其長さ前翅の約二倍長あり。前胸黒褐。前後の兩肢は發達し、跗節は黒色。前翅は大形、淡褐、半透明、圓の如き黒褐紋あり、縁紋は三角形を呈す。後翅は無紋、少しく黒褐の曇りあり。體長(雌)一分三厘。開張四分六厘。七月乃至九月普通なり。
分布 北海道、本州、歐洲、印度、淡洲。

ムツテンチヤタテ……………(七)
Psoeus zeynepellus Enderl.

頭は淡黄、小形、眼は大、其内側に黒褐點あり

オホチヤタテ……………(十)
Psoeus grandis Okam.



頭は暗褐、赤紋を呈す。小腮鬚の二末端節及び上唇黒色。觸角は黒色、前翅と約同長、基部の三節は黄褐色、前胸背は黒褐、心臟形を呈し、中胸は小形、枝状部は黒褐。腹部は黒褐。翅は透明、褐色を帯び、縁紋は暗褐、基部の三分の一は黄褐、黄白の部分あり。脚は淡褐、腿節は暗色、跗節及び爪は暗褐、爪の末端は淡色。體長(雌)二分二厘。開張五分内外。これは札幌地方に少なからず。
分布 北海道。

ヘウホンチヤタテ……………(十一)
Pterolela pectinaria T.

體は褐色若くは暗褐色。頭の淡色なるもの多し。觸角基部の二節は太く、卵形を呈し、鞭節には細毛多し。翅は透明、縁紋灰白、半透明、脈



黒褐の六紋あり、縁紋は透明、末端の三分の一は暗褐(前縁の外半に互り)。後翅は透明。脚は黄褐、各節の末端は暗褐。體長(雌)一分一厘。開張二分九厘。札幌地方に産するも少なし。
分布 北海道、歐洲。

タテヲカチヤタテ(セグロチヤタテ)……………(八)
Psoeus tateokanans Okam.



頭は黄褐、頭頂圓く、眼は黒色。觸角は前翅より短かし。前翅前縁の中央に

リンゴチヤタテ……………(九)
Psoeus mali Okam.



小雲紋を有す。前胸背には暗色の三隆起ありて頗る顯著なり。腹部黒色。脚は淡黄褐、長く、後肢は腹部の二倍長あり、脛節には細毛を密生す。體長六厘半。開張二分。八月上旬中國地方に稀ならず。
分布 本州。

♀



は褐色、縁紋及び第二
肘脈の基部に各一黒點
あり、第一後縁室は楕
圓形を呈す。體長四厘
内外。開張一分五厘内
外。これは室内に普通
なる種類にして、新し

き蟻、柱、壁板等に群生することあり。幼蟲は
灰白にして、粉蟲に酷似するも、尾節に黒紋を
缺くを以て容易に區別し得べし。
分布 世界共有。

二 粉茶柱科 Troctidae

前科と異なる所は翅と單眼とを缺き、跗節は三
節、爪に齒を具へ、中後の兩胸環は癒着し、小
肥蠟の末端節は延長して卵形を呈するにあり。
本邦に産するもの二三種あるも、學名を有する
ものは左の一種なり。

コナチヤタテ(粉蟲)……………(一二)

Troctes divinatorius Mill.

體は淡灰白、光澤を放つ。前頭及び口部は少し

♀



く赤味を帯
ぶ。複眼は
黒色。觸角
は體と稍々
同長、基部

の二節は太し。後腿節は甚だしく肥大し、跳
躍に適す、跗節は細く、爪の末端に近く一小齒
を裝ふ。腹部は稍々平たく、尾節に一黒紋を具
へ、尾端は圓く、十數本の剛毛あり。體長四
厘内外。これは室内にありて机上にて發見せら
るる普通種なるも、微小なるが爲め人の注意を
惹かず。

分布 世界共有。

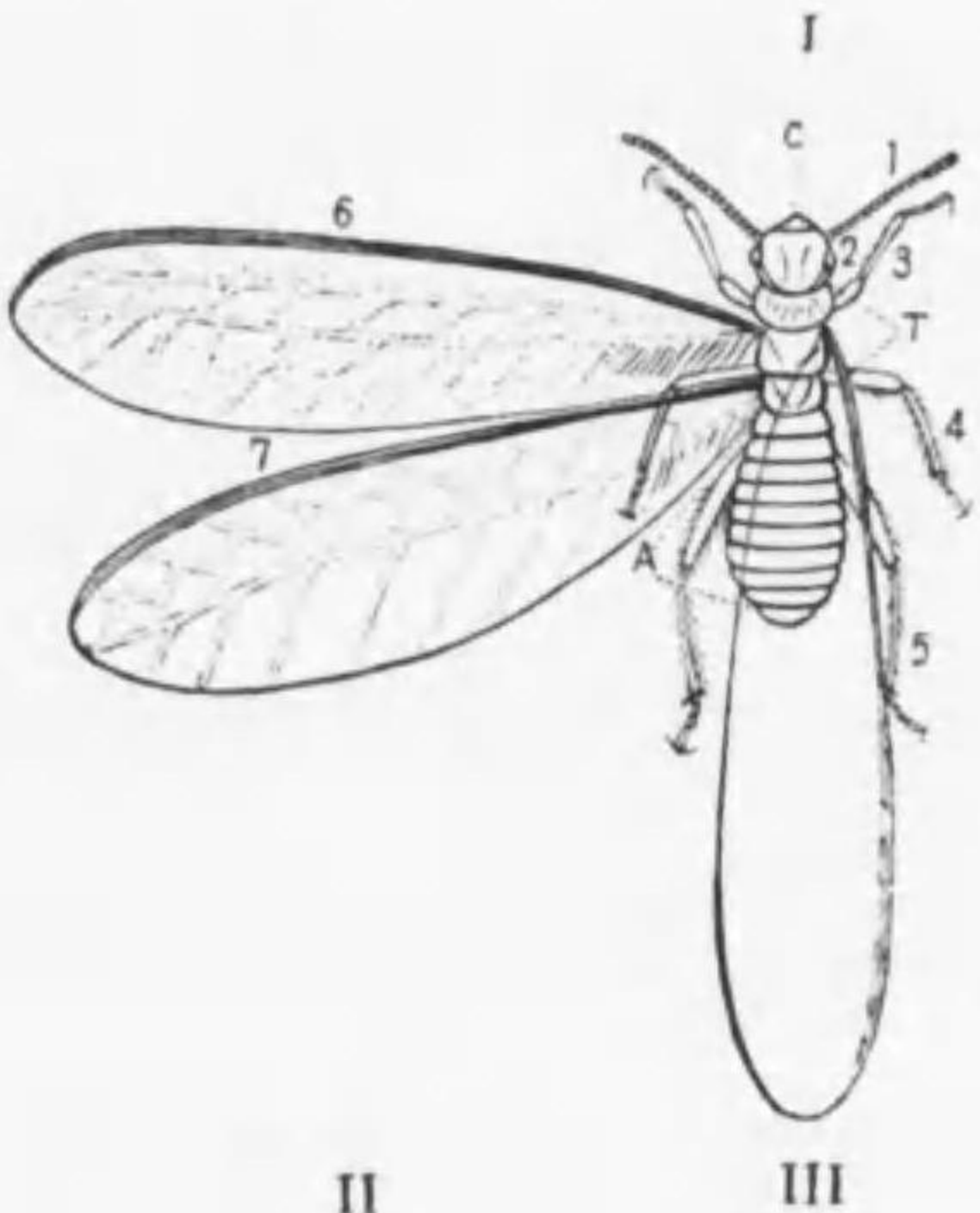
第一七 白蟻目 ISOPTERA

第一七 白蟻目 (等翅目)

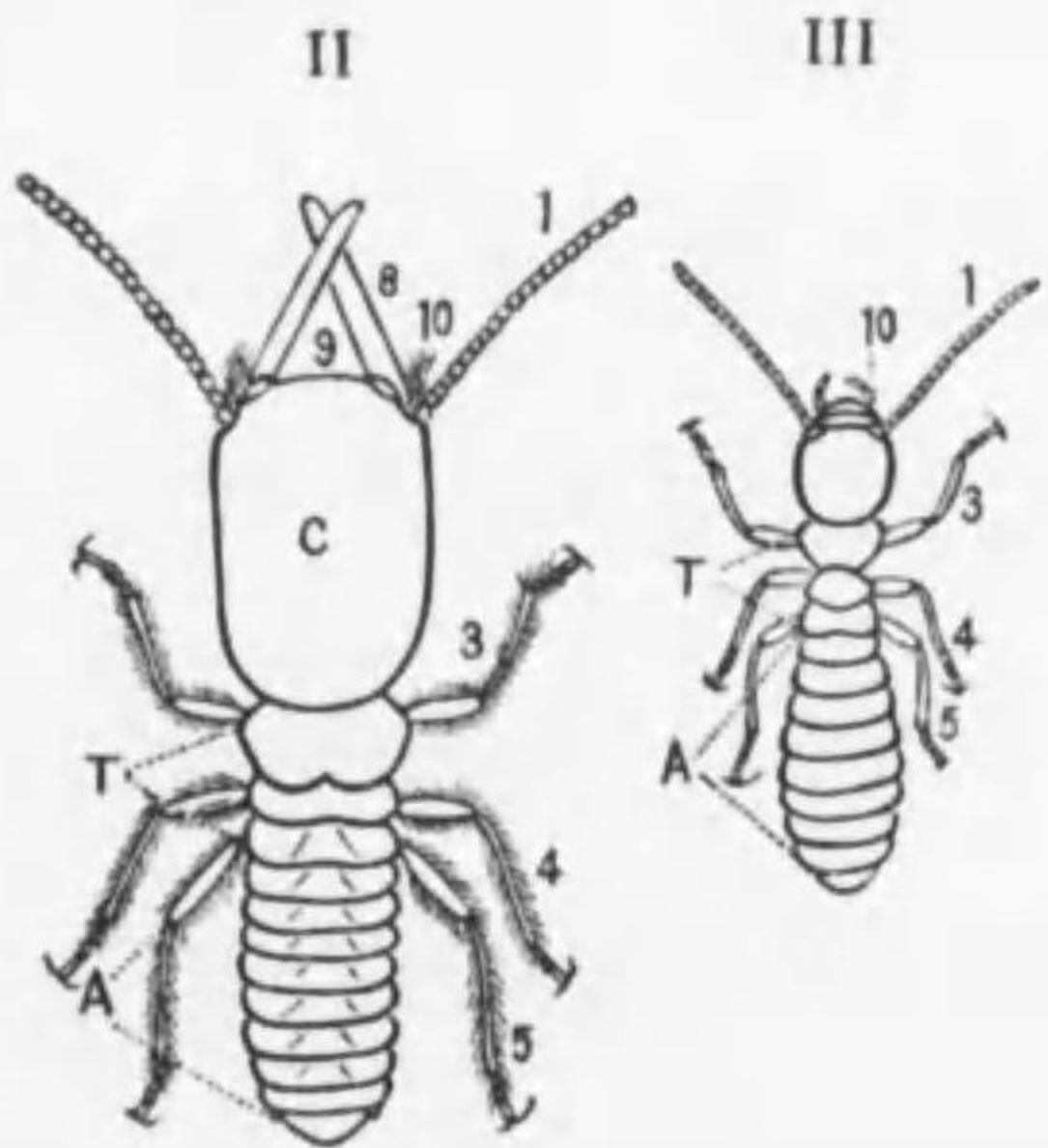
Isoptera

頭は自在に動く。觸角連鎖状、短、十三節乃至二十節ありて、基部大。普通單眼を有す。小腮鬚は五節、下唇鬚三節、兩方とも末端節に刺毛を裝ふ。翅は同大、創痕状若くは網状の隆起を有するものあり、翅脈餘り判然せず、靜止の時翅を腹上に置く。脚は短、四節より成り、基部の三節は小(濠洲産のものに五跗節を有するものあり)。腹部長く、九節を具へ、第八節の兩側に各一個の附屬物あり。何れも一社會を組織し、雌雄の外、職蟻及び兵蟻を有す。變態は不完全。本邦に産するもの二科あり。

- (I) サツマシロアリの蟻
- (II) ヤマトシロアリの兵蟻
- (III) ヤマトシロアリの職蟻



- (C) 頭部
- (3) 前肢
- (6) 前翅
- (9) 上唇



- (1) 觸角
- (2) 複眼
- (4) 中肢
- (5) 後肢
- (7) 後翅
- (8) 大腮
- (10) 小腮鬚

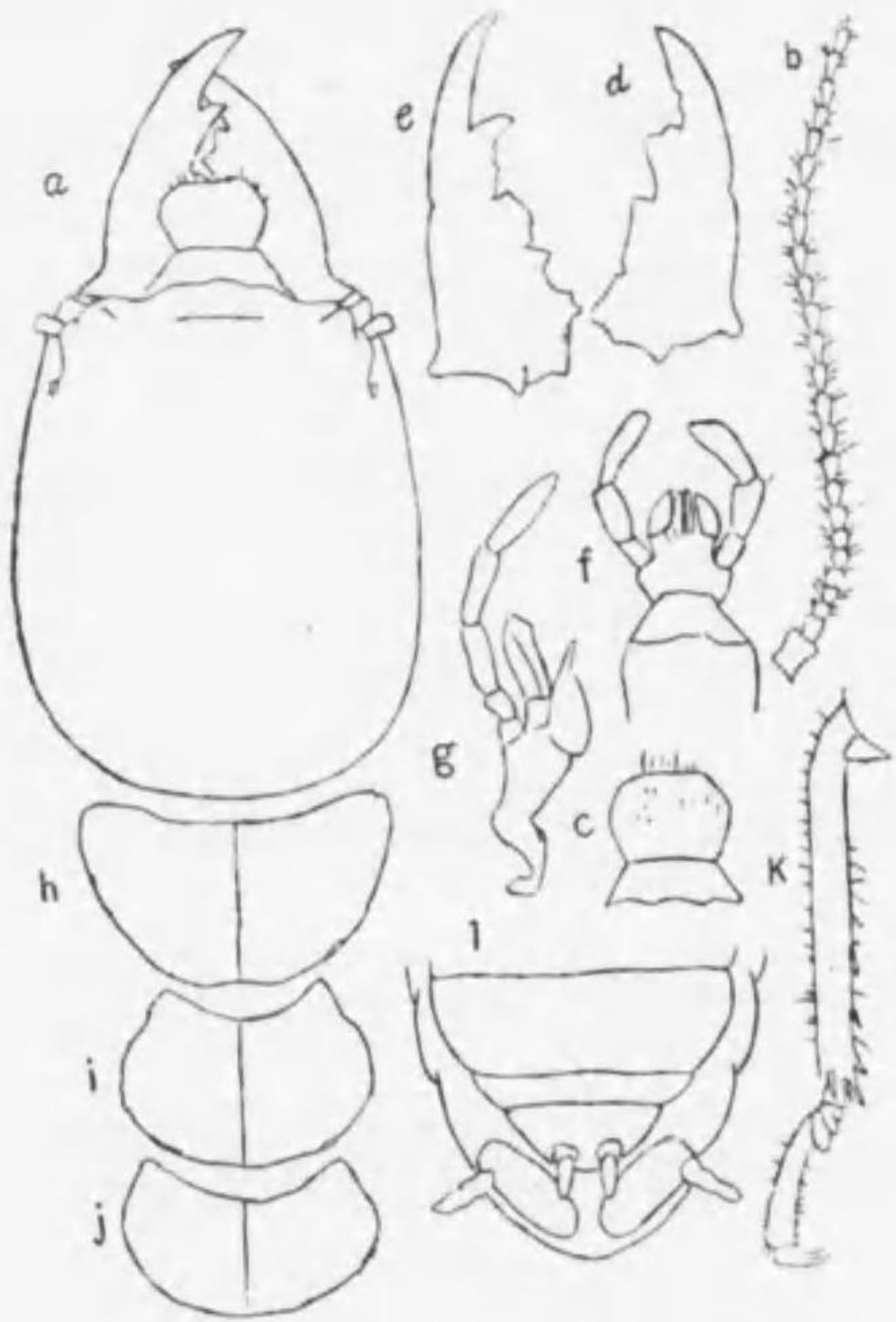
一 大白蟻科 (Prototermitidae)

頭は長楕圓形、單眼を有するものと、缺くものとあり、兵蟻は複眼を有す、前頭に額門腺を缺く。前胸背は平たく、廣し。前翅の徑脈は分支し、鱗状痕は大、翅に創痕状若しくは網状の隆

(Prototermitidae)

起を有す。額片は短かく、中央の縦線を缺き、上唇は隆起し、大腮に齒列あり。本邦に産するもの數種あり。

オホシロアリ(兵蟻) *Heiotermopsis japonicus* Holmgr.



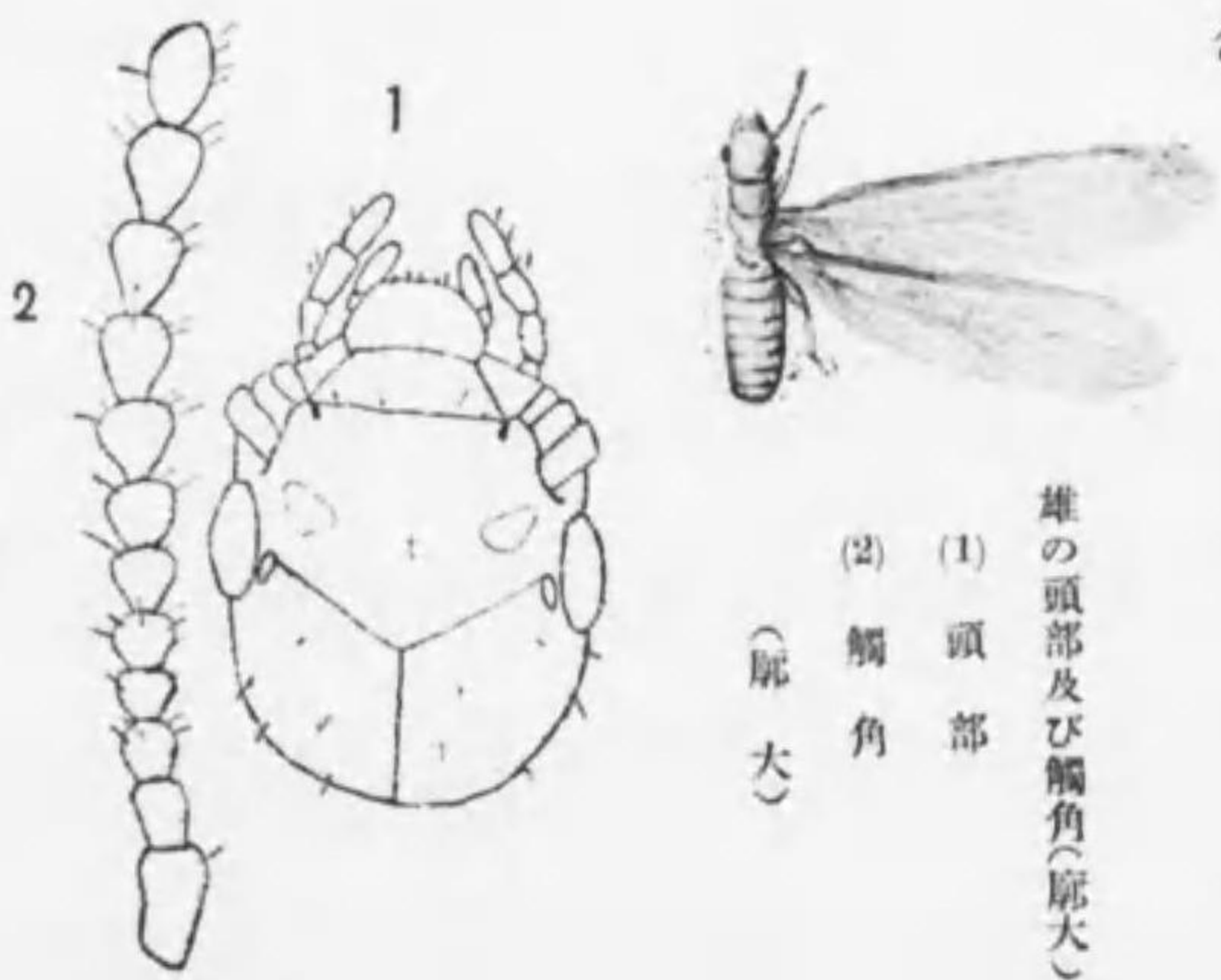
- (a) 頭部
 - (b) 觸角
 - (c) 上唇
 - (d) 右大腮
 - (e) 左大腮
 - (f) 下唇
 - (g) 右小腮
 - (h) 前胸背
 - (i) 中胸背
 - (j) 後胸背
 - (k) 後肢
 - (I) 腹端(腹面)
- (朴澤氏原圖)

カタンオホシロアリ

Caloterms (Glyptoterms) fuscus

Oshima

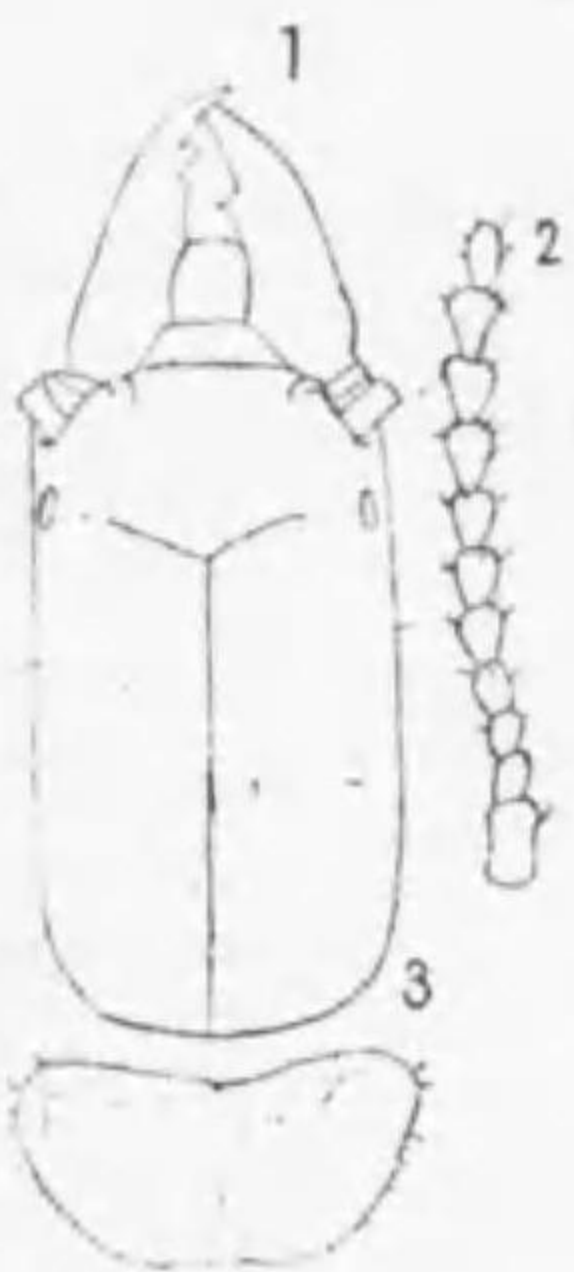
雌雄、體は暗褐、後額片は淡色、前額片は黄色、上唇、觸角、兩體は黄褐、前胸背に丁字形の淡色紋あり、腹面は末端を除き淡色、翅褐色、



- (1) 頭部
- (2) 觸角 (廓大)

兵 蟻(廓大)

- (1) 頭部
- (2) 觸角
- (3) 前胸



脈は黒色、脚は褐色、脛跗兩節は黄色、體長二分五厘—二分八厘。兵蟻、頭は黄色乃至赤褐色、前方は暗色、前胸背は黄褐色、丁字形の淡色紋あり、觸角、兩節、脛節及び跗節は淡褐色、大脛は黒色、基部赤褐色。體長一分五厘—二分三厘。これは朽木下に住す。稀ならず。

分布—沖縄、小笠原島、臺灣。

コウシユンオホシロアリ

Caloterms (Neoterms) koshimensis Shiraki

雌雄、體は黄褐色、翅半透明、白色、少しく黄褐色を帯び、兩翅の前縁は褐色、脚及び觸角は淡色。體長二分二厘(翅端迄)—五分五厘。兵蟻

有翅前の雄



Caloterms kotoensis Oshima

雌雄、淡黄褐色、觸角、兩節及び脚は黄色、翅透明、脈は褐色、體長一分七厘—二分、翅端迄二分六厘内外。兵蟻、黒褐色、前頭黒色、觸角及び兩節は黄褐色、體長一分三厘—一分七厘。職蟻、灰白色、大脛褐色、體長一分七厘—二分三厘。兵蟻はその頭部稍々圓形なるを以て他と區別すること容易なり。紅頭蟻に普通なり。

分布—臺灣(紅頭蟻)。

サツマオホシロアリ

Caloterms (Glyptoterms) satsumensis Mats.

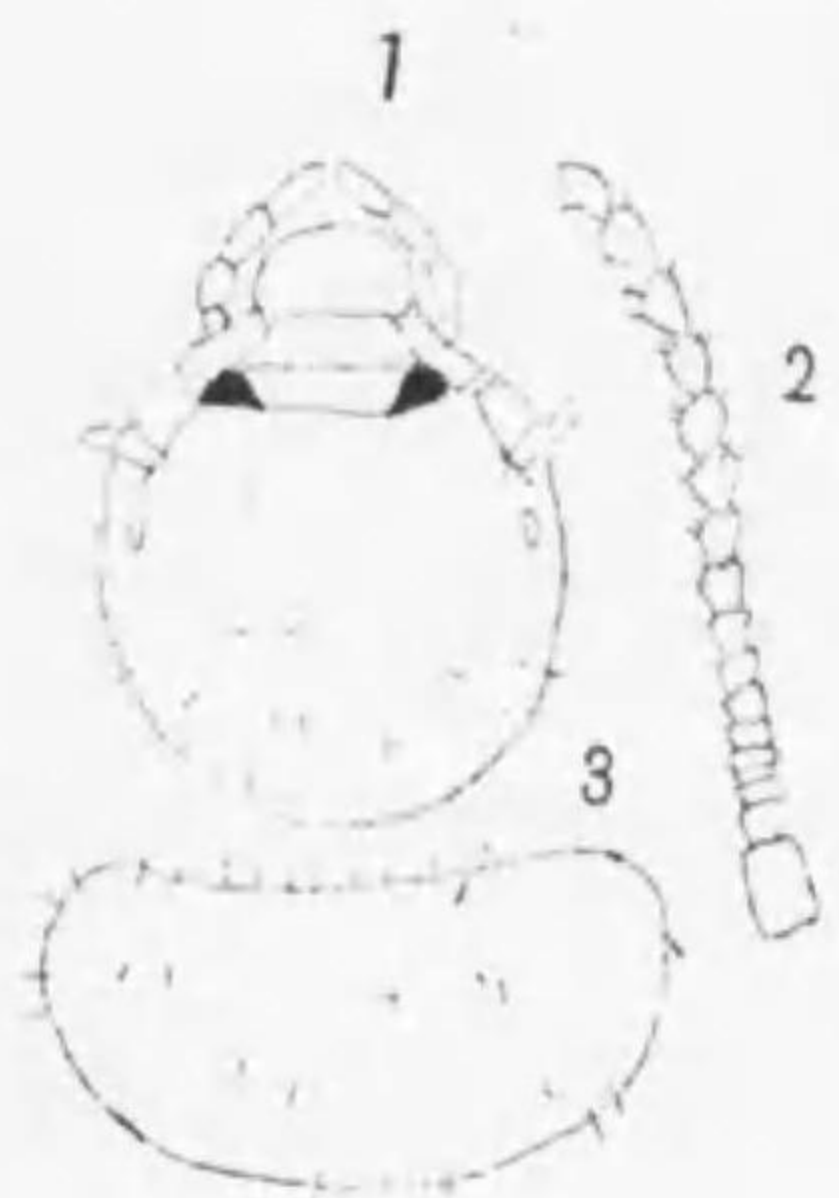
雌雄、頭赤褐色。前胸淡色。中後兩胸背及び腹背は黄褐色。觸角、上唇、頭胸の下面、脚及び腹部

兵 蟻

は黄白、頭赤黄、大脛黒色、體長三分—三分五厘。職蟻は白色、額片の兩側に暗褐色紋あり。體



- (1) 頭部
- (2) 觸角
- (3) 前胸



ダイコクオホシロアリ

分布—臺灣。

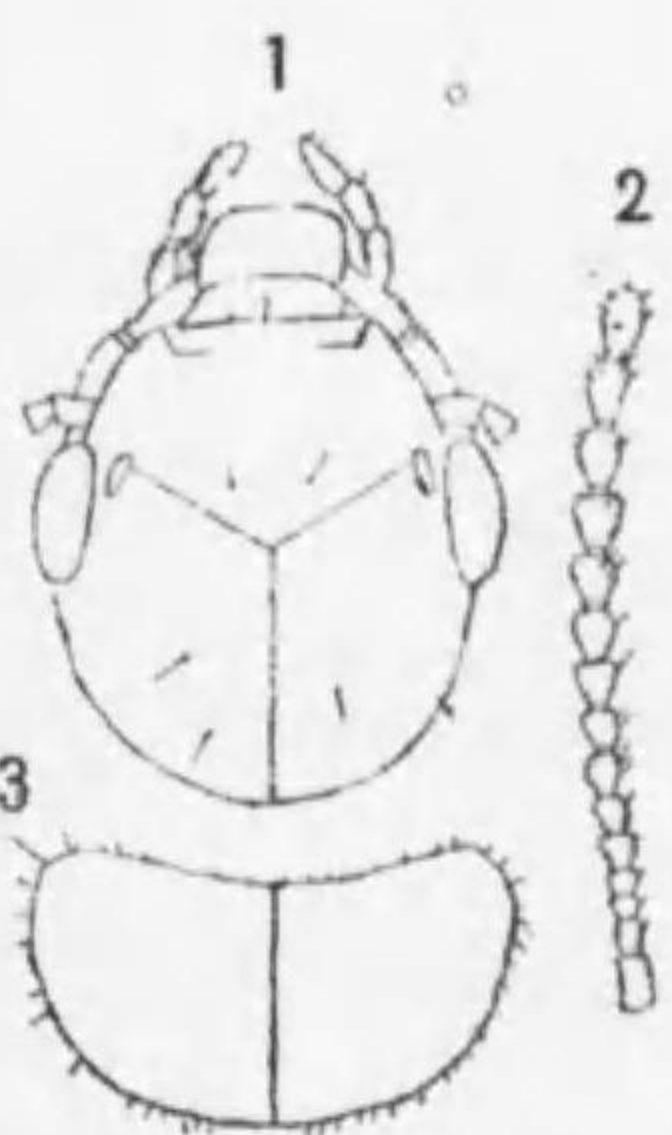


長二分五厘—三分五厘。これは恒春地方には普通なり。



雄(廓大)

- (1) 頭部
- (2) 觸角
- (3) 前胸



は淡色、前額片は黄白、翅は透明、翅の鱗状痕及び脈は暗褐色、體長二分—二分五厘、翅端迄三分五厘。兵蟻、頭は赤褐色、前方は暗色、上唇は淡色、前額片は淡黄褐色、大脛暗褐色、基部及び末端は黒色、前胸背淡黄褐色、周縁は暗色、中後背、脚及び腹背は淡黄褐色、下面は淡色、體長二分八厘—三分八厘。職蟻、頭は白色、前頭及び額片は黄色、上唇及び中後背の兩側は黄褐色、跗節、額片の兩側は暗褐色、腹部暗褐色、體長二分—二分五厘。これは鹿兒島地方に稀ならず。

分布—四國、九州、臺灣。

オホシロアリ

Heterotermopsis japonicus Holmgr.

兵蟻、頭は赤褐、前方暗色、觸角、上唇及び口部は淡褐、前額片は白色、中央白色、胸板、腹部及び腿節は黄色、脛節、跗節及び尾狀突起は褐色、刺毛及び爪は暗褐、體長五分一六分。
職蟻、頭は黄色、額片の兩紋及び觸角縱隆は褐色、大腮は黑色、觸角、胸及び脚は淡黄、腹部暗褐、體長二分三分五厘。これは朽木の下に兵蟻



職蟻



住し、人これに近づけばカッ／＼の音を發す。四國、九州及び奄美大島にて發見せられたるも少なし。
分布 四國、九州。

二 白蟻科 Termitidae (Mesotermitidae)

前科と異なる所は、頭形様々、單眼及び額門腺を具へ、翅に創痕狀の隆起を缺き、稀に網狀の隆起を有するものあり、徑脈は分支せず、額片は長く、中央に縱線を具へ、大腮に普通齒を缺き、兵蟻及び職蟻に眼を缺くにあり。本邦に産するもの十數種あり。

ミゾガシラシロアリ

Arhinotermes japonicus Holmgr.

兵蟻、黄色、前頭は暗色、大腮長く、無齒、暗褐色、腹部淡色、體長一分八厘二分七厘。職蟻、黄白、小額片の兩側に一黑紋あり、大腮は褐色、體長一分七厘二分二厘。これは澎湖島兵蟻



有翅前の蟻



に産す。

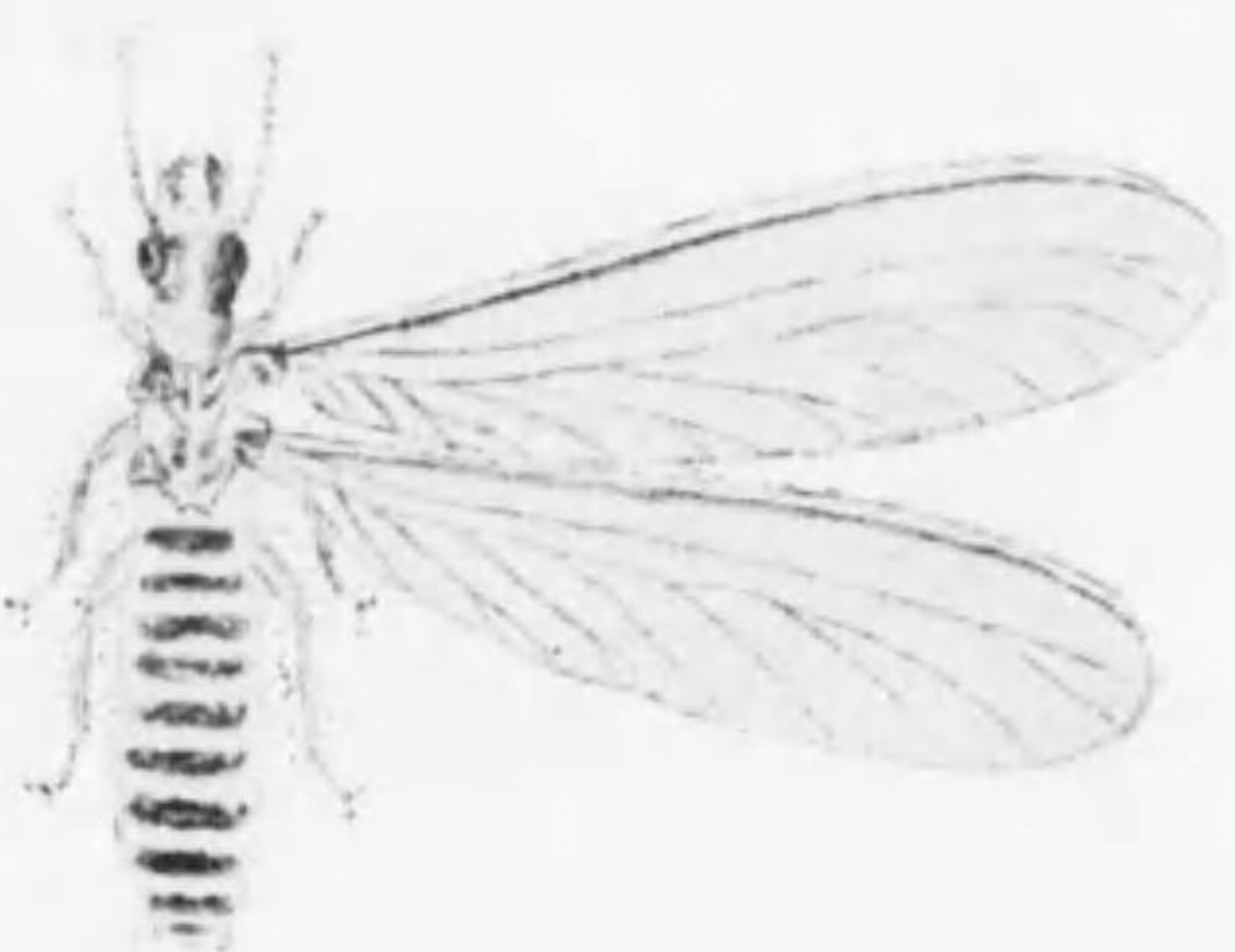
分布 臺灣。

ニトヘシロアリ

Capritermes nitobei Shiraki

雌雄、暗褐、上唇、額縁及び大腮(内縁は褐色)は黄色、觸角及び兩鬚は褐色、胸背は黄褐、前縁は暗褐、脚は淡黄、翅暗褐、半透明、體長二分三厘、翅端迄四分内外。兵蟻は白色、頭黄色乃至黄褐、觸角、上唇及び口部は淡色、大腮は赤褐乃至黑褐、胸背は褐色、體長一分五厘二分二厘。職蟻は白色、頭黄色、前頭に白紋あり、額片の兩側紋は褐色、體長一分三厘一分七厘。兵蟻の大腮は銳角をなして中央に屈曲せるを以て他と容易に區別することを得べし。これは餘り多からず。

♂



兵蟻



分布 沖縄、臺灣。

イエシロアリ

Capritermes formosanus Shiraki

雌雄、暗褐、額片、上唇及び兩鬚は黄暗、觸角は黄色、翅淡黄、透明、體長二分二厘二分八厘、翅端迄四分五厘。兵蟻、黄色、前頭褐色、

♂

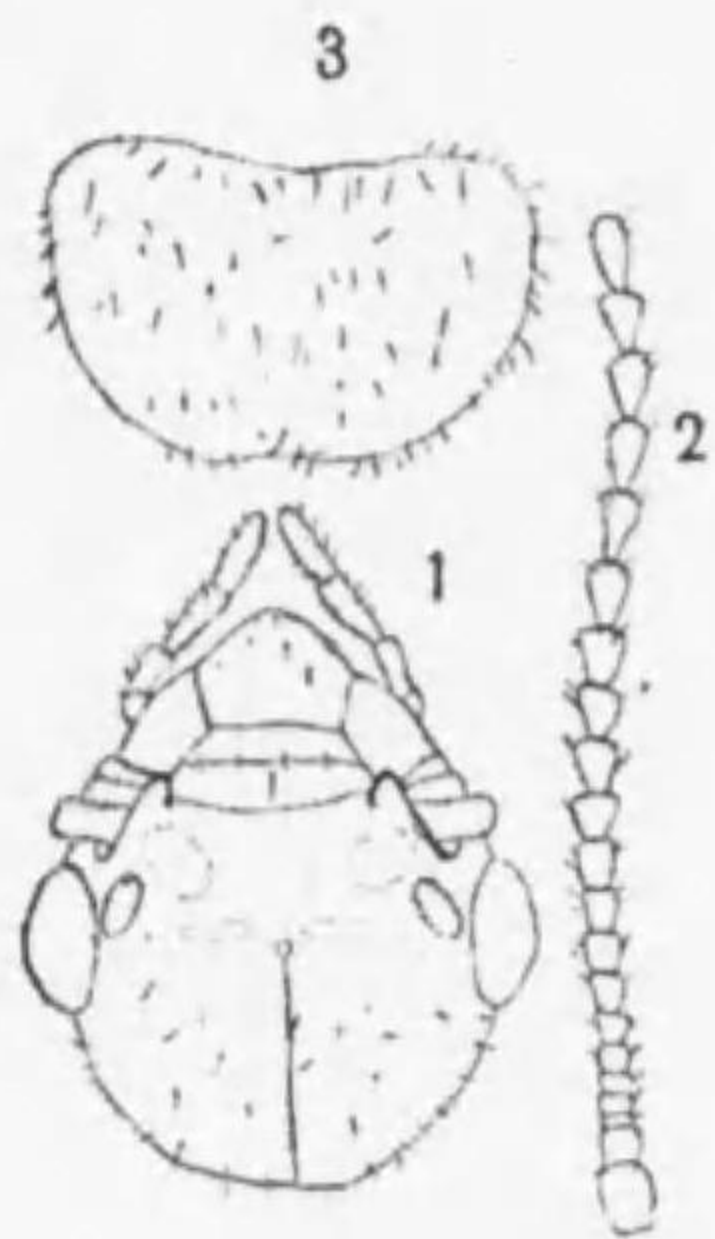


兵蟻



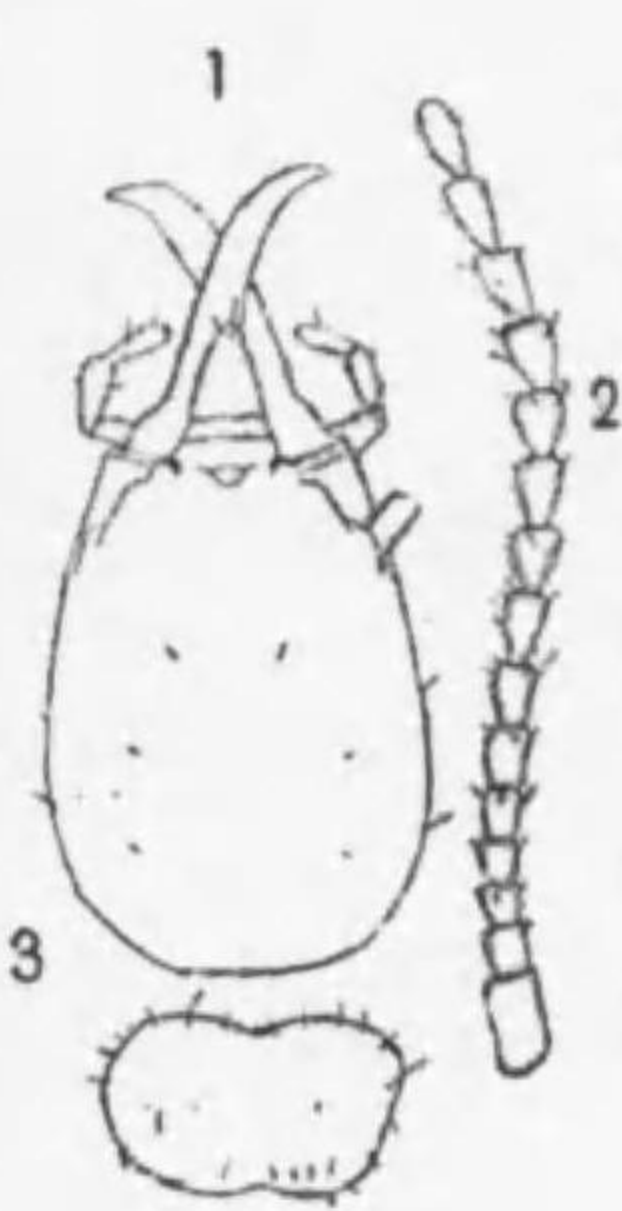
雄(廓大)

- (1) 頭部
- (2) 觸角
- (3) 前胸



兵 蟻(廓大)

- (1) 頭部
- (2) 觸角
- (3) 前胸



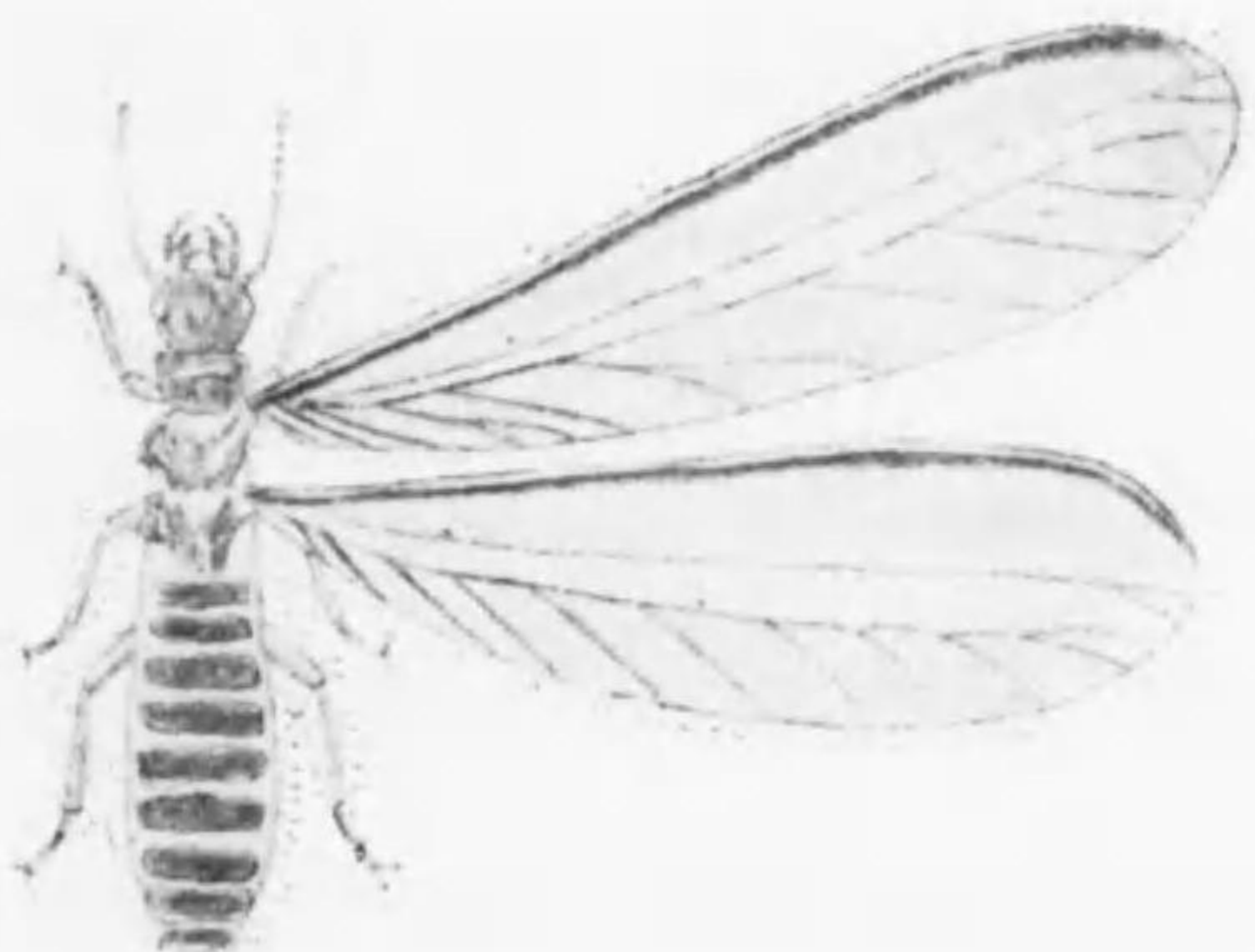
大體は暗褐、體長一分五厘—二分二厘。職蟻、白色、頭は淡黄、白紋を裝ひ、額片の兩側に一暗色紋あり、體長一分一分八厘。これは何れの地方にも少なからず。

分布 四國、九州、八丈島、沖縄、臺灣。

テングシロアリ

Entermes parvonasutus Shiraki

雌雄、褐色、觸角、兩鬚、上唇及び額片は黄色、胸背は淡黄褐、後縁は褐色、體長二分—二分三厘。



兵 蟻

一四一二

分三厘、翅端迄四分内外。兵蟻は白色、頭は黄色、口吻状の突起は赤褐、觸角及び胸背は黄色、脚及び兩鬚は黄色、體長一分三厘—一分七厘。職蟻、黄色、額片の兩側紋は褐紋、觸角及び兩鬚は黄白、體長一分五厘—一分七厘。これは臺灣に産するも多からず。



タカサゴシロアリ

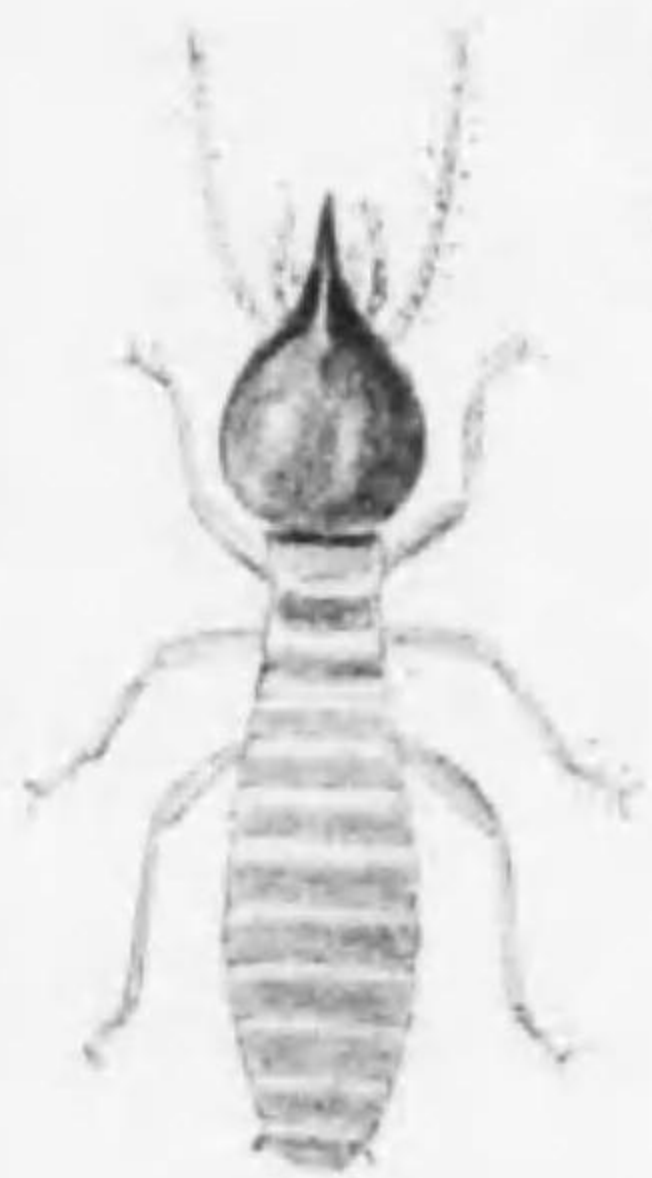
Entermes takasugensis Shiraki

雌雄、暗褐、口部、觸角、兩鬚、胸背及び脚は淡黄、翅半透明、暗褐を帯ぶ、體長二分内外。兵蟻、黄白、頭暗褐、口吻状突起の前半は赤色を帯ぶ、觸角及び脚は黄色、體長一分三厘内外。職蟻、黄白、頭は褐色、兩側は白色、觸角、兩鬚、上唇及び額片は黄色、體長一分三厘—二分

♂



兵 蟻



ヤマトシロアリ

分布 沖縄、臺灣。

♂

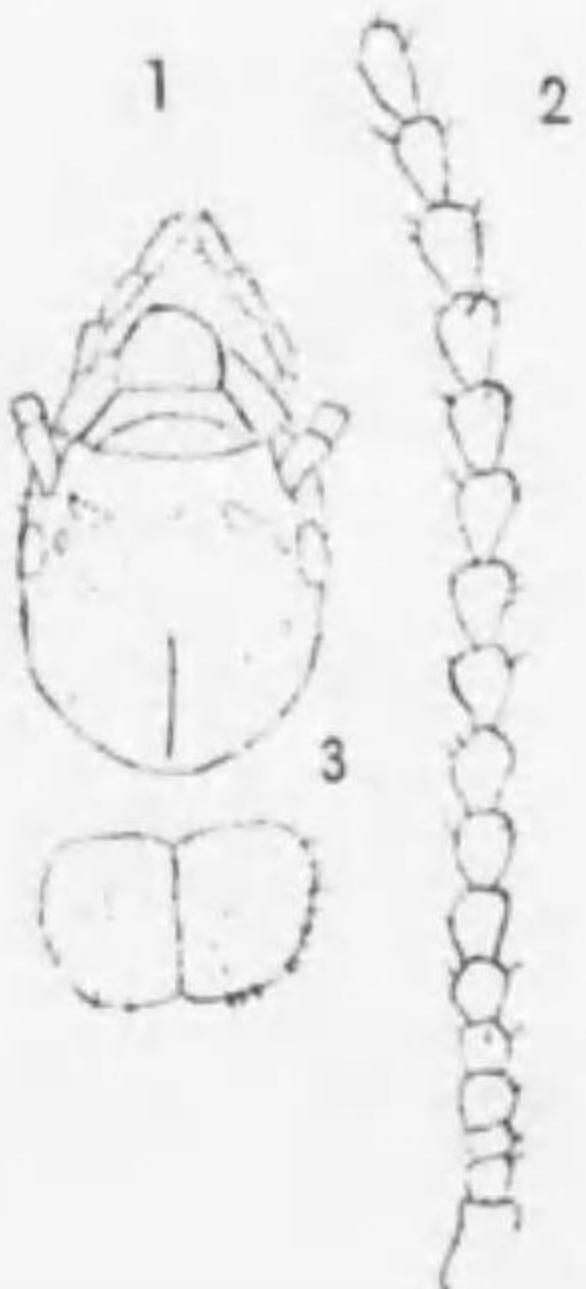


兵 蟻



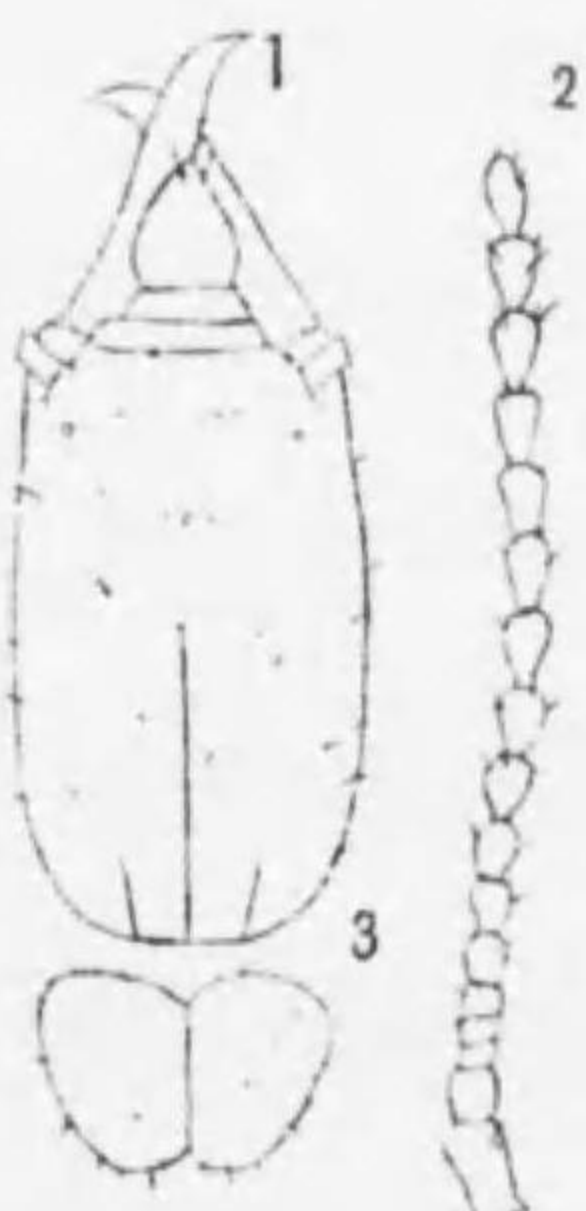
雄(廓大)

- (1) 頭部
- (2) 觸角
- (3) 前胸



兵 蟻(廓大)

- (1) 頭部
- (2) 觸角
- (3) 前胸



Lenoeremus (Reticulitermus) speratus Kolbe

雌雄、體は黒褐、光澤あり、頭は黒色、觸角は暗黄、前胸は黄色、翅は半透明、少しく暗色を帯ぶ、脚は黄色、體長一分五厘—二分、翅端迄

分。これは臺灣には少なからず、沖縄にも産

三分三厘内外。兵蟻、白色、頭は淡黄褐、前方は暗色、大腮の基部は赤褐、末端は暗色、前胸縁は淡褐、體長一分一分八厘。職蟻、白色、頭黄白、額片の兩側に一褐紋を具へ、大腮は淡褐乃至暗褐、體長一分一分五厘。これは東京地方に普通なる種類にして、五六月頃に至れば雌雄は翅を生じて空中を飛翔す。北海道には少しなし。

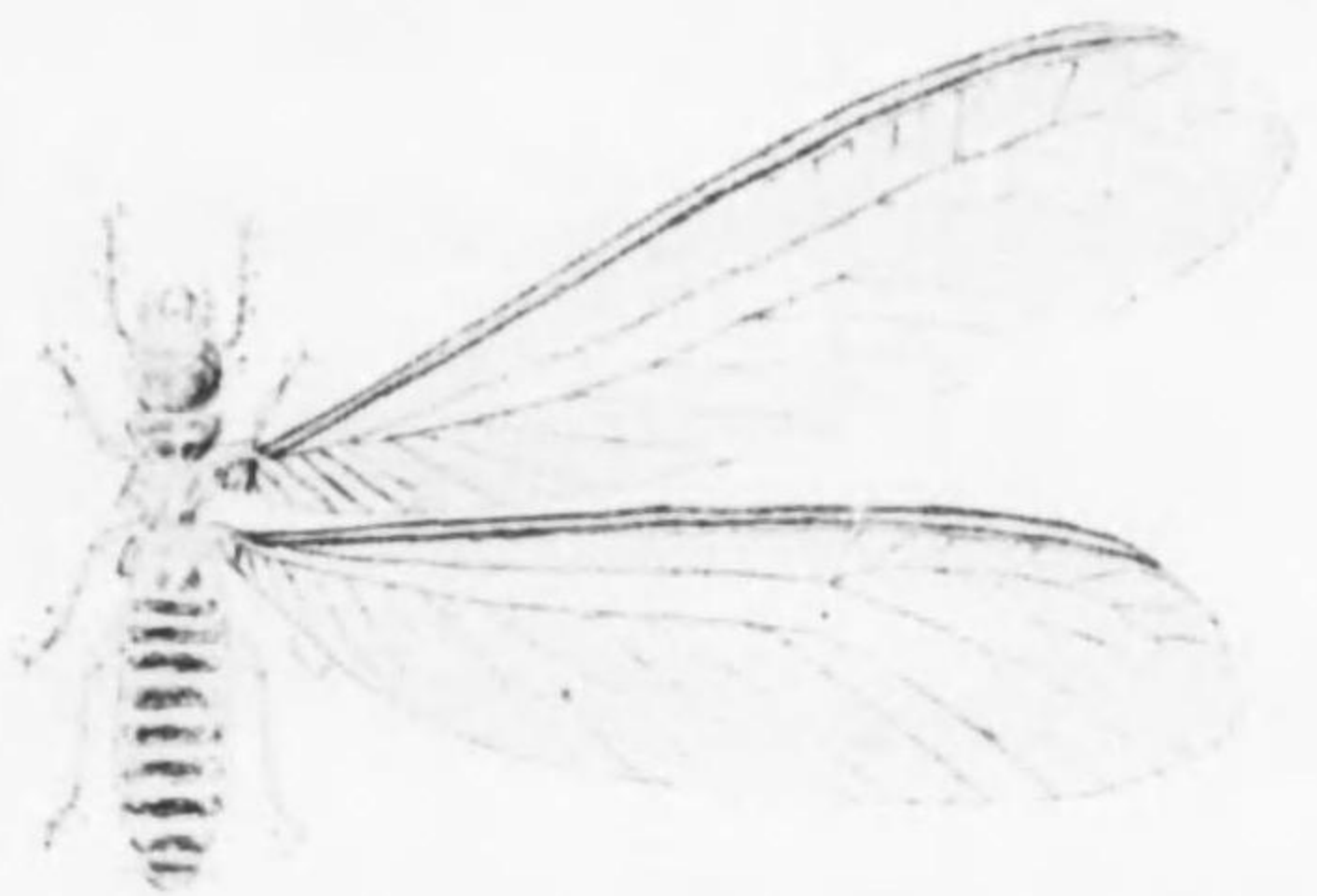
分布 北海道、本州、四國、九州、臺灣。

タイワンシロアリ……………(二三)

Odontotermes formosinus Shiraki

雌雄、暗褐、觸角、兩鬚、額片、上唇、脚及び腹面は黄色、翅半透明、暗色を帯ぶ、體長三分三分五厘(翅端迄)。兵蟻、黄白、頭赤黄、觸角及び兩鬚は黄色、大腮暗褐、體長一分七厘二分二厘。職蟻、白色、頭は黄色、額縁兩側に一褐紋を具へ、大腮の内側に暗褐紋あり、體長一分七厘一分八厘。これは臺灣に普通なり。

分布 沖縄、臺灣。



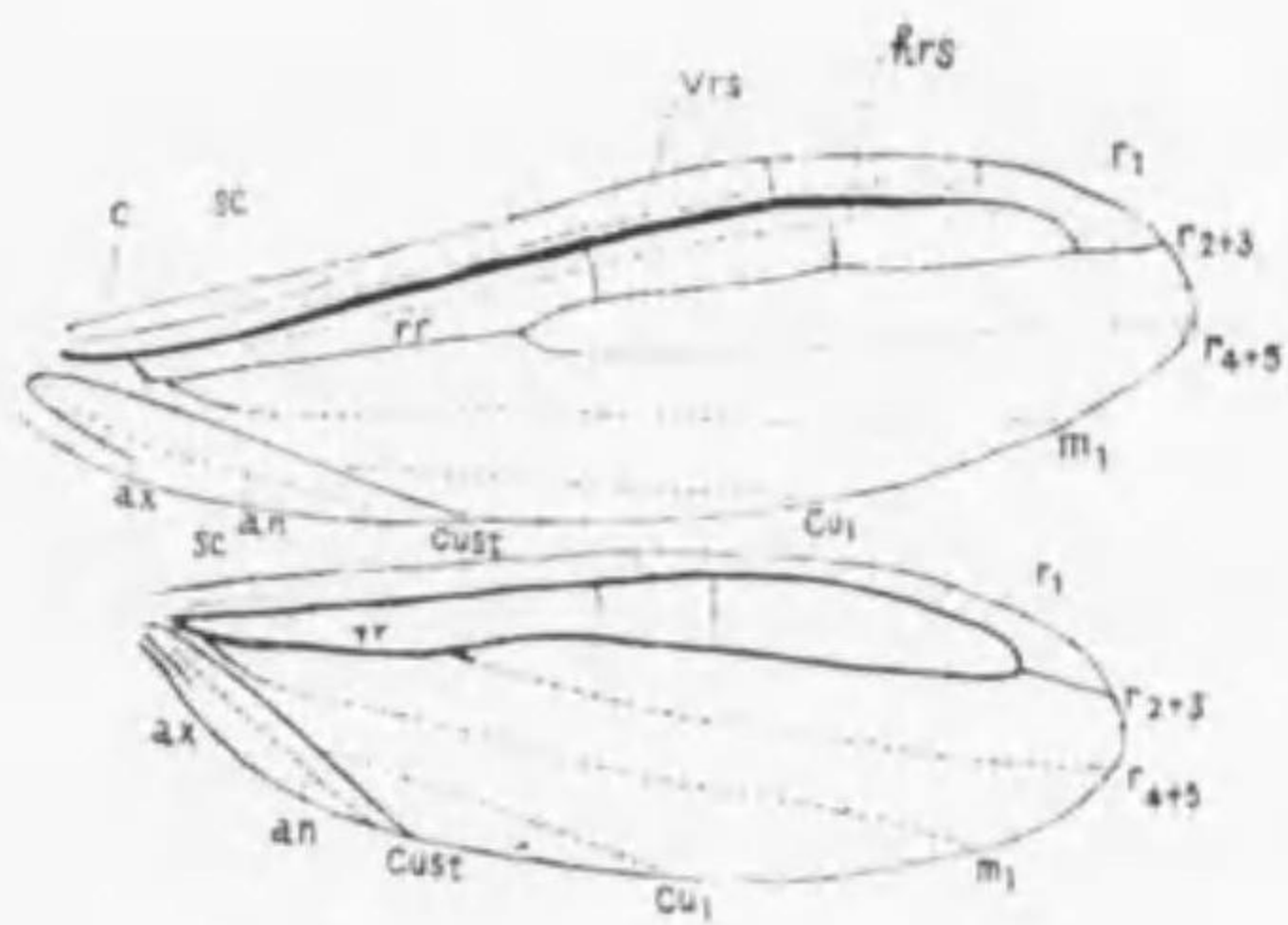
附言 白蟻の爲めに古き建築物の倒壊するもの少なからず、殊に熱帯若くは半熱帯地方に多し。

第一八 紡脚目 EMBIIDINA

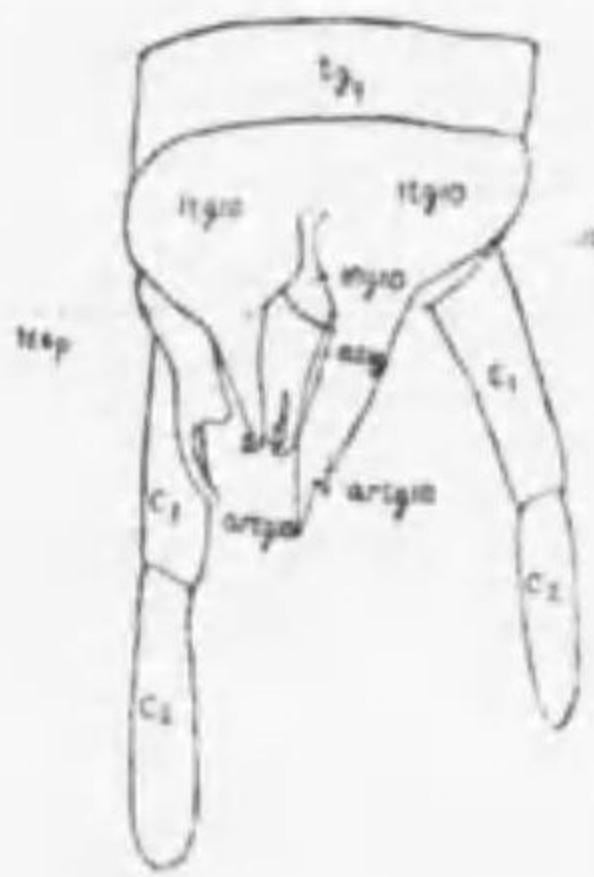
第一八 紡脚目

Embiidina (Embioptera)

口部は咀嚼に適し、舌は四葉に分る。跗節は三節より成り、前跗節の第一節は肥大す。雄にては兩翅稍々同形、脈は少なく、横脈を有せず、雌にては翅を缺く。一雙の尾狀突起は二節より成り、雄にては普通左右その形を異にす。變態は不完全但し雌は變態せず。この目の最も特徴とする所は、前跗節より絹絲を吐出して筒狀の巢を造り、その内に住するにあり。本邦に産するもの左の一科あり。



Oligostoma saundersi West



ナミシロアリモドキ

尾節	(hrs)(Vrs)	r1 (Sc) (C)	前後翅
(art ₁₀)(alt ₁₀)(rtg ₁₀)(tg ₉ -tg ₁₀)	第五枝	前緣	前後翅
第九：第十腹背節	前徑脈線	副前緣脈	
第十腹背節右側附屬物	後徑脈線	徑脈第一枝	
第十腹背節左側附屬物			
同右側附屬物			
(C ₂)(C ₁)(rcbp)(lcbp)(ast ₉)	腋脈	中脈	徑基脈
第九腹面節附屬物	腎脈	肘脈第一枝	
左尾狀突起基節	肘基脈		
右尾狀突起基節			
尾狀突起第一節			
同第二節			

擬白蟻科 (Oligostomidae)

觸角は十九節乃至二十四節、各節は稍々同長。雄は翅を有するも、雌にてはこれを缺く、稀に雄にも無翅のものあり、兩翅共徑分脈の後枝は分支せず、中脈も亦分支せず、肘脈(U₂)を缺く。雄の第十腹節は二片に分離し、尾狀突起の第一節は肥大せず、稀に少しく棍棒狀を呈す。雌の尾狀突起は左右とも同形。本邦に産するもの數種あり。

ナミシロアリモドキ (Oligostoma saundersi West) (一)

♂



第一八 紡脚目

♀



雄、頭は淡赤褐。大腮の齒縁及び複眼は黒褐。前胸背の前方は細く、後縁の幅より長し、梯形を呈し、中縱溝は深し。前跗節の第一節は細く後肢のものは平たく且つ太く、第二節よりも短。腹部は細く、平たし。體毛は長し。第十腹背節左附屬物の末端に外方に曲れる二齒を具へ、右のものには末端より離れて細き長齒を裝ふ、左尾狀突起の第二節は第一節より長し、右側のものは短かし。雌にては一層平たく、頭は圓形眼は甚だ小、觸角には十九節若くは二十節あり前胸は小、長幅同長、中後の兩胸環は大なり、腹部は全長に互つて約同幅、黄褐毛を裝ふ、頭は淡赤黄。體長(雄)一分七厘—二分、(雌)二分五厘—三分。臺灣に稀ならず。主として石下に捕獲せらる。

ホソシロアリモドキ (Oligostoma latreillei Ramb.) (二)

ナミシロアリモドキに酷似すれども、其異なる所は、雄の第十腹背節の左附屬物はその末端にて外方に彎曲せる一齒を具へ、右の附屬物は末端前に外方に向ける平たき短齒を有す、雌にては黒褐、卵形を呈し、體は明瞭に細し。體長(雄)一分七厘—二分五厘、(雌)二分五厘—三分。これ



一四一七

世界共有(熱帯若くは亞熱帯産)

第一九 積翅目 PLECOPTERA

日本昆蟲大圖鑑

♀

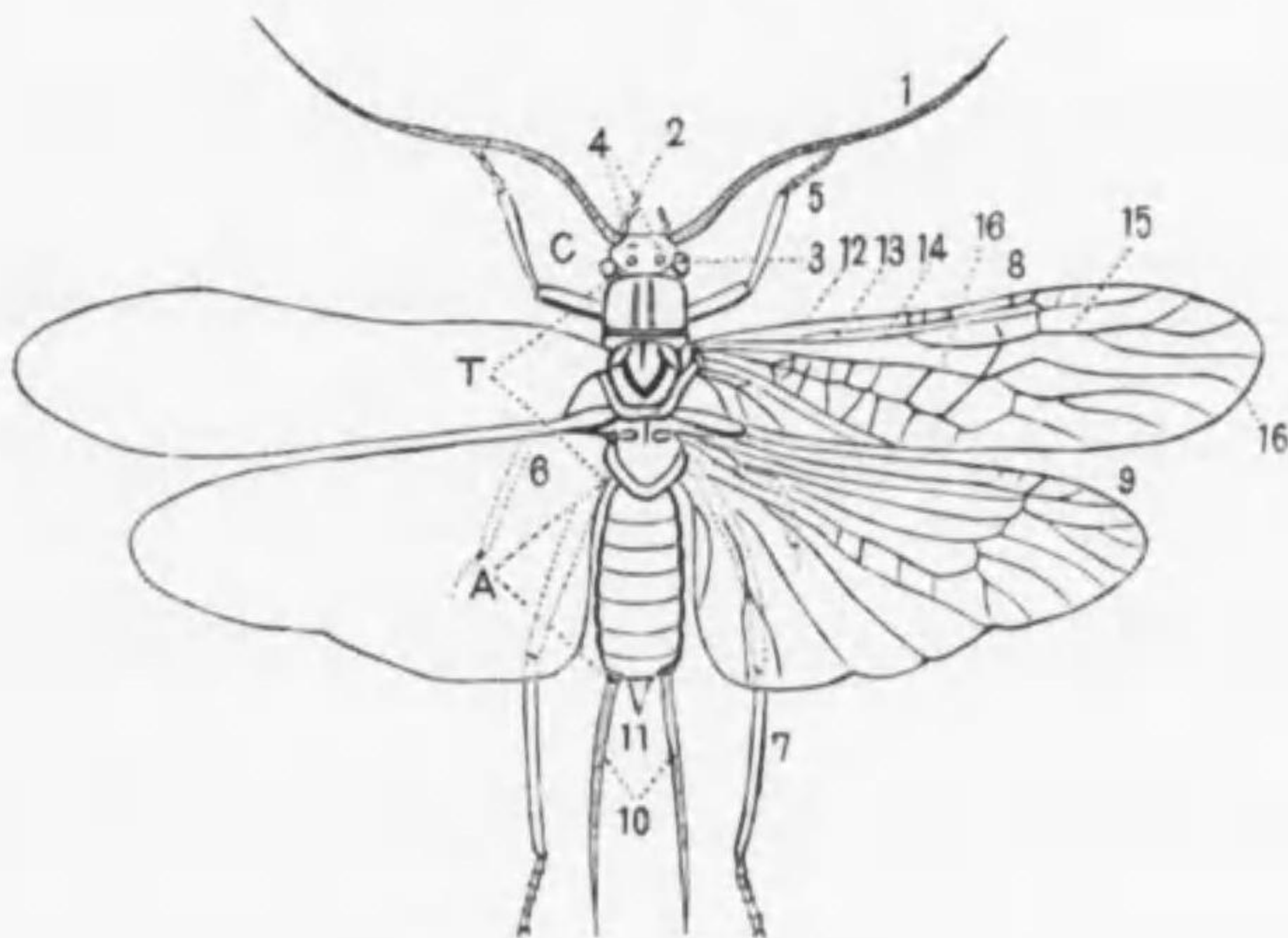


も臺灣に産すれど、前種よりは少なきが如し。
分布—臺灣。

第一九 積翅目

Plecoptera

口は咀嚼に適すれども多くは退化す。翅は膜質、横脈は少なく、後翅は前翅より大形、縦に疊み得べく、静止の時は腹上に置く、時に兩翅を缺くものあり。普通二尾毛を具へ、關節をなす、時にその退化して短かきものあり。變態は不完全。幼蟲は水中に住し、小蟲を捕食す。成蟲は農林業上に關係なし。本邦に産するもの四科あり。



Dictyopterygella frequens Mats.

- | | | | | | | | | | |
|------|-----|-----|------|--------|------|------|------|------|----|
| (10) | (9) | (8) | (7) | (6) | (5) | (4) | (3) | (2) | 1 |
| 尾毛 | 後翅 | 前翅 | 後肢 | 中肢 | 前肢 | 單眼 | 複眼 | 小腮鬚 | 觸角 |
| (A) | (T) | (C) | (16) | (15) | (14) | (13) | (12) | (11) | |
| 腹部 | 胸部 | 頭部 | 中脈 | 徑脈の第一枝 | 徑脈 | 副前緣脈 | 前緣脈 | 尾突起 | |

一 網積翅科 Perlodidae

これは積翅蟲科に似れども、その異なる所は、頭は大、單眼は小、三個ありて三角形に配置せらる、小腮鬚の末端節は細小、前胸背の前方は細し、翅の徑脈及び徑分脈の間に横脈ありて、網狀脈を現出するにあり。本邦に産するもの十數種あり。

ヤマトアミカハゲラ.....(一)

Isogenus (Dietyogenus) japonicus Okam.

體は暗褐。後頭に三黄紋を横列し、前頭は暗黄。觸角の末端の半部は黄褐。前胸背の中央及び中胸背の前半に黄色の一縱條あり。脚は黄

♀



第一九 積翅目

褐、腿節の末端、脛節の基部並に跗節は暗褐。體下は黄色。尾毛は黄褐、各節の末端は暗褐。翅は灰色を帯び、脈は黄褐、前緣及び副緣脈は黄色。開張一寸二分内外。これは六月頃日光地方に少なからず。

分布 本州。

オホアミカハゲラ.....(二)

Isogenus rubescens Newm.

一見前種に似れども、前縁の末端に網目狀の脈

♀



を有するを以て區別し得べし。體は黒色。頭の六紋は橙黄色。觸角末端の半部は栗色。前胸背の中縱條及び中胸背の前緣紋は橙黄色。脚は黒

褐、基節、轉節、腿節の兩端及び下面、脛節(基部に近き一紋を除き)並に尾毛は黄色乃至黄褐。翅は少しく暗色を帯び、脈は黄褐。開張一寸三分内外。これは岩手地方に稀ならず。

分布 本州。

ナミアミカハゲラ(アミメカハゲラ).....(三)

Megareys ochracea Klp.

體黒色。頭頂に黄紋あり。觸角暗褐、末端褐色。前胸の中央に太き一黄色縱條を具へ、中胸に

♂



小黄紋を裝ふ。前翅は半透明、少しく暗色を帯び、外縁に近く前縁に網狀脈を有す。翅底に近き翅の中央にも同様の脈あり。後翅の外縁に近

き前縁にも赤網状脈あり、翅底稍々透明、少しく白色を帯ぶ。腹部は黒色、尾縁の附屬物は黄褐色、これに長き黄毛あり。脚黒色、基節、腿節端及び脛、跗節の大部黄色。體長五分五厘内外。開張一寸四分内外。札幌地方に普通なり。
〔分布〕 樺太、北海道、西比利亞。

カラフトアマミカハゲラ

Megarops zuehlingii Klp.

(四)

體は暗褐色。觸角は黒褐色。頭は黄褐色、後頭は暗褐色。前胸背の中縦條は黄色、中央にて溢る、中後



の兩胸背にも細き黄縦條ありて、何れも前縁にて太し。各腹節の後縁は細く黄褐色。尾毛に金色の短毛を密生す。脚は黒褐色、腿節下面の一縦條は黄褐色。翅は少しく暗色を帯び、前翅の基部、中央、後翅の基部及び内縁(廣く)は透明、脈は暗褐色、前後共に翅端に網状脈を有す。開張二寸六分内外。これは七月樺太にて捕獲せるが、多からず。本邦産最大種なり。
〔分布〕 樺太、西比利亞。

二 横翅蟲科 Perlidae

觸角は絲状若くは連鎖状。小腮小形、小腮鬚は長く、五節より成る。下唇鬚は短かく、三節。體は平たく、兩側は稍々相平行す。腹部は十節より成る。脚は強剛、腿節は肥太し、脛節よりも短、跗節三節、二爪の間に一個の廣き吸盤あり。河畔の草間若くは樹幹に静止するもの多し。本邦に産するもの數十種あり。何れも農林業に關係なし。

キカハゲラ

Aeroneuria fulva Klp.

(五)

體は黄色。頭頂の中央は黒褐色。前胸背の全部及



び中胸背の前部は灰黄褐色、腿節の末端、脛節基部、尾端及び尾毛の内側は暗褐色。觸角及び兩體は淡黄。翅は灰色を帯び、脈は灰褐色。爪の末端は淡色なり。開張二寸二分内外。これは七八月の頃札幌地方に普通なり。
〔分布〕 北海道、本州(日光)。

ヤマトカハゲラ

Aeroneuria (Niponeutla) himakutella Klp.

(六)

體は黄色。頭頂の楕圓紋及び前頭の楔状紋は暗褐色。觸角は暗褐色、基部の六分の一は黄色。前胸背は兩側を除き黒褐色。脚は少しく暗灰色を帯ぶ。



翅は灰色を帯び、脈は暗色、前縁室及びその脈は黄色。開張一寸三分。これは六七月の頃東京地方に少なからず。

〔分布〕 本州。
モンカハゲラ
Aeroneuria stigmatica Klp.
體は褐色。觸角は黄褐色、末端の半部は暗褐色。頭部は黄褐色、單眼は黒色、前頭紋は暗褐色。前中胸



背の兩側及び中縦條は淡黄褐色。腹部は黄色、兩側及び尾端紋は褐色。尾毛及び脚は黄褐色。腿節及び脛節の末端は黒褐色。翅は少しく黄褐色を帯び、脈は褐色、縁紋の處に褐色の曇紋あり。開張一寸六分内外。これは七月頃十和田地方に普通なり。
〔分布〕 本州。

オホヤマカハゲラ
Perla (Oyamia) gibba Klp.
體は黒褐色。頭頂の二紋は黄色。觸角の基部は褐色、第二節は黄色。後胸背の瘤起は光澤を帯び、後縁の隆起は黄褐色。腹部の兩側及び末端は



黄褐色を帯び、尾毛は淡褐色。脚は少しく淡色。翅は暗灰色を帯び、前縁は淡色、副前縁室及びその脈は褐色、翅底に暗褐色あり。開張一寸五分内外。これは京都地方に少なからず。
〔分布〕 本州。

セスチカハゲラ

Perla (Togoperla) matsumurae Okam.

(九)

體は褐色。頭頂は暗褐、中央帯及び後角部は黄色。觸角黒褐、基部の三分の一は黄色。前胸の

♀



中央に黄色の一縦條あり。中後胸背及び腹部并に脈の大部は黄色。腿節の基部、脛節の兩端及び跗節の末端は黒褐。翅は褐色、前縁室は黄色、脈の大部は黄褐。開張一寸八分内外。これは熊本にて捕獲せられたり。

分布 九州。

スズキクラカケカハゲラ……………(10)

Perla (*Paragnetina*) *suzuki* Okam.

體は褐色。頭頂及び後角部は黄色。觸角の基部少しく淡色。脚は暗褐、基部、轉節及び末端を除ける腿節は黄色。胸背の中央に淡色の一縦條あり。

♀



分布 本州。

附言 本科に屬する積翅蟲は少なからざれども、何れも同色なれば挿圖によりて區別困難なり、故に爰には多くを記載せず。

♀



り。腹端の三分の一及び尾毛は黄色。翅は少しく灰褐を帯び、縁紋の處に暗色の曇紋あり、翅脈暗色を帯ぶ。開張一寸七分内外。これは京都にて捕獲せられたり。

分布 本州。

オホカハゲラ……………(11)

Perla (*Kaninurina*) *thibalis* Pict.

體は暗褐、體下黄色。頭頂の二紋は黄色。觸角は黒褐、基部黄褐。前胸に筋紋を裝ひ、中後の兩胸暗褐、光澤を帯ぶ。翅半透明、暗色を帯び、前縁室黄色、翅脈暗黄。腹部及び尾毛は黄色。脚は暗褐色、脛節は基部を除き黄色。開張

三 姫積翅科 *Nemuridae*

積翅蟲科と異なる所は、尾端の尾毛は退化し、觸角は絲狀、各跗節は同長、兩腿節は約同徑を有し、第一及び第三跗節は約同長、第二節は甚だ短きにあり。本邦に産するもの十數種あり。何れも小形種なり。

ヒラヤマヒメカハゲラ……………(12)

Nemura *hirayamii* Mats.

體は黒褐、光澤あり。觸角は前翅の四分の三長あり。頭頂に黄褐の一紋を裝ふ。中後兩胸

♂



背の後縁横隆は黄褐。腹部は褐色、光澤なし。脚は淡黄褐、後脛節は黄色、跗節は基部を除き褐色。翅は暗色を帯び、脈は黒褐、脛脈及び脛分脈下の斜脈は太し、翅底は淡色。開張六分五厘。これは一月中旬東京胸場にて捕獲せられたり。

分布 本州。

♀



一寸五分内外。東京地方には普通なり。

分布 本州。

オホクラカケカハゲラ……………(13)

Perla (*Paragnetina*) *thibalis* Pict.

體は灰褐。後頭の兩側に一黄紋あり。觸角は基部を除き、頭頂、中後胸背の中央にある瘤起、腿節の末端、脛節等は暗褐。腹面の末端半部及び尾毛は黄色。翅は半透明、灰黄を帯び、前縁は濃色、脈は黄色、基部に暗褐紋あり。開張二寸五分内外。これは本州に稀ならず。

ナミヒメカハゲラ(ヲナシカハゲラ)……………(14)

Nemura *japonica* Mats.

體黒色。頭黄褐、前頭黒色、後頭に黒紋を散在す。觸角の基部黄色、末端に至るに隨ひ暗黒。前胸黄色、背上下側の縦條黒色。翅透明、少しく暗色を帯び、翅脈は黄褐(雄)若くは黄色(雌)。後翅無色透明、雄の外縁に於ける翅脈は黄褐。雄の尾端に黄色の廣き

♀



葉狀附屬物あり。脚は暗黄、脛は節の外側暗黒。開張七分内外。早春河畔に普通なり。

分布 北海道。

附言 前科と同様に圖によりて識別すること困難なれば爰に代表的の二種を擧ぐ。尙、從來この種類にヲナシカハゲラの名稱を用ひ來りたるも、短尾毛を有するを以てその名稱不適當なり、依つて改名せり。

四 裸積翅科 ハダカハゲラ Apteroperiidae

積翅蟲科と異なる所は、兩翅を缺き、頭及び各胸背は凹陥し、中胸背の前縁は細く縮る、觸角は連鎖状にして、長く、稍々腹端に達す、尾毛は長くして、腹部と同長、第二跗節は頗る短、第一節は第二節よりも長し。本邦に産するもの數種あり。何れも高山地帯に産し、雪上を歩行す。

ヤザハハダカカハゲラ……………(一五)

Apteroperla yuzuwai Mats.

體は黒色、光澤を帯び、金色の短毛を裝ふ。頭の凹陥は前頭にて深し。觸角は黒褐。前胸背の凹



♀
陥には粗澁の縮刻あり、後胸背の凹陥は小。尾毛は黃褐、各節の末端は暗褐。脚に絹光ある灰色の短毛を裝ふ。體長二分。これは八月劍ヶ峯の雪溪にて發見せられたり。

分佈 本州。
附言 これは新科新屬なればその特徴の要點を記すべし。前後翅を缺く。觸角は稍々連鎖状、末端節は卵形、前頭に深き凹陥あり。小腮鬚の末端節は稍々三角形を呈す。各胸背の中央は凹陥す。尾毛は稍々腹部と同長なり。

第二〇〇 蜻蛉目 ODONATA

ヒメキトンボ

Prachyleonis confinata F.

(四)



體は黄褐。顔は黄白。翅は黄褐、前翅の翅端、後翅の翅端及び後縁は透明。

翅脈赤色、縁紋赤褐。體長一寸二分内外。開張一寸七分内外。これは臺北附近に普通なり。

分布 臺灣、南支那、西藏、印度、瓜哇。

カラカネトンボ

Coruhia aenea L.

(五)

顔及び額は金緑、上唇暗色、下唇黄色。胸部は金緑。腹部は黒味ある青藍色、雄にては第三節の前縁に黄條を具へ、雌にては第二節の兩側に各一黄條、第三、第四兩節の兩側に長白紋を裝ふ。脚は黒色。翅は透明、雌にては基部を除き暗色を帯ぶるものあり、兩性共に四翅の基部に橙黄紋を具へ、翅脈、縁紋共に褐色。體長一寸七分内外。開張二寸四分内外。これは樺太に普通なる種類なるが、札幌附近にも産す。

♀



分布 樺太、北海道、本州、西比利亞、歐洲。

シヤウジヤウトンボ

(六)



Crocolhemis servilia Denny

體雄にては紅色、雌にては黄色。翅(雄)透明、(雌)龍甲色。縁紋(雄)黄褐、(雌)黄色。雌の前縁脈は黄白、少しく緑色を帯ぶ。後翅底(雄)紅色、(雌)黄色。翅底脈黒色。脚暗黄。體長一寸五分五厘内外。開張二寸三分内外。これは中國地方の池沼に普通なる種類なるも、北海道及び東北地方には産せず。

分布 本州、四國、九州、沖縄、臺灣、支那、其他熱帯地方。

ヒメコフキトンボ

Dechia brevistigma Oguma

(七)

これは前種に似るも、翅の基部は黄褐を呈し、

♀



分布 本州、九州、沖縄。

ヘニヒメトンボ

Diplacodes bipunctata Brauer

(十)

雄、體赤色。腿節黒色。第四、五、六、七腹節の兩側に各一黒紋を裝ふ。雌にては體黄褐、胸部兩側の前縁少しく暗色を帯び、腹部の兩側に各一黒條を縱走す。翅は雌雄共に透明、翅脈黒色、縁紋暗色、翅底の基部少しく黄褐を帯ぶ。體長一寸一分内外。開張一寸七分。これは小笠原島に産するも多からず。

分布 小笠原島、濠洲、ボルネオ。

ヒメトンボ

Diplacodes trivialis Ramb.

(十一)

雄、體は灰白。顔は白色、上唇及び下唇は黄白。第四腹節以下腹部は黒色、尾端の附屬物は黄色。脚は黒色。雌にては體の大部は黄色、胸部の紋條(前胸背の四條、側面の各三斜條)、腹背

開張二寸四分内外。これは東京附近に産するも少なし。

分布 本州、沖縄、布哇。

コフキトンボ

Dechia phaon Galya

(九)

雄、體は灰白。顔白色、單眼の前方に黒色の一大紋あり。第四腹節より末端まで黒色。脚は黒色。雌にては體の大部黒色、白粉を裝ひ、顔、

♂



胸の數條(側面の各三條及び前胸の四條)、腹背の二縱條及び兩側の各一條は黄色。翅は透明、翅脈及び縁紋は黒色。體長一寸三分内外。開張二寸四分内外。これは九州に普通なる種類にして、本州にては仙臺以南にて捕へ得べし。

縁紋の内側に黒褐帶を缺くを以て容易に識別し得べし。體長一寸三分内外。開張二寸二分内外。これは南國の産にして、沖縄に稀ならざるが如し。

分布 沖縄、臺灣。

オヒトンボ

Dechia dispar Galya

(八)

體は黄色。胸側の紋條、腹背の三縱條(中央のものは細し)、體下及び脚は黒色。翅は透明、基部の前縁に近き部分は黄褐、縁紋の内側帯は黒

♀



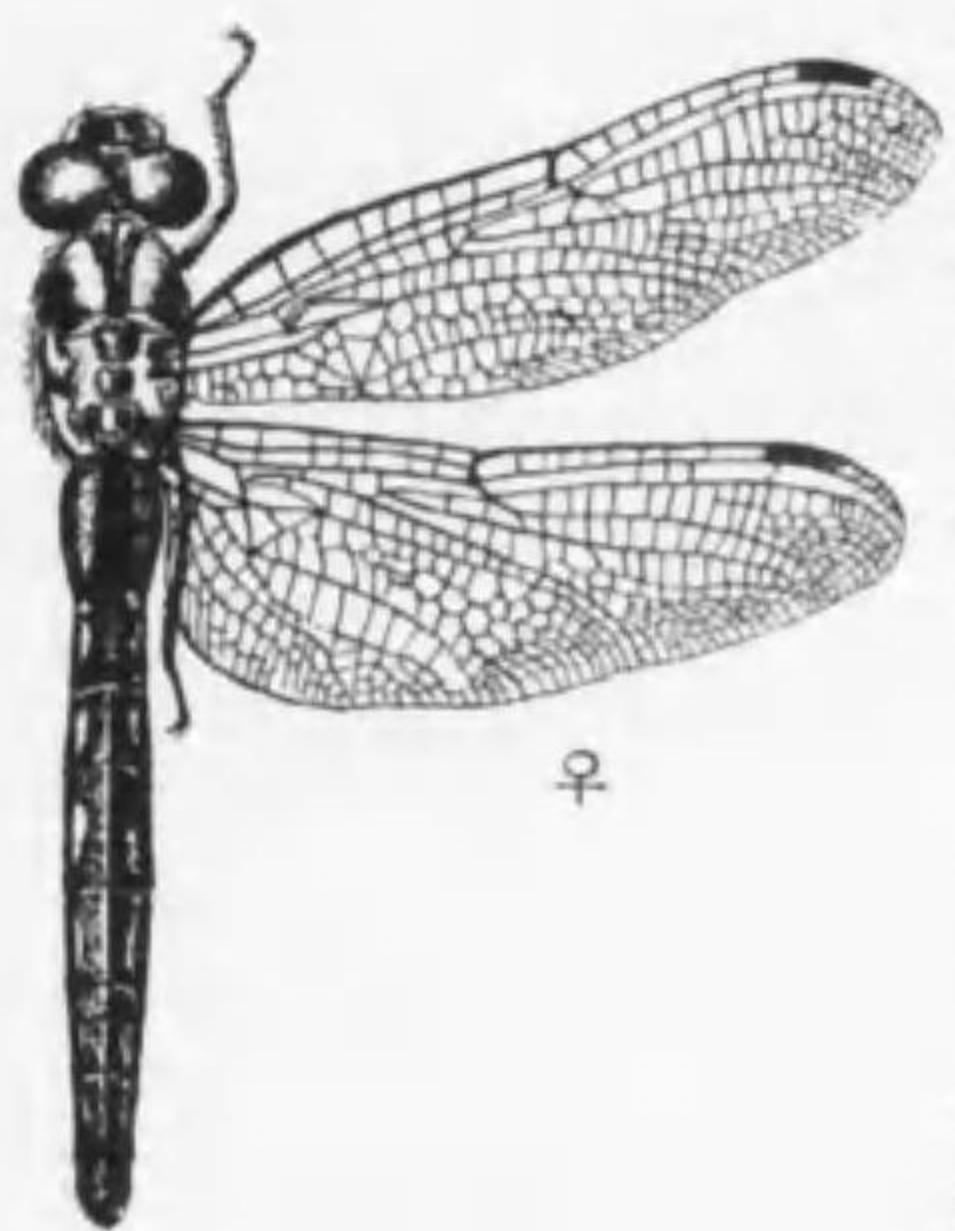
褐、翅脈赤褐、縁紋黄褐。體長一寸三分内外。



♂
の縦條、兩側の各一縱條及び下面は黒色。脚は黒色、前腿節黄色。翅は透明、縁紋は暗褐色、翅脈は黒色、雌にては翅底の基部黄褐色。體長一寸一分内外。開張一寸五分内外。これは南國の産にして、石垣島及び臺灣に稀ならず。

♀
本州(鷹の島)、沖縄、臺灣、馬來群島。

オホトラフトンボ *Ephemerella maculata* Dyar (一三)



♀

♀
頭部は黄色、顔の上方暗色。胸部黄色、側面に二條の太き黒帯あり。腹部は黒色、第二より第八節に亘り各側に一黄紋を具ふ(雌にては黄紋大なり)。翅は透明、時に淡黄を帯び、後翅肘室の下方に黒紋を裝ふ。體長一寸七分内外。開張二寸七分内外。これは樺太に多き種類なるも、北海道にては北部に限りて棲息す。

♂
樺太、北海道、西比利亞、歐洲。

トラフトンボ *Ephemerella maculata* Dyar (一三)

Ephemerella maculata Dyar

體黄色、黒紋を有す。頭は黒色、前頭少しく藍色を帯ぶ、顔黄色、上唇の兩側黒色。中胸背及



♂

♂
はその兩側の紋條は黒褐色。後胸に黒褐色の一條あり。翅透明、雌にては前翅前縁の外半及び後翅の前縁は黒色、翅底膜白色。腹部黒色、各節の兩側及び腹面に黄紋あり。脚黒色、前腿節の基部及び全基部は黄色。體長一寸五分内外。開張二寸四分内外。これは中國の池沼に産するも少なし。

♀
本州、九州、支那。

カホジロトンボ *Lamproloma dubia* Imahara (一四)

Lamproloma dubia Imahara



♂

頭部は黒色、顔は白黒。胸部は黒色、前胸の二縱條及び中、後の胸側紋は黄色。腹部は雄にては黒色、基部の二節及び第三節の前半は黄褐色、雌にては基部黄色、第三節より第七節に至る各節の背面に黄紋を裝ふ。翅は透明、基部は濃褐色、翅脈は黒色、縁紋は黒褐色。體長一寸二分内外。開張一寸八分内外。これは樺太に普

通なるも、本州には稀なり。

♂
樺太、北海道、本州、西比利亞、歐洲。

ベツカフトンボ *Lalobellula angustina* Zelys (一五)

Lalobellula angustina Zelys

體灰黄。單眼前方の一帯及び上唇は黒色、灰色及び暗色の短毛多し。中胸背前方の縦隆及び兩側の斜隆は暗色。翅透明、脈暗色、前縁にある



♂

ものは黄白。兩翅の斑紋暗褐色。翅底の中央は體甲色。後翅内縁に黒紋ありて、其脈及び内縁は黄白、縁紋暗褐色。腹背線は暗褐色、各腹節の兩側に暗褐色を具へ、尾狀突起は黒色。脚灰黄、後腿節の末端、脛節の下面及び跗節は暗褐色。雌に

第二〇 蜻蛉目

ては翅の斑紋黄褐色、兩翅の前縁は黄白、前縁に沿ひ體甲色を帯ぶ。體長一寸三分内外。開張二寸内外。中國地方に産すれども多からず。

♀
本州。

ヨツボシトンボ *Lalobellula maculata* Dyar (一七)

Lalobellula maculata Dyar

體暗褐色、少しく綠色を帯び、黒紋を裝ひ、長き黄毛を密生す。單眼の處に黒帯あり。上唇の前縁、中央並に下唇の兩側は黒色、中後兩胸の兩



♂

側に黒色の縦、横線あり。翅透明、前縁黄色、他の部分は少しく黄色を帯び、結節に各一個の黒紋を裝ひ、縁毛は黒色。後翅底に黒紋あり

て、其部の脈は黄色。各腹の兩側に黄紋を具へ、第一節は黒色、第四腹節以下背面には黒紋條あり。脚黒色。體長一寸三分五厘内外。開張二寸三分五厘内外。樺太地方に普通なる種類なるも、本州には少なし。

♀
樺太、北海道、本州、西比利亞、歐洲、中央亞細亞。

オホハラヒロトンボ *Lyrichthemis elegantissima* Zelys (一七)

Lyrichthemis elegantissima Zelys

體暗黄。前頭暗綠色、顔黄色。下唇鬚の接合部暗色。胸側に黒色の三斜條、胸面に暗色紋あり。



♂

翅透明、少しく黄色を帯び、脈及び縁紋は黒

色。腹部赤色、縦隆及び各節の周圍は黒色、第一節及び尾節を除く各腹面節に二個の黄紋を裝ひ、尾狀突起は黒色、生殖器は黄色。脚黒色、轉節、基節並に前腿節の下方は黄色。雌の腹部黄色、縦隆兩側の縱條等は黒色。體長一寸四分内外。開張二寸四分。これは沖繩には稀ならず。

分布 沖繩。

キイロハラビロトンボ

Lyrorhemia flava Oguma

體は黄褐。顔面黄白、單眼の周圍黒藍色。胸部

♀



の太き五條（一條は前胸の中央、各二條は側面にあり）は黒色。腹部は雄にては赤色を帯び、中線は黒色。翅は透明、末端は暗褐色を帯び、脈及び縁紋は黒色。脚は黒色。體長一寸七分。開張二寸六分内外。これは沖繩及び臺灣に産するも稀なるが如し。

分布 沖繩、臺灣。

ハラビロトンボ

Lyrorhemia tachygastera Zelys

體は天鵝絨様の黒褐。前頭は藍色、顔黄。中胸背の前縁に灰黄の長毛あり。翅透明、翅底は體甲様の黄色、脈及び縁紋は黒色、後者の中央は灰黄色

♂



一、二の黄紋を裝ひ、生殖器は黄色。脚黒色、基節及び轉節は黄色、雌にては灰黄。下唇の中央黒褐。胸側及び胸面に褐紋を裝ふ。翅底の黄色

部は廣く、縁紋は全部黒色、腹背線及び亞背線は黒褐。體長一寸一分五厘内外。開張二寸内外。本州に普通なる種類なり。

分布 本州、四國、九州、支那。

ハツチャウトンボ

Xanthophya pygmaea Ramb.

體は淡き黒褐、雌雄との彩色を異にす。雄、顔黄色、上唇及び下唇黒色、後頭は黄色、前翅透明、縁紋褐色、其前後は黒色、兩翅底は赤黄、前胸は黄色、中胸背の縁紋は黒色、腹背赤褐。雌にては黄褐、第一腹節は黒褐、脚黒色、基節の外側に黄紋あり。體長六分内外。開張一寸内外。これは九州には普通なり。本邦産の最小形種なり。

分布 本州、九州、シンガポール、ボルネオ、スマトラ、セレベス。

♂



ヲガサハラアカトンボ

Nothemia imaharis Oguma

體黒褐。後頭及び顔に黄紋を具ふ。前頭は藍色、顔黄白、下唇の内葉及び外葉の内縁は黒

色、中胸背前方の二條、同胸側紋、後胸側の一、二條、肩板、其前方のレ字形状並に第一腹節の兩側紋は灰黄、翅透明、少しく灰黄を帯び、脈及

♂



び縁紋は黒色、光線の具合にて少しく紫色を現はす、腹部赤色、終りの三節並に腹面の大部は暗褐、第三、四、五及び六腹面節には一、二の赤紋を裝ふ、脚黒色。雌にては中胸側にある黄紋は大にして判然と、腹部黄色、轉節及び基節に黄紋を裝ふ。體長一寸三分五厘内外。開張二寸三分内外。小笠原島に産するも餘り多からず。

分布 小笠原島。

タイワンハグロトンボ

(三三)

Neurothemis fluctans F.

體暗黄、顔赤黄、黒色の短毛を裝ふ。翅黒褐、雄、翅端透明、脈及び縁紋は赤色、各腹節の後縁に黒褐毛を裝ひ、尾突起は赤黄、脚暗黄、腿節の

♂



末端及び附節は少しく暗色を帯ぶ。雌の翅は暗褐、縁紋及び翅脈は黄色、腹部に黒帯及び黒縦條を裝ふ。體長一寸三分内外。開張二寸三分内外。これは臺灣恒春地方に普通なり。

分布 臺灣、支那、印度。

ネグロトンボ

Neurothemis tulla Drury

雄、體黒褐、口部暗黄、翅底の大半は黒色、光

(三三)

線の具合にて紫色及び緑色を現はし、末端は透明、黒色部との境に近く白色部あり、脈は黒色、縁紋暗色、尾狀突起は黄白、脚暗色、腿節、轉

♂



節及び基節は暗黄。雌、體黄色、中胸背の前面に暗色の二縱條、腹部の兩側に各一縱條を裝ふ、翅底半透明、前縁の縱條及び中央の一帯暗褐、残りの半部は透明、翅端黒色、脚黄色、腿節の下面及び附節は暗色。體長九分五厘内外。開張一寸八分内外。これは臺灣に普通なり。

分布 臺灣、支那、印度。

エゾシホカラトンボ

Orthemis alistikyus Zelys

體は黄白。胸側面の細き二帯は黒色。腹部は黄褐色を帯ぶるもの多し。第三節以下の後縁、背面の二縱條及び腹面の一縱條は黒色。翅は透明

(三四)



♀

翅脈は黒褐、前縁脈は黄褐、縁紋は黒色。體長(雌)一寸六分内外。開張二寸六分内外。これは札幌附近に産するも、餘り多からず。
分布 北海道、歐洲。

シホカラトンホ

Orthetrum speciosum Uhl.

(三五)

雄、體は白色、胸側面の三縱條及び前胸兩側の各一縱條は黒色、腹端の四節及び脚は黒色。雌にては黄緑色を帯び、第七、八、九腹節は黒色、翅は透明、翅脈は黒褐、縁紋は黒色。體長一寸七分内外。開張二寸五分内外。これは南國



♀

に普通なるも、北海道には産せず。
分布 本州、四國、九州、臺灣、支那。

シホヤトンホ

(三六)



♀

雄、體は赤色、頭部及び脚は黒色、胸背は暗色又は黒色。雌、體は黄褐、前胸兩側の太き一縱條は褐色。翅は透明、基部は(雄)濃褐、(雌)淡褐、翅脈及び縁紋は黒色。體長一寸七分内外。開張二寸七分内外。これは臺灣の平地に普通なり。
分布 臺灣、瓜哇、ボルネオ、印度。

ハラボソトンホ

Orthetrum sabina Drury

(三九)

體は黄緑。單眼の周圍及び胸側の數條は黒色。腹部は黒色、基部の三節は大部黄緑、第四、五、

オホシホカラトンホ

(三七)



♀

雄、體は黄色、眼の周圍、胸側の太き二縱條(中に黄紋列あり)、腹部(基部三、四節の背面、中央及び側方にては黄色)及び脚は黒色、前胸及び腹部に白紋を裝ふものあり。雌にては腹部は黄色、各節の後縁、背面の太き二縱條及び腹面の太き一縱條は黒色、翅は雌雄共に透明、基部少しく褐色、翅脈は黒色、縁紋は黒褐。體長一寸四分内外。開張二寸二分内外。これは本邦到る所に普通なり。
分布 北海道、本州、四國、九州、支那。

Orthetrum japonicum Uhl.

Orthetrum melanurum Dyar

雄、體灰色、少しく藍色を帯ぶ、前頭及び顔は黒褐、雌にては體黒色、中胸背黄色、兩側に暗色線あり、後胸の後縁及び翅の基部は黄色、第一、二、三腹節の大部并に尾節上方の附屬物は黄色、翅透明、雄にありては少しく灰藍色を帯び、外縁少しく褐色を呈す、翅底及び脚は黒色。體長一寸八分内外。開張三寸内外。これは山間に多き種類なり。

分布 日本全土、沖縄、臺灣。

コフキシヤウジヤウトンホ

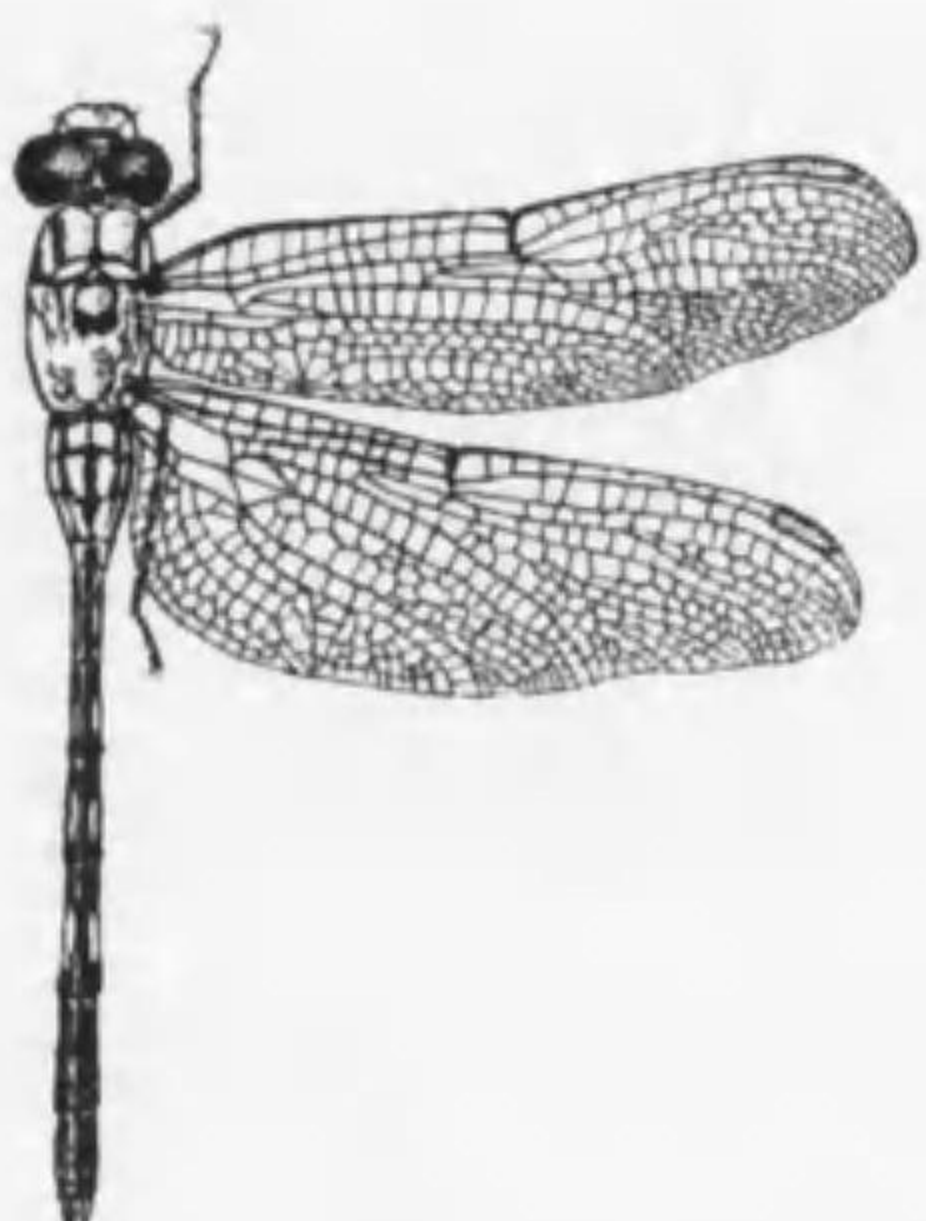
Orthetrum prinosum Karni.

(三八)

ネグレクツム形 ♀ *f. neglectum* Karni.



第二〇 蜻蛉目



タイワンオホシホカラトンホ

Orthetrum triangulare Selys

(三〇)

雄、體黒色、腹基部の四節白色なるものと、黒

六節の下面に黄紋ありて、腹側まで擴がる。脚は黒色、前腿節の下面は黄緑。翅は(雄)透明、(雌)少しく褐色を帯び、翅脈黒色、前縁及び縁紋は暗褐。體長一寸八分内外。開張二寸八分内外。石垣島及び臺灣に稀ならず。
分布 九州、沖縄、南方支那、印度、フキリツピン、シンガポール、瓜哇、ボルネオ、スマトラ、臺灣。

色なるものとあり、又下面にて第四、五、六腹節に各二個の黄褐色を装ふものあり、翅は透明、後翅の基部濃褐、翅脈及び縁紋は黒色。雌、顔、胸、背、胸側の太き二黒帯を除きたる部分及び第一、第六腹節の兩側は黄白、翅は少しく褐色を帯ぶ。體長一寸七分内外。開張二寸八分内外。これは臺灣の平地に稀ならず。

分布—臺灣、印度支那、印度。

ウスバキトンボ

Lantula flavescens F.

♂



(三二)

雌雄、體黄褐、顔橙黄。中胸下方の兩側に黒紋あり。前翅透明、縁紋暗褐。後翅外縁及び内縁は少しく褐色を帯ぶ。腹背上の黒縦條は斷續し、尾端に近きものは紋列をなし、第三腹節に四個の横條起あり。脚黒色、腿節の基部は淡き暗黄色。體長一寸五分内外。開張二寸八分内外。本邦何れの地方にも普通なる種類にして、航海中、海上に目撃すること多し。

分布—日本全土、支那、ボルネオ、セレベス、フィリッピン、マダガスカル。

タイワントンボ

Potamureta obscura Kamb.

♂



(三三)

雄、體は灰色、顔は黄白、顔は暗褐、第五腹節

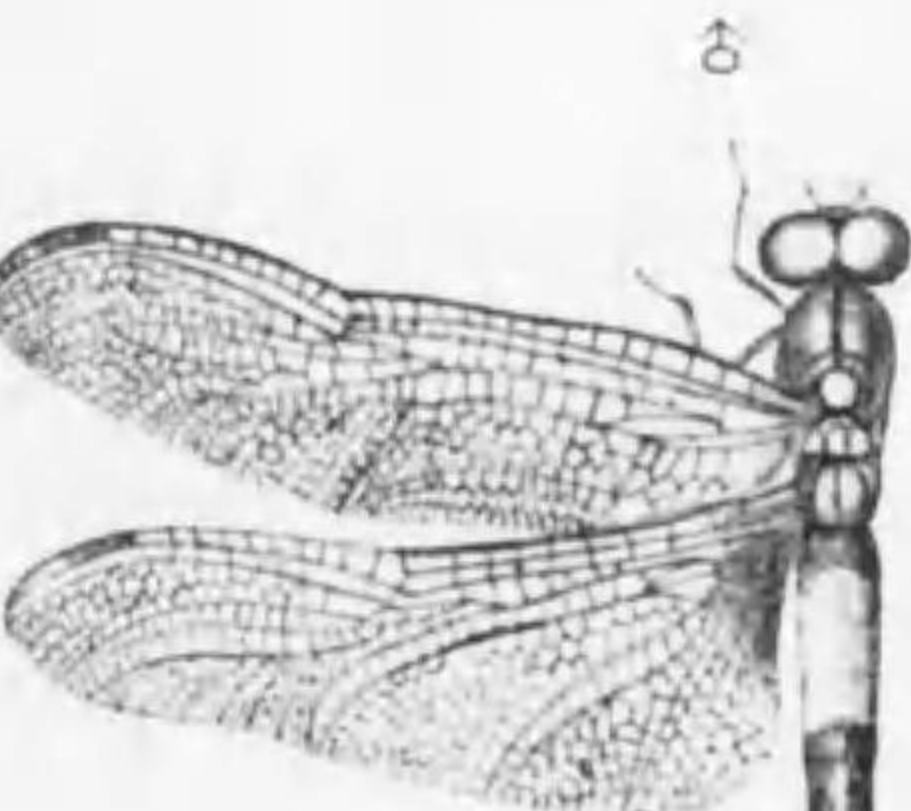
以下背面は黄褐、二黒條を縱走す、脚は黒色、基部は黄褐。雌、體は黄褐、胸側面の各三帯及び前胸は暗褐、各腹節の後縁、背面の二縦條及び第八節の兩側に延長せる部分は黒色。翅は雌雄共透明、翅脈及び縁紋は黒色。體長一寸五分内外。開張二寸六分内外。これは臺灣全島に普通なり。

分布—臺灣、西藏、印度支那、瓜哇、セレベス。

コシアキトンボ

Pseudoburnia zonata Karni.

♂



(三四)

體黑褐。胸部の兩側に黄色の二斜條あり。單眼の上楯は黒藍色、顔は黄色。前翅の三角室に一

横線を具へ、縁紋は黒色。外縁は狭く褐色。後翅内縁の基部に黒色の大紋を装ふ。雄にては第三四腹節は黄白、雌にては第四腹節に黒帯を装ふ。脚は黒色。體長一寸四分内外。開張二寸六分。山間の道路に多く、常に高く一定の處に飛翔す。

分布—本州、四國、九州、琉球、臺灣、支那。

テフトンボ

Rhyothemis fuliginosa Zelys

♀



(三五)

雌雄、體黒色。複眼赤褐。顔黒藍色。前翅基部の三分の二は黒色、末端透明、縁紋黒色。後翅の大部は黒色、末端の

小部は透明。雌の前翅外縁の小部分は黒色、後翅の外縁は黒色、透明の一枚を藏す。體長一寸二分内外。開張二寸三分内外。水田若くは麥畑の上に徘徊するもの多く、時に竿上若くは枝

上に静止するものあり。

分布—本州、四國、九州。

オキナハベツカフトンボ

Rhyothemis variegata Zoh.

♂



(三六)

雌雄、體黒色。胸暗緑、黄色の短毛多し。顔は黄色、顔は暗緑、上唇は黒色。翅は暗甲色。前

インペラツリツクス形

E. imperatrix Zelys

♂

翅は後翅より遙に長しと雖も、幅狭く、五個の黒紋を具へ、中央にある二紋は相接す。後翅には六個の黒紋ありて、翅底にある二紋は大に

して、長し。腹基部の兩側は黄褐、尾突起の末端は上向す。轉節及び基部は黄褐。體長一寸三分。開張二寸八分内外。これは沖縄及び臺灣に産すれども本土には産せず。

分布—沖縄、臺灣、支那、印度。

ホソミドリトンボ

Zonitochloa kratochvi Karni.

♂



(三七)

雌雄、頭は金緑、下唇黄色、胸は金緑、腹は青藍色。雄にては第二、三節の側面に各一黄紋を具

へ、雌にては第二節の側面に二個の長黄斑を有し、第三節の背面に二黄紋を装ふ。翅は透明、兩翅の基部は褐色を帯び、翅脈及び縁紋は黒

楯。體長一寸七分内外。開張二寸二分内外。これは樺太の東海岸及び北海道の東北海岸に稀ならず。

分布 樺太、北海道、西比利亞。

コエゾトンボ

Somatohora japonica Mats.

(三七)

頭部及び胸部は金光ある青綠色。腹部は青黑色、雄は第二節に梯形の白紋、第三節に同色の小紋を具へ、兩節の關節部は黄色、雌にては雄

♀



よりも少しく淡色、第二腹節にある黄紋は木葉状を呈す。肢は黒色。翅は透明、淡黄色を帯ぶるものあり、雄の前三角室及び雌の同室并にそ

の附近は橙黄色、翅脈及び縁紋は黒褐。體長一寸七分内外。開張二寸四分内外。これは北國の産にして、本州には産せざるが如し。

分布 樺太、北海道。

エゾトンボ

Somatohora viridimera Uhl.

(三八)

雌雄、體は金光ある綠色。後頭黒色、顔黒藍色、額片及び下唇は黄色、前翅透明、外縁少しく褐色を帯び、縁紋は黒色。前胸背黒色、後縁黄色。

♂



初めの二腹節の兩側及び第三節兩側の前縁は黄色。鍍物性の光澤は蜻蛉に類すれども、前翅の

三角室の横置せらるゝを以て容易に識別し得べし。札幌地方に最も普通なる種類なり。體長一寸七分内外。開張二寸七分。これは本州には産せざるが如し。

分布 樺太、北海道。

キタアカネ

Sympetrum arctenum Mats.

(三九)

雌、體は黄褐。顔に一黒紋あり。胸部の兩側は黄色、太き黒色の二帯を裝ひ、その後方のものは三個の小黄色紋を有す。

♀



にして、翅の基部は黄褐色。體長一寸一分内外。開張一寸八分内外。これは樺太に稀ならざるも、北海道には少なし。

分布 樺太、北海道。

キトンボ

(四〇)

長一寸二分。開張二寸内外。これはエゾミヤマアカネに酷似するも、北海道には産せず。

分布 本州、四國、九州、朝鮮。

マユタテアカネ

Sympetrum eroticum Selys

(四一)

體は黄色。顔に二黒紋あり。前胸の三縱條は黒色、雌にては胸部の側面に各二黒條を裝ふ。腹部は黄褐色

基部の下面は黄色、兩側に斷續せる黒條を縱走す。翅は透明、翅脈は黒色、縁紋は暗色、



翅底の基部は黄褐、雌にては翅端暗褐。體長一寸二分内外。開張一寸八分内外。これは本邦何れの地方にも普通なり。

分布 北海道、本州、四國、九州、朝鮮。

エゾアカネ

Sympetrum flavolum L.

(四二)

の部分黒色。顔黄色(雌)若くは赤褐(雄)。中胸兩側に黒條ありて、其中間は淡色。翅は透明、縁紋暗色、雌の前後兩翅底の基部は赤褐。腹部は體と同色、兩側に黒紋條を具へ、雄尾節の附屬物は黄色。脚黒色、前腿節の内側及び中後の兩基節は暗黄。體長一寸二分内外。開張一寸九分内外。これは中國地方には普通なり。

分布 本州、九州、中央支那。

ミヤマアカネ

Sympetrum alatum Selys

(四三)

體は赤色(雄)若くは黄褐(雌)。胸部の兩側は黄色。翅は透明、外縁に近く太き褐色帯を裝ふ。翅脈は赤褐(雄)若くは黄褐(雌)、縁紋は赤色

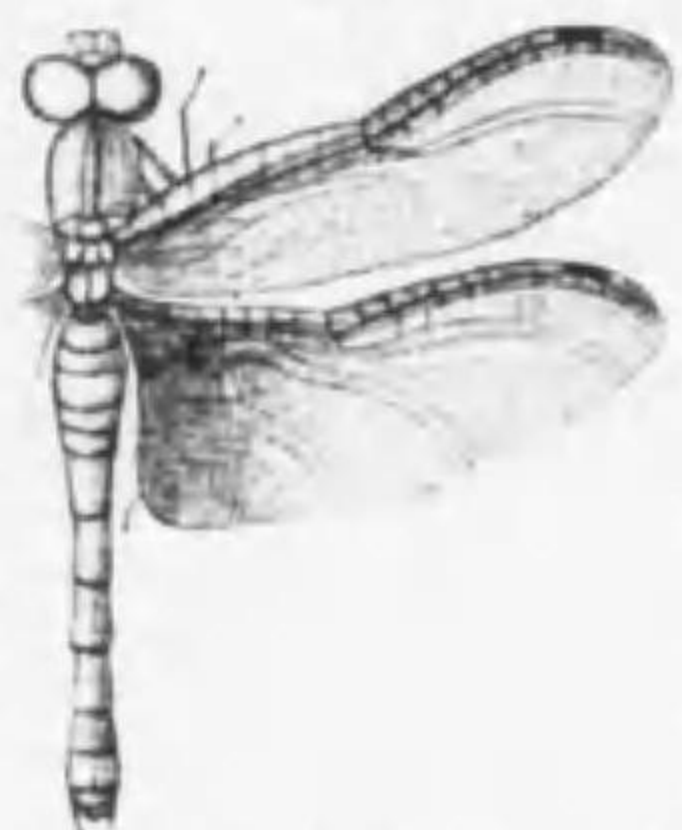
は黒色。脚は暗褐、其前後の脈は黒色。脚は暗黄。顔は黒色の短毛を密生す。翅透明、翅脈黄褐、前縁及び翅底の半部は赤黄、翅底膜は灰色、縁紋は暗褐、其前後の脈は黒色。脚



(雄)若くは黄色(雌)。脚は基部を除き黒色。體

Sympetrum eroticum Selys

♂



は暗黄、刺毛及び爪は黒色。體長一寸三分内外。開張二寸一分内外。これは殊に高山に多き種類にして、富士山頂には普通なり。

分布 北海道、本州、四國、九州。

ナツアカネ

Sympetrum rufum

(四四)



♀

體は赤色(雄)、黄色(雌)、單眼

體は赤色(雄)若くは黄褐(雌)。胸部の兩側は赤褐(雄)若くは黄色(雌)、共に判然せざる黒色の二斜帯を有す。



は透明、兩翅共基部にて黄褐、翅脈は黒褐、縁紋赤褐(雄)若くは黄色(雌)。體長一寸一分内外。開張二寸八分内外。これは樺太に普通なれども、北海道には少なし。

分布—樺太、北海道、アムール、滿洲、歐洲。

アキアカネ

Zympetrum frequens Selys (四五)

これはナツアカネに酷似するも、顔に二個の黒紋を缺き、胸部の兩側に各三條の黒條を裝ふを以て區別せらる。體長一寸三分内外。開張二寸一分内外。これは初秋札幌附近に最も多き普通種なり。

分布—北海道、本州、四國、九州、朝鮮。

マダラナニハトンホ

Sympetrum maculatum Oguma (四八)

體は黒色。顔の前面、胸部の數條、各腹前背面の二紋、第二、三兩節の側面は黄色。雌にては雄よりも黄色部多し。翅は透明、翅脈は黒色、縁紋は黒褐、雌にては兩翅の基部幅



廣く褐色を呈す。體長一寸一分内外。開張一寸八分内外。これは腹部の色彩により容易に同類より識別し得べし。紀伊、京都地方には普通なるも、その他の地方には稀なるが如し。

分布—本州。

エゾミヤマアカネ

Sympetrum pedemontanum Müll. (四九)

雌、體黄褐、雄にては赤色。顔黄色若くは赤黄色胸部の兩側は黄色(雌)。翅透明、翅脈黄褐、外縁に近く太き黄褐紋を具へ、縁紋は黄色、雌にて

ノシメトンホ

Sympetrum infuscatum Selys (四七)

體は雄にては黄褐、顔は黄色、單眼の前方に一黒帯を具へ、上唇の中央にある一紋、下唇外葉の接合部及び内葉は黒色、胸側の接合部は黒色、翅透明、少しく紫色を帯び、翅端は黒褐、



縁紋及び脈は黒色、前後の翅底は少しく暗甲色を帯び、終りの四腹節は兩側にて黒紋を裝ひ、尾狀突起は黄色、脚黒色、前腹節の半部、轉節並に基節は黄色。雌にては前頭に二黒紋を裝ふ。體長一寸三四分。開張二寸五分内外。これは北海道には稀ならず。

分布—北海道、本州、四國、九州。



ナニハトンホ

Sympetrum gracile Oguma (四六)

體は雄にては黒色、白粉を裝ふ、顔は白色、顔に一黒紋あり。雌にては黄色乃至黄褐、胸部の數條、腹側の各一縱條及び下面は黒色。翅は透明、翅脈及び縁紋は黒色。體長一寸一分内外。



外。開張一寸六分内外。これは本州西の宮附近には稀ならざるが如し。

分布—本州。



Sympetrum vulgare L. (五一)

體は暗色。顔は黄色。胸部の兩側は黄色、黒色の斜條を裝ふ。腹面は暗色。雌にては腹背の兩側に黒條を縱走す。翅は透明、兩翅共前縁に近き部分は黄色を呈す(雌にては淡色)、翅脈は黄褐、縁紋は暗色。體長一寸三分内外。開張二寸内外。これは樺太内淵地方に稀ならず。

分布—樺太、北支那、アムール、歐洲。

オホキトンホ

Sympetrum uniforme Selys (五一)

全體暗色、體下は淡色、黄色を帯ぶ。翅は黄褐、半透明、翅脈及び縁紋は黄褐。體長一寸六分内外。開張二寸五分内外。これは暖國の産に



イソアカネ

(五〇)

は赤色。腹面は黒色(雌)。體長一寸一分内外。開張二寸内外。これは晩秋、最も普通なるものにして、札幌地方にては至る處に目撃し得べし。

分布—樺太、北海道、アムール。



して、北國には産せざるが如し。

分布 本州、九州、朝鮮。

アメイトトンボ

Thalynnis thalera F.

體は節色。顔は少しく紅色を帯ぶ。翅は透明、縁紋は褐色、翅脈は黒色、前翅の基部は淡褐色。



♀

後翅前半の基部に近き部分は濃褐色。體長一寸五分内外。開張二寸六分内外。これは沖縄及び臺灣に産するも稀なり。

分布 沖縄、臺灣、西藏、比律賓、瓜哇、スマトラ。

ハネヒロトンボ

Trithemis chinensis DeG.

體黄褐色。顔黄色、單眼の前方にある一帯は青藍色、上唇の中央は暗褐色。胸環の接合部は其兩側にて暗色。翅透明、少しく黄色を帯び、脈及び縁



♂

紋は黄褐色、翅底は美麗の黄色、後翅内縁に大黒褐色ありて、其脈は黄白。腹端及び腹面末端の半部は暗色。雄の尾突起は暗褐色、基部は黄色。脚黒色、基節及び轉節は黄色。雌の腹面暗色。體長一寸七分内外。開張三寸二分内外。これは沖縄及び臺灣に普通なるも、九州には少なし。

分布 九州、沖縄、臺灣、支那、馬來、印度。

セホシントンボ

Trithemis festiva Ramb.

頭は黒紫色、前方は黄褐色。胸は暗藍色、少しく灰色を帯び、中、後、兩胸の側面、後縁は黄褐色、胸下に黄紋あり。腹部は黒色、第五、六、七節の背面に各二個の黄褐色を帯び、第三腹節の下面にも同色紋あり。翅は透明、後翅の基部は褐色、縁紋及び脈は黒色。體長一寸三分内外。開張二寸四分内外。これは臺灣に産するも稀なり。

分布 臺灣、印度、スマトラ。

ベニトンボ

Trithemis pulcherrima Kirby

雄、背面は紅色、體下は黄色を帯び、胸側に黒紋を帯び、脚は黒色、脛節は赤褐色、翅は透明、基部は褐色、縁紋は暗褐色、脈は赤色。雌に



♂



♂

ては背面は黄褐色、前胸の三縦條は暗褐色、腹側に黒條を縱走するものあり、翅脈は黄褐色。體長一寸二分。開張二寸内外。これは臺灣の平地に普通なり。

分布 臺灣、西藏、印度。

タカサゴトンボ

Zygonyx iris Selys

體は黒色。顔は黒紫色、兩側及び前面は黄色、上唇は黒紫色。中胸及び後胸の兩側前半は綠色を帯び、後半は黄色。第三腹節の側方及び下面は大部黄色。第四、第七腹節の中央に黄色の一條を縱走す。翅は透明、少しく褐色を帯び、翅端は褐色、翅脈及び縁紋は黒色。體長二寸内外。開張三寸六分内外。これは臺灣に産するも



♀

稀なるが如し。

分布 臺灣、支那、印度、ボルネオ。

コフキオホメトンボ

Zyxomma obtusum Selys

體は白色。顔は黄褐色、單眼の附近は濃褐色。腹端の三分の二は暗色を呈す。脚は黄褐色。翅は透明、翅脈は黒色、末端は褐色。體長一寸六分。開張二寸八分内外。これは沖縄に産するも稀なるが如し。



♂

分布 沖縄、セレベス、スマトラ。

二 蜻蛉科 Aeschnidae

後翅は前翅より大、前翅の三角室は後翅の三角室と稍々同形、その前縁は長く、内縁は最も短かし。複眼の頂頂にて相接するものと、接せざるものとあり。雌は産卵管を有す。静止のときは翅を水平に開置し、一定の處に飛翔するものあれども、多く遠距離を徘徊し、静止すること稀なり。黄昏高く飛んで蚊を捕食す。幼蟲は長形にして、尾端に呼吸絲を缺き、第三觸角節は第四節の半長に過ぎず、腹側には小刺を裝ひ、頭に兜狀の扁平假面を有す、下唇の中葉は大にして、兩側葉にて掩はれず、兩葉の末端には動き得べき鈎狀突起あり。本邦學名を有するもの約四十種あり。

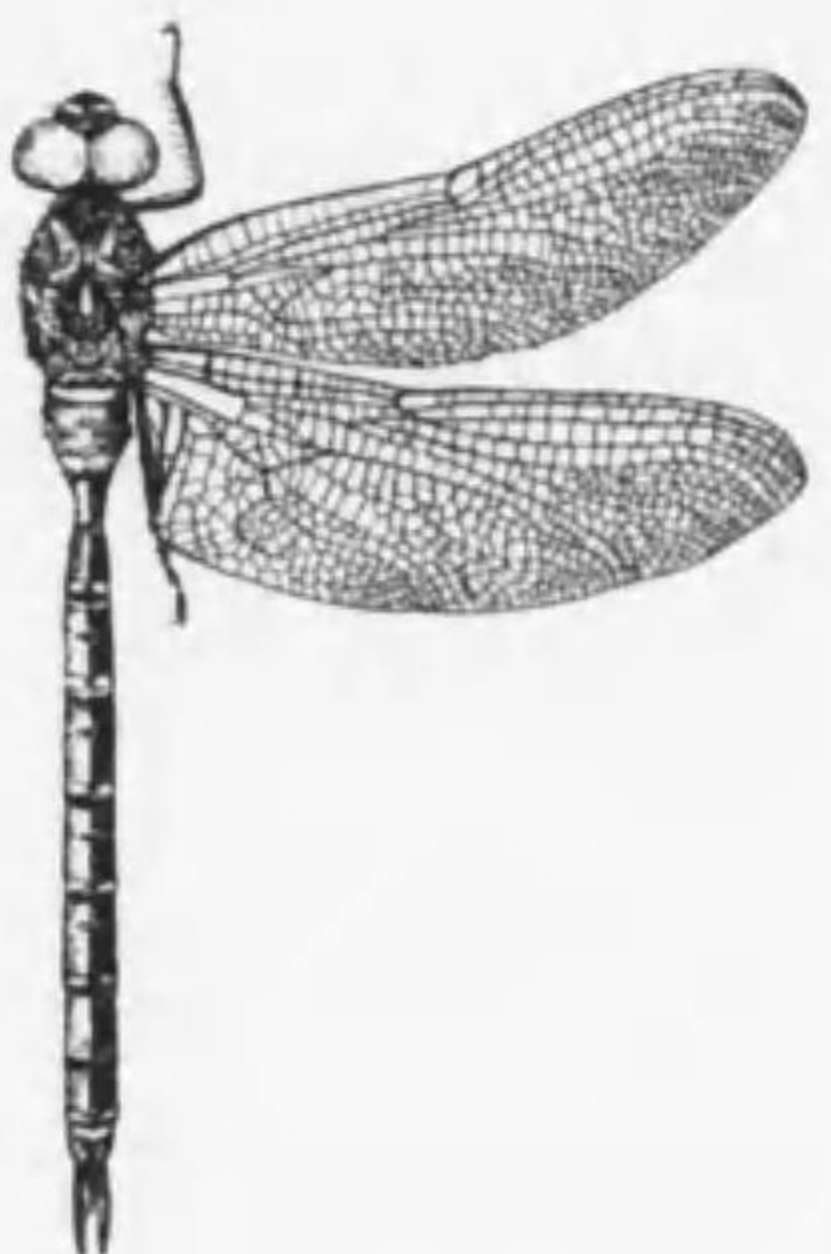


種類なり。
分布 樺太、西比利亞、歐洲、北米。

ヤブヤンマ (ヤブトンボ) (五九)

Aeschna melanifera Selys

體は黒色。顔の下方、顔、前胸の二縱條、中、後兩胸の縱條、第一、第二腹背節の一縱條及び側面、第三―第七節の各一帯、雄末端節の一大紋等は綠藍色。翅は透明、基部少しく褐色、翅脈及び縁紋は黒色。體長二寸七分内外。開張三寸七分内外。これは本州及び九州にはかなり普通の種類なり。雄の末端背面に刺狀突起あるによりて容易に同類と區別し得べし。



ヨシヤンマ (ヨシトンボ) (六一)

Aeschnajulebia optata Selys

體黒色、前頭の大半黄色。顔は橙黄色、上方に黒色の一横線あり。胸背の兩側に各三個の黄色條を縱走す。後胸背に黄紋あり。翅は透明、少しく黄色を帯び、縁紋は黒褐。各腹節の背上一、二個の黄紋を横走す。尾端の附屬物は長く、其内側に黒色の長毛を密生す。脚黒色、腿節の内側黄褐。體長二寸二分内外。開張三寸三分内外。この種類は蘆、葦の間を徘徊する普通種なり。

分布 北海道、本州。



トビイロヤンマ (六三)

Anaeschna jaspidea Burm.



ギンヤンマ (六三)

Anax parthenope Selys

體黄綠。第一、二兩腹節は雄にては青藍色。複眼赤褐。後頭及び顔は黄色、後者の上縁に黒横ジワリウス形。分布 臺灣、瓜哇、スマトラ、ボルネオ、タヒチ。



分布 本州、九州。

オホルリボシヤンマ (六〇)

Aeschna nigrofava Mart.

體は黒褐。顔は青白。前節の二縱條、中、後兩胸の各一帯は綠藍色。各腹背節の前、後兩縁及び判然せざる一帯は藍色若しくは綠藍色。翅は透明、翅脈は黒色、前縁及び縁紋は褐色。體長二寸五分内外。開張三寸七分内外。これは北海道には普通なるも、本州にては北部に限りてのみ棲息するが如し。分布 北海道、本州。

條あり。翅は透明(雌にては赤褐を帯ぶ)、縁紋は緑褐。脚黒色、前腿節の下面黄緑、中後の兩腿節は赤褐。雄の腹部赤褐、背上に黒褐縦條あり。體長二寸四分内外。開張三寸八分。これは本邦最も普通なる種類にして、水田、麥畑等の上を飛行して害蟲を捕食し、農家に有益なり。

分布 日本全土、沖縄、臺灣。

オニヤンマ

Anotogaster sioboldii Selys

(六四)

體黒色。複眼褐色、少しく緑色を帯ぶ。額片及び上唇の上部は黄色、中後兩胸の兩側に黄條、背上に二黄條を裝ふ。翅透明、少しく暗色を帯

♂



ぶ。縁紋は黒色。前縁脈は綠黄。第二腹節以下各節に一個の黄帶あり。脚黄色、基節に赤褐の長毛を裝ふ。體長二寸八分内外。開張三寸七分内外。山間の道路に普通なる種類にして、一定の場所を徘徊す。本邦最大の種類なり。

分布 日本全土、沖縄、臺灣。

カラフトサナヘ

Distatomma ocellia Four.

(六五)

體黄緑。頭頂の二帯、額片の八字形紋、上唇の周圍、中胸の五縱條、後胸の細き斜條及び腹部は黒色。翅透明、翅底は淡き體甲色、脈黒色、縁紋灰色、第二腹節の兩側に耳棟突起を具へ、

♂



各腹節の背面及び腹面は何れも末端を除き綠黄色。尾節及び尾狀突起は黄色。脚は黒色、基節及び後腿節の外側は黄色。體長一寸七分内外。開張二寸六分内外。樺太に稀ならざる種類なり。

分布 樺太、北海道、歐洲。

コヤマヤンマ

Epophthalmia amphigena Selys

(六六)

體は金光ある黒綠色。前頭褐色、少しく青色を

♂



混ず。額片黄色。中胸背の前縁に黄褐の長毛を密生し、兩側に二黄條あり、肩板は黄色。後胸後縁の兩側に黄色紋あり。翅は雄にては無色透

明、雌にては少しく黄褐を帯ぶ、縁紋は黒色、腹部は黒色、黄帶若しくは黄條を裝ふ。脚は黒色、前中兩基節の一部は黄色。體長二寸三分内外。開張三寸五分内外。山間の道路に多く徘徊す。

分布 北海道、本州、九州。

サナヘヤンマ

Gomphus melanops Selys

(六七)

體黒色。前頭の前縁黄色。上唇の兩側に黄條を裝ふ。中胸背の前縁は黄色、縦隆條及び黄色點を具へ、兩側には更に太き黄色の斜條を裝ひ、中胸の副側片及び後胸の大半は黄色、翅透明、翅底少しく黄色を帯び、雄にては縁紋暗褐、雌にては黒色、第二腹背節及び兩側には黄條を具



へ、他の各腹節の基部及び兩側に黄條を有する

第二〇 蜻蛉目

ものあり。雌、尾端の附屬物は末端にて黄色。體長一寸四分内外。開張一寸八分内外。これは山間の道路に普通なり。

分布 本州。

オホサナヘモドキ

Gomphus postocularis Selys

(六八)

これはオホサナヘに酷似すれども、雄、翅の基部は淡褐色を呈し、雌にては腹部に三條の綠條

♂



を縱走するによりて容易に區別し得べし。體長一寸七分内外。開張二寸五分内外。これは本邦餘り多からざる種類なり。

分布 北海道、本州。

カトリヤンマ

Gynacantha hyalina Selys

(六九)

體綠色。顔黄色。前頭の十字形紋は黒色、前翅透明、縁紋黒褐(雄)若しくは赤褐(雌)、第二腹節に黒褐の横紋を具へ、第三節以下の腹背は黒褐、各一個の黄色横溝を有し、各節の後縁に黄

♂



色紋を裝ふ。腹面暗黄。體長二寸二分内外。開張三寸一分内外。黄昏道路を低く飛行する普通種なり。

分布 本州、九州。

ウチヤンマ

Ictinus clavatus F.

(七〇)

一四四九

體黑色、黄紋を装ふ。前頭の前縁は暗黄、顔は暗黄にして、黄縦條あり。胸部の大部黄色、兩側及び背面の紋條は黑色。翅の縁紋黑色。脚及び



び腹部の大半黑色。各腹節の背上に黄色紋あり。第二腹節の兩側に稍、楔狀の附屬物を具へ、第八腹節の下方に半圓形に近き葉狀の附屬物ありて、その基部は黄色。體長二寸六分内外。開張三寸四分内外。これは池沼に普通なる種類なるも、その飛翔速かなるを以て捕獲困難なり。北海道には産せざるが如し。

分布 本州、四國、九州。

タイワンウチハヤンマ
Ictinus fallax selys.....(七二)



體は綠黄。頭部の數紋、前胸のM字形紋、胸側の各三帶、各腹節の後半及び脚は黑色。腹部の綠黄色の少きものもあり、第八腹節の兩側には團扇狀の附屬物を装ふ。翅は透明、少しく褐色を帯ぶるものあり、翅脈及び縁紋は黑色。體長二寸三分内外。開張三寸内外。これは沖縄の南部及び臺灣に稀ならず。

分布 沖縄、臺灣。

サラサヤンマ
Isogonia pyret Mart......(七三)

體暗褐。頭黑色、前頭に綠黄の二紋を装ふ。顔の中央に橙黄色の二帶あり。下唇の内外葉の基部は黄色。中胸背前方の二縱條、胸側の二斜條



脚の着部上方の一紋、稜狀部各翅底に近き二小紋、第二腹節兩側の三紋、同節背上の三紋、各腹節後縁の二紋、各腹面節基部の二紋等は黄色。翅透明、少しく黄色を帯び、脈及び縁毛は暗褐、脚黑色。雌にては翅は淡き藍甲色、體の黄紋は大形、第一、二腹節の兩側は大部分黄色。體長二寸一分内外。開張二寸八分。これは何れの地方にも多からず。

分布 本州、九州。

オホサナハ
Nihonogomphus viridis Oguma.....(七四)

雄、體綠色、單眼の附近、顔面の八字形紋及び上唇の周圍、前胸の三縱條等は黑色、腹部黒

♀



色、背面の一縱條、基部三節の兩側、第二乃至第九節の各前縁、第八、第九兩節の兩側にて擴がれる各一紋、末端節の後半等は綠色。脚は黑色。雌は雄に比し黒色部多く、後胸の前縁は黑色、腹部は後半に斑紋を缺く。翅は雌雄共に透明、翅脈黑色、縁紋暗褐。體長一寸七分内外。開張二寸三分内外。これは信州に産するも多からず。

分布 本州。

ミルンヤンマ
Platasechna (Anstroesechna) milnei Selys.....(七五)

體黑色。顔の周圍、顔の一帯、上唇の一帯、前

♀



胸の二縱條、胸側の二帶、各腹節の一帯等は濃黄色。翅は透明、翅脈及び縁紋は黑色。體長二寸四分内外。開張三寸一分内外。これは本州の南部に産するも多からず。

分布 本州。

ヒメヤンマ
Platygomphus melanops Selys.....(七六)

體黑色。顔の一帯、胸部の數條(前胸の二條及び胸側の各四條)、第二腹節背面の一縱條及び側面、第八節の後縁に近き二紋、第九節の後縁等は綠黄。翅は透明、翅脈及び縁紋は黑色。體長二寸一分内外。開張二寸九分内外。これは稀な

♂



メガネヤンマ
Platygomphus ocellatus Selys.....(七七)

分布 本州。



一四五二

これはヒメヤマヤンマに似れども、その異なる所は、上唇には一黄帯を装ひ、雄の第七、八、九腹節は著しく膨大し、背面側方には各一黄帯を有し、その内、第八節のもの最大、これ等三節の下面は黄色、體長二寸一分内外、開張二寸四分内外。これは熊本地方に産するも稀なるが如し。

九州。

コオニヤンマ

Stibolobus japonicus Selys

(七七)

體黑色。前頭の前縁黄色。中胸背上の丁字形隆起は其兩側に各一個の黄色條を縱走す。中胸の兩側に黄條を具へ、後胸の大半は黄色、中胸の



副側片及び其上方の一點は黄色。翅透明、少しく赤褐を帯ぶ。第一、二腹節の兩側及び各節の基部は黄色。體長二寸七分内外。開張二寸九分内外。山間の道路に少なからず。

本州。

三 昔蜻蛉科 Epiophlebitidae

これはその形蜻蛉科に酷似するも、前後翅に三角室を缺如するを以て容易に區別し得べし。脈相及び幼蟲の状態は豆娘科の夫れに似たり。本邦學名を有するもの一種あり。

ムカシトンボ

Epiophlebia supravittata Selys

(七八)

體黑色。前頭の葉狀隆起の末端、頭頂、顔の一帶、額片、上唇、下唇、頰、各胸側の三斜條、稜狀部、各腹節の三紋等は橙黄色。顔に黑色細毛多し。頭頂及び胸部に灰黄の長毛を装ふ。翅は透明、脈及び縁紋は黑色、光線の工合により少し



四 河蜻蛉科 Calopterygidae

く紫色を現はす。腹部に幾多の黄紋を装ふ。雌にては翅の前縁に沿ひ淡き藍甲色を呈する部分あり。體長一寸七分。開張二寸二分内外。これは本邦稀なる種類なり。

北海道、本州、九州。

附言 これは従來 *Valaeophlebia* 屬に隸せられたるものなり。

静止の時は翅を直立せしむ。翅は無数の小細胞を具へ、これは翅底に到るに随ひ更に小形となる、三角室を缺き、基部は細しと雖ども有柄ならず。多くは赤褐若くは黑色の大翅を装ひ、腹部は綠色若くは銅色なり。幼蟲は頭部より長き七節ある觸角節を具へ、第一節は他の六節を合したるものより長く、尾端の呼吸鰓の外に直腸鰓を有す。本邦學名を有するもの約二十種あり。

河蜻蛉科 Calopterygidae

雌、體は黑色、少しく綠色を帯び、光澤あり。

ヒメカハトンボ

Hayadera hyalina Selys

(七九)

雄、體は黑色、少しく綠色を帯び、光澤あり。



ハゲロカハトンボ

Calopteryx atrata Selys

(八〇)

胸側及び胸面に黄紋を具へ、白粉を装ふ。翅は透明、縁毛は黒褐。腹部は少しく翅端を越え、末端の角狀突起は少しく内方に曲り、臀板には圓錐形の二突起あり。體長一寸三分。開張二寸内外。これは北埔にて捕獲せるが少なし。

臺灣、印度。

體は金光ある綠色若くは青色。胸背黒縁。下唇黑色、白粉を装ふ。翅は雌にては全體黑色、綠色を帯び光澤あり、縁紋を缺く。雌にては翅は暗褐、前翅淡色、長き白色の縁紋を装ふ、腹黑色、體下に白粉を装ふ。體長一寸九分内外。開

♀



張二寸七分内外。山間の小川に多しと雖ども、亦田野の池沼、湖邊にも稀ならず。

分布 北海道、本州、九州。

ミヤマカハトンボ

Calopteryx cornuta Selys

體黑色、少しく紫色を帯び、體下黄褐、上唇は光澤ある紫色、下唇黄白、胸背に疣状突起及び高き縦隆起あり、翅赤褐。雌にては前翅淡色、



分布 北海道、本州、九州。

オキナハハグロカハトンボ

Calopteryx okinawan Mats.

アヲハダカハトンボに酷似するも、その異なる所は、雄にては前縁脈及び徑脈は他の縱脈と異ならず、全横脈は灰黄、上唇基部の凹陥は淺



分布 沖縄。

附言 従来沖縄産のハグロトンボはアヲハダカハトンボと同種なりと同定せられ居りたり。

アヲハダカハトンボ

Calopteryx japonica Selys

ハグロトンボに酷似すれども、その異なる所は雄にては前翅の前縁及び徑脈は金綠色を呈し、



縁紋黄白、後翅は前翅よりも濃色、縁紋の内部は一層濃色。雄にては縁紋を缺き、腹部は金光ある綠色。脚は黑色、基節及び後腿節の内方は黄褐色。體長二寸二分五厘内外。開張三寸一分五厘内外。山間の小川に多く、札幌地方には普通なり。

く、且つ小、後頭兩側の圓錐形突起を缺き、翅の幅は明瞭に廣く、雌の白色の縁紋は前後その形を異にし、前翅に於ける縁紋は大にして後翅のものよりも約倍長あり。體長一寸八分。開張二寸六分内外。これは沖縄に産する種類にして、少なからざるが如し。

後頭の兩側に低き圓錐形の小突起を具へ、雌にては白色の縁紋を有するによりて容易に區別せらる。これは東京地方に産する普通種なり。

分布 本州。

ナカグロカハトンボ

Euphaea formosa Hagn.

體黑色。後胸の横紋、胸側の五斜條、肩板及び稜狀部は赤黄。翅透明、前翅前縁は結節に至る迄少しく黄色を帯ぶ、脈及び縁紋は黑色。後翅底は黄色、末端の三分の二は黒縁、翅端は透



コナカグロカハトンボ

Euphaea yayeyamama Mats. et Oguma

雄、ナカグロカハトンボに似れども、その異なる所は、一、形小、二、前翅端に近く黒斑を有す、



三、後翅の黒色部は中央に達せず、四、腹端の四節黒色、雌にては後翅の色彩淡く、腹端二節の斑紋は小、體長一寸三分、開張一寸九分内外。これは八重山に普通なり。

分布 沖縄(八重山)。

タイワンハグロカハトンボ

Micromerus lushanensis Selys

雄、體は金屬性の綠色にして、光線の工合により少しく金色を帯ぶ。複眼は栗色、觸角、胸側



ニグリヘツクダ形

E. nigripsecta Selys

の斜條、胸面、腹面、尾突起及び翅は黑色。腹部は翅よりも遙に長し。翅は光線の工合にて紫色、紺色、灰色を呈し、横脈灰白。雌にては翅は栗色、横脈は黄褐、縁紋は白色、後翅のものは小なり。體長一寸一寸九分。開張二寸五分内外。これは臺灣の小溝に普通なり。

分布 臺灣、支那。

ヒメハナダカトンボ

Micromerus lineatus Burm.

體黄色、少しく綠色を帯ぶ。頭黑色、頭頂の五紋及び後縁は黄色、額片藍色。中胸の前半は黒

明。腹部黄褐、末端半部黑色。胸面に白粉を散布す。脚黑色、内側に白粉を散布す。後翅の中央は暗褐、末端の三分の一は透明。腹部は黑色、兩側び背上に灰黄の縱條を裝ふ。體長一寸四分内外。開張二寸内外。これは臺灣の池沼に少なからず。

分布 臺灣。



色、五條の黄線を斜走し、後半は黄色、三黒紋を装ふ、中後兩胸の接合部は黒

色、前胸背後縁の一紋及び中後兩胸背の小紋は黄色。翅透明、翅底黄色。前翅の末端黒色。腹部の末端、各腹節の前縁、後縁、腹面及び脚は黒色。腹節基部の内側及び脛節の内側は白色。雌は前翅末端に斑紋を缺き、縁紋は黄白色。體長七分七厘内外。これは臺灣の小川に少なからず。

分布 臺灣。

ナミカハトンボ (カハトンボ) (八八)

Mnais costalis Zelys

雄、地色は金光の綠色、白粉にて掩はる。下唇は黒色。翅底の四分の一は透明、殘部は赤褐、前縁中央の一回は濃色、不透明、翅脈及び縁紋は赤褐。雌にては白粉を装はず、翅は透明、少しく黄赤色を帯び、翅脈は黄褐、縁紋は灰色。脚は黒色。體長一寸八分内外。開張二寸七分内



雄、體は銅褐色、少しく綠色を帯び、胸背、胸面、脚及び第一腹節に白粉を装ふ。額片及び上唇は金綠色。觸角及び脚は黒色。翅は赤褐、中央は濃色、不透明、基部四分の一は透明、少しく黄色を帯び、縁紋は紅色。胸側に黄色の紋條あり。腹部は綠銅色、生殖器下附器の長さは上附器の三分の二あり。體長一寸九分。開張二寸七分。これは五月中旬鹿兒島に稀ならず。

外。山間の小川に多く、静止の際は翅を上方に立つ、その飛翔の状恰も飛石を飛ばが如き觀あり。分布 日本全土、臺灣。

チャバネカハトンボ (八九)



外方にある前縁室には二列の五角形胞を有し、尾端の上下附器は稍々同長なるにあり。體長一寸九分。開張二寸六分。これは八月上旬大坪にて捕獲せり。分布 臺灣。

キヌハカハトンボ (九二)

Psolodesmus dorothea Will.

シロオビカハトンボに酷似すれども、體大形、翅廣く、白色部を缺き、全面透明、青藍色を帯び、前縁暗褐、外縁の黒色部は遙に少なく、光線の具合により紫色を現はす、腹部は遙に長く、雄の尾狀突起は末端にて相接せず、其外側に小齒を列ね、其數遙に多し。體長二寸一分内外。

ヤナギカハトンボ (九〇)

Mnais strigata Hag.



開張二寸四分内外。臺灣地方に多し。分布 臺灣。

クロイハカハトンボ (九三)



雄、キヌカハトンボに酷似するも、その異なる所は、體は暗綠、胸側條は灰白、翅端の黒色部遙に狭く、縁紋に白粉を具へ、その下縁は弓狀をなして一層深く彎曲す、翅面乳白色の代りに灰黄色を呈せることによりて區別せらる。體長二寸。開張二寸八分。これは沖縄に産するも、未だ他に發見せられず。分布 沖縄。

タイワンカハトンボ (九一)

Mnais tenuis Oguma

チャバネカハトンボに似れども、その異なる所は、前胸背に黄紋を缺き、翅は細く、翅底の四分の一を除き全部赤褐の美麗色を現はし、縁紋の



シロオヒカハトンボ

Isolobosmus maderinus M.L.

雄、體は黒色、胸腹側に黄白紋を具へ、第一、二腹節にては少しく青色を帯ぶ。翅は透明、少しく暗黄を帯び、縁紋は暗色、末端の半部は周



♂

白、翅端は不透明、暗色。腹部暗褐、末端少しく濃色。脚暗褐、基節、轉節及び腿節の下面は黄白、長黒毛多し。體長一寸九分内外。開張三寸二分。これは臺灣山間の小川に少なからず。

分布 臺灣、支那。

モンシロハナダカトンボ

(九五)



♂

厘。開張一寸七分。これは埔里にて捕獲せられたり。

分布 臺灣。

ハナダカトンボ

Rhynocypha ogasawarensis Mats.

體は天竺絨様の黒色。額片は卵形。複眼の内側



♂

紋、頭頂の四小紋及び觸角の基節は黄色。胸背に赤黄の小紋を散在す。

Rhynocypha albistigma Mats.

雄、體は黒色、胸腹側に黄白紋を具へ、第一、二腹節にては少しく青色を帯ぶ。翅は透明、少しく暗黄を帯び、縁紋は暗色、末端の半部は周



♂

圍を除き灰白、後翅は前翅よりも少しく濃色、然れども暗色部なし。體長九分。開張一寸六分。これは埔里にて捕獲せられたり。

分布 臺灣。

バイハラハナダカトンボ

Rhynocypha hakaruma Mats.

雄、スキバハナダカトンボに似れども、その異なる所は、前翅の黒藍色部は翅の半ば以上に達し、後縁は廣く透明、後翅は透に廣く、末端の半部は黒藍色、これに透明なる互紋ありて、翅

翅は細長、透明、少しく黄色を帯び、脈及び縁紋は黒色。後翅は前翅よりも少しく濃色、翅端暗褐。腹背は赤血色。腹面並に脚は黒色、雌の胸側に細き黄白斜條を裝ひ、腹部は黒色、背線は赤色、胸面には白粉を散在す。體長九分内外。これは小笠原父島の小川には普通なり。

分布 小笠原島。

スキバハナダカトンボ

Rhynocypha perforata Perch.

雄、體は黒色、藍色紋を裝ひ、その胸側にある



♀

ものを三縦斜紋となり、各節兩側にあるものは相縦列す。翅は透明、少しく黄色を帯び、末端は暗色、後翅には透明の七紋ありて、脈胞の大部は四角形を呈す、雌にては翅端の暗色部に透明紋を缺き、縁紋は暗色にして、その末端は灰白。脚は褐色。體長九分五厘。開張



♂

端にあるもの最も大、縁紋は白色、第二、三腹節の背には青色の、第四節乃至第八節の背には黄褐の大紋あり。體長一寸。開張一寸八分。これは七月中旬バイハラにて捕獲せられたり。

分布 臺灣。

トホシハナダカトンボ

Rhynocypha maculata Mats.

雄、スキバハナダカトンボに酷似するも、その異なる所は、上唇の中央に橙黄紋を具へ、その兩側及びその後方に綠黄の各一紋を具へ、前翅末端の三分の一は暗色、その各胞室の中央は濃色、縁紋の中央は灰白、後翅には各六紋ありて、翅端の上方のものは最大、第三腹節乃至第八節の兩側にある黄紋は三角形を呈す。體長八分五

二寸五分内外。これは函子嶺地方に普通なり。

分布 臺灣。

五 豆娘科 *Zygoptera* *Agrionidae*

静止の時は翅を直立せしむ。翅に多く四角形若くは五角形の細胞を具へ、三角室を缺き、翅底は細く有柄なり。後翅は前翅と略同様。複眼は廣く頭上に相隔離す。體は細長、腹部は稍々圓柱形。小川の近くを徘徊し、遠く飛翔せず。幼蟲は長き捕獲假面(Transtrum)を有す。本邦學名を有するもの二十數種あり。

オホイトトンボ *Agrion (Oenagrion) scholtdi* Zelys (100)

體黄緑。頭頂黒色、前縁は暗黄。上唇及び下唇黄白。前胸背は黒色。中胸背の中央に太き黒色の一縦條あり。其兩側には稍々細き黒條を裝ふ。縁紋は暗色。腹部は雄にては青色、背上に長き黒縁條を具へ、腹面及び尾端は黄白、雌にては背面の全體は黒緑。腿節の外方は黒色。體長一寸一分五



ある一斜條及び胸面は黄色。翅透明、少しく灰色を帯び、光線の具合にて青白色を現はす。脈及び縁紋は黒色、翅端暗色。腹部暗褐色、第四、五及び六節の基部は灰黄。脚黄褐。體長一寸五分。これは沖縄に稀ならず。



厘内外。開張一寸五分五厘内外。これは池沼の小溝近邊に普通なり。
分布 北海道、本州。
ヒメツマグロイトトンボ *Agrion apicalis* Mats. (101)
體黒色。前頭、額片及び上唇は黄褐、下唇及び觸角は灰黄、前胸背の兩側、中後兩胸の兩側に

キイトトンボ *Ceragrion melinurum* Zelys (101)

體黄色。頭頂暗黄、上唇黄色、下唇黄白。中胸背暗黄。翅無色透明。腹部は雄にては第七節より尾端に至るまで暗褐。雌にては腹背暗黄色、

グンハイイトトンボ *Copera (Pisobonema) marginipes* Kamb. (101)

體は暗綠色。前頭、後頭、額片の兩縁、上唇及び下唇は黄色。觸角褐色。中胸背兩側の斜條、同胸の後半及び後胸は黄色。翅は透明、脈の大部分は四角形、縁紋は暗色。腹部は暗色、各節の兩側(各節の末端及び尾節を除き)、尾狀突起及



♂



び脚は黄白、中後の兩腿節は白色にして、軍配扇狀に肥大す。體長一寸二分内外。開張一寸七分内外。これは東京地方の池沼に普通なり。
分布 本州、九州。
附言 此の屬の特徴は中後兩腿節の軍扇狀に肥大するにあり。

カイイトトンボ *Enallagma kirgizensis* Mats. (104)

體は淡黄、綠黒の縦條を裝ふ。頭は黒色、上唇は藍色、雄、前頭は黒色、兩側のL字形紋及び後頭の二圓紋は綠黄。胸背は綠黒、縦條は淡黄。腹背は綠黒、各紋は末端にて稍々三角形に列られ、各節の關節部は黄色、尾端は黄褐、上附器は短、截斷狀に終り、下端は三角形に突出す。翅透明、脈は暗褐、縁紋は暗褐乃至黒色。

♂



脚は淡黄、腿節の上部及び脛節の基部線は黒色。體長六分五厘。開張六分。これは嘉義地方に發見せられたり。
分布 臺灣。
附言 此の屬の後頭斑紋は楔狀を呈す。

カラフトイトトンボ *Ischnura karafutoensis* Mats. (105)

雄、體は綠黒。頰及び下唇は灰黄、上唇は暗黄褐、後頭に圓き二黄綠紋あり。胸背側に綠黄の二線を斜走し、胸面は黄色。腹部は雄にては綠黄、斑紋は黒色、第一節の基部に二紋を具へ、第二節には心臟形の一紋を裝ひ、第三、四節には

(a) 尾節上面

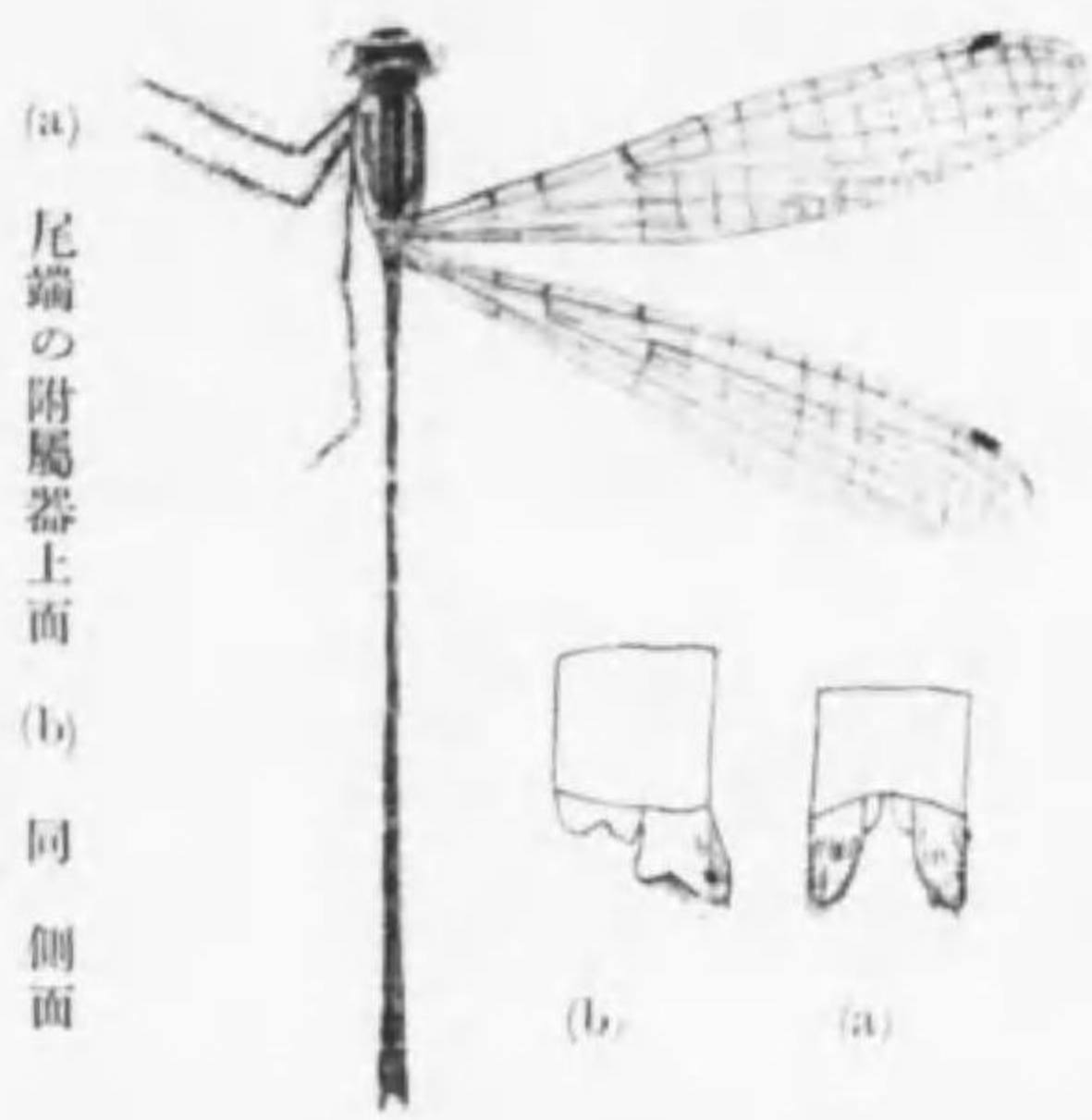
(b) 同 側面



球桿狀紋を具へ、第五乃至八節は黒色、第九節は青色、二黒點あり、第十節は黒色、その後縁は列らる、上附器は圓く、黒色、下附器は上附器より長く、圓錐形、暗黄、末端は黒色、脚は黒色、後腿節に九刺あり。雌はシアニゲルムに酷似す。體長一寸一分内外。開張一寸七分内外。これは樺太に稀ならず。
分布 樺太。
附言 此の屬は後頭に圓形の斑紋を有す。

アラカイトトンボ *Nehalennia arakawai* Mats. (106)

雌、頭頂は綠黒、後頭に灰黄綠の帯ありて、單眼



(a) 尾端の附屬器上面 (b) 同 側面

の後方にては細し、上唇、前額片及び前頭は灰黄、後額片は黒縁、頬は淡灰黄、胸部及び腹部は青色、前胸背、中胸背の四縱條、腹背は黒。胸腹の下面及び側部灰黄。各腹節の下方は少しく肥大す、第九節は末端にて三角形に列られ、第八節は中央の黄線にて二分せられ、尾狀の角狀突起は圓錐形を呈す。體長一寸一分内外。開張一寸五分。これは伊豫にて捕獲せられたり。

分布—四國。

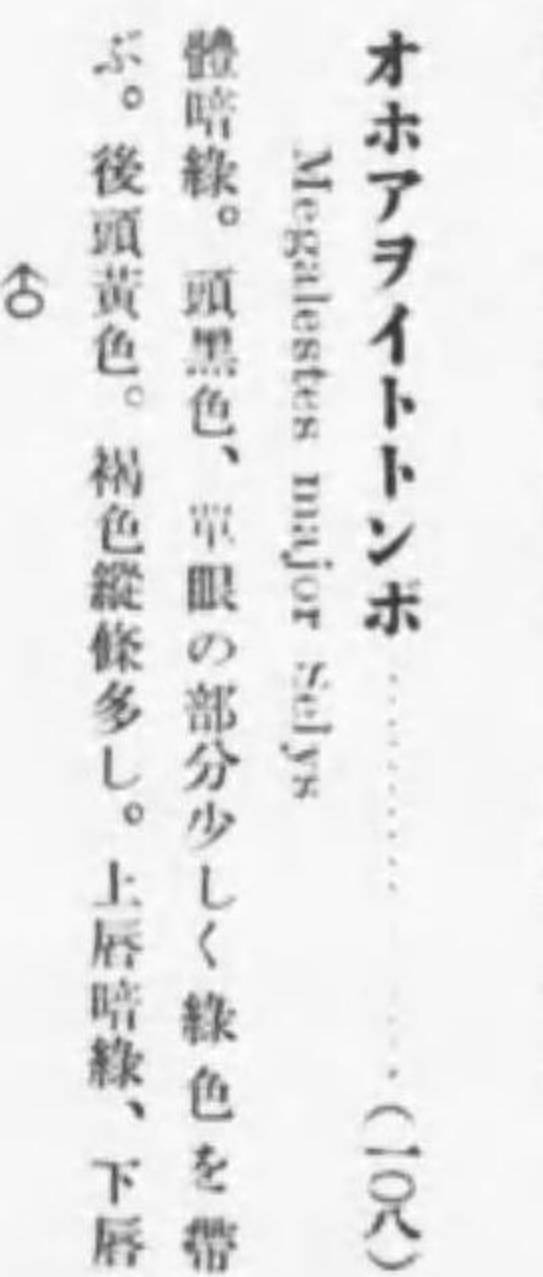


(a) 尾節上面 (b) 同 側面

附言—*Arieton*と異なる所は後頭に淡色帯を有するにあり。
アライトトンホ
Isotria medeolae
體上は金緑色、體下は灰黄。頭は暗緑(後縁を除き)、上唇及び大腮は灰色。胸隆、後胸



背及び腹基部は灰黄。翅は透明、少しく暗黄を



(a) 尾節上面 (b) 同 側面

帯び、脈及び縁紋は黒色。脚は灰黄、黒縱條あり、尾端の上附器は基部にて黄褐、末端は黒色、下附器は上附器の三分の一長あり、同じく黄褐。體長一寸三分。開張一寸四分。二寸一分。これは中國地方に普通なるも、札幌地方には産せざるが如し。
分布—本州、四國、九州。
附言—この属の脈胞は多く五角形を呈す。

小。體長一寸二分。開張一寸六分。これは中國地方に普通なり。
分布—本州、歐洲。
附言—この属は *Megale* に似るも、静止の時は翅を直立せしむ。

あり。翅透明、光線の工合にて翅端は青白色を帯ぶ、縁紋より結節に至る迄暗色、此部分に於ける脈の兩側は淡色、縁紋及び脈は暗褐。腹部は第二節より第七節に至る迄各節の兩側に黄白縦紋を裝ふ。脚黒色、基節及び轉節は黄色。體長二寸三分。開張二寸五分内外。本邦最大の豆娘にして、臺灣に産すれども餘り多からず。
分布—臺灣。

ヲツネイトトンホ

Zygonyx fovea Ishid.



(a) 尾節上面 (b) 同 側面

て列られ、球桿状を呈し、初めの一節及び終りの三節にては列られず、尾端の下附器は灰黄色上附器は弓状、基部に一齒あり、下附器は短

第二 蜉 蝣 目 EPHEMERIDA

(雌)一寸五分内外。これは札幌地方に普通なるも、本州には産せざるが如し。

分布 北海道。

コウシユンカゲロフ

Ephemera kosshimensis Mats.

雌、體は淡黄褐。單眼の周圍及び複眼は黒色。前胸及び中胸背の兩側に暗黄の一條を裝ふ。初めの四腹節に各一雙の黒短線を縱走し、終りの四節には五本の黒短線を具へ、兩側に暗色線を併列し、腹面には更に一雙の暗色線を縱走す。尾毛は黄白、體よりも長く、關節部は黒褐、細毛は短かし。脚は黄色、前肢は黄褐、腿節、脛節及び各跗節の末端並に後基節の一枚は黒褐。翅は透明、少しく黄色を帯び、前縁は黄褐、中央に一褐紋を具へ、前半部の横脈は暗色にして

♀



太し。開張一寸。これは恒春地方に稀ならず。

分布 臺灣。

クチャロカゲロフ

Ephemera kueichuanensis Mats.

雌、體は暗黄。單眼の周圍及び複眼は黒色。前胸背の兩側は暗色を帯び、中胸背の兩側には漆黒の一縱線を裝ふ。腹背の兩側に暗色の太き一條を、腹側には斷續せる暗色の二細線を縱走す。尾毛は體よりも少しく長く、灰色の細毛は本端に至るに従ひ長く、關節は少しく暗色を呈

♀



するも、判然せず。前肢は暗褐、初めの三跗節及び基節は黄色。開張一寸一分。これは八月中旬銅路屈斜路湖にて採集せられたり。

分布 北海道。

イツスチカゲロフ

Ephemera orientalis M.T.

雌、翅は透明、少しく黄色を帯び、脈は暗色。前翅の中央その他に散在する小紋は黒色、前縁にては中央紋迄横脈ありて、初めの二脈及び終りの一脈を除き何れもその兩側暗色、中央の帶狀紋は弓状をなして外方に曲る、其紋の終りに外側及び翅底に近く各一小紋あり。後翅の外縁

♀



及び後縁は暗色、脈は翅と同色なるも、中央の數脈は黒色。胸側に各一黒條ありて、光澤を帯ぶ。腹背には四條乃至五條の黒縱線を具へ、兩側及び下面にも黒縱條あり。前翅は基部を除き暗色。開張九分内外。これは東京に普通なり。

分布 本州。

二 縞蜉蝣科

Potamuthidae

カラフトカゲロフ

Ephemera sachalinensis Mats.

雌、體は灰黄。複眼は黒色。頭頂は暗褐。前胸背の兩側に黒褐の各一縱線を具へ、中胸背は栗色、光澤を帯び、兩側は黒色。各腹節の兩側に二黒線を具へ、第六、七、八節には各三黒線を裝ひ、兩側及び腹節の兩側にも一黒縱線を並走す。缺子は暗黄、四節より成り、末端の一節は短小、兩者は彎曲して末端にて相交又す。尾毛は體の約一倍半長、暗黄、各節の末端は暗色、末端には灰白の短小毛を密生す。脚は淡灰黄、

♂



末端は暗色、前肢は暗色、脛節の大部は暗黄。開張一寸二分内外。これは七月下旬樺太にて捕獲せられたり。

分布 樺太。

モンカゲロフ

Ephemera strigata Kat.

雌、體暗黄。後頭黄色。單眼の周圍及び複眼は黒色。前胸背の兩側は黒褐。前翅透明、少しく暗色を帯び、翅脈及び中央の横脈は暗褐。後翅の外縁及び内縁は暗色。各腹節の兩側に暗色の太き斜條あり。尾毛は暗黄、關節部は多少暗色を帯ぶ。脚は暗黄、轉節及び基節は黄色、他は暗

♂



色。開張一寸内外。これは東京近傍に六月下旬捕獲し得べし。

分布 本州。

イヨシマカゲロフ

Potamanthus iyosis Mats.

體は黄色、少しく綠色を帯ぶ。頭は突出し、前頭複眼の前方兩側、複眼等は黒褐。前胸背の兩側に各暗褐線を縱走し、側面に紅褐の一縱線あり。腹部に斑紋を缺き、尾毛の各關節に暗色點

♀



あり。翅は半透明、縁黄を帯ぶ。前翅の前縁室は褐色、これに十五六個の透明紋を具へ、二十四五個の横脈あり、縦脈の大部は地色なるも、横脈は暗褐、中央に近く暗色の判然せざる四紋あり。後翅の脈は地色。前脛節は基部を除き暗褐、同脛節の基部、末端、同各跗節の末端（爪節を除き）は黒色。開張七分五厘、九分五厘。これは伊豫地方に普通なり。

分布 本州、四國。

フタヲシマカゲロフ (一〇)

Rhoenanthus shima Mats.

體は黄色、單眼間、觸角節、後頭の兩側紋、複眼、各腹節帯（首面を除き）、腹背の縦條、腹面の二紋列、兩側の三角紋列等は黒色、尾節に二黒縦條あり。雌の四角形をなせる生殖板の後縁



は端直。雄の鍬子は黒色、四節より成り、稍々S字形を呈す。尾狀突起は黒色、末端の三分の一は暗黄、腹部の約一倍半乃至二倍長あり。脚は黄色、前脛跗節は黒色、開張一寸一分内外。これは八月上旬乃至下旬札幌及び青森地方に普通なり。

分布 北海道、本州。

三 小蜉蝣科

Ephemeroptera

前翅の第二肘脈と第一補助脈とは基部にて相平行す。後跗節は動き得べき四節より成る（第五節を有する場合には第一節は脛節と相癒合して動かす）。前翅は透明、中央脈は分支し、脈は多く、第一肘脈と第一補助脈間に二三の投間脈を有す。三本の尾毛を有するも、稀に二本の尾毛を有するものあり。後翅は發達す。本邦學名を有するもの七種あり。

イシヤマカゲロフ (一一)

Dennella ishayanana Mats.

ホシコカゲロフに酷似すれども、その異なる所は、體は栗色、稜狀部淡色ならず、各腹節の後縁は暗色、尾毛は半透明、各關節は灰色、鍬子



四 豆蜉蝣科

Brachyptera

末端節は鉤狀に曲る、陰莖は末端にて分叉するも細し。脚は體と同色、跗節は黄白。開張五分。これは八月上旬札幌石山にて捕獲せられたり。

分布 北海道。

ホシコカゲロフ (一二)

Dennella punctisetæ Mats.

雄、體は黄褐。複眼、觸角及び單眼の周圍は暗褐。稜狀部淡色、胸側に暗色條及び暗色紋あり。腹端は少しく暗色を帯ぶ。尾毛は白色、各關節に黒點を裝ひ、體の約一倍半長あり。鍬子は黄白、三節より成り、端直、末端節は短かく球桿狀を呈し、少しく褐色を帯び、陰莖は分叉す。體下及び脚は黄色。翅は透明、横脈は餘り



判然せず、翅端の前縁室は網狀を呈す。開張五分。これは七月中旬札幌地方に普通なり。

分布 北海道。

カラフトコカゲロフ (一三)

Ephemeroptera sachalinensis Mats.

雄、體は黄褐。頭及び複眼は黒褐。鞭毛狀の觸角は灰白。胸背は光澤ある栗色。腹部末端の約半部は栗色。尾狀突起は灰白、基部の四分の一は暗色、中央の尾毛は兩側のものより長し。鍬子



の中央は蠟筆形に彎れ、第三節は太く、第四節は細し。脚は淡色、前脛節及び跗節は暗褐。開張九分内外。これは七月中旬札幌地方に稀ならず。

分布 樺太、北海道。

スズキマメカゲロフ (一四)

Acentrella suzukicola Mats.

體は灰褐。胸背の三縦條及び尾端は淡色。尾毛は暗黄、體より長く、關節紋なし。雄の鍬子は三節より成り、第二節は長く、中央にて肥大す、第三節は基部にて彎る。脚は暗黄、跗節は短かく、四節、第三節小、前脛節は脛節と稍々同長



ふ。開張五分。これは京都に於て捕獲せられたり。

本州。 附言—爰に記載せる蜉蝣は全部乾燥標本なれば、生時の色彩と異なるかも知れず。

シロハラマメカゲロフ *Melecoptera japonica Mats.* (二五)

雌、體は(雄)黒色、(雌)黒褐。前翅透明、少しく白色を帯ぶ。翅は透明、脈は光線の具合にて白色。第一腹節黒褐、第二節暗黄、第三乃至第五節は白色、關節は暗色、尾端の二節及びその前節の後半は黒色。鉗子は白色、末端節は第二節



よりも小、第二節は第三、四節を合したるものよりも長し。脚は黄色。開張五分内外。本邦最小の蜉の一にして、中夏普通なり。

分布—北海道、本州、九州。 附言—これは従来歐洲産の *B. latronatus* J.

と同定せられたれども、この雄の鉗子の末端節は第三節よりも遙に短かく、末端にて球桿状を呈するを以て容易に區別し得べし。

キヤウトフタバマメカゲロフ *Ulugon kyotomus Mats.* (二六)

雌、體は淡橙黄色。前翅は透明、光線の具合にて紅紫色を現はす、前縁は綠黄、脈は淡黄、徑



脈下の第一横脈はその直下の横脈とその長さ以上離る、前縁の外端には五横脈あり。胸背の中央は栗色。腹背は初めの一節と尾端の二節を除き栗色、關節部にて濃色。尾毛は體の約二倍半長、白色、關節にて少しく暗色を帯ぶ。脚は黄色、前腿節は少しく暗色を帯ぶ。開張三分六厘。これは京都にて鈴木元治郎氏の採集せるものなり。

分布—本州。

フタバマメカゲロフ(フタバカゲロフ) (二七)

Procloeon nipponicum Mats.

體暗褐、胸側淡色。腹部に暗色紋を有するものと有せざるものとありて、變化多し。前翅透明、少しく暗色を帯び、後縁には暗色の短かき細縁毛を裝ふ。脚は暗黄。尾毛は灰白、基部の半分に



暗色輪環あり。雄の鉗子は三節より成り、末端節は微小なり。雌にては前翅の前縁は黄褐、その内に白色脈あり。開張四分五厘、五分、八九月頃、現はるゝ小形の種類なり。

分布—本州。

附言—この属の *Ulugon* と異なる所は、徑脈下の第一横脈とその直下の横脈と稍々直線をなして相合するにあり。これは従来 *Ulugon di-terminum* と同定せられたるものなり。

タマガハフタバマメカゲロフ (二八)

Procloeon tamagawanum Mat.

五 双蜉蝣科

Siphonuridae

前科に似るも、その異なる所は、後附節に動き得べき五節を具へ、肛室(第一肘脈と第二肘脈間)に多数のS字形をなせる投間脈を具へ、(その分支するものも少なからず)、前胸背の發達せるにあり。これは常に二本の尾毛を有す。本邦學名を有するもの十種あり。

トワダフタカゲロフ (二九)

Ameletus towadensis Mats.

雌、體は黄褐。頭は黒褐。各腹節の後縁は廣く暗褐。尾毛は淡黄、體の約一倍半長、各關節は細く暗褐。翅は透明、脈は灰黄、前縁室の外端



には二細胞列ありて、網状を呈し第二肘脈と第一補助脈の間室には一横脈あり。體は黄色、前肢は淡黄褐。前腿節は附節と同長。開張六分。これは七月下旬十和田湖にて

本州。 附言—爰に記載せる蜉蝣は全部乾燥標本なれば、生時の色彩と異なるかも知れず。

シロハラマメカゲロフ *Melecoptera japonica Mats.* (二五)

雌、體は(雄)黒色、(雌)黒褐。前翅透明、少しく白色を帯ぶ。翅は透明、脈は光線の具合にて白色。第一腹節黒褐、第二節暗黄、第三乃至第五節は白色、關節は暗色、尾端の二節及びその前節の後半は黒色。鉗子は白色、末端節は第二節



よりも小、第二節は第三、四節を合したるものよりも長し。脚は黄色。開張五分内外。本邦最小の蜉の一にして、中夏普通なり。

分布—北海道、本州、九州。 附言—これは従来歐洲産の *B. latronatus* J.

と同定せられたれども、この雄の鉗子の末端節は第三節よりも遙に短かく、末端にて球桿状を呈するを以て容易に區別し得べし。

キヤウトフタバマメカゲロフ *Ulugon kyotomus Mats.* (二六)

雌、體は淡橙黄色。前翅は透明、光線の具合にて紅紫色を現はす、前縁は綠黄、脈は淡黄、徑



脈下の第一横脈はその直下の横脈とその長さ以上離る、前縁の外端には五横脈あり。胸背の中央は栗色。腹背は初めの一節と尾端の二節を除き栗色、關節部にて濃色。尾毛は體の約二倍半長、白色、關節にて少しく暗色を帯ぶ。脚は黄色、前腿節は少しく暗色を帯ぶ。開張三分六厘。これは京都にて鈴木元治郎氏の採集せるものなり。

分布—本州。

フタバマメカゲロフ(フタバカゲロフ) (二七)

Procloeon nipponicum Mats.

體暗褐、胸側淡色。腹部に暗色紋を有するものと有せざるものとありて、變化多し。前翅透明、少しく暗色を帯び、後縁には暗色の短かき細縁毛を裝ふ。脚は暗黄。尾毛は灰白、基部の半分に



暗色輪環あり。雄の鉗子は三節より成り、末端節は微小なり。雌にては前翅の前縁は黄褐、その内に白色脈あり。開張四分五厘、五分、八九月頃、現はるゝ小形の種類なり。

分布—本州。

附言—この属の *Ulugon* と異なる所は、徑脈下の第一横脈とその直下の横脈と稍々直線をなして相合するにあり。これは従来 *Ulugon di-terminum* と同定せられたるものなり。

タマガハフタバマメカゲロフ (二八)

Procloeon tamagawanum Mat.

五 双蜉蝣科

Siphonuridae

前科に似るも、その異なる所は、後附節に動き得べき五節を具へ、肛室(第一肘脈と第二肘脈間)に多数のS字形をなせる投間脈を具へ、(その分支するものも少なからず)、前胸背の發達せるにあり。これは常に二本の尾毛を有す。本邦學名を有するもの十種あり。

トワダフタカゲロフ (二九)

Ameletus towadensis Mats.

雌、體は黄褐。頭は黒褐。各腹節の後縁は廣く暗褐。尾毛は淡黄、體の約一倍半長、各關節は細く暗褐。翅は透明、脈は灰黄、前縁室の外端



には二細胞列ありて、網状を呈し第二肘脈と第一補助脈の間室には一横脈あり。體は黄色、前肢は淡黄褐。前腿節は附節と同長。開張六分。これは七月下旬十和田湖にて

本州。 附言—爰に記載せる蜉蝣は全部乾燥標本なれば、生時の色彩と異なるかも知れず。

シロハラマメカゲロフ *Melecoptera japonica Mats.* (二五)

雌、體は(雄)黒色、(雌)黒褐。前翅透明、少しく白色を帯ぶ。翅は透明、脈は光線の具合にて白色。第一腹節黒褐、第二節暗黄、第三乃至第五節は白色、關節は暗色、尾端の二節及びその前節の後半は黒色。鉗子は白色、末端節は第二節



よりも小、第二節は第三、四節を合したるものよりも長し。脚は黄色。開張五分内外。本邦最小の蜉の一にして、中夏普通なり。

分布—北海道、本州、九州。 附言—これは従来歐洲産の *B. latronatus* J.

と同定せられたれども、この雄の鉗子の末端節は第三節よりも遙に短かく、末端にて球桿状を呈するを以て容易に區別し得べし。

キヤウトフタバマメカゲロフ *Ulugon kyotomus Mats.* (二六)

雌、體は淡橙黄色。前翅は透明、光線の具合にて紅紫色を現はす、前縁は綠黄、脈は淡黄、徑



脈下の第一横脈はその直下の横脈とその長さ以上離る、前縁の外端には五横脈あり。胸背の中央は栗色。腹背は初めの一節と尾端の二節を除き栗色、關節部にて濃色。尾毛は體の約二倍半長、白色、關節にて少しく暗色を帯ぶ。脚は黄色、前腿節は少しく暗色を帯ぶ。開張三分六厘。これは京都にて鈴木元治郎氏の採集せるものなり。

分布—本州。

フタバマメカゲロフ(フタバカゲロフ) (二七)

Procloeon nipponicum Mats.

體暗褐、胸側淡色。腹部に暗色紋を有するものと有せざるものとありて、變化多し。前翅透明、少しく暗色を帯び、後縁には暗色の短かき細縁毛を裝ふ。脚は暗黄。尾毛は灰白、基部の半分に



暗色輪環あり。雄の鉗子は三節より成り、末端節は微小なり。雌にては前翅の前縁は黄褐、その内に白色脈あり。開張四分五厘、五分、八九月頃、現はるゝ小形の種類なり。

分布—本州。

附言—この属の *Ulugon* と異なる所は、徑脈下の第一横脈とその直下の横脈と稍々直線をなして相合するにあり。これは従来 *Ulugon di-terminum* と同定せられたるものなり。

タマガハフタバマメカゲロフ (二八)

Procloeon tamagawanum Mat.

五 双蜉蝣科

Siphonuridae

前科に似るも、その異なる所は、後附節に動き得べき五節を具へ、肛室(第一肘脈と第二肘脈間)に多数のS字形をなせる投間脈を具へ、(その分支するものも少なからず)、前胸背の發達せるにあり。これは常に二本の尾毛を有す。本邦學名を有するもの十種あり。

トワダフタカゲロフ (二九)

Ameletus towadensis Mats.

雌、體は黄褐。頭は黒褐。各腹節の後縁は廣く暗褐。尾毛は淡黄、體の約一倍半長、各關節は細く暗褐。翅は透明、脈は灰黄、前縁室の外端



には二細胞列ありて、網状を呈し第二肘脈と第一補助脈の間室には一横脈あり。體は黄色、前肢は淡黄褐。前腿節は附節と同長。開張六分。これは七月下旬十和田湖にて

捕獲せられたり。

分布 本州

マヘグロフタカゲロフ

Chironomus costalis Mats.

雄、體は淡褐、光澤を帯び、翅及び脚の着部は黄色。腹部は灰黄。各腹節の後縁は暗色、第八、九節は暗褐。翅は透明、脈は栗色。前翅前縁の



(a) 前肛角の脈相

れは何れの地方にも普通なり。

分布 北海道、本州。

シロフタカゲロフ

Chironomus japonicus Umeo

翅は透明、脈は光線の具合にて判然せず、前縁及び前前縁脈は少しく黄色を帯び、前縁には約三十内外の横脈を装ふ。體は灰黄、雌にては少



♂

く暗灰色を帯び、各腹節の基部に細き暗色帯ありて尾端に至るに随ひ細まる。脚は暗褐、各前附節の基部は黄色。尾状突起は白色、基部は黒色。銚子は黒色、細く彎曲す。開張一寸二分一寸四分。これは六、七月の頃稀ならず。

分布 北海道、本州、四國。

ススキフタカゲロフ

Dipteromimus suzuki Mats.

(三)

オホフタカゲロフ

Siphonisca grandiosa Mats.

體翅灰黄。前翅は透明、雌にては少しく黄色を帯び、殊に翅底に於て然りとす。前縁の中央にある縁紋は暗色、前縁の末端脈は網目状をな



(a) 雄の銚子

シロフタカゲロフ

Siphonisca jozana Mats.

雄、體上は暗褐、體下は黄褐。頭は黒褐、觸角は暗黄。翅は透明、脈は暗褐、前縁末端の四分の一は少しく暗色を帯び、内縁にある平行脈間には五横脈あり。後翅の外縁は少しく暗色を帯ぶ。各腹節の後縁は廣く暗色、兩側にて廣し。



♂

♀



倍半長あり、基部の三分の一は暗色、各腹節は暗色を帯ぶるも、基部にては判然せず、中央には尾毛の痕跡あれども、微小なり。脚は暗黄。體下は栗色、腹面の中央に暗黄の太き縦條を具ふ、雄の一双の陰莖葉は黄色、各卵形を呈す。開張一寸二分内外。

分布 北海道。

附言 オホフタカゲロフに酷似するも、前翅前縁の中央に暗色紋なきを以て、容易に區別することを得べし。

スマレフタカゲロフ

Syarva violacea Mats.

雌、體は黄褐。頭頂の二紋及び中胸背の兩側にある縦隆は淡黄。各腹節の後縁は暗色、これは

尾毛は體の約一倍半長、暗色。脚は黄色、附節は四節、前肢は暗色。銚子は四節、第三節は第四節より長く、第二節は第三節の二倍長。開張八分。これは札幌定山溪にて捕獲せられたり。

分布 北海道。

スカシオホフタカゲロフ

Siphonisca sakushii Mats.

雌、體は灰黄、單眼の周圍は黒色、頭頂の縦紋は栗色、觸角の一帯は黒色。各腹節の後縁は暗色、兩側にて擴がる。尾毛は灰黄白、體の約一

分布 本州。

す。後翅前縁の基部にある突起部は低し。各腹節には暗色帯あり。尾毛は灰白、基部の三分の一は暗色、雌にては腹節より少しく、雄にては遙に長し。雄の銚子は四節より成り、第二節最長、末端の二節は小、第二節の内側の一帯に一齒あり。開張一寸一分。これは四月下旬靜岡地方にて渡邊千尙氏の捕獲せるものなるが少なからず。

チャウサンフタカゲロフ

(三五)

雄 體は灰黄。頭は暗褐。單眼は灰白。前胸背枝狀部及び後胸背の中央は黄色。各腹節の後縁及び兩側の斑紋は暗色、これは尾端に至るに随ひ濃色となる、尙、その下方にも各一縦線を並



♂

走す、第九節には斑紋を缺く。銚子は彎曲し、末端にて交叉し、少しく暗色を帯ぶ。三尾毛の内、中央のものは遙に短かく、黒色。脚の各關節は少しく暗色を帯び、前肢は體長より長し。開張一寸内外。これは京都にて捕獲せられたり。

分布 本州。

附言 この屬の Dipteromimus と異なる所は、後脛節は附節より長く、中央の尾毛は兩側のものより遙に短かしく、雖も、體よりは遙に長きにあり。

後半にては細し。尾毛は灰白、基部は暗色にして、少しく董色を帯び、中央の尾毛は微小にして、黒色。翅は透明、脈は淡黄なるも、餘り判然せず、肘脈間室に六脈ありて、その内第二、三、四脈は分支す。前肢は暗褐、跗節の末端は



黄白、中後の兩肢は黄色。開張一寸一分。これは九月上旬札幌にて捕獲せられたり。
分布 北海道。

六 尾蜉蝣科 Ectyonuridae

前科に似れども、その異なる所は、前翅の肛角室に二双の投間脈を具へ、その内方にある一雙は常に長形なるにあり。常に二本の尾毛を有す本邦學名を有するもの十七種あり。

サツボロヲカゲロフ (フタヲカゲロフ) (三八)

Chygnia sapporoense Mats.

雄、體は光澤ある暗褐。腹部は暗黄。前翅は無色透明、翅底は少しく暗黄を帯び、翅脈黄褐、



♂ 雄の鉋子

前縁にあるものは少しく黒褐を呈し、前縁の中央及び外縁に近き部分は暗褐にして、黒褐の横脈多し。後翅前縁基部にある三角形附屬物の上方は暗黄。前肢黒褐、中後の兩肢は黄褐。腹



フナガヲカゲロフ (三九)
Chygnia sushikunum Mats.
雄、體は暗褐。中胸背は赤褐。腹部は灰黄、各節の後縁は暗褐、兩側は三角形に肥大し、第八、九の兩節は暗色。尾毛は體の約三倍半長、栗色。鉋子は四節より成り、末端節は次節よりも短

し。翅は透明、脈は暗色。前翅前縁室の脈は太く、中央に脈相集合するを以て、暗色紋を有するが如し、翅底の一紋は暗色。後翅の前縁基部は三角形に突出す。脚は暗黄、跗節の末端及び中央は少しく暗色を帯ぶ。開張七分内外。これは京都にて鈴木元治郎氏の採集せるものなり。

本州。

ヘカチヲカゲロフ (三〇)

Chygnoides hekaohiti Mats.

雄、體は灰黄褐。單眼の周圍及び複眼は暗褐、胸背の兩側に淡黄紋あり。腹部は淡黄、各節の後縁は廣く暗色なるも、兩側にて細まる。尾毛は體の二倍半長、各關節は少しく暗色を帯ぶ。鉋子は四節より成り、第二節最長、第三節は第四節の二倍長あり。翅は透明、脈は黄色。前翅



附言 この屬の *Chygnia* と異なる所は雄前跗節の第一節は第二節よりも少しく短、第三節最長、同關節は脛節よりも遙に長きにあり。

ユミモンヲカゲロフ (三一)

Epeorus curvulus Mats.

雄はエルモンヲカゲロフに酷似すれども、その異なる所は、前翅前縁の基部に彎曲せる短かき黒帯を裝ひ、胸背は全部灰黄、尾端の三節は灰



黄褐、前脛節の中央に一暗色紋を具へ、脛節は脛節と同長(彼にては脛節遙に長し)、後翅前縁の基部に黒線を有せず、鉋子は稍々卵形を造りて相交叉し、末端節の次節と同長なるにあり。開張一寸。これは東京玉川にて七月下旬捕獲せられたり。
分布 本州。

ハナソノヲカゲロフ (三二)

Epeorus hanazono Mats.

雄、體は光澤ある暗褐。腹部は灰黄。腹部の兩側に灰黄紋を具へ、初めの二節には一縱溝を具へ、以下には五條の細き縱溝あれども、判然せず、各節の後縁は少しく淡色。鉋子は長く、弓狀に彎曲す。尾毛は腹部の約三倍長あり。前肢



は體長よりも少しく長し。翅は透明、脈は暗褐、前縁室の外端三分の一及び外縁脈は暗灰色。後翅の縱脈は褐色なるも、横脈は餘り判然せず。外縁脈は暗褐。開張一寸内外。これは京都花園にて捕獲せられたり。
分布 本州。

エルモンヲカゲロフ (三三)

Epeorus lanigrum Mats.

體は白色、少しく黄色を帯ぶ。複眼は暗褐。胸

前縁室の末端にある脈は少しく網狀を呈し、翅底の平行脈に五横脈あり。脚は灰黄、前肢は少しく暗色を帯び、脛節より遙に長く、第一跗節は第二節と約同長、第三節最長。開張七分。これは五月下旬札幌地方に普通なり。
分布 北海道。

背は淡褐乃至暗褐、灰黄紋あり。腹部の基部及び末端の三節は暗色を帯び、各關節の後縁は濃色。尾毛は體の約二倍半長、各關節は暗色。銚子白色、末端の環節少しく暗色を帯び、末端にて三角形をなして交叉す。脚灰黄、腿節に三褐

♂



色紋を具へ、前脛節及び各跗節の末端は暗色。翅透明。前翅前縁の基部にある横脈の上下に黒點を具へ、尙、其下方にL字形の黒紋あり。後翅底に一短黒線を裝ふ。開張八分五厘内外。六月乃至九月札幌地方に普通なり。

分布 北海道、本州。

イカノヲカゲロフ

Ephemera kimonis (Yakuhachi) (Y)

(三四)

體は淡き灰黄。複眼は黒色。中胸背の二紋、稜狀部の後方、腹基部及び各腹節の後縁は淡黄褐、後方に至るに隨ひ一層濃色となる。尾毛は

♀



暗褐、體の二倍長以上あり。雄の銚子は四節より成り、暗褐、末端にて稍々三角形に交叉す。脚は黄色、前肢は暗黄。翅は透明、前縁室にある基部脈の下方に一暗色點を具へ、末端半透明少しく灰黄を帯ぶ。後翅の前縁は三角形に突出す。開張一寸内外。これは五月下旬札幌地方に普通なり。

分布 北海道、本州、四國。

キハタヲカゲロフ

Heptagenia kihata Mats.

(三五)

雌、翅は透明、少しく黄色を帯び、脈は暗褐、前縁室の基部に一斜脈を具へ、三分の一の部分には僅に二脈あるに過ぎず。後翅の前縁室には外方に弓状をなせる八横脈を裝ふ。體は暗黄色。單眼の周圍及び複眼は黒色。觸角は暗色、末端は灰白。胸下及び胸側は黄色。各腹節の後縁は

♂



ぶ。頭は黄褐、單眼及び複眼は暗褐。翅は半透明、灰白、前翅の前縁室は綠色、脈は翅色と同色なれば餘り判然せず、光線の具合にて紅色を帯ぶ、前後翅何れも後縁に灰色の長總毛を密生す。尾毛は體の約一倍長ありて、關節部は細く暗色。跗節は暗褐。開張八分。これは七月上旬札幌にて捕獲せられたるも稀なり。

分布 北海道。

スズキヲカゲロフ

Kageronia suzukiella Mats.

(三八)

雌、翅は透明。前翅の前縁脈及び徑脈に跨がりて翅底に暗褐の一紋を裝ふ。體は光澤ある黒褐。顔の兩側に橙黄紋あり。觸角は栗色。稜狀部、胸側及び胸面は黄褐。腹部は灰黄、各節に

も、末端に齒狀突起を裝ふ。尾毛は體の約四倍長あり。前跗節の第一節は次節の約五分の一長あるに過ぎず。開張八分。これは京都にて鈴木元治郎氏の採集せるものなり。

分布 本州。

タイワンシロヲカゲロフ

Rhithrogena formosicola Mats.

(三九)

體は淡黄褐。單眼の周圍及び複眼は暗褐。中胸背に灰白の長方形紋を具ふ。腹背は少しく褐色を帯ぶ。尾毛は白色、基部にて各關節部は細く褐色を帯び、體の約三倍長あり。腿節の末端は少しく褐色を帯ぶ。翅は透明、前縁の基部及び

分布 本州。

アヲハヲカゲロフ

Heptagenia viridis Mats.

(三九)

亞成蟲の雌、體は黄色、胸部は少しく綠色を帯ぶ。

♀



三角形の栗色紋あり、尾節は黒褐、後縁は稍々突出す。銚子及び尾毛は栗色。前者末端の兩節は小にして、稍々同長、陰莖葉は卵形を呈する

♂



その斜脈の基部は暗褐、前縁は少しく黄色を帯び、他は透明、脈は少しく灰黄を帯ぶ。開張六分。これは七月上旬恒春にて捕獲せられたり。

分布—臺灣。

ヨツホシヲカゲロフ……………(四〇)

Rhithrogena 4-punctigera Mats.

雌、體は黄褐。觸角及び頭頂は暗褐。單眼の周圍及び複眼は黒褐。胸背の兩側條は暗褐、後胸背及び各腹節の後縁は黒褐にして、兩側にて廣

♀



し。體下及び脚は黄色。中後兩胸片に各二黒點あり。翅は透明、脈は少しく黄色を帯ぶ。前翅に於ける前縁室基半部の脈は一層判然せず。尾毛は灰黄、各關節は少しく暗色を帯び、體の約二倍長あり。開張五分。これは七月中旬信州にて捕獲せられたり。

分布—本州。

第二二一 雙尾目 DIPLURA

第二二 雙尾目

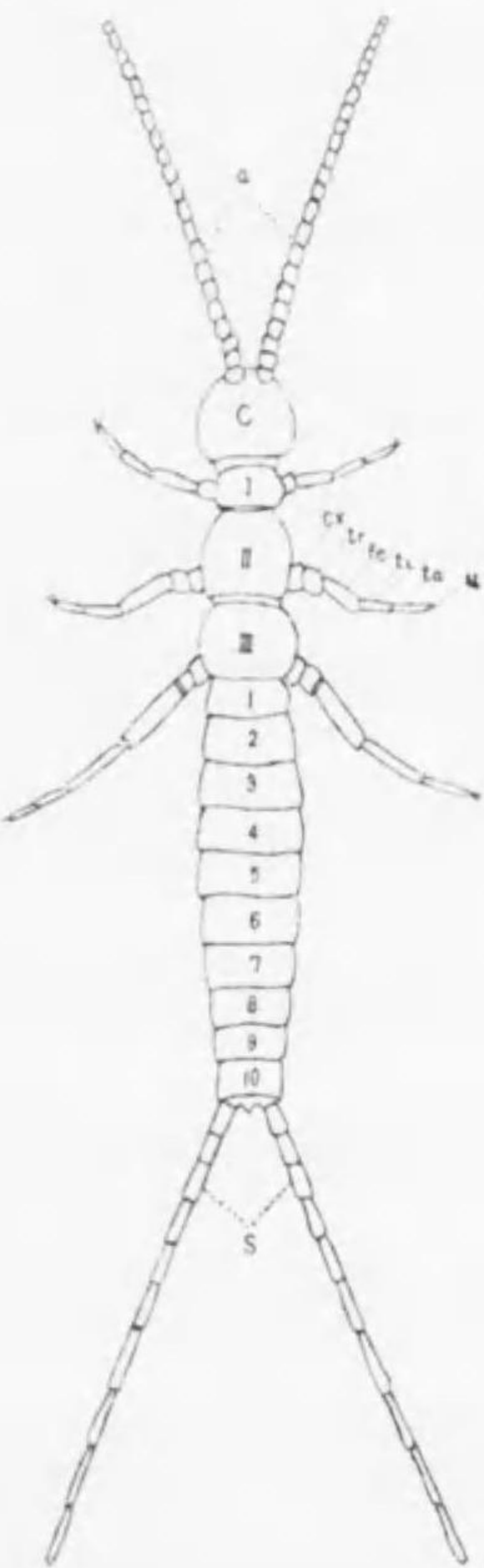
Diplura

單複の兩眼を缺く。觸角は多節より成り、絲狀。口部は頭内に隠匿し、末端のみ露出す。下唇は癒着して動かす。腹部は十節より成り、尾端に一双の尾狀突起を具へ、又鋏子を有するものもあり。何れも白色の長形種にして、本邦に二科あり。

(ti) (fe) (tr) (ex) (c) (a)
脛 腿 轉 基 頭 觸
節 節 節 部 部 角

ナガトビムシ (Camptodes) 各部の説明

(u) (ta) 跗 節
I II III 前中後胸背
1 : : 10 第一 : : 第十腹背節
(c) 尾毛



一 長跳蟲科 Camptodeidae

體は細長にして、其兩側稍平行す。尾端には二個の長尾毛を裝ふ。第一腹節に擬肢を具へ、第二乃至第七節の兩側に角狀突起ありて、その内側に伸縮し得べき氣胞あり。觸角及び尾毛は甚だ長く、恰も蜈蚣の如し。其性活潑なれども、跳躍せず。多くは倒木若しくは古石の下に棲息す。本邦に産するもの一種あり。

二 鋏跳蟲科 Japygidae

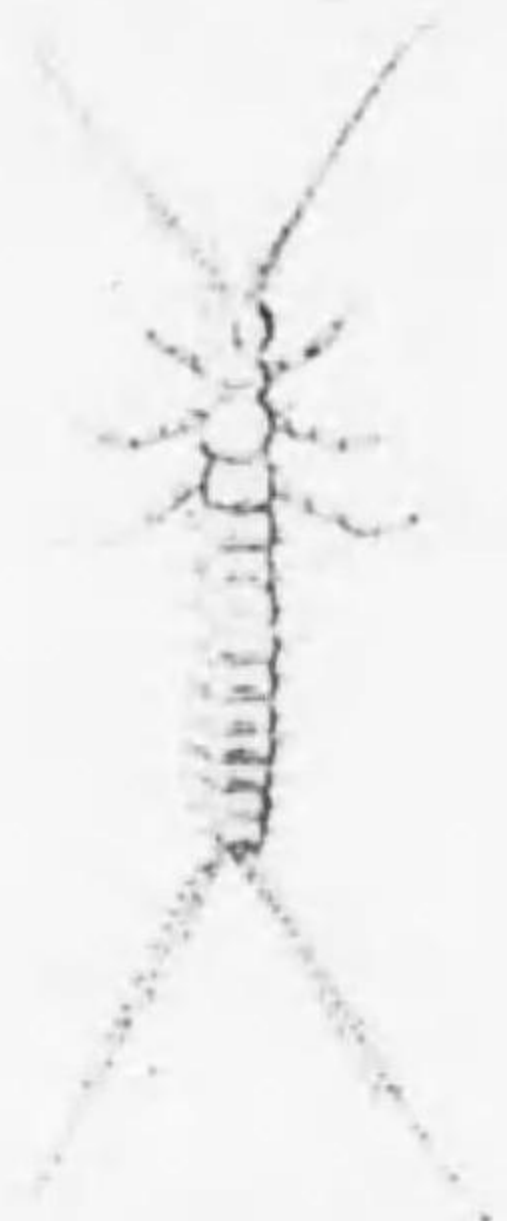
觸角は多數の環節よりなる。小腿は鈎狀にしてその内側は齒商狀を呈し、小腿端は短小。尾端に鋏子狀の附屬物を具へ、第一腹節乃至第七腹節に一双の擬肢を具へ、九乃至十一の氣門あり。これは石下若しくは倒木下の濕地に住すれども餘り多からず。雌は卵子を産下す。本邦學名を有するもの數種あり。

體は汚白色、腹部は淡黃、第十節は黃褐、鋏子は赤褐。觸角は割合に短かく、二十八節よりなる。前胸背は小形、頭部より幅狭く、中後胸背は同長。腹部は下部に至るに隨ひ梯子形となる。脚は割合に短かく、異様に擴がる。體長(雌)四分五厘内外。これは九州に稀ならざる種類にして、朽木下及び石下に捕獲せらる。
〔分佈〕九州。

ナガトビムシ

Camptodes staphylinus West.

全體乳白色、觸角は十三節よりなり、稍や連鎖狀を呈す。體長一分二厘。早春札幌地方の石下に普通なり。
〔分佈〕北海道。



オホハサシトビムシ

Japyx laevis serratus Kuway.



ハサシトビムシ

Japyx japonicus Kandler.



鉄子は赤褐。觸角は白色、二十四節、淡褐毛あり。前胸背小形、中胸背これに次ぎ、後胸背最も大なり。脚は白色、淡黄の微毛あり。體長(雌)三分五厘内外。これは本州には少なからず、前種同様に石下、朽木下に捕獲せらる。

分布—本州。

附言—前種と異なる所は、觸角節数少なく、鉄子の基部に齒を缺き、右片の二大齒間に略同様の小齒を列ねるにあり。

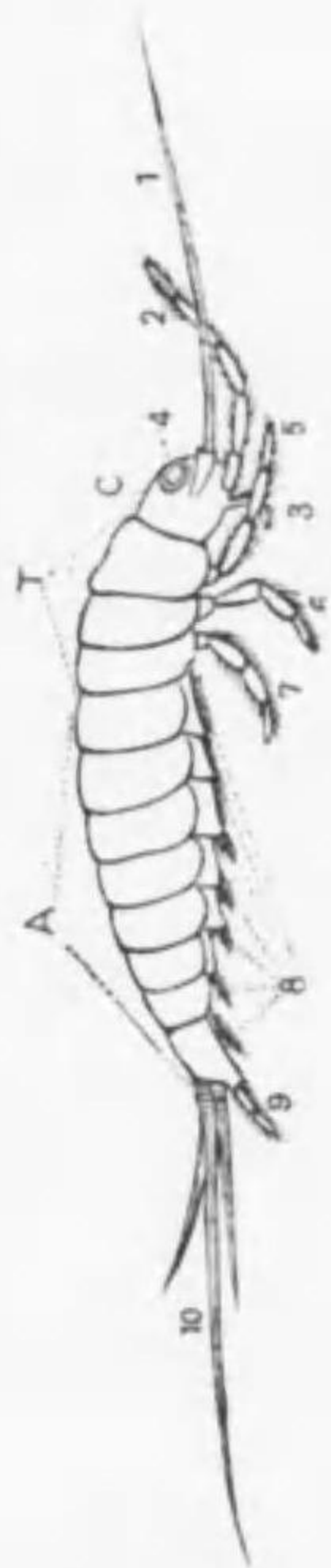
第二三 總 尾 目 THYSANURIA

第三三 總尾目

Thysanura

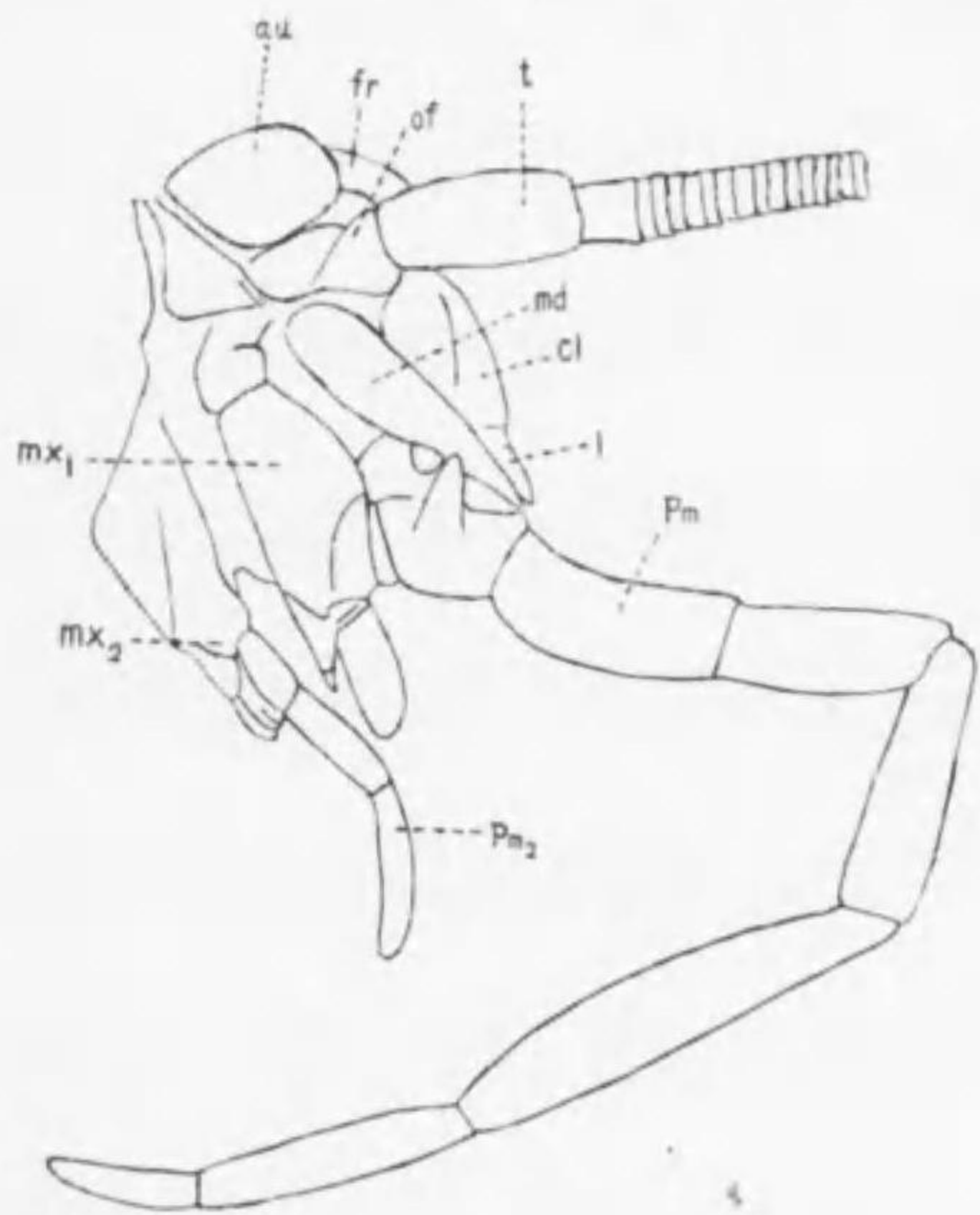
口部は咀嚼に適す。小腮鬚及び下唇鬚は發達して脚狀を呈し、長し。體には固有の鱗毛を具へ、これによりて斑紋を現はすものあり。尾端には三本の尾毛を具へ、腹面には一対の擬肢及びその内側に伸縮し得べき氣胞を有す。これは幼時より成蟲に到る迄その大きさの外、形態を變ぜず。本邦に産するもの二科あり。

イシノミ *Maehilis putialis* Mats.



(A) 頭部 (C) 胸部 (T) 觸角部 (1) 下唇鬚 (3) 前肢 (5) 後肢 (7) 跳躍器 (9) 尾毛 (10) 尾毛

イシノミ一種の頭部 (ハントドリシユ氏原圖)



(Pm₂)/Mx₂/Pm₁/Mx₁/Md (l) (Cl) (of) (t) (fr) (au)
複眼 觸角 觸角の基節 上唇片 大腮 小腮 小腮鬚 下唇鬚

一 衣魚科 *Lepismathidae*

體扁平。頭の兩側に普通十二個の小眼より成れる集眼を有す。下唇鬚四節、末端節は平たく稍圓形を呈す。昇ほ同長なる三個の尾毛あり。跳躍器短かくして發達せず。多くは白色若くは黄色の種類を含み、野外にあるものは石下に棲息す。本邦に産するもの三種あり。

ヤマトシシ(衣魚) *Lepisma villosum* K.

體、銀白色、少しく暗色を帯ぶ。頭の兩側に各十二個の小眼あり。觸角鞭狀、體長の半以上に達す。尾毛は三個にして、中央のものは他よりも少しく長し。脚は白色。體長三分内外。この種は家屋にありて古き衣類、紙、書籍その他、砂糖類を食す。古紙のある抽斗の中には普通なり。黄昏若くは曇天には便所の附近に普通なり。



分布 日本全土、朝鮮、臺灣、支那。

二 石跳蟲科 *Maehilidae*

體は側扁。頭の兩側に明瞭なる大集眼あり。小腮鬚七節。下唇鬚四節。不等なる三個の尾毛あり。跳躍器は發達して長く、尾端外に突出す。腹部には擬肢を有す。跗節は二節。多くは古き石上にありて蘚苔を食ひ、其性甚だ活潑、跳躍力大なり。本邦に産するもの一種あり。

イシノミ(石跳蟲) *Maehilis putialis* Mats.

體は褐色、青銅色の光澤を帯び、斑紋は暗褐。跗節の末端は淡色。觸角長く、前方に突出し、褐色を呈し、體長よりも短かし。體長四分内外。



これは深山の岩山に多く、殊に、蘚苔のある所に住し、蘚苔を食するもの如し。札幌地方に

セイヤウシシ *Lepisma saccharinum* L.

ヤマトシシに酷似するも、その異なる所は、觸角及び脚は淡黄を帯び、體は細長く、頭には細毛を有せず、脚は長く、中央の尾毛は兩側のものと同長。體長三分内外。これは世界共有にして交通の便ある地方にてはその産せざる所なし。



分布 世界共有。

日本昆蟲大圖鑑
ては定山溪に普通なり。農林業に關係なし。
分布 北海道、本州。

第二四 彈尾目 COLLEMBOLA

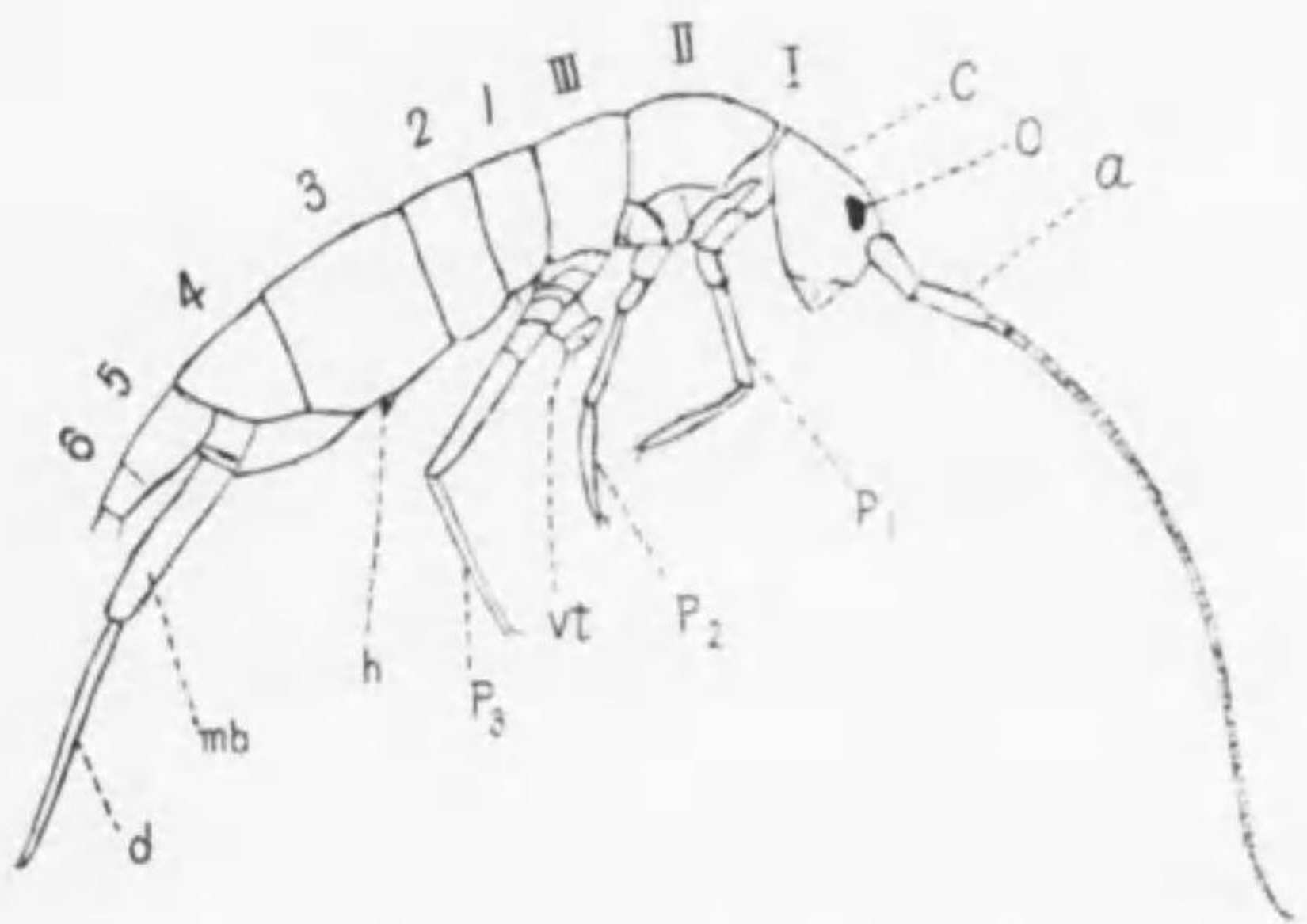
第二四 彈尾目

Collembola

口部は隠るるも、咀嚼に適す。觸角は四節。複眼を缺く。腹部は六節より成り、第一腹面節には吸着用の腹管、第三節には鉤状の一小突起を裝ふ。稀に氣門系を具ふ。何れも微小の昆蟲にして、大なるも一分五厘を越えず。濕地に住し、多く朽木下、石下、樹皮下、落葉下其他蟻巢に發見せらる。時に水上に浮游し、又時に雪上に現はるるものもあり。本邦學名を有するもの數十種あり。

ヒゲナガトビの一種

(ウイレム氏原圖)



Tomocerus plumbeus L.

- (a) 觸角
(b) 頭部
(c) 單眼
(d) 腹管
(e) 腹管
(f) 腹管
(g) 腹管
(h) 腹管
(i) 腹管
(j) 腹管
(k) 腹管
(l) 腹管
(m) 腹管
(n) 腹管
(o) 腹管
(p) 腹管
(q) 腹管
(r) 腹管
(s) 腹管
(t) 腹管
(u) 腹管
(v) 腹管
(w) 腹管
(x) 腹管
(y) 腹管
(z) 腹管

一角跳蟲科

Entomobryidae

體は長形。腹環節は判然せり。前胸背は退化し背片は判然せず。皮膚に顆粒状の突起を有せず。觸角、脚及び跳躍器は長し。單眼は頭の兩側に各三個乃至八個あり。觸角は四節より成る。これは倒木若くは石の下に多し。比較的大形の種類を包攝す。本邦學名を有するもの約三十五種あり。

エツツノトビ(ムシ).....(一)

Tomocerus jezoensis Mats. et Ishida
體、色暗褐。觸角長く、體と約同長、三節よりなり、第二節より漸次長く、第三節頗る長く、微毛あり。頭は倒卵形、胸腹は長楕圓形。又狀器



第二四 彈尾目

(跳躍器)は體の三分の二長あり。脛跗節は腿節と略同長、爪節は二分し、一本は短かし。全體に粗毛多く、特に又狀器には刺毛あり。體長(雌)一分二厘。これは札幌地方に稀ならず。

アカホシツノトビ.....(二)

Akalosia matsudensis Kinoshita
雌、體は鮮黄、稍々綠色を帯び、處々に赤褐の帯斑あり。眼斑の後方は黒色なれど、前半は淡色。觸角は四節、胸と稍々同長。又狀器は觸角



より短かし。體長四厘三毛。これは本州に少なからず。

分布 本州。

キツノトビ(キナガトビムシ).....(三)

Sinella (Entomobrya) straminea Fols.

♀



體黄白、短毛を密生す。頭頂及び觸角の基節に於ける粗毛は棍棒状を呈す。單眼は三個あり。觸角は略々體長の半に達す。又狀器は長し。體長六厘内外。この種類は倒れたる朽木若くは石下に普通なり。

分布 北海道、本州。

アイノツノトビ.....(四)

Zaira aino Mats. et Ishida
地色は淡黄。頭部及び第一觸角節の末端並に第三腹節帯及び第四腹節の斜帯、同尾節、第二觸角節三分の二、第三、四觸角節(基部を除き)、各腿節の大半、脛跗節の三分の二、各基節、轉節、腹管は黒紫色を帯ぶ。尙前中後胸背には淡色の斜條あり。觸角は四節、第一、二、三、四節の割合なり。後頭、第三腹背節及び腹端には屈



♀

曲せる粗毛あり。全體黄褐色の細毛を具へ、觸角及び脚には長短の毛を密生す。又狀器は二節、末端は爪狀に曲がる、微毛多し。體長(雌)六厘。又狀器の長さ三厘半。これは札幌地方に少なからず。

分布—北海道。

オビツノトビ (オビナガトビムシ).....(五)

Menura (Saira) japonica Fols.



♀

體黄色、紫色を帯ぶ。頭の前縁及び後縁は黒色、各觸角節の末端は紫色を帯ぶ。胸部に黒色の横條あり。第二、三及び四腹節は黒色、前縁は多く黄色、第四腹節に黄色の三縱條あり。腿節

の末端及び腿節の基部は紫色。又狀器は三節より成る。體長六厘内外。この種は樹幹の皮下に多く、其性好んで相集合す。

分布—北海道、本州、四國、九州。

サツホロツノトビ.....(六)

Saira zapporensis Mats. et Ishida

體は長卵形、淡紅褐色、腿節及び頭部は淡色。觸角は四節、 $1.5:1.1:1.1$ の割合、末端は圓錐形を呈す。眼と眼との中間にV字形の黒褐紋と第一觸角節の基部を連続せる一條の黒褐紋列と



♀

あり。第一觸角節の末端は黒褐色。各肢の基部は淡色、半透明。前中の兩胸背及び第四、五腹節の兩節に刺毛多し。又狀器短小、二節よりなり、弓狀に彎曲す。腹管は疣狀を呈す。體式は $4:1.6:1.2:1.2:1.6:3.5:1.5$ なり。體長(雌)四厘五毛。これは札幌地方に少なからず。

分布—北海道。

エビツノトビ.....(七)

Oremastoecephalus eiformis Mats. et Ishida

觸角は $2.5:1.5:0.5$ の割合。又狀器白色、半透明。體は淡黄白、腹部は無色透明。單眼部は黒色。頭部、胸部並に第一、二腹節の兩側、第四腹背節の中央及び其兩側に赤褐色の斜條を現はす。尾節及び第一觸角の基部は赤色。各肢の基部は淡色、末端に至る従ひ、黄緑を帯び、黒斑を有す。尾節には彎曲せる刺毛あり。第三觸角節及び各肢に長毛を裝ふ。又狀器の末端に三齒

♀



あり。體長(雌)七厘内外。これは札幌近傍に稀ならず。

分布—北海道。

ジヤノメツノトビ.....(八)

Oremastoecephalus janome Mats. et Ishida

これは本邦最も普通なる種類にして、落葉下、倒木下若くは石下に捕獲せらる。

分布—北海道、本州。

♀



觸角節の末端は紫色。觸色、脚及び又狀器は黄白色。單眼は頭頂の内側に二列をなして各八個あり。頭胸は下方に彎曲す。又狀器は三節より成り、末端節は短かし。體長七厘内外。この種は朽木若くは石下に住するも餘り多からず。

分布—本州。

クロツノトビ(クロトビ)

Axelsonia (Isotoma) nitida Fols.

體は暗黒、少しく青味を帯ぶ。觸角は四節より成る。單眼は頭の兩側に各八個あり。又狀器は長く、三節より成る。體長五厘内外。こ



♀

haha

觸角は $1.7:0:1.8:0.6$ の割合。體は淡黄。頭部は單眼部の附近を除き黒色。後胸背より第二腹節に跨れる一大紋及び第四腹背節の末端に近き一紋は紫色を帯びたる黒色。觸角、脚及び第四、五腹節は黄色。腹管は乳棒狀にし



♀

て、短かし。第一觸角節及び第三腹節末端より尾節に至る間に粗毛多く、腿跗節には細毛及び長毛あり。又狀器は二節にして透明、又狀器の下面に微毛を簇生す。體長(雌)七厘七毛。これは札幌地方に稀ならず。

分布—北海道。

ヒゲナガキツノトビ.....(九)

Oremastoecephalus affinis Fols.

體は黄色。長毛を裝ふ。第二節より第六節に至る腹節の兩側及び最後にある二節の後縁並に各

二 跳蟲科 Polypidae

前科と異なる所は、前胸背は發達し、皮膚に顆粒状の突起を有するにあり。單眼は頭の兩側に各八個あり。觸角及び脚は短かく、前者は四節より成る。又狀器は發達すれども、長からず。微小の種類にして、多くは溜水の上、雪上若くは濕地に棲息し、跳躍するものと、跳躍せざるものとあり。本邦學名を有するもの約二十種あり。

ヤマトシロトビモドキ

Folsomia dubia Kino-shita (二)



體白色、短毛を密生す。口部稍々褐色。胸背上に長き剛毛を粗生す。腹管は廣き圓柱形を呈す。又狀器は觸角と殆んど同長。體長四厘三毛。これは松樹の皮下に捕獲し得べし。
分布—本州。

クロトビ(トビムシ)……………(二)

Hypogastrura (Achorites) communis Fols. (一)



體暗色、灰白點を散在す。頭頂に三黒紋ありて、其兩側の紋上に各八個の單眼あり。體は圓柱形、腹節は略々同長。又狀器短大、二節より成る。尾節の管狀附屬物は短かく、少しく前方に彎曲す。體長四厘内外。これは溜水

の上に普通なる微小種なり。
分布—北海道、本州。

ムラサキトビ

Hypogastrura (Achorites) gracilis Fols. (三)



體は藍紫色、胸下は黄色。頭頂に二黒紋ありて其紋中に各八個の單眼あり。體は後方に至りて少しく肥大す。脚淡色、青色點を散在す。又狀器は二節より成

る。尾端の附屬物は二個にして、短かし。體長五厘内外。溜水の上に普通なる種類なり。
分布—本州。

シロトビモドキ

Oryelurus folsomii Seeliger (四)



體乳白、食道の含有物は黒色の縦線をなして背上に現はる。單眼を缺く。觸角は四節より成る。體長く、短毛を裝ひ、脚太し。跳躍器を缺く。體長六厘内外。本邦に最も普通なる種類にして、石下若くは倒れたる朽木下に多く、性遲鈍にして

跳躍せず、又時に温室に發生し、根際のかき部分を食べ、大害を加ふることあり。
分布—北海道、本州。

マツモトシロトビモドキ

Oryelurus matsumotoi Kinoshita (二五)

體白色、ヤキシロトビモドキよりも小形。觸角後器は長楕圓形、二十五個内外の縁櫛あり。觸角は頭部より稍々短かく、四節よりなる。體長六

分布—世界共有。

セスチトビ

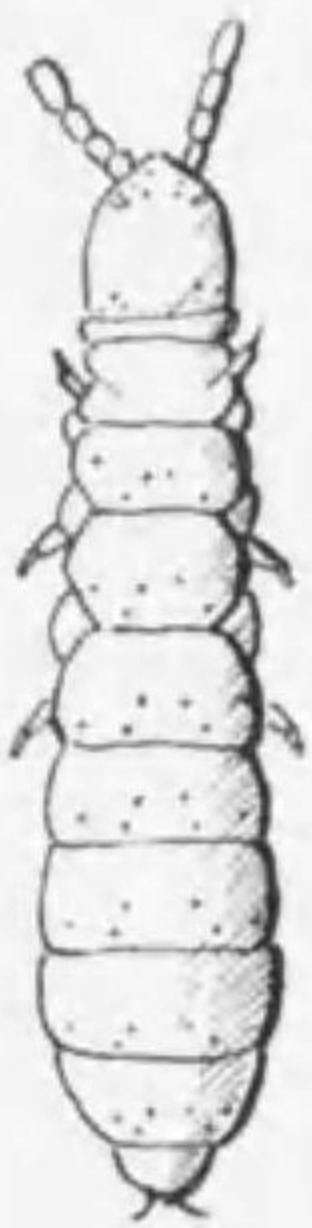
Xenylla longicauda Fols. (一九)



體藍青色、黄白小紋を散在す。背上に二黒縦條ありて、各關節の接合部に黒帶あり。胸下は黄白、青色の小紋を有す。頭頂に二黒紋ありて、其中に各五個の單眼を排列す。體は後方に至りて少し

く肥大す。又狀器は二節より成る。尾節に管狀の附屬物を缺く。體長五厘内外。この種は朽葉又は朽ちたる松毬の内に普通なり。
分布—本州。

♂

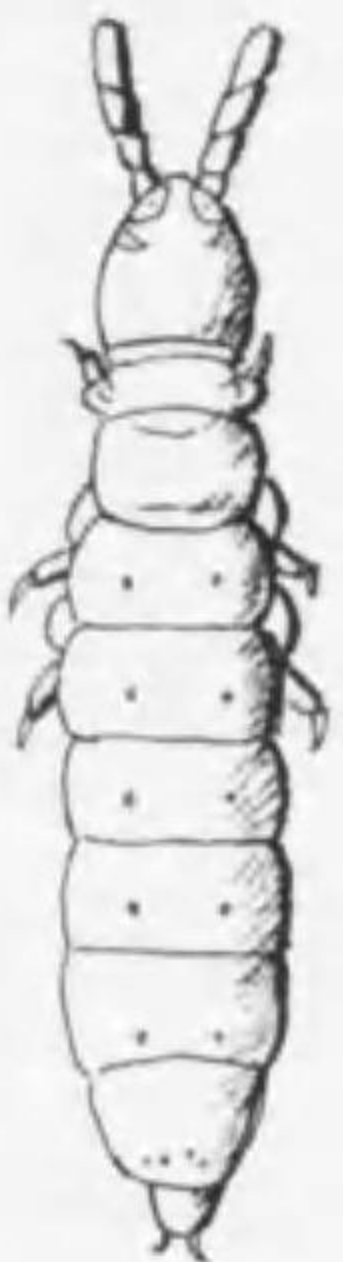


厘六毛。これは朽木下若くは石下に捕獲せられた時に稚莖を食害することあり。
分布—本州。

ワタナベシロトビモドキ

Oryelurus watanabei Matsumoto (二六)

體白色、肥大せり。觸角後器は深き櫛れの中にありて、細長、十三個内外の縁櫛を不規則に排



列す。體長八厘三毛。これも前種同様の處に捕獲せらる。
分布—本州。

ヤキシロトビモドキ

第二四 彈尾目

Oryelurus yagi Kinoshita (一〇)



體白色、肥大。觸角後器は細長にして、四十個内外の縁櫛を裝ふ。觸角基部の擬小眼は鈍三角形に排列す。體長一分内外。これも前種と同様の處に發見せらる。
分布—本州。

ミツトビ

Peltura aquatica L. (一八)



體不透明なる黒藍色。觸角及び各肢は赤褐。尾端の又狀器は彎曲して長く、中肢を越ゆ。體長一厘内外。これは水上に浮遊する種類なるが、又高山の雪上にも發見せらる。日本アルプスの雪溪には普通なり。

三 圓跳蟲科 Sminturidae

體は稍々球形。腹環節は判然せず。觸角長くして膝狀を呈し、四節より成り、末端節は長く、更に數個の副節より成る、頭部より長し。腹部は二節より成る。又狀器は長し。多くは微小の種類にして、普通植物を食ひ、時に農作物に大害を加ふるものあり。本邦學名を有するもの約十二種あり。

マダラマルトビ (ムシ)……………(二〇)

Ptenothrix (Papirus) maculosa Scholt.

淡紅褐。頭は淡黃褐、口部淡色。第二、三觸角

節は頗る長く、末節には短小の旋毛あり、第二節には三毛ありて、其内一毛は頗る長し。胸部小形。各肢の爪節は二分す、脛跗節に長毛あり、頭部に四、五本、胸腹背に七本、



♀

尾節に數本の黃褐毛あり。又狀器は胸腹と同長。腹部には大小數多の暗色紋あり。腹背は暗褐色を帯ぶ。體長(雌)六厘五毛内外。これは札幌地方の倒木下に稀ならず。

シマルトビ……………(二一)

Ptenothrix (Papirus) denticulata Fols.

體黄色、紫色の斑紋を裝ふ。頭頂に黒斑を具へ兩側に於ける黒紋中に各八個の單眼を排列す。觸角紫色。脚黄色、紫色の輪環あり。腹部の斑



♀

紋紫色。體長六厘内外。此種は落葉の下に住すれども餘り多からず。

分布 本州。

ナシマルトビ (マルトビムシ)……………(二二)

Sminturus viridis L.

體暗綠色、少しく紫色を帯び、圓形の黃白點を

アンヌラーツス形 f. annulatus Fols. ♀



散在す。觸角、脚及び又狀器は淡紫色。頭頂は黄色、其兩側に各一個の黒紋ありて、其周圍は淡黄、黒紋中に單眼を排列す。體長四厘内外。この種は茄科及び磁科の作物を害するを以て有名なり。

分布 世界共有。

キマルトビチノ……………(二三)

Sminturus

pinosus

Fulb.

體黄色、黒紫色の小紋を散在す。單眼綠色、頭頂の黒紋中に排列せらる。觸角の基節は黄色、末端紫色。



♀

尾端の附屬物は瘤狀を呈し、長き剛毛を生ず。又狀器は黄白、長毛を裝ふ。體長六厘内外。これは草間若くは落葉下に普通なり。早春種々の作物を害することあり。

分布 世界共有。

學名命名者

略字解

學名命名者略字解

學名命名者略字解

A

- Adel.** Adlung, N.
Ald. Aldrich, J. M.
Allib. Allibert, A.
Alpheraky, S.
André, E.
Arrow, G. J.
Ash. Ashmead, W. H.
Auriv. Aurivillius, P. O. C.
Aust. Austen, E. E.

B

- Baly, J. S.
Bak. Baker, C. F.
B.-H. Bang-Haas, A.
Banks, N.
Barr. Barrett, C. G.
Bart. Bartenev, A. N.
Bat. Bates, H. W.
Beck, J.
Becker, T.
Behr, H. H.
Bernh. Bernhauer, M.
Besv. Besvoidy
Bezzi, M.
Big. Bigot, M. F.
Bingh. Bingham, C. T.
Bish. Bischopp, F. C.
Blanch. Blanchard, L.
Blandf. Blandford, W. F. H.
Bless. Blessig, C.
Boh. Boheman, C. H.
Boil. Boileau, H.
Boisd. Boisduval, J. A.
Boliv. Bolivar, J.
Bon. Bonelli, F. A.
Borch. Borchmann, F.
Borkh. Borkhausen, M. B.

- Borm.** Bormans, A. de
Börn. Börner, G.
Brahm, N. J.
Brauer, F.
Brem. Bremer, O.
Brenske, E.
Brun. v. w. Brunner, W. von
Brunnetti, E.
Buckt. Buckton, G. B.
Burm. Burmeister, H. C. C.
Burr, M.
Busck, A.
Butl. Butler, E. A.
Buy. Buysson, V. R.

C

- Cam.** Cameron, P.
Cand. Candèze, E.
Cast. Castelnau, L. de
Chap. Chapuis, F.
Charp. Charpentier, T.
Chaud. Chaudoir, B. M. de
Chevr. Chevrolat, A.
Christ, J. L.
Christ. Christoph, H.
Clerck, C. V.
Cock. Cockerell, D. A.
Comst. Comstock, J. H.
Constant, A.
Coq. Coquillett, D. W.
Cram. Cramer, P.
Creutz. Creutzer, C.
Crotch, G. R.
Csiki, E.
Curt. Curtis, J.
Czemp. Czempinski, P. de

D

- Dall.** Dallas, W. S.

Dalm. Dalman, J. W.
Dbd. Doubleday, E.
Deg. De Geer, C.
Del Guer. Del Guercio, G.
Den. Denny, H.
Desv. Desvignes, T.
Deyr. Deyrolle, H.
D. H. De Haan, W.
Dohr. Dohrn, F. A.
Dist. Distant, W. L.
Don. Donovan, C.
Dougl. Douglas, J. C.
 Drury, W. F.
 Dalla Torre, C. G.
 Duponchel, P. A. J.
Durr. Durrant, J. H.
 Dyar, H. G.

E

Edmonson, A. E. J.
Edw. Edwards, S.
Egg. Egger, A.
Eich. Eichhoff, W.
Elw. Elwes, H.
Ender. Enderlein, G.
Er.-Erichs. Erichson, W. F.
Ersch. Erschoff, N. G.
 Esaki, Teizo 江崎悌三
Escher. Escherich, K.
Eschs. Eschscholtz, J. F.
Esp. Esper, E. J. C.
 Essig, E. O.
Evers. Eversmann, E.

F

F.-Fab. Fabricius, J. C.
Failla Failla-Tedaldi, L.
Fairm. Fairmaire, L.
Fald. Faldermann, F.
Fall. Fallen, C. F.
 Faust, J.
Fauv. Fauvel, A.
 Feisthamel.
Feld. Felder, C. R.
Fieb. Fieber, F. X.

Fisch. Fischer, W.
Fixs. Fixsen, C.
Fleut. Fleutiaux, E.
Fols. Folsom, J. W.
 Forel, A.
Först. Förster, S. V.
Fourc. Fourcroy, A. F.
Fries. Friese, H.
Fritz. Fritze, A.
Friv. Frivaldszky, J. V.
 Frölich, H.
Fruhs. Fruhstorfer, H.
Fry. Fryer, H. F.
Fuess. Fuessly, J. C.

G

Gangl. Ganglbauer, L.
Gärt. Gärtner, A.
 Gaule, J. de
Gaut. Gautier des C.
 Gebien, H.
Geb. Gebler, F.
Géh. Géhin, J. B.
Geoffr. Geoffroy Saint-Hilaire, E.
Germ. Germar, E. F.
Gerst. Gerstäcker, A.
Gerv. Gervais, P.
Gmel. Gmelin, J. F.
Göd.-Godt. Gödard, J.
Goez. Goeze, J. A.
v. d. G. Goot van der, P.
Gorh. Gorham, H. S.
Graes. Graeser, L.
Grav. Gravenhorst, J. L. C.
 Gray, J. E.
 Green, E. E.
 Grey, W.

Grouv. Grouvelle, A.
Guen.-Gn. Guenée, A.
Guér. Guérin, M.
Guill. Guillemot, A.
Gyll. Gyllenhal, L.

H

Hag. Hagen, H.

Hamps. Hampson, Sir, G.
Handl. Handlirsch, A.
Har. Harold, E. von
Harr. Harris, R. G.
 Hartig, T.
Haus. Hauser, G.
Haw.-Hw. Haworth, A. H.
H. B. Herve Bazin, J.
Hedem. Hedemann, W. V.
Hein. Heinemann, J. B.
Heinr. Heinrich, G.
 Heller, K. M.
Hbst. Herbst, J. F. W.
 Hering, M.
H. S. Herrig-Schäffer, G. A. W.
Hew. Hewitson, W. C.
Heyd. Heyden, L. von
Heyn.-Hyn. Heyne, A.
Hcev. Hoeven, J. v. d.
Hoffm. Hoffmann, R. W.
Holl. Holland, W. J.
Holmr. Holmgren, N.
 Hope, F. W.
 Horn, G. H.
 Horn, W.
Horsf. Horsfield.
Horv. Horváth, G.
How. Howard, L. O.
Hüb.-Hb. Hübner, J.
Hufn. Hufnagel,
Hust. Hustache, M. A.

I

Illig. Illiger, J. C. W.
 Ishida, Masato 石田昌人
 Issiki, Shūchi 一色周知

J

Jabl. Jablonowsky, J.
Jac. Jacoby, M.
Jacob. Jacobson, G.
Jak. Jakowlew, W. E.
Jans. Janson, E.
Jek. Jekel, H.
Jord. Jordan, K.

K

Kalt Kaltenbach, J. H.
 Kaefenstein, A.
 Kano, Tadao 鹿野忠雄
 Karny, H. H.
 Kawata, Akira 河田 薫
Kenn. Kennel, J. V.
Kertes. Kertész, K.
Kies. Kiesenwetter, H. von
Kinder. Kindermann,
 Kinoshita, Eijiro 木下榮次郎
 Kinoshita, Shūta 木下周太
Kb.-Kby.-Kirb. Kirby, W. F.
Kirk. Kirkaldy, G. W.
Klap.-Klp. Klapalék, W.
 Klog, G. C. F.
 Koch, C.
 Kohl, F. F.
 Kolbe, H. J.
Kol. Kolenati, F.
Koll. Koller, G.
 Kondo, Tetsuo 近藤鐵男
 Kōno, Hiromichi 河野廣道
 Konow, F. W.
Kr. Kraatz, G.
Kretsch. Kretschmar, C. G.
Kriech. Kriechbaumer, J.
Krieg. Kriegel, R.
 Kriesche, R.
Kugel. Kugelann, J. G.
 Kuwana, Inokichi 桑名伊之吉
Kuway. Kuwayama, Satoru 桑山 登
 Kuwayama, Shigeru 桑山 茂

L

Lac. Lacodaire, J. T.
Laich. Laicharting, J. N. V.
Latr. Latreille, P. A.
Laxm. Laxmann, E.
 Le Conte, J. L.
 Leech, J. H.
Lef. Lefebure, A.
Le Guill. Le Guillou, E. J. F.
Lepel. Lapeletier, S. F. A.

索引目次

I. HYMENOPTERA (膜翅目)	1
II. STREPSIPTERA (摺翅目)	16
III. COLEOPTERA (鞘翅目)	16
IV. APHANIPTERA (微翅目)	49
V. DIPTERA (雙翅目)	49
VI. LEPIDOPTERA (鱗翅目)	63
1. RHOPALOCERA (蝶亞目)	63
2. HETEROCERA (蛾亞目)	80
VII. TRICHOPTERA (毛翅目)	144
VIII. MECOPTERA (長翅目)	147
IX. NEUROPTERA (脈翅目)	148
X. RHYNCHOTA (有吻目)	151
XI. SIPHUNCULATA (蟲目)	169
XII. THYSANOPTERA (總翅目)	170
XIII. ORTHOPTERA (直翅目)	171
XIV. DERMAPTERA (革翅目)	177
XV. MALLOPHAGA (食毛目)	178
XVI. PSOCOPTERA (茶柱目)	180
XVII. ISOPTERA (白蟻目)	181
XVIII. EMBIIDINA (紡脚目)	182
XIX. PLECOPTERA (楨翅目)	182
XX. ODNATA (總蝨目)	183
XXI. EPHEMERIDA (蜉蝣目)	187
XXII. DIPLURA (雙尾目)	189
XXIII. THYSANURA (總尾目)	190
XXIV. COLLEMBOLA (彈尾目)	190

凡 例

- ▲ 索引中の平ゴチックは屬名若くは亞屬名で、大ゴチックは科名である。
- ▲ 括弧内のイタリック名は屬名で、これは同種名の内、同名命者のありたる場合のみに限り掲げてある。尤も三種以上の同種名のありたる場合、假令同名命者ならざるも、括弧内にその屬名を記入し、一目明瞭ならしめてある。
- ▲ 命名者を略せざる場合にはその終りに句點を用ひざるも、略したる場合には句點が附してある。例へば Wilen. = Wileman
- ▲ 種名及び形名は全部平字であるが、これは命名者の名を掲げて置いた。
- ▲ 和名の羅馬字は大部ヘボン式であるが、多少ヘボン式でないものもある。

檢 出 索 引

(科名、屬名、種名、異名、變形)

I. HYMENOPTERA

A	
abdominalis Sm. (<i>Paracaspis</i>)	8
abdominalis Mats. (<i>Pompilus</i>)	22
abdominalis Mats. (<i>Tenthredopsis</i>)	90
Abia	80
Acanthostoma	34
Acroricnus	35
adachii Uch.	49
<i>Adachi-onagahimebachi</i>	49
adusta Mostch.	90
<i>Aegha-himebachi</i>	44
Agenocimbex	81
agitatus Mats. et Uch.	44
Agrypon	35
<i>Aino-himebachi</i>	36
ainoicus Mats.	36
Aiolomorphus	92
<i>Aka-amebachi</i>	59
<i>Aka-ari</i>	31
<i>Akaashi-mon-hiratahimebachi</i>	44
<i>Akaashi-shirofu-togarihimebachi</i>	56
<i>Akaashi-togarihimebachi</i>	62
<i>Akaboshi-bekko</i>	24
<i>Aka-egurihimebachi</i>	44
<i>Akahara-ashibutohabachi</i>	83
<i>Akaheri-himebachi</i>	51
<i>Aka-himehanabachi</i>	9
<i>Akairo-momobutohabachi</i>	82
<i>Akane-aribachi</i>	29
<i>Akaobi-togarianabachi</i>	19
<i>Akasuji-togarianabachi</i>	27
<i>Akatsuno-hakiribachi</i>	8
<i>Akazu-kubinagabachi</i>	80
<i>Ako-himebachi</i>	38
akonis Mats.	38
alarius Grav.	62
albicincta Morl.	47
albinotum Mats.	9
albipes Mats.	84
albeannulata Uch.	60
albicinctus Mats.	83
albofasciata Uch.	69
albofasciatus Uch. et Mats.	66
albopilosum Mats.	92
Allantus	81
Alomya	35
amatorius Müll.	36
Amauromorpha	35
Amblyteles	36
ambulator Sm.	35
<i>Anciro-habachi</i>	80
<i>Anciro-komayu</i>	75
amethystinum F.	30
amictum F.	65
Ammophila	17
amplipennis Sm.	19
analis F.	22
Anastatus	33
Andrena	3
angulosus Mats.	50
annularis Mats.	89
annulata F.	26
antennalis Marl.	79
Anthidium	3
Anthophora	3
anthracina Morl.	3
<i>Ao-himehanabachi</i>	5
<i>Aomushi-hiratahimebachi</i>	57
<i>Aosuji-hanabachi</i>	3

Dryophanta	76	<i>Ezo-futao-amebachi</i>	37
dubiosa Mats.	65	<i>Ezo-hoso-onagahimebachi</i>	44
ducalis Sm.	12	<i>Ezo-kimadara-hanabachi</i>	8
Dyspetes	44	<i>Ezo-kubinagabachi</i>	80
E			
eccepteromus Uch.	54	<i>Ezo-kurokoku-himebachi</i>	39
Echthromorpha	44	<i>Ezo-maru-habachimodoki</i>	77
Echthrus	44	<i>Ezo-maruhimebachi</i>	70
<i>Edahige-tamagobachi</i>	32	<i>Ezo-maru-togarihimebachi</i>	61
Egurichneumon	44	<i>Ezo-matsu-hiratahimebachi</i>	46
<i>Eguri-maru-kobachi</i>	34	<i>Ezo-ō-himebachi</i>	52
<i>Eguri-onagahimebachi</i>	38	<i>Ezo-onagabachi</i>	68
elegantula Schrank	40	<i>Ezoshiro-hiratahimebachi</i>	69
Elis	26	<i>Ezoshiro-komayu</i>	73
emarginata Lep.	6	<i>Ezo-tsumaguro-habachi</i>	84
Ephialtes	44, 45	F	
ephiphates Sm.	84	falcatorius F.	38
Epjoppa	45	fallaciosus Mats.	23
Epirhyssa	45	famelicum Sm.	32
Epiurus	46	fasciata Sm.	27
equestris F.	4	femoralis Pall.	8
Eriocampa	84	femorata L.	82
<i>Erumon-hanabachi</i>	6	fenestrata Sm.	5
erythrocerus Cam.	14	fenestratus Sm.	24
esuriens F.	15	flavifrons Mats.	9
Etha	46	flavipectus Mats.	81
Eucera	6	flavipenne Mats.	85
Eumenes	15	flavipes Mats.	85
Eupalamus	46	flavofasciata Sm.	12
Eurypterna	74	flavolineatus Sm. (<i>Odynerus</i>)	16
Eurytoma	33	flavolineatus Uch. (<i>Stenichneumon</i>)	67
Euurobracon	74	flavomandibulata Mats.	91
Evania	72	flavomarginatum Sm.	16
EVANIIDAE	72	flavopictus Mats.	84
exaltatorius Panz.	70	flavoventralis Mats.	87
exartemae Uch.	54	flavus F.	25
Exentherus	46	floralis Sm.	11
Exephanes	46	floreæ Sm.	3
Exeristes	47	fluvicornis Mats.	90
Exeristesoides	47	fluvopicta Cam.	27
Exetastes	47, 48	Formica	31
Exochilum	48	FORMICIDAE	30
Exolytus	48	formosana Mats. (<i>Mutilla</i>)	29
<i>Ezo-nokobachi</i>	34	formosana Sonan (<i>Vespa</i>)	13
<i>Ezo-ashibutokobachi</i>	33	formosana Mats. (<i>Xylocopa</i>)	10
		formosanus Mats. (<i>Dinotenus</i>)	43

formosanus Mats. (<i>Tremex</i>)	79	grandis Mats. (<i>Siobla</i>)	89
Formoxorides	48	grossa F.	26
fornicator F.	47	guttata Mats.	84
Friona	48	guttatus Uch.	67
<i>Fuji-habachi</i>	87	H	
<i>Fuji-jigabachi</i>	17	<i>Habachi-ka</i>	80
fujisana Mats.	87	<i>Habachimotoki-ka</i>	77
fuliginosus Latr.	31	Habronyx	49
funebri Grav.	55	<i>Hachigata-habachi</i>	83
foranna Mats.	65	haemorrhoidale F.	16
<i>Furan-onagabachi</i>	65	haereticus Wesm.	42
fusca L.	31	<i>Haguro-habachi</i>	84
fuscipennis Sm. (<i>Dolerus</i>)	84	<i>Haiiro-kumabachi</i>	10
fuscipennis Sm. (<i>Tiphia</i>)	28	<i>Haiiro-togawari</i>	32
fuscus Uch.	38	hakiensis Mats. (<i>Metopius</i>)	57
<i>Fushibachi-ko</i>	76	hakiensis Mats. (<i>Tenthredoopsis</i>)	91
<i>Fushidaka-midori-himebachi</i>	45	hakiensis Mats. (<i>Trogus</i>)	70
<i>Fushinaga-himebachi</i>	40	<i>Haki-habachi</i>	91
<i>Fushi-onagabachi</i>	45	<i>Haki-himebachi</i>	70
<i>Futahoshi-aribachi</i>	29	<i>Haki-maruhimebachi</i>	57
<i>Futamon-ashinagabachi</i>	14	<i>Hakone-matsuhabachi</i>	85
<i>Futamon-kuro-habachi</i>	84	hakonensis Mats.	85
<i>Futaobi-habachi</i>	80	Halictus	6
<i>Futasuji-bekko</i>	24	<i>Hanadaka-bachi</i>	17
<i>Futasuji-himebachi</i>	39	<i>Hanenaga-habachi</i>	81
<i>Futasuji-hoshi-amebachi</i>	50	<i>Haraaka-anabachi</i>	20
* <i>Futasuji-noga-himebachi</i>	38	<i>Haraaka-chibi-himebachi</i>	60
<i>Futo-futaobi-dorobachi</i>	16	<i>Haraaka-hanabachi</i>	9
<i>Futo-hachigata-habachi</i>	83	<i>Haraaka-himebachi</i>	26
		<i>Haraguro-bekko</i>	22
G			
gallicus L.	14	<i>Haraguro-hisata-habachi</i>	87
garampiana Mats.	74	<i>Haranaga-kurshabachi</i>	90
<i>Garanpi-tsumaguro-komayu</i>	74	<i>Haranaga-suzubachi</i>	15
Gasteruption	72	<i>Haranaga-tsuchibachi</i>	26
gastropachae Ash.	33	<i>Harima-bekko</i>	23
generosus Sm.	51	harimensis Mats.	23
gigantus Uch.	55	helraeus F.	14
gigas L.	78	Hemipimpla	49
<i>Ginguchi-bachi</i>	18	Hemiteles	49
glaucopterus L.	58	Henicospilus	50
Glypta	49	hera Bingham	7
glypta Ash.	49	heros Wesm.	49
Glyptapanteles	74	hieroglyphica Sm.	5
Gonicryptus	49	<i>Higejiro-ko-kibachi</i>	79
grandis Ash. (<i>Ichneumon</i>)	52	<i>Higenaga-amebachi</i>	47

<i>Kiivo-suzumebachi</i>	12	<i>Kurohige-ao-himebachi</i>	61
<i>Ki-kezume-bekko</i>	22	<i>Kurohige-hiratahimebachi</i>	46
<i>Kimadara-maruhimebachi</i>	40	<i>Kuro-higenaga-himebachi</i>	50
<i>Kimadara-togarihimebachi</i>	55	<i>Kuro-himebachi</i>	62
<i>Ki-misuji-himebachi</i>	36	<i>Kuro-hiraashi-kibachi</i>	79
<i>Kimune-koshihoso-habachi</i>	81	<i>Kuro-hiratafushibachi</i>	76
<i>Kiobi-bekko</i>	24	<i>Kuro-hiratahabachi</i>	86
<i>Kiobi-fushi-onagabachi</i>	60	<i>kuroiwae Mats. (Myrtoterus)</i>	31
<i>Kiobi-ko-hanabachi</i>	5	<i>kuroiwae Mats. et Uch. (Scolia)</i>	28
<i>Kiobi-suzumebachi</i>	12	<i>Kuroiwa-kiari</i>	31
<i>Kiobi-tsuchibachi</i>	28	<i>Kuroiwa-tsuchibachi</i>	28
<i>Kiriga-togarihimebachi</i>	54	<i>Kuro-kibachi</i>	79
<i>Kisuji-dorobachi</i>	16	<i>Kuro-kumaari</i>	31
<i>Kisuji-haranaga-tsuchibachi</i>	26	<i>Kuro-maruhanabachi</i>	4
<i>Kisuji-hoso-himebachi</i>	67	<i>Kuromon-amebachi</i>	43
<i>Kizume-bekko</i>	25	<i>Kuromune-habachi</i>	91
<i>Ko-ashinagabachi</i>	14	<i>Kuro-ō-ari</i>	30
<i>Kobachi-ka</i>	33	<i>Kuro-onagabachi</i>	44
<i>Kobane-shiriage-kobachi</i>	33	<i>Kurosui-habachi</i>	87
<i>Kobu-maruhimebachi</i>	44	<i>Kurosui-hiratahimebachi</i>	37
<i>Kogatano-suzumebachi</i>	12	<i>Kuro-suzubachi</i>	15
<i>Ko-haraaka-hanabachi</i>	8	<i>Kuro-suzumebachi</i>	13
<i>Ko-kuro-onaga-togarihimebachi</i>	56	<i>Kuro-tsuchibachi</i>	28
<i>Ko-maruhanabachi</i>	3	<i>Kurotsuya-hiratahimebachi</i>	69
<i>Komayubachi-ka</i>	73	<i>*Kuro-yafushi-himebachi</i>	59
<i>Konbo-amebachi</i>	34	<i>Kuwago-hiratahimebachi</i>	61
<i>Konbo-onagabachi</i>	40	<i>Kuwahamaki-himebachi</i>	54
<i>Konbo-yasebachi</i>	72		
<i>Ko-onagahimebachi</i>	49		
<i>Ko-ruri-kibachi</i>	78		
<i>Ko-shima-habachi</i>	88		
<i>Kubiwa-ginguchibachi</i>	18		
<i>Kuma-bachi</i>	9		
<i>Kumamoto-hiratahabachi</i>	86		
<i>kumamotonis Mats.</i>	86		
<i>Kuro-anabachi</i>	20		
<i>Kuro-ari</i>	31		
<i>Kuroba-aka-komayui</i>	74		
<i>Kuroba-bekko</i>	25		
<i>Kurobane-dorobachi</i>	16		
<i>Kuro-bekko</i>	25		
<i>Kubire-himehanabachi</i>	6		
<i>Kuroba-aka-maruhabachi</i>	82		
<i>Kuro-churenji</i>	85		
<i>Kuro-dorobachi</i>	17		
<i>Kurofu-onagabachi</i>	68		
<i>Kuro-habachi</i>	87		

L

Lactolus	53
<i>laetatorius F.</i>	38
<i>laevigata Tschk.</i>	69
<i>laevigatus Grav.</i>	48
<i>lamellidens Sm.</i>	32
<i>lapidator F. (Dinotomus)</i>	43
<i>lapidator F. (Neotypus)</i>	57
Larra	19
Lasius	31
Leucaspis	33
<i>leucomelas Gmel.</i>	55
<i>lewisi Cam.</i>	80
Liacos	27
<i>ligniperdus L.</i>	31
Limnerium	54
Lissonota	54
Listrognatus	54

Lithurgus	7
<i>longicauda Mats.</i>	34
<i>longicellus Uch.</i>	51
<i>longicornis Ash.</i>	55
<i>longipennis Mats.</i>	81
<i>longipes Uch.</i>	48
Lophyrus	85
<i>luteiventris Grav.</i>	41
<i>luteus L.</i>	58
<i>lutorius F.</i>	70
Lyda	86

M

<i>macroceps Mats.</i>	7
Macromeris	21
Macrophya	89
<i>mactator Tosq.</i>	44
<i>maculifemoratus Mats.</i>	63
<i>Madara-himebachi</i>	51
<i>Madara-ō-himeamebachi</i>	58
<i>madraspatanum F.</i>	19
<i>Macki-kumabachi</i>	9
<i>Maekobu-habachi</i>	89
<i>magnifica Sm.</i>	11
<i>magnus Uch.</i>	52
<i>Maimai-hime-hiratahimebachi</i>	61
<i>Maimai-hiratahimebachi</i>	60
<i>major Uch.</i>	65
<i>Makushi-moku</i>	1
<i>mali Mats.</i>	85
<i>mandarina Sm.</i>	11
<i>mandarineum Sauss.</i>	16
<i>mandarinus Sauss.</i>	15
<i>manifestator L.</i>	45
<i>Marugata-yasebachi</i>	72
<i>Maru-hanabachi</i>	4
<i>Marumon-tsuchiugari</i>	18
<i>Maruyama-hirata-togarihimebachi</i>	49
<i>maruyamanus Uch.</i>	49
<i>Maruzu-kuro-himebachi</i>	71
<i>Matsu-hiratahabachi</i>	86
<i>Matsukemushi-amebachi</i>	48
<i>Matsukemushi-arigata-himebachi</i>	60
<i>Matsukemushi-hiratahimebachi</i>	36
<i>matsukemushii Mats.</i>	49
<i>Matsukemushi-togarihimebachi</i>	49

<i>Matsu-kibachi</i>	78
<i>Matsu-muniguro-habachi</i>	86
<i>matsumurae Uch. (Campoplex)</i>	38
<i>matsumurae Rohw. (Sirex)</i>	78
<i>Matsumura-himebachi</i>	66
<i>matsumurai Uch.</i>	66
<i>Matsu-ō-kibachi</i>	78
<i>Matsusuzume-himebachi</i>	42
Megachile	7
Megaplectes	54
Melanichneumon	55
<i>melanotis Holmg.</i>	52
Melitta	7
Meniscus	55
<i>mesocentrus Grav.</i>	45
Mesostenus	55
Metopius	56
<i>micado Kriech. (Odynerus)</i>	16
<i>micado Kirby (Chalcis)</i>	33
<i>Mikado-dorobachi</i>	16
<i>Mikado-shiriagekobachi</i>	33
<i>Mitsu-bachi</i>	3
<i>Mitsubachi-ka</i>	3
<i>Mitsubachi-modoki</i>	11
<i>Mitsubachimodoki-ka</i>	11
<i>Mitsubashi-habachi</i>	87
<i>mitsubashii Mats.</i>	87
<i>Mitsumon-fushi-himebachi</i>	71
<i>Moiwa-habachi</i>	81
<i>Moiwa-himebachi</i>	63
<i>Moiwa-ken-onagabachi</i>	37
<i>Moiwa-maruzu-himebachi</i>	72
<i>moiwana Mats.</i>	45
<i>Moiwa-nagahabachi</i>	90
<i>moiwanus Mats. (Arotes)</i>	37
<i>moiwanus Mats. (Protichneumon)</i>	63
<i>moiwanus Mats. (Strongylogaster)</i>	90
<i>Moiwa-onagabachi</i>	45
<i>moiwasanus Mats.</i>	81
<i>molitorius Grav.</i>	52
<i>mengolica André.</i>	13
<i>Mon-haranaga-tsuchibachi</i>	26
<i>Monki-amebachi</i>	58
<i>Monki-bekko</i>	42
<i>Monki-habachi</i>	84
<i>Monki-kurohabachi</i>	84
Monophadnus	88

yorofui Marl.	88
yoshidae Mats.	5
Yoshida-maruhanabachi	5
Yotoyadori-himebachi	59
Yotoyadori-kuro-amebachi	47
Yotsuba-seibo	30
Yotsuboshi-tsuchibachi	27

Z

Zeke	75
zonata L.	3
Zuimushi-yokoiima-himebachi	35

II. STREPSIPTERA

crabronis Pierc.	95	STREPSIPTERA	93
Kuro-njirebane	95	STYLOPIDAE	95
Nejirebane-ka	95	Vespaexenos	95
Nenshi-moku	93		

III. COLEOPTERA

A		aequalis Mor.	114
		affinis Sharp	160
		Agabus	118
		Agapanthia	249
		agapanthina Bat.	250
		Agelastica	224
		Agelosus	126
		Aglaophis	249
		agnatus Cand.	188
		Agonischius	180
		Agonum	104
		Agrilus	176
		Agriotes	180
		Agrypnus	181
		aino Lew.	178
		Aino-hamuyo	100
		Ai-nomihamushi	230
		aine Lewis	152
		Ainu-tento	152
		aka Kōno	210
		Aka-arimodoki	221
		Akaashi-ao-saruhamushi	243
		Akaashi-chibi-kofukizo	297
		Akaashi-hoshika	169
		Akaashi-hosokuchizo	275
		Akaashi-katazo	288
		Akaashi-kusogata	305
		Akaashi-o-ozo	281
abdominalis Mén.	321		
abietis F.	173		
abnormipes Borch.	195		
Aceraius	303		
Acilius	118		
Acoptolabrus	107		
Acrothinium	224		
Acrotichis	136		
aculeata L.	210		
acuminatus Motsch.	160		
adamsi Pasc. (<i>Ectatorrhinus</i>)	284		
adamsi Clark (<i>Graphoderes</i>)	120		
adamsi Baly (<i>Syneta</i>)	248		
Adelocera	179		
admirabilis Crotch	153		
Adoretus	309		
Adoreum	224		
Adosomus	273		
Adoxus	224		
Aegus	304		
aenea L.	242		
aeneipenne Motsch.	243		
aeneipennis Har.	197		
aenescens Miwa	188		
Aeolesthes	249		

Akaba-deo	137
Akaba-hosokakushi	127
Akaba-kakushi	129
Aka-birōdokogane	311
Akaboshi-tentō	152
Akagane-chibitama	179
Akagane-saruhamushi	224
Aka-hanakamikiri	257
Akahane-himekuchiki	200
Akahane-mushi	220
Akahara-keshikisui	144
Akahara-kuro-kometsuki	184
Akaheri-ō-aokometsuki	182
Akahige-namezō	223
Aka-hime-hononomi	210
Akahoshi-kamikiri	255
Akahoshi-nomihamushi	225
Aka-kyotanō	280
Akakata-hononomi	210
Aka-kometsukimodoki	189
Aka-kubibosohamushi	239
Akakubi-hoshika	169
Akakubi-kamikirimodoki	201
Akakubi-nagahamushi	231
Aka-kubinaga-otoshibumi	291
Aka-madora-kogane	311
Aka-maru-kusogata	307
Akane-kamikiri	264
Aka-nokogiri-kusogata	307
Akaobi-nise-hononomi	206
Aka-o-kinoko	147
Aka-o-kuchiki	199
Aka-otoshibumi	275
Akasuji-hime-tento	155
Aka-tadegamushi	236
Akatsuno-marutoge	158
Aki-madoboturu	167
Alaus	181
albinus Mats.	284
albofasciatus Motsch.	264
albolineata Motsch.	314
albo-obliquatus Horn	104
albopilosum Gebien	193
Alcides	273
Alecchara	126
Allaometrus	271
Allecula	197

ALLECULIDAE	197
Alleculodes	198
alni L. (<i>Agelastica</i>)	224
alni Niis. (<i>Hylastes</i>)	299
altestrigata Mars.	211
amabilis Voll.	177
Amara	105
ambrosica Stev.	251
ambusta Lew.	202
anniculus Baly	231
Amida	151
Amida-tentō	151
Amimo-hamuyo	100
amona Solsky	147
Amphicyllus	136
Amphiops	159
amurense Kr.	251
Amystax	274
Ana-akahane	219
Anaki-ō-zō	285
Anadastus	189
Anaspis	208
anchoralis Chev.	99
Ancylopus	150
angularis Gebl. (<i>Oxypterus</i>)	128
angularis Waterh. (<i>Prismognathus</i>)	308
angulicollis Motsch.	244
anguliscutis Kolbe	125
angulosa Solsky	234
angusticollis Motsch. (<i>Chrysomela</i>)	227
angusticollis Waterh. (<i>Dasyvulgus</i>)	312
angusticollis Baly (<i>Psylliodes</i>)	247
Anisodactylus	105
Anisostira	195
ANISOTOMIDAE	136
annectens Sharp	294
annularis F.	253
annulata Baly	245
annulicornis Baly	235
ANOBIIDAE	173
Anomala	309
Anonchodes	202
Anoplistes	259
ANTHICIDAE	221
Anthicus	221
Anthobium	126
Anthonomus	274

Anthracias	190	Argopistes	225
Anthracophora	311	Argopus	225
Anthrenus	156	<i>Arigata-kakushi</i>	128
ANTHRIBIDAE	272	<i>Arimodoki-kwakko</i>	170
Anthribus	272	<i>Arimodoki-zō</i>	283
<i>Aoba-arigata-kakushi</i>	128	<i>Arizuka-enma</i>	139
<i>Aoba-kuchiki</i>	197	<i>armata</i> Baly	246
<i>Aoba-ō-kinoko</i>	147	Aromia	250
<i>Aoba-saruhamushi</i>	243	<i>arrowi</i> Heller	303
<i>Ao-eguri-kogane</i>	316	Artactes	190
<i>Ao-gomi</i>	110	Arthromacra	195
<i>Ao-hamushidamashi</i>	196	<i>Asa-hananomi</i>	211
<i>Ao-hanakamikiri</i>	258	<i>Asa-kamikiri</i>	269
<i>Ao-higenaga-zō</i>	285	<i>Asa-nomihamushi</i>	237
<i>Ao-jakai</i>	168	Asaperda	250
<i>Ao-kameneko-hamushi</i>	226	<i>Asa-zō</i>	295
<i>Ao-kamikirimodoki</i>	204	Asemum	251
<i>Ao-kanabum</i>	320	<i>Ashibuto-hanakamikiri</i>	268
<i>Ao-kogane-kometsuki</i>	183	<i>Ashinaga-kabutemushi</i>	313
<i>Ao-madara-tama</i>	177	<i>Ashinaga-kogane</i>	315
<i>Ao-nekui-hamushi</i>	235	<i>Ashinaga-zō</i>	293
<i>Ao-obatama</i>	177	<i>asiaticus</i> Port.	131
<i>Aobi-kwakko</i>	171	<i>asper</i> Roel.	281
<i>Ao-osa</i>	107	Aspidobyctiscus	277
<i>Aosuji-marukubigomi</i>	113	Aspidomorpha	226
<i>Ao-tama</i>	178	Atarphia	143
<i>Aotsuya-nagagomidamashi</i>	193	<i>ater</i> Herbst (<i>Cyllodes</i>)	143
<i>Ao-ususuji-kogane</i>	319	<i>ater</i> Deg. (<i>Ilybius</i>)	122
Apalimna	250	<i>ater</i> Motsch. (<i>Lypsthes</i>)	242
Aphodius	311	<i>ater</i> Waterh. (<i>Onthophagus</i>)	317
Aphthona	224	<i>aterrimus</i> Mor.	116
<i>apicalis</i> Kôno (<i>Arthromacra</i>)	195	Athous	181
<i>apicalis</i> Sharp (<i>Ilybius</i>)	122	<i>Atoboshi-hamushi</i>	244
<i>apicalis</i> Baly (<i>Sphaeroderma</i>)	248	<i>Atoguro-madara-kometsuki</i>	187
<i>apicalis</i> Blandf. (<i>Nyleborus</i>)	301	<i>Atohoshi-gomi</i>	110
Apion	275	<i>Atohoshi-himetentō</i>	154
Apoderus	275	<i>Atojiro-sabikumikiri</i>	266
<i>approximatus</i> Baly	231	<i>Atokiri-gomi</i>	112
Apriona	250	<i>Atokobu-gomidamashi</i>	192
<i>aquatica</i> Geoffr.	235	<i>Atomaru-gomi</i>	106
<i>Aragane-hime-saruhamushi</i>	243	Attractocerus	172
<i>arakawai</i> Mats. et Kôno	277	<i>atrata</i> Lew. (<i>Nesotriplax</i>)	147
<i>Arakawa-shigisō</i>	277	<i>atrata</i> L. (<i>Silpha</i>)	133
<i>Arame-hanakamikiri</i>	267	<i>atratus</i> Eich.	302
<i>Arame-ō-gomidamashi</i>	194	<i>atriceps</i> Lew.	203
<i>aratus</i> Blandf.	300	<i>atricollis</i> Reitt.	142
<i>arcticus</i> Payk.	286	<i>atripennis</i> Lew. (<i>Pyrocoelia</i>)	167

<i>atripennis</i> Lew. (<i>Pseudopyrochoa</i>) ..	219	Betelmis	158
<i>atrorufus</i> Kies.	166	<i>bicuneata</i> Motsch.	262
Attagenus	156	Bidessus	118
Aulacochilus	146	<i>bifasciata</i> Motsch.	237
Aulaconotus	251	<i>bifasciatum</i> Mars.	213
Auracocyclus	303	<i>bifasciatus</i> Roel.	295
<i>aurata</i> Kôno	210	<i>bifenestrata</i> Mor.	113
<i>auratus</i> Drury	181	<i>bilamellata</i> Mars.	198
<i>aurichalcea</i> Mannerh.	227	<i>bilineatus</i> L.	232
<i>auriculatus</i> Sharp (<i>Helophorus</i>)	159	<i>bimaculata</i> Thom.	270
<i>auriculatus</i> Mars. (<i>Meloe</i>)	216	<i>bimaculatus</i> Port. (<i>Diamanus</i>)	131
<i>auripes</i> Faust	281	<i>bimaculatus</i> Baly (<i>Longitorus</i>)	240
<i>auripileosa</i> Port.	133	<i>bimaculatus</i> Mats. (<i>Phalacrus</i>)	149
<i>aurita</i> L. (<i>Cyamiropsis</i>)	234	<i>bimaculatus</i> M'Leay (<i>Planates</i>)	114
<i>aurita</i> Lew. (<i>Pseudopyrochoa</i>)	219	<i>bina</i> Fairm.	198
<i>auromaculata</i> Kôno	211	<i>bimodulus</i> Motsch.	185
<i>aurulenta</i> F.	99	<i>bioculata</i> Mor.	113
Autoserica	311	<i>biplagiata</i> Motsch.	164
<i>axyridis</i> Pall.	154	<i>bipunctatus</i> Roel. (<i>Echinocnemus</i>) ..	283
B			
Balaninus	277	<i>bipunctatus</i> Kugel. (<i>Nephus</i>)	154
<i>balteatus</i> Roel.	275	<i>Birado-hirashide</i>	135
<i>banksi</i> Crotch.	113	<i>Birado-kamikiri</i>	255
<i>Bara-ruri-saruhamushi</i>	231	<i>Birado-kogan</i>	321
<i>barbatus</i> Schall.	208	<i>Birado-kuchiki</i>	199
Baris	278	<i>bisignatus</i> Roel.	274
Baryrrhynchus	272	<i>bispinipennis</i> Lew.	176
Basanus	190	<i>blanchardi</i> Parry	307
<i>batesi</i> Fleut. (<i>Cicindela</i>)	99	<i>blaptoides</i> Kollar	196
<i>batesi</i> Har. (<i>Rosalia</i>)	296	Blethisa	105
Batocera	251	Blebsyrus	279
<i>bedeli</i> Sharp	160	<i>boeberi</i> Germ.	182
<i>Bekko-hirashide</i>	133	Bolbocerosoma	311
<i>bellicosa</i> Lew.	207	Bolithophagus	190
<i>bellula</i> Lew.	178	<i>bonzica</i> Mars.	194
Bembidium	105	Benzicus	205
<i>Beni-betaru</i>	165	<i>boops</i> Waterh.	321
<i>Benifu-kamikiri</i>	259	BOSTRYCHIDAE	174
<i>Beni-hirata</i>	145	Bostrychus	174
<i>Beni-hoso-hiratakometzuki</i>	182	<i>bourgoini</i> Poul.	313
<i>Beni-kamikiri</i>	268	<i>bowringi</i> Clark	121
<i>Beni-kometsuki</i>	183	<i>Bozu-nagakuchiki</i>	205
<i>Beni-tade-hamushi</i>	227	<i>brachialis</i> Voss	275
Berosus	159	Brachytarsus	272
<i>berus</i> Cand.	181	<i>braminus</i> Laf.	221
		<i>brassicae</i> Baly.	246
		BRENTHIDAE	271
		<i>breviceps</i> Senna	271

brevis Sharp	118
brevitarsis Lew. (<i>Livola</i>)	315
brevitarsis Kôno (<i>Phyllobius</i>)	294
brevitarsis Woll. (<i>Pseudocassinus</i>)	295
BRUCHIDAE	223
Bruchus	223
bruckii Muls.	152
brunneipennis Mats. (<i>Chrysonela</i>)	228
brunneipennis Mats. (<i>Tharops</i>)	189
brunnea Mars.	213
brunneus Mats. (<i>Corigetis</i>)	282
brunneus Steph. (<i>Lycus</i>)	175
brunneus Oliv. (<i>Olygomerus</i>)	173
brunnicollis Kraatz	133
<i>Budo-me-zô</i>	277
<i>Budo-sarubamushi</i>	224
<i>Budo-torakamikiri</i>	270
BUPRESTIDAE	176
Burpestis	176
buprestoides L.	267
Byctiscus	279
BYRRHIDAE	158
BYTURIDAE	142
Byturus	142
C	
Cacothinus	272
cadaverinus Hoff.	138
Cagosima	252
Calandra	279
calida Pallas	216
Calleida	105
callicanthus Bates	243
Callidium	252
Callimerus	169
Calomycterus	279
Calosilpha	133
Calosoma	106
Calvia	152
Camposternus	181
canoikoides Kôno	288
Canoixus	280
CANTHARIDAE	163
Cantbydrus	118
capito Mor.	112
capreae L.	240
caproides Bat.	254
CARABIDAE	104
Carabus	106
caraganae Pallas	215
Cardiophorus	182
carinatus Sharp	126
carinipennis Lew.	174
Carpophilus	143
Cassida	226
castanea Pic	210
castaneum L.	269
castaneus Kôno	170
castanipes Payk.	187
Catapionus	280
Catarrhinus	281
Catharsius	311
CEPHALOIDAE	218
Cephaloon	218
cephalotes Oliv.	214
Ceracupes	303
ceramboides L.	194
CERAMBYCIDAE	249
Ceratia	226
cereopuncta Lew.	141
Ceruchus	304
cervinus Hope	255
Cetonia	312
Ceutorrhynchus	281
Chaetocnema	227
<i>Chairo-hananomi</i>	211
<i>Chairo-kamikiri</i>	249
<i>Chairo-keshigengoro</i>	122
<i>Chairo-kegane</i>	309
<i>Chairo-maru-kuwagata</i>	307
<i>Chairo-sarubamushi</i>	244
chalcites Zimm.	105
Chalcophora	177
Chalcophorella	177
chalcosoma Baly	243
chalybeus Murr.	143
Charidea	227
<i>Chibi-arimodoki-koakko</i>	170
<i>Chibi-gamushi</i>	159
<i>Chibi-ikubi-chokkiri</i>	283
<i>Chibi-kaminarihamushi</i>	237
<i>Chibi-ke-katano</i>	157
<i>Chibi-kiashi-sarubamushi</i>	231

<i>Chibi-maruhamonomi</i>	161
<i>Chibi-sarubamushi</i>	232
chikisanii Niis.	301
Chilocorus	152
chinensis L. (<i>Bruchus</i>)	223
chinensis Italy (<i>Chrysochus</i>)	227
chinensis Deg. (<i>Cicindela</i>)	99
chinensis Reitt. (<i>Lathridius</i>)	149
chinensis L. (<i>Luciola</i>)	164
chinensis Fürst. (<i>Melanauster</i>)	259
chiensis Bat. (<i>Nebria</i>)	111
chinensis Fald. (<i>Philurus</i>)	318
chinensis Chev. (<i>Xylotrechus</i>)	270
<i>Chishima-daimon-tenô</i>	152
Chlaenius	109
Chlamys	227
Chloridolum	253
chloris Fondr.	230
Chlorophanus	281
Chlorophorus	253
<i>Chosen-benikomikiri</i>	250
<i>Chosen-kaburimodoki</i>	108
<i>Chosen-katabirohamushi</i>	229
<i>Chosen-mutsuhoshi-sarubamushi</i>	233
<i>Chosen-nagahiratamushi</i>	125
<i>Chosen-ô-benibotaru</i>	166
<i>Chosen-ôkimi</i>	141
Chreonema	254
Chrysanthia	201
Chrysobothrys	177
chrysochloris Bat.	263
Chrysochroa	178
Chrysochus	227
Chrysodema	177
Chrysonela	227
CHRYSOMELIDAE	224
chryso stigma L.	177
cichorii L.	217
Cicindela	99
CICINDELIDAE	99
CIOIDAE	176
circumdactus Mor.	109
CISIDAE	176
Cissites	214
Cistelina	198
Cladiscus	169
Cladophorus	163
clathratus Solsky (<i>Cupes</i>)	125
clathratus Roel. (<i>Dermatoxenus</i>)	283
clavicornis Horn	104
Cleonus	281
CLERIDAE	169
cleroides Voss (<i>Lugathus</i>)	285
cleroides Bat. (<i>Microlamia</i>)	259
Clerotilia	229
clypeatus Baly	225
Clytanthus	253
Clytosemia	254
Clytra	229
Clytraxeloma	229
Cneorane	229
coarctata Germ.	202
coarctatus Har.	157
coccinatus Lew.	145
coccinea Lew.	205
Coccinella	152
COCCINELLIDAE	151
coccinelloides Baly	225
Coenobius	229
coerulea Motsch.	224
coeruleipennis Bat. (<i>Lemula</i>)	257
coeruleipennis Schilsky (<i>Tomopodernis</i>)	298
COLEOPTERA	98
collaris Scop.	275
Collyris	104
Colobicus	150
colobothroides Bat.	249
Colpodes	110
COLYDIIDAE	150
comes Mars.	221
communis Waterh.	315
Compsapoderus	275
concinipennis Baly	238
concinus Weis.	224
concolor Kraatz (<i>Nicrophorus</i>)	131
concolor Lew. (<i>Oedemera</i>)	202
Conderis	163
congener Jek.	279
congrua Mor.	117
consociata Baly	237
conspersa Gyll.	179
conspersus Rég.	121
conspicuus Sharp	118
conspureata Har.	318

constricticollis Jac.	247
convexum Miwa	189
Copris	312
Coprocephala	230
Coptolabrus	106, 108
Corigetus	282
corvinus Mars.	216
coryli L.	275
Corymbites	182
Corynodes	230
cossis Lew.	172
costata Hope	309
costatus Blandf.	299
cothurnata Mars.	217
Craspedonotus	110
crassicornis Borch.	199
crassiusculus Lew.	125
crenatus Waterh.	309
Creophilus	127
Crepidodera	230
cretacea Niis. et Mats.	315
cretaceus Bat.	262
cribricollis Mor. (<i>Dictya</i>)	111
cribricollis Kôno (<i>Sympiezomias</i>)	297
Criocephalus	254
Crioceris	231
crocata Bat.	115
Crossoglossa	111
crux Kôno	212
crux-minor L.	113
Cryphalus	298
Cryptocephalus	231
Cryptoderma	282
CRYPTOPHAGIDAE	148
Cryptophagus	148
Cryptorrhynchus	282
Cteniopinus	199
CUCUJIDAE	145
Cucujus	145
culminatus Bat.	109
Cupes	125
CUPESIDAE	125
cuprea Hope	309
cupreatum Baly	238
cuprescens Motsch.	280
CURCULIONIDAE	273
Curtos	163
curtus Motsch.	124
curviventralis Niis.	301
Cyanauges	151
cyanea F.	234
cyaneum Baly	225
cyanicornis Guér.	250
cyanipenne Kraatz	229
cyanipennis F.	128
Cyaniris	234
Cyaniropsis	234
Cybister	118
Cychramus	143
Cychrus	111
Cylas	283
Cylindera	100
cylindrica Baly	227
Cyllodes	143
Cymindis	111
Cyparium	137
Cyphen	161
Cyrtoclytus	254
cyrtoides Jac.	228

D

Dactylispa	234
<i>Daiko-hamushi</i>	246
<i>Daiko-nomihamushi</i>	247
<i>Daikoku-kogane</i>	312
daimiana Har.	310
daimio Bat. (<i>Agonum</i>)	104
daimio Lew. (<i>Anthrabus</i>)	272
daimio Lew. (<i>Corymbites</i>)	182
daimio Bat. (<i>Cymindis</i>)	111
daimio Sharp (<i>Notoxus</i>)	222
daimio Sharp (<i>Staphylinus</i>)	129
<i>Daimyo-gomi</i>	111
<i>Daimyo-kakushi</i>	129
Damaster	106, 108
<i>Dandara-kometsuki</i>	184
DASCILLIDAE	161
Dasyvulgus	312
dauricus Mor.	112
davidi Deyr.	222
decemmaculata Mats.	268
decempunctata Gebl. (<i>Lemo</i>)	238
decempunctata Gebl. (<i>Saperda</i>)	267
14-guttata L.	152

13-punctata	153
decorata Baly	235
dehaani Chaud.	106
delicatula Baly	238
delicatulus Lew.	308
<i>Deme-hime-tento</i>	155
Demotina	235
dentata Rossi	112
Denticollis	183
dentipes Roel.	277
dentomaculata Lew.	207
deplanata Roel.	278
Deporaus	283
depressa Lew.	138
Dere	254
Dermatoxenus	283
Dermestes	157
DERMESTIDAE	156
Deronectis	119
Diamesus	131
Diaperis	191
Dicerca	178
dichotomus L.	322
dichroa Har.	243
Dicranocephalus	313
Dictya	111
Dictyopterus	163
difficilis Sharp	122
difformis Motsch. (<i>Aspidomorpha</i>)	226
difformis Jac. (<i>Cryptocephalus</i>)	232
Dihammus	255
dilecta Baly	239
Dineutes	123
Dinoderus	174
diphysis Pasc.	259
Dircaeomorpha	205
Dischissus	111
discicollis Kies.	164
discretus Baly	232
dissimilis Boil.	308
Distenia	255
distenoides Bat.	255
distincta Baly (<i>Galerucella</i>)	236
distincta Baly (<i>Plagiodes</i>)	247
distinctum Sharp	161
distinctus Roel.	285
distinguendus Roel.	278

Ditylus	201
divaricatus Motsch.	287
diversa Baly	239
doenitzi Har.	318
<i>Dôgane-builai</i>	309
<i>Dôgane-saruhamushi</i>	238
Dolichus	111
Dolopius	183
dominica F.	175
Donacia	235
dercatomoides Weise	154
Dorcus	304
doris Bat.	257
<i>Doro-hamaki-chokkiri</i>	279
<i>Dorenoki-hamushi</i>	242
Dromius	112
DRYOPIDAE	158
Drypta	112
duellicus Lew.	190
duodecimmaculata Gebl.	152
duodecimpustulata Gebl.	245
duodecimpustulatus Schenk.	169
Dyscerus	283
DYTISCIDAE	118
Dytiscus	119

E

ebenina Bat.	261
Echinoenemus	283
Ectatorrhinus	284
Ectinohoplia	313
<i>Eguri-gomidamashi</i>	194
<i>Eguri-marukinokomushi</i>	176
<i>Eguri-sabikometsuki</i>	180
Elaphrus	112
Elater	184
ELATERIDAE	179
elegans Allibert (<i>Aphodius</i>)	311
elegans Baly (<i>Cneorane</i>)	229
elegans Kôno (<i>Lystus</i>)	287
elisae Motsch.	99
Enaptorrhinus	284
Encaustes	146
encopoleus Solsky	115
Encyalesthus	191
ENDOMYCHIDAE	150
<i>Enma-gamushi</i>	161

Ennearthron	176	<i>Ezo-katabiroosa</i>	106
Enochrus	159	<i>Ezo-koganushi</i>	160
Eobia	202	<i>Ezomatsu-kamikiri</i>	269
Epicauta	215	<i>Ezo-ōkinoko</i>	147
Epilachna	153	<i>Ezo-osa</i>	107
Epilichas	161	<i>Ezo-ruri-hamushi</i>	228
Episcapha	147		
Episcaphium	137		
Episomoides	284		
Episomus	284		
Epuraea	143		
<i>erebia</i> Bat.	262		
Eretes	120		
<i>Eriza-hammyo</i>	99		
Ernobius	173		
EROTYLIDAE	146		
<i>erotyloides</i> Lew.	190		
<i>erraticus</i> Sharp	122		
<i>erro</i> Pasc.	273		
Erycapoderus	293		
<i>erythrocephalum</i> F.	193		
<i>erythropterus</i> Gorb.	163		
<i>erythropygus</i> Cand.	187		
<i>esuriensis</i> Blandf.	301		
Euchirus	313		
Euchlora	313		
Eucibdelus	127		
EUCNEMIDAE	189		
Eugnathus	285		
Eumolpus	224		
Eumyllocerus	285		
Eupromus	255		
Eurostus	172		
Eurythyrea	178		
Eurytrachelus	304		
Eusilpha	134		
Eustrangalia	255		
Eutetrappa	256		
Eutriplax	147		
Evodinus	256		
<i>exanematica</i> Wiedem.	228		
<i>excultus</i> Bat.	262		
<i>expansa</i> Bat.	313		
<i>explanata</i> Reitt.	144		
<i>Ezo-himetendō</i>	155		
<i>Ezo-hiratakurogata</i>	304		
<i>Ezo-kaburi</i>	108		
		F	
		<i>fasciata</i> Kōno	209
		<i>fasciatopunctata</i> Germ.	103
		<i>fasciatus</i> Roel. (<i>Amystax</i>)	274
		<i>fasciatus</i> F. (<i>Polyzonus</i>)	265
		<i>fasciatus</i> L. (<i>Trichius</i>)	321
		<i>fasciculare</i> Ol. (<i>Noxodendron</i>)	158
		<i>fasciculare</i> Reitt. (<i>Trichodesma</i>)	174
		<i>felix</i> Lew.	190
		<i>femoralis</i> Kōno (<i>Neoleporans</i>)	290
		<i>femoralis</i> Motsch. (<i>Rhopidopalpa</i>)	248
		<i>ferrici</i> Fleut.	100
		<i>ferrieri</i> Planet	306
		<i>ferrugatus</i> Moll.	154
		<i>ferrugineum</i> F.	213
		<i>ferugineipennis</i> Motsch.	183
		<i>figuratus</i> Scop.	253
		<i>filiformis</i> F.	189
		<i>fimbriatus</i> Sharp	122
		<i>flabellatum</i> Motsch. (<i>Macrolycus</i>)	166
		<i>flabellatum</i> F. (<i>Macrosiagen</i>)	213
		<i>flabellatus</i> Kies.	161
		<i>flava</i> Cand.	185
		<i>flavicornis</i> Baly (<i>Haltica</i>)	237
		<i>flavicornis</i> Lew. (<i>Onthophilus</i>)	139
		<i>flavilabris</i> Waterh.	316
		<i>flavimana</i> Mars.	210
		<i>flavitarsis</i> Lew.	207
		<i>flaviventris</i> Motsch.	241
		<i>flavomarginata</i> Jac.	229
		<i>flavopustulatus</i> Baly	244
		<i>fluvipennis</i> Mats.	136
		<i>formicarius</i> F.	283
		Formicomus	221
		<i>formosana</i> Niis. et Mats. (<i>Macronota</i>)	315
		<i>formosana</i> Niis. et Mats. (<i>Polyphylla</i>)	319
		<i>formosana</i> Saund. (<i>Rosalia</i>)	266
		<i>formosana</i> Kries. (<i>Troctenotoma</i>)	222
		<i>formosanus</i> Bat. (<i>Collyris</i>).....	104

<i>formosanus</i> Miwa (<i>Hemisodorus</i>)	306	<i>Futamori-hinuchanonomi</i>	211
<i>formosanus</i> Planet (<i>Lucanus</i>)	306	<i>Futamori-kyōtanō</i>	297
<i>formosanus</i> Schenkl. (<i>Opilo</i>).....	170	<i>Futamori-marugata-hanakamikiri</i>	262
<i>formose</i> Bat.	304	<i>Futamori-ubutama-kometsuki</i>	181
<i>formosensis</i> Welleman (<i>Epicauta</i>)	215	<i>Futaoshi-chibi-hanakamikiri</i>	262
<i>formosensis</i> Borch. (<i>Logria</i>)	196	<i>Futaoshi-kofukizō</i>	285
<i>formosus</i> Petri	286	<i>Futaoshi-ō-hanonomi</i>	213
<i>fortis</i> Mor.	115	<i>Futao-tama</i>	178
<i>fortunatus</i> Baly	232	<i>Futatsume-gomi</i>	113
<i>fortunei</i> Thoms. (<i>Chreonema</i>).....	254	<i>Futatsumo-nogashinkui</i>	175
<i>fortunei</i> Waterh. (<i>Cryptoderma</i>)	282	<i>Futasuji-hanakamikiri</i>	269
<i>fortunei</i> Saund. (<i>Paraglenes</i>)	263	<i>Futasuji-himehamushi</i>	243
<i>fortunei</i> Cand. (<i>Pectocera</i>).....	188		
<i>foveicollis</i> Sch'nf.	158		
<i>frater</i> Arrow	316		
<i>fratalis</i> L.	208		
<i>fruhstorferi</i> Roes. (<i>Carabus</i>)	106		
<i>fruhstorferi</i> Horn (<i>Therates</i>)	104		
<i>fugiens</i> Mars.	221		
<i>Fuji-hamushi</i>	247		
<i>Fuji-hamushidamashi</i>	196		
<i>fujisana</i> Lew.	196		
<i>fulgidissima</i> Schönh.	178		
<i>fuliginosa</i> Mäkl.	198		
<i>fulminans</i> Fald.	245		
<i>fulvipes</i> Motsch.	243		
<i>fulvistemma</i> Motsch.	314		
<i>fulviventris</i> Kolbe	141		
<i>fulvus</i> Erich.	130		
<i>funagata</i> Kōno	208		
<i>Funagata-kuchiki</i>	200		
<i>funeraria</i> Reitt.	143		
<i>funesta</i> Baly	246		
<i>funosa</i> Gorb.	164		
<i>fur</i> L.	173		
<i>fuscicollis</i> Manneh.	220		
<i>fuscipes</i> L.	160		
<i>fuscipennis</i> Jac.	236		
<i>fuscus</i> Oliv.	156		
<i>Futahoshi-chibigamushi</i>	159		
<i>Futahoshi-himegomi</i>	113		
<i>Futahoshi-himehamamushi</i>	149		
<i>Futahoshi-hiratagomi</i>	104		
<i>Futahoshi-medaka</i>	129		
<i>Futahoshi-ō-kuchiki</i>	198		
<i>Futakiboshi-zō</i>	287		
<i>Futakobu-ruri-hamikiri</i>	257		
		G	
		Galeruca	236
		Galerucella	235
		Galerucida	236
		Galloisia	285
		<i>galloisi</i> Miwa (<i>Horminins</i>)	184
		<i>galloisi</i> Mats. et Tam. (<i>Necydalis</i>)	261
		<i>galloisi</i> Kōno (<i>Pisodes</i>)	295
		<i>Gallois-hoso-kobanekamikiri</i>	261
		<i>Gamazumi-scaka-no-otoshibumi</i>	298
		<i>gaschkewitschii</i> Motsch.	224
		Gastrolina	237
		<i>gebleri</i> Fald.	269
		<i>gehini</i> Fairm.	107
		<i>geminus</i> Sharp	275
		<i>gemina</i> Cand.	182
		<i>gemmata</i> Fald. (<i>Cicindela</i>)	100
		<i>gemmata</i> Gorb. (<i>Helota</i>)	141
		<i>Gengorō</i>	109
		<i>Gengorō-modoki</i>	109
		<i>geniculata</i> Motsch.	310
		<i>Genji-botaru</i>	165
		<i>geometricus</i> Kies.	163
		Geotrupes	313
		Gibbium	172
		<i>gibbus</i> Illg.	159
		<i>gigas</i> Mars. (<i>Macratris</i>).....	221
		<i>gigas</i> F. (<i>Phlochins</i>).....	273
		Glenea	256
		Glipa	269
		Glischrochilus	144
		<i>gloriosa</i> Lew.	205
		Glycyphana	314

glyphisternum Mars.	201
Gnaphaloryx	306
Gnorimus	314
<i>Gomadara-chibigengorō</i>	121
<i>Gomadara-kamikiri</i>	259
<i>Gomadara-nagashinkui</i>	174
Gomadaranus	293
<i>Gomadara-otoshibumi</i>	292
<i>Gomofu-gamushi</i>	159
<i>Gomofu-kamikiri</i>	259
<i>Gomi-damushi</i>	194
<i>Gomi-mushi</i>	105
Gonocephalum	191
gorhami Lew. (<i>Cyanauges</i>)	151
gorhami Mars. (<i>Epicauta</i>)	215
gorhami Lew. (<i>Epicapha</i>)	147
gottschei Kolbe	256
gracilicornis Kraatz	247
gracilipes Jac.	235
gracilis Pall. (<i>Cidindela</i>)	100
gracilis Bless. (<i>Distenia</i>)	255
gracilis Cand. (<i>Megapenthes</i>)	186
gracilis Lew. (<i>Mikadonius</i>)	206
gracilis Sharp (<i>Ontholestes</i>)	127
grammicus Germ.	121
grandis Burm. (<i>Aceraius</i>)	303
grandis Roel. (<i>Chlorophamus</i>)	281
grandis Waterh. (<i>Monochamus</i>)	360
grandis Thunb. (<i>Synonycha</i>)	155
Granida	314
granosus Chaud.	109
granulatus L. (<i>Carabus</i>)	107
granulatus Pasc. (<i>Enaptorrhinus</i>)	284
granulosus Mannh.	273
Graphoderes	120
gratiosus Sharp	285
grayi White	270
griseofasciatus Saund.	179
griseopilosus Roel.	286
Grynocharius	140
guttatus Mats. (<i>Bostrychus</i>)	174
guttatus F. (<i>Glischrochilus</i>)	144
guttulum Kôno	286
guttulus Mats.	288
Gymnopleurus	314
GYRINIDAE	123
Gyrinus	124

H

haagi Mars. (<i>Notoxus</i>)	222
haagi Har. (<i>Pseudocistela</i>)	200
haematodes Er.	145
<i>Hagi-tsarukubi-otoshibumi</i>	282
<i>Haiiro-gengorō</i>	120
<i>Haiiro-hyotan-zō</i>	296
<i>Haiiro-kabushi</i>	127
<i>Haiiro-kamikiri</i>	266
<i>Haiiro-kisunomodoki</i>	142
<i>Haiiro-kuchibutozō</i>	289
<i>Haiiro-zō</i>	298
<i>Hakka-hamushi</i>	228
halensis Schall.	111
HALIPLIDAE	117
Haltica	237
<i>Hannyo</i>	99
<i>Hannyo-modoki</i>	112
<i>Hanushi-damushi</i>	196
<i>Hana-muguri</i>	312
hananomi Kôno	210
<i>Hanandō-zō</i>	280
<i>Hanekakushi-modoki</i>	130
<i>Hanenaga-kakushi</i>	127
<i>Hanenaga-kushikometsuki</i>	187
<i>Hanno-ao-kamikiri</i>	263
<i>Hanno-kamikiri</i>	252
<i>Hanno-koshinkui</i>	299
<i>Haraaka-gomi</i>	110
<i>Harabiro-hannyo</i>	103
<i>Harajiro-katsuo</i>	157
Harminius	184
haroldi Faust	285
Harpalus	112
<i>Hashibami-otoshibumi</i>	275
<i>Hasuji-zō</i>	281
<i>Heike-botaru</i>	165
Helochares	159
Helophorus	159
Helota	141
HELOTIDAE	141
Hemicarabus	109
Hemiops	185
Hemisodorcus	306
henrietta Kriesche	251

Heptophylla	314	<i>Hime-jōkai</i>	168
<i>Heriaka-deo</i>	137	<i>Hime-kamenokohanushi</i>	226
<i>Heriguro-akahane</i>	220	<i>Hime-katazo</i>	297
<i>Heriguro-benikamikiri</i>	268	<i>Hime-katsuo</i>	156
heros Roel.	295	<i>Hime-ka-saragomi</i>	105
herzi Faust	297	<i>Hime-kiashi-tamahamushi</i>	229
Heterapoderus	275	<i>Hime-kiberi-aogomi</i>	100
Heteroderes	185	<i>Hime-kimawari</i>	192
hexaspilota Hope	153	<i>Hime-kinokomushi</i>	175
<i>Hiba-koshinkui</i>	300	<i>Hime-kobu-hamushi</i>	227
<i>Higebuto-arizukamushi</i>	130	<i>Hime-kobu-otoshibumi</i>	255
<i>Higebuto-benikamikiri</i>	257	<i>Hime-kogane</i>	310
<i>Higebuto-gomidamashi</i>	191	<i>Hime-kubiboso-jōkai</i>	166
<i>Higebuto-kakushi</i>	126	<i>Hime-kubinaga-gomi</i>	107
<i>Hige-cha-kogane</i>	321	<i>Hime-kuro-hōratazō</i>	295
<i>Hige-kogane</i>	319	<i>Hime-kuro-kakushi</i>	128
<i>Hige-kometsuki</i>	188	<i>Hime-kurogata</i>	305
<i>Hige-maruhananomi</i>	162	<i>Hime-maimaikiburi</i>	108
<i>Higenaga-gomofu-kamikiri</i>	250	<i>Hime-makimushi</i>	149
<i>Higenaga-kamikiri</i>	290	<i>Hime-marukatsuo</i>	156
<i>Higenaga-nomihamushi</i>	248	<i>Hime-mizusumashi</i>	124
<i>Higenaga-shirahoshi-kamikiri</i>	263	<i>Hime-nakaguro-kaba-kometsuki</i>	183
<i>Higenaga-usuba-hamushi</i>	241	<i>Hime-ruri-hamushi</i>	228
<i>Higenaga-zo</i>	273	<i>Hime-sabikikeri</i>	185
hilaris Pasc. (<i>Psocotha</i>)	205	<i>Hime-sakurakogane</i>	310
hilaris Motsch. (<i>Pullus</i>)	154	<i>Hime-seguro-gomi</i>	106
hilleri Faust (<i>Myllocerus</i>)	288	<i>Hime-shinofuri-kometsuki</i>	182
hilleri Reitt. (<i>Physoronia</i>)	144	<i>Hime-shirokoku-zō</i>	283
hilleri Har. (<i>Tenerus</i>)	171	<i>Hime-sugikamikiri</i>	252
hilleri Har. (<i>Xanthochroa</i>)	203	<i>Hime-sujikogane</i>	316
hillerianus Reitt.	149	<i>Hime-suna-gomidamashi</i>	191
<i>Hiller-kuchibutozō</i>	288	<i>Hime-tadehamushi</i>	235
<i>Hime-akaboshi</i>	152	<i>Hime-torahanamuguri</i>	321
<i>Hime-akahane</i>	220	<i>Hime-tsuchihannyo</i>	216
<i>Hime-botaru</i>	165	<i>Hime-yatsuboshi-hannyo</i>	102
<i>Hime-daikohamushi</i>	246	<i>Hime-zō</i>	278
<i>Hime-dogane-saruhamushi</i>	238	Hippodamia	153
<i>Hime-enuma</i>	138	<i>Hira-kokinoko</i>	149
<i>Hime-gannushi</i>	161	* <i>Hira-shidemodoki</i>	140
<i>Hime-gengoro</i>	123	<i>Hirata-doromushi</i>	158
<i>Hime-gomofu-gamushi</i>	159	<i>Hirata-enuma</i>	138
<i>Hime-hanamuguri</i>	313	<i>Hirata-hanamuguri</i>	312
<i>Hime-hannyo</i>	101	<i>Hirata-hoxokamushi</i>	150
<i>Hime-higenaga-kamikiri</i>	260	<i>Hirata-gomoku</i>	112
<i>Hime-higenagazō</i>	273	<i>Hirata-kekushi</i>	128
<i>Hime-hirashide</i>	133	<i>Hirata-keshikisui</i>	143
<i>Hime-hirata</i>	146	<i>Hirata-kuwagata</i>	305

<i>Hirata-shidemushi</i>	134	<i>humeralis</i> Miwa	186
<i>Hiroobi-kamikiri</i>	256	<i>hybrida</i> L.	100
<i>hirtus</i> Jac. (<i>Luperus</i>)	241	Hydaticus	121
<i>hirtus</i> F. (<i>Trinodes</i>)	157	Hydrobius	160
<i>Hishi-benibotaru</i>	163	Hydrocycclus	160
Hister	138	HYDROPHILIDAE	159
HISTERIDAE	138	Hydrophilus	160
<i>histeroides</i> Lew.	139	Hydrous	160
<i>Hitosuji-no-hananomi</i>	213	Hylastes	209
<i>Hitosume-gengorō</i>	123	Hylecoetus	172
<i>Hojiro-ashinagazō</i>	273	Hylesinus	209
Holcophilydrus	159	Hylobius	285
Holepta	138	Hymenalia	200
<i>holosericea</i> F. (<i>Aeolesthes</i>)	249	Hymenorus	199
<i>holosericea</i> F. (<i>Anomala</i>)	310	<i>Hyohon-mushi</i>	173
Holostrophus	205	<i>Hyotan-gomi</i>	106
Holotrichia	315	Hyphydrus	121
<i>holsti</i> Waterh.	178	<i>hypocrita</i> Lew. (<i>Bonzicus</i>)	205
<i>Hone-gomidomashi</i>	192	<i>hypocrita</i> Mars. (<i>Cteniofinus</i>)	199
<i>hopei</i> Saund.	304	<i>hypocrita</i> Bohem. (<i>Sipalus</i>)	296
Hoplia	315	Hypoganus	185
<i>Hoppe-egurikogane</i>	316	<i>hypogastricus</i> Cand.	184
<i>hoppona</i> Niis. et Mats.	316	Hypomeces	286
Horatocera	162		
<i>Hoshibeshi-gomi</i>	105		
<i>Hoshi-katsuzō</i>	287		
<i>Hoshi-momobutoshide</i>	131		
<i>Hoshi-sugehamushi</i>	236		
<i>Hoso-aogomi</i>	112		
<i>Hoso-benibotaru</i>	166		
<i>Hoso-doromushi</i>	158		
<i>Hoso-enma</i>	139		
<i>Hoso-hannyo</i>	100		
<i>Hoso-hyotanzō</i>	280		
<i>Hoso-kaba-kometsuki</i>	181		
<i>Hoso-kamikiri</i>	255		
<i>Hoso-kiiro-kuchiki</i>	199		
<i>Hoso-kobane-kamikiri</i>	261		
<i>Hosokubi-arimodoki</i>	221		
<i>Hosokubi-kimawari</i>	193		
<i>Hosokubi-nagahamushi</i>	231		
<i>Hoso-koakko</i>	169		
<i>Hoso-medaka-hannyo</i>	104		
<i>Hoso-nagakuchiki</i>	207		
<i>Hotaru-hamushi</i>	243		
<i>Hotaru-kamikiri</i>	254		
<i>humator</i> Oliv.	132		

I

<i>indicus</i> Aubé	123	Ixalma	286
<i>indigonacea</i> Motsch.	319	<i>iyonis</i> Kōno	199
<i>induta</i> Newman	249		
<i>Inc-doro-hamushi</i>	239		
<i>Inc-kubiboso-hamushi</i>	239		
<i>Inc-togetoge</i>	243		
<i>Inc-zō</i>	283		
<i>infernalis</i> Fairm.	290		
<i>inflata</i> Hustache	285		
<i>ingens</i> Lew. (<i>Pachylanguria</i>)	190		
<i>ingens</i> Mor. (<i>Triplogenius</i>)	117		
<i>inops</i> Chaud.	110		
<i>inornatus</i> Sharp	129		
<i>inquisitor</i> L.	266		
<i>insidiosus</i> Roel.	282		
<i>insignis</i> Lew.	272		
<i>insomnis</i> Lew.	192		
<i>insularis</i> Horn	102		
<i>insularis</i> Kōno (<i>Dyscerus</i>)	283		
<i>insularis</i> Miwa (<i>Neolucanus</i>)	307		
<i>insularis</i> Motsch. (<i>Priemus</i>)	265		
<i>instabilis</i> Baly	232		
<i>insulicola</i> Chaud.	107		
<i>interjecta</i> Baly	227		
<i>intermedius</i> Sharp	117		
<i>internixta</i> Arrow	319		
<i>interrogationis</i> L.	256		
IPIDAE	298		
Ips	299		
<i>ipsoides</i> Reitt.	144		
<i>irkutensis</i> Laxm.	171		
Isomira	200		
<i>issihikii</i> Kōno	296		
<i>Ishiki-hoso-zō</i>	296		
<i>Itadori-hamushi</i>	236		
<i>Itaya-hamaki-chokkiri</i>	279		
<i>Itaya-hamushi</i>	236		
<i>Itaya-kamikiri</i>	258		
Ithone	153		
<i>Itsoboshi-higelutosa</i>	125		
<i>Itsoboshi-hivota-kometsuki</i>	182		
<i>Itsoboshi-no-zō</i>	290		
Ivania	205		
<i>iwasakii</i> Mats. et Kōno (<i>Balaninus</i>)	278		
<i>iwasakii</i> Mats. (<i>Pyrocotlia</i>)	167		
<i>Iwasaki-madobotaru</i>	167		
<i>Iwasaki-shūgi-zō</i>	278		

J

<i>jacobyi</i> Weise	241		
<i>jactatus</i> Lew.	181		
<i>japana</i> Motsch. (<i>Cicindela</i>)	101		
<i>japana</i> Mars. (<i>Penthe</i>)	207		
<i>japanensis</i> Chaud.	100		
<i>japanum</i> Motsch. (<i>Genocephalum</i>)	191		
<i>japanum</i> Jac. (<i>Lampyrisoma</i>)	238		
<i>japanum</i> Mars. (<i>Stenidium</i>)	193		
<i>japanus</i> Baly	233		
<i>japonensis</i> Saund.	176		
<i>japonica</i> Thoms. (<i>Apriona</i>)	250		
<i>japonica</i> Motsch. (<i>Autoserica</i>)	311		
<i>japonica</i> Gory (<i>Chalcophora</i>)	177		
<i>japonica</i> Baly (<i>Clytra</i>)	229		
<i>japonica</i> Baly (<i>Crepidodera</i>)	230		
<i>japonica</i> Har. (<i>Gastrolina</i>)	237		
<i>japonica</i> Ohta (<i>Helota</i>)	141		
<i>japonica</i> Chaud. (<i>Lebia</i>)	113		
<i>japonica</i> Weise (<i>Lebia</i>)	238		
<i>japonica</i> Thunb. (<i>Luciola</i>)	164		
<i>japonica</i> Bat. (<i>Mesosa</i>)	259		
<i>japonica</i> Pic (<i>Micropelecotoides</i>)	214		
<i>japonica</i> Thunb. (<i>Oberoa</i>)	261		
<i>japonica</i> Taman. (<i>Paraglenes</i>)	263		
<i>japonica</i> Newman (<i>Popillia</i>)	320		
<i>japonica</i> Heyd. (<i>Pseudopyrochroa</i>)	219		
<i>japonica</i> Hope (<i>Rhomborrhina</i>)	320		
<i>japonica</i> Gorb. (<i>Saula</i>)	151		
<i>japonica</i> Motsch. (<i>Silpha</i>)	134		
<i>japonica</i> Reitt. (<i>Sorenia</i>)	145		
<i>japonica</i> Reitt. (<i>Temnochila</i>)	140		
<i>japonicum</i> Baly (<i>Adorinus</i>)	224		
<i>japonicum</i> Lesne (<i>Sinoxylus</i>)	175		
<i>japonicus</i> Sharp (<i>Agabus</i>)	118		
<i>japonicus</i> Crotch (<i>Andacochilus</i>)	146		
<i>japonicus</i> Mats. (<i>Betelnis</i>)	158		
<i>japonicus</i> Sharp (<i>Bidessus</i>)	118		
<i>japonicus</i> Sharp (<i>Blogerus</i>)	279		
<i>japonicus</i> Har. (<i>Bruchus</i>)	223		
<i>japonicus</i> Roel. (<i>Camevus</i>)	280		
<i>japonicus</i> Faust (<i>Cleonus</i>)	281		
<i>japonicus</i> Motsch. (<i>Colpodes</i>)	110		

japonicus Jac. (<i>Corynodes</i>)	230
japonicus Sharp (<i>Cybister</i>)	119
japonicus Lesne (<i>Dinoderus</i>)	174
japonicus Sharp (<i>Eucibidellus</i>)	127
japonicus Motsch. (<i>Glischrochilus</i>)	144
japonicus Reitt. (<i>Grynoc horius</i>)	140
japonicus Sharp (<i>Gyrinus</i>)	124
japonicus Mars. (<i>Hister</i>)	138
japonicus Sharp (<i>Hyphydrus</i>)	121
japonicus Niis. (<i>Ips</i>)	229
japonicus Roel. (<i>Lepyrrus</i>)	287
japonicus Sharp (<i>Micropheplus</i>)	130
japonicus Har. (<i>Nicrophorus</i>)	132
japonicus Sharp (<i>Noterus</i>)	122
japonicus Sharp (<i>Philonthus</i>)	128
japonicus Chap. (<i>Scolytus</i>)	301
japonicus Lac. (<i>Semaustus</i>)	267
japonicus Schilsky (<i>Sphermophagus</i>)	223
japonicus Kies. (<i>Telephorus</i>)	168
japonicus Baly (<i>Tennespis</i>)	248
japonicus Jans. (<i>Trichius</i>)	322
japonum Reitt. (<i>Emeorthron</i>)	178
japonum Reitt. (<i>Scaphidium</i>)	137
Jekel-enma	138
jekeli Roel. (<i>Apoderus</i>)	276
jekeli Mars. (<i>Hister</i>)	138
jessoensis Mor.	114
jezoniensis Miwa	304
jezoniensis Bat.	107
Jingasa-hamushi	225
Jōkaiben	168
jucunda Cast. et Gory (<i>Glyssodema</i>)	177
jucunda Fald. (<i>Oxyctenia</i>)	318
jugosa Bat.	265
Juji-gomi	113
Juji-hamushi	245
Juji-hananomi	211
Juji-kuro-kamikiri	254
Juni-hoshi-kamikiri	263
Juni-hoshi-tentō	152
Jusanhoshi-tentō	153
Jushihoshi-saruhamushi	234
K	
Kabairo-hirashide	135
Kabairo-kometsuki	180
Kabairo-kometsukidamashi	189
Kabairo-nishananomi	206
Kabuto-mushi	322
Kadousu-munaboso-kometsuki	180
Kakumune-benibotaru	165
Kakumune-hirata	145
Kakumate-tama	177
kalea Bat.	101
Kamenoko-hamushi	226
Kamikiri-modoki	203
Kanabum	320
Kansho-funagata-kometsuki	185
Kansho-kushi-kometsuki	187
Karafuto-akahane	220
Karafuto-beni-hirata	145
Karafuto-botaru	163
Karafuto-hanmyo	103
Karafuto-hirata-kometsuki	183
Karafuto-kuro-shide	132
Karafuto-kuro-urihamushi	240
Karafuto-kuakko	171
Karafuto-nagakuchiki	205
karafutona Kōno	250
karafutonis Kōno	170
Karafuto-oni-hirashide	134
Karafuto-tento	153
Karafuto-tsuchihanmyo	216
Karafuto-tsuya-kometsuki	185
Karakane-kamikiri	257
Karamatsu-chibi-koshinkui	298
Kasawara-hamushi	235
Kashirwa-koshinkui	302
Kashirwa-saruhamushi	233
Kataaka-higenagazō	272
Kataaka-hoso-kometsuki	186
Katabiro-hamushi	248
Katabiro-hime-hananomi	211
Katabiro-togetoge	234
Kataboshi-hamushi	241
Kataguro-hoso-kometsuki	188
Katakuri-hamushi	236
Katamon-ō-kinoko	146
Katamon-kogane	318
Katō-higenaga-otoshibumi	291
katonis Kōno	291
Katsura-kamikiri	263
Katsuo-zō	287

kawakamii Mats.	242
Kawakami-rurihamushi	242
Kawara-gomi	114
Kawara-hanmyo	191
Keaka-katsuo	157
Keashi-hyotan-zō	284
Kebuga-kisui	148
Kebuga-kuro-nagahanashi	241
Kebuga-nagagomidamashi	193
Kimadara-kamikiri	249
Ke-munaboso-kometsuki	180
Keshi-gengorō	121
Kesuji-gengorō	118
Keyaki-nogatama	176
Kiashi-bara-saruhamushi	232
Kiashi-higenaga-aohamushi	229
Kiashi-kamikirimodoki	202
Kiashi-nagakuchiki	206
Kiashi-nomihamushi	246
Kibane-gensei	215
Kibane-hoso-kometsuki	186
Kibane-tanakinokomashi	136
Kibara-hime-hamushi	241
Kibara-rurihamushi	238
Kiberi-aogomi	110
Kiberi-mamegengorō	122
Kiberi-marukometsuki	189
Kiberi-togetoge	234
Kiboshi-hananomi	210
Kiboshi-honemushi	144
Kiboshi-keshikisui	144
Kiboshi-rurihamushi	234
Kiboshi-saruhamushi	233
Kiboshi-tentōdamashi	151
Kiuro-botaru	164
Kiuro-chibi-nomihamushi	240
Kiuro-funagata-hananomi	209
Kiuro-gensei	217
Kiuro-kamikirimodoki	203
Kiuro-kogane	314
Kiuro-kubinaga-hamushi	231
Kiuro-kuchiki	199
Kiuro-maru-nomihamushi	225
Kiuro-nagakuchiki	208
Kiuro-nomihamushi	230
Kiuro-tentō	152
Kiuro-tentōdamashi	151
Kiuro-torakamikiri	253
Kikubi-aogomi	111
Kikubi-kamenoko-hamushi	226
Kikubi-kamikirimodoki	203
Kikuchi-hamushidamashi	196
kikuchii Kōno	196
Kikui-ō-hananomi	214
Kimadara-chibi-kometsuki	188
Kimadara-kometsuki	187
Kimune-ao-hamushi	229
Kimuchi-kakushi	129
Kimuchi-tama	178
Kim-nagagomi	115
Kim-obi-hananomi	210
Kimobo-higenagazō	272
Kim-oni-kuwagata	308
Kimaji-kogane	310
Kiobi-ao-kamikiri	265
Kiobi-kubibosohamushi	238
Kiobi-nagakuchiki	207
kiotensis Brenske	315
Kisaji-gengorō	168
Kisaji-kubinaga	218
Kisuji-nagakuchiki	206
Kisuji-nomihamushi	246
Kisuji-torakamikiri	254
Kobane-kamikiri	265
Kobane-tantsushinkui	172
Kobu-kogane	322
Ko-daijoku-kogane	312
Ko-emma	138
Kofuki-zō	285
Ko-funagata-hananomi	208
Ko-gamushi	180
Kogane-kometsuki	183
Kogane-mushi	317
Kogashira-gomi	105
Kogashira-kubinaga	218
Kogashira-kuro-kakushi	128
Kogashira-mushi	107
Kogashira-tobi-kogane	321
Kogata-aka-kometsuki	184
Kogata-gengorō	109
Kogata-kometsuki	187
Ko-gengoro-modoki	120
Ko-gomoku	112
Ko-hanamuguri	318

<i>Ko-hanmyo</i>	103	<i>Kuro-akahane</i>	219
<i>Ko-higehosozō</i>	294	<i>Kuro-ao-kamikiri modoki</i>	202
<i>Ko-kabutomushi</i>	318	<i>Kuroba-saruhamushi</i>	244
<i>Ko-kaminari-hamushi</i>	237	<i>Kuro-benibotaru</i>	163
<i>Ko-katabirozō</i>	287	<i>Kuroboshi-hirashide</i>	134
<i>Ko-kinokomushi</i>	149	<i>Kuroboshi-nomihamushi</i>	240
<i>Koku-nusutto</i>	140	<i>Kuroboshi-saruhamushi</i>	233
<i>Ko-kuro-himetenō</i>	154	<i>Kuro-chibikatsuo</i>	157
<i>Ko-kuro-shide</i>	132	<i>Kuro-deo</i>	137
<i>Koku-zo</i>	279	<i>Kuro-funagata-hananomi</i>	209
koltzei Heydl.	267	<i>Kuro-gengorō</i>	108
<i>Ko-maruyohon</i>	172	<i>Kuro-habanemushi</i>	136
<i>Kone-gomidamashi</i>	194	<i>Kurohana-keshikisui</i>	143
<i>Kometsuki-modoki</i>	190	<i>Kuro-hanakometsuki</i>	182
<i>Ko-monkuro-shide</i>	133	<i>Kuro-hananuguri</i>	314
<i>Ko-nagashinkui</i>	175	<i>Kuro-hananomi</i>	210
<i>Kona-hirata</i>	146	<i>Kuroheri-tsuya-kometsuki</i>	180
<i>Konara-shigizō</i>	278	<i>Kuro-higenaga-otoshibumi</i>	292
<i>Ko-niwahamyo</i>	100	<i>Kuro-himetenō</i>	154
<i>Ko-obi-hananomi</i>	209	<i>Kuro-hirashide</i>	133
<i>Ko-obi-kuchibutozō</i>	289	<i>Kuro-hirata-kamikiri</i>	252
<i>Ko-onaga-mizusumashi</i>	124	<i>Kuro-hirata-kogane</i>	314
koshunensis Mats.	163	<i>Kurohoshi-kuchiki</i>	200
<i>Kōshun-ajibotaru</i>	163	<i>Kurohoshi-tama</i>	179
<i>Kōshi-katazō</i>	291	<i>Kuro-ikuvi-kometsuki</i>	188
<i>Ko-torahananuguri</i>	321	<i>Kuro-kakushi</i>	129
<i>Ko-torakamikiri</i>	264	<i>Kuro-kamikiri</i>	267
<i>Kōya</i>	104	<i>Kuro-kamikiri modoki</i>	203
<i>Ko-yotuboshi-keshikisui</i>	143	<i>Kuro-kanaban</i>	320
kraatzi Reitt.	197	<i>Kuro-katabiroosa</i>	106
<i>Kubiaka-hamushidamashi</i>	196	<i>Kuro-katazō</i>	290
<i>Kubiaka-kamikiri</i>	251	<i>Kuro-kebuka-hamushidamashi</i>	195
<i>Kubiaka-kushihige</i>	162	<i>Kuro-keshikisui</i>	143
<i>Kubiaka-torakamikiri</i>	271	<i>Kuro-kimawari</i>	192
<i>Kubiaka-tsuya-kamikiri</i>	250	<i>Kuro-kogane</i>	315
<i>Kubikakushi-hosokata</i>	150	<i>Kuro-kuchibutozō</i>	289
<i>Kubikakushi-kuchiki</i>	207	<i>Kuro-manchamyo</i>	215
<i>Kubinaga-gomi</i>	105	<i>Kuro-maru-kogane</i>	317
<i>Kubinaga-otoshibumi</i>	292	<i>Kuromon-ikkaku</i>	222
kuchibutonis Kōno	289	<i>Kuro-naga-hamushidamashi</i>	196
<i>Kuchiki-kushihige</i>	162	<i>Kuro-nagaosa</i>	108
<i>Kuchiki-mushi</i>	198	kuronis Ohta	173
<i>Kuribane-hamushi</i>	228	<i>Kuro-obabotaru</i>	164
<i>Kuriiro-funagata-kuchiki</i>	200	<i>Kuroobi-ashinagazō</i>	273
<i>Kuriiro-kuchiki</i>	197	<i>Kuroobi-mitsugirizō</i>	271
<i>Kuriiro-kwakko</i>	170	<i>Kuroobi-saruhamushi</i>	229
<i>Kuri-shigizō</i>	277	<i>Kuro-ō-hananomi</i>	214

<i>Kuro-ōkinoko</i>	147	Lampyris	163
<i>Kuro-shide</i>	131	LANGURIIDAE	189
<i>Kuro-shigizō</i>	278	lapathi L.	282
<i>Kurotsuji-fuji-hamushi</i>	247	lapponica L.	242
<i>Kurotsuji-hanakamikiri</i>	255	laricis Niis.	298
<i>Kurotsuji-ikkaku</i>	222	LARIIDAE	223
<i>Kurotsuji-medaka-hanmyo</i>	104	Larinus	286
<i>Kuro-tama</i>	176	lata Grav.	126
<i>Kuro-torakamikiri</i>	253	latecincta Bat.	111
<i>Kuro-urihamushi</i>	226	latericostata Jac.	237
<i>Kuro-usuba-hamushi</i>	242	LATHRIDIIDAE	149
<i>Kurozu-hime-hananomi</i>	211	Lathridius	149
<i>Kurozu-juji-gomi</i>	113	laticollis Lew.	319
<i>Kurozu-mame-gengorō</i>	108	latifasciatus Fisch.	253
<i>Kushihige-benibotaru</i>	166	latimanus Kolbe	194
<i>Kushihige-kakushi</i>	130	Lebia	113
<i>Kushi-kometsuki</i>	187	Lebidia	113
<i>Kusu-marukoshinkui</i>	302	legatus Cand.	187
<i>Kuwagata-modoki</i>	222	Lema	238
<i>Kuwagata-mushi</i>	305	Lemula	257
<i>Kwao-hamushi</i>	246	lentus Erich.	284
<i>Kwao-kamikiri</i>	250	lenzi Schönf.	235
<i>Kwao-marukoshinkui</i>	302	Leontium	257
<i>Kwao-nomihamushi</i>	246	lepida Redt.	105
<i>Kwayama-kamikiri</i>	271	Lepidota	315
<i>Kwakko-kamikiri</i>	259	Leptapoderus	275
L			
Laccobius	160	Lepyurus	286
Laccophilus	122	leucofasciatus Lew.	127
Lacon	185	<i>Lewis-hanmyo</i>	101
lacunipennis Jek.	277	<i>Lewis-higehosozō</i>	294
lacustris Sharp.	160	<i>Lewis-hyotanō</i>	297
Laemophloeus	115	<i>Lewis-kubibosohamushi</i>	239
laetescrpta Motsch.	101	lewisi Bat. (<i>Cicindela</i>)	101
laevicollis Jac. (<i>Crepidodera</i>)	230	lewisi Bat. (<i>Diaperis</i>)	191
laevicollis Har. (<i>Plesiophthalmus</i>) ..	192	lewisi Jac. (<i>Galerucida</i>)	237
laevis F.	201	lewisi Csiki (<i>Holostrophus</i>)	205
laevistriatus Motsch.	313	lewisi Baly (<i>Lema</i>)	239
laeviuscula Ratz.	229	lewisi Crotch (<i>Neotriplax</i>)	147
Lagarus	115	lewisi Sharp (<i>Phyllobius</i>)	294
LAGRIA	196	lewisi Woll. (<i>Pseudotaphius</i>)	150
LAGRIIDAE	195	lewisi Roel. (<i>Sympiezomias</i>)	297
Lagriocera	196	lewisi Jac. (<i>Crepidodera</i>)	231
Lamiomimus	256	lewisi Baly (<i>Longitarsus</i>)	240
Lamprosoma	238	libera Sharp	160

Lichenophanes	174		
ligatus Cand.	186		
lignarius Lew.	304		
limbata L.	114		
limbata Motsch.	155		
Limosius	185		
Linaeidea	242		
lineatus Kōno	297		
lineatus L.	297		
lineola Creutz.	226		
lineolata Chevr.	252		
Liocola	315		
LIODIDAE	136		
litterifera Chaud.	101		
litterata Bat.	250		
Lixus	287		
lobata Gebl.	216		
Lochmaea	240		
longiceps Motsch.	291		
longicornis Roel. (<i>Paratrachelophorus</i>)	292		
longicornis Roel. (<i>Phyllobius</i>)	294		
longipes Drury	288		
Longitarsus	240		
longula Kōno	211		
LUCANIDAE	304		
Lucanus	306		
lucens Mars.	192		
Lucernula	164		
Lucidina	164		
lucidula Hope	317		
Luciola	164		
Ludius	186		
lunuliger Mars.	190		
Luperodes	240		
Luperus	241		
luteipennis Mars.	203		
luteola Mars.	209		
luxuriosus Bat.	255		
Lycostomus	165		
LYCTIDAE	175		
Lyctus	175		
LYMEXYLONIDAE	172		
Lypestes	242		
Lyponia	165		
Lyprops	191		
Lystrus	287		
Lytta	215		
		M	
		maackii Kr.	264
		macilentus Kies.	166
		macleayi Hope.	313
		Macratia	221
		Macrochirus	288
		Macrolagria	196
		Macrolycus	166
		Macronota	315
		Macrotonia	213
		Macrotomoxia	210
		macularius Thoms.	259
		maculatus Roel. (<i>Lixus</i>)	287
		maculatus Mats. (<i>Sphenophorus</i>)	297
		maculicollis Motsch.	236
		maculifemoratus Motsch.	306
		maculifrons Kraatz	132
		<i>Madaraashi-zō</i>	284
		<i>Madara-gengorō</i>	121
		<i>Madara-gensei</i>	216
		<i>Madara-hasuji-zō</i>	273
		<i>Madara-kabanemushi</i>	145
		<i>Madara-kamikirimodoki</i>	263
		<i>Madara-kisui</i>	197
		<i>Madara-mizugawa-gomi</i>	105
		maderae F.	106
		mäklini Cand.	179
		<i>Magatama-hanmyō</i>	102
		magna Ohta.	153
		magnus Bat.	114
		<i>Maguso-gamushi</i>	161
		<i>Maguso-kogane</i>	311
		<i>Maimai-kaburi</i>	106
		maindroni Pic	268
		Malachius	166
		Maladera	311
		Mallambyx	258
		malus Niis.	299
		<i>Mame-gamushi</i>	161
		<i>Mame-gengorō</i>	108
		<i>Mame-hanmyō</i>	215
		<i>Mame-kogane</i>	320
		<i>Mame-zō</i>	223
		manicata Lew.	202
		marginalis L.	119

marginata Kōno	220	melanocephalus F. (<i>Melanoxanthus</i>)	187
marginatus Er. (<i>Colobicus</i>)	150	Melanotus	187
marginatus Sharp (<i>Dinentes</i>)	124	Melanoxanthus	187
marseuli Csiki	209	melanura L.	202
<i>Maru-gamushi</i>	160	Melasoma	242
<i>Marugata-gengorō</i>	120	Meloë	216
<i>Marugata-gomi</i>	105	MELOIDAE	214
<i>Marugata-hanakamikiri</i>	262	Melolontha	316
<i>Maru-himetento</i>	154	Menephilus	192
<i>Maru-hyotanzō</i>	280	Meotirrhynchus	288
<i>Maru-kakuguchi-zō</i>	270	Mesolycus	166
<i>Maru-koshikisui</i>	143	Mesosa	259
<i>Marukubi-gomi</i>	113	Metademius	169
<i>Marukubi-hirata-kamikiri</i>	251	Metalotimarcha	242
<i>Marukubi-kometsuki</i>	184	Metapocyrtus	288
<i>Marukubi-tsuchi-hanmyō</i>	216	Metoecus	213
<i>Marumon-katazō</i>	290	Metopodontus	307
mater Sharp.	159	microcephalus Motsch.	115
<i>Matsu-hime-koshinkui</i>	299	Microdera	242
<i>Matsu-kiboshi-zō</i>	295	Microlamia	259
<i>Matsu-koshinkui</i>	300	Micropolecotoides	214
matsumurai Kōno	200	MICROPEPLIDAE	130
<i>Matsu-ō-zō</i>	285	Micropeplus	130
<i>Matsu-shirahoshi-zō</i>	282	<i>Midori-gensei</i>	215
<i>Matsu-tobi-zō</i>	296	<i>Midori-kamikiri</i>	257
mauritanica L.	140	<i>Midori-ki-sui</i>	141
maxillosus L. (<i>Creophilus</i>)	127	<i>Midori-hanmyō</i>	194
maxillosus F. (<i>Oxyporus</i>)	128	Mikadonius	296
maximoviczi Mor.	106	Mimela	316, 317
<i>Mayan-osa</i>	107	mimica Lew.	321
mayasanus Bat.	107	miniatus Cand.	183
<i>Mayeboshi-kubibosohamushi</i>	239	minus Kōno (<i>Deporaus</i>)	283
<i>Mayemon-shide</i>	132	minus Mars. (<i>Mecometarus</i>)	221
Mecynippus	268	minor L. (<i>Maiorchus</i>)	299
Mecynotarsus	221	minor Hartig (<i>Myelophilus</i>)	300
<i>Medaka-hanmyō</i>	104	<i>Misaji-ki-sarubamushi</i>	234
medita Saund.	179	<i>Misaji-ō-hananomi</i>	214
Megapenthes	186	<i>Miyama-hanmyō</i>	102
Megasemum	258	<i>Miyama-higebosō-zō</i>	294
Megasternum	161	<i>Miyama-kamikirimodoki</i>	201
Megatracherus	216	<i>Miyama-kuwagata</i>	306
Megopis	259	<i>Mizu-umashi</i>	124
melanaria Mäkl.	198	mniszecchi Grouv.	145
Melanauster	259	modesta Lew.	206
Melandrya	205	modestum Jac.	244
MELANDRYIDAE	205	modestus Kies.	165
melanocephalus Oliv. (<i>Aucylopus</i>)	150	Moechotypa	259